

静岡県 障害のある方の実態調査

結果報告書

令和7年3月

静岡県健康福祉部障害者支援局

目 次

I 調査の概要.....	1
II 調査の結果.....	3
1 あなたについて.....	3
2 住まい・暮らしについて.....	8
3 障害福祉サービス等の利用状況について.....	34
4 仕事や家計について.....	54
5 生活の環境や安全・安心について.....	65
6 社会参加について.....	86
7 悩み事に対する相談について.....	98
8 その他.....	104
III 付録：調査票.....	121

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、障害のある方の生活の実情と施策に対する意向等を把握し、第6次静岡県障害者計画作成の基礎資料とするために実施しました。

2 調査内容

- | | |
|----------------------|---------------|
| ① あなたについて | ② 住まい・暮らしについて |
| ③ 障害福祉サービス等の利用状況について | ④ 仕事や家計について |
| ⑤ 生活の環境や安全・安心について | ⑥ 社会参加について |
| ⑦ 悩み事に対する相談について | ⑧ その他 |

3 調査方法

(1) 調査対象

下記を対象とし、郵便による調査票回収又は静岡県電子申請サービスによる入力により回答を収集しました。

[身体障害のある方、知的障害のある方への調査]

県内の身体障害者手帳所持者及び療育手帳所持者から無作為に抽出し、郵便にて調査票を配布しました。

[精神障害のある方への調査]

県内の精神科医療機関の協力を得て、各医療機関を通じて入通院者に配布しました。

(2) 配布数 県内在住の障害のある方 10,000人

[配布数内訳]

障害種別	配布数
身体障害のある方	4,000人
知的障害のある方	3,000人
精神障害のある方	3,000人
合 計	10,000人

(3) 調査期間 令和6年9月～11月

4 回収結果

発送数	10,000票
回収数(回収率)	3,841票 (38.4%)
うち、郵送の回収数	3,126票 (31.3%)
うち、電子申請サービスの回収数	715票 (7.2%)

5 調査結果参照の際の注意点

- ・図表中の「N」は、回答総数(Number)を示しています。
- ・すべての集計は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合があります。
- ・回答比率(%)は、その設問の回答者数を基数(N)として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合があります。
- ・調査結果を図表にして表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています(無回答を除く)。
- ・「前回調査」とは、令和2年9月に実施した「障害のある方の実態調査」のことを指しています。
- ・サンプル数が20以下のものについては、コメントを省略しています。

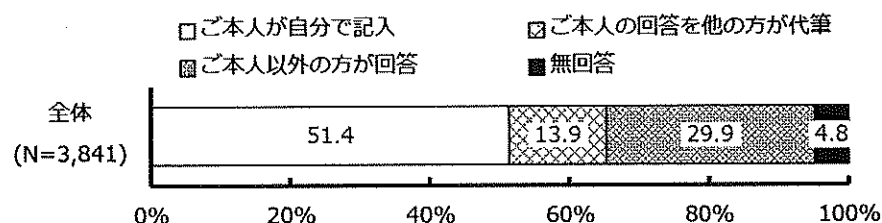
II 調査の結果

1 あなたについて

問1 はじめに、調査票の記入者をお答えください。(単数回答)

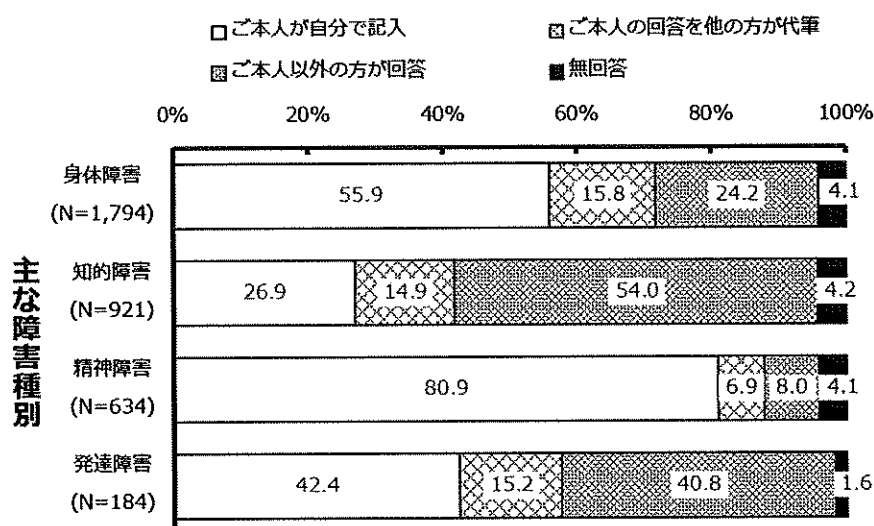
調査票の記入者は、「ご本人が自分で記入」が51.4%と最も多く、次いで「ご本人以外の方が回答」が29.9%、「ご本人の回答を他の方が代筆」が13.9%となっています。(図表1)

図表1：全体集計



主な障害種別では、「ご本人が自分で記入」が精神障害で80.9%、身体障害で55.9%と最も多く、「ご本人以外の方が回答」では知的障害で54.0%と最も多くなっています。発達障害においては、「ご本人が自分で記入」と「ご本人以外の方が回答」がともに4割となっています。(図表2)

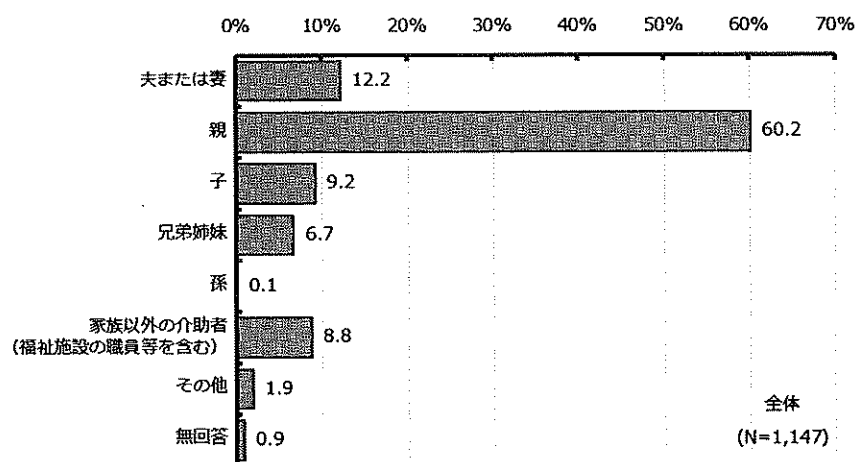
図表2：主な障害種別 集計



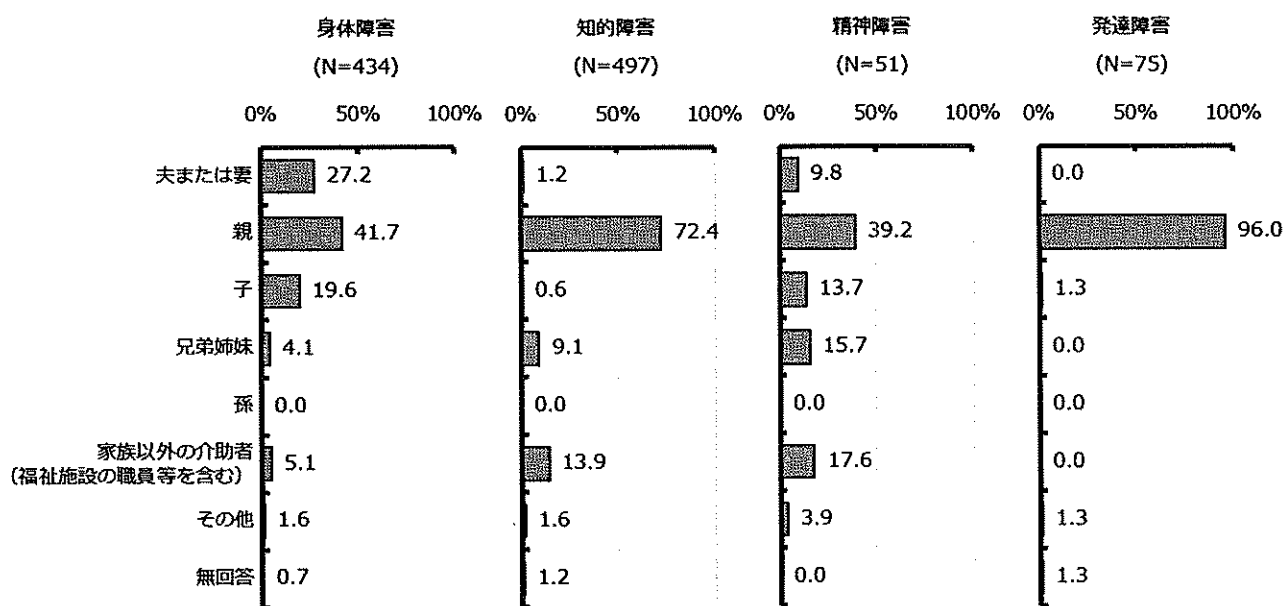
問1 ご本人以外の方が記入する場合は、回答いただく方を教えてください。(単数回答)

ご本人以外の回答者は、「親」が60.2%と最も多く、次いで「夫または妻」が12.2%、「子」が9.2%、「家族以外の介助者（福祉施設の職員等を含む）」が8.8%、「兄弟姉妹」が6.7%などとなっています。(図表3)

図表3：全体集計



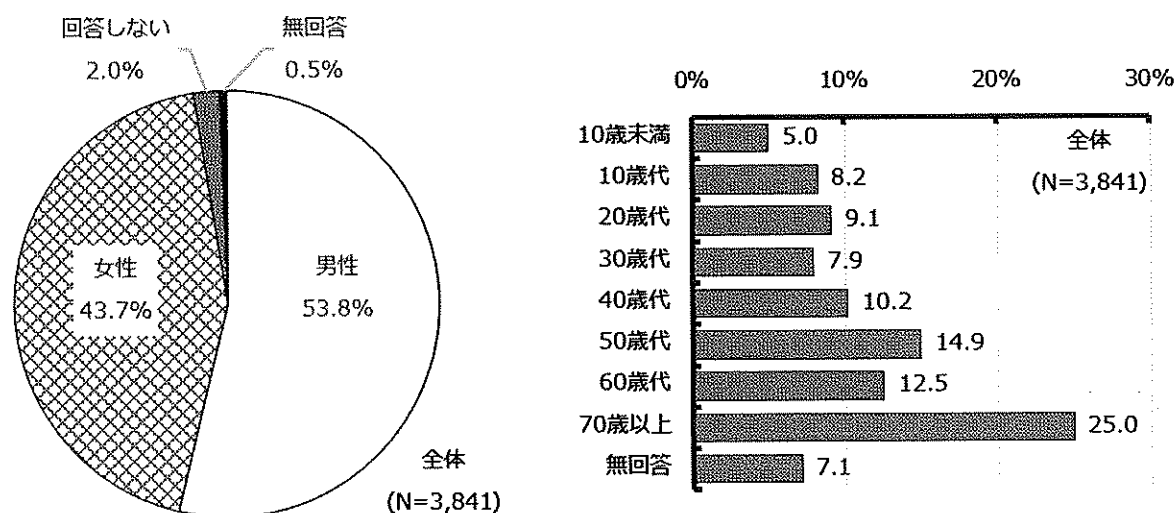
図表4：主な障害種別 集計



主な障害種別では、いずれの種別においても「親」が多くなっています。(図表4)

問2 あなたの性別と年齢を教えてください。(令和6年9月1日現在)

図表5：全体集計



性別は、「男性」が53.8%、「女性」が43.7%となっています。また、年齢は、「70歳以上」が25.0%と最も多く、次いで「50歳代」が14.9%、「60歳代」が12.5%などとなっています。(図表5)

問3 お住まいの市・町はどちらですか。

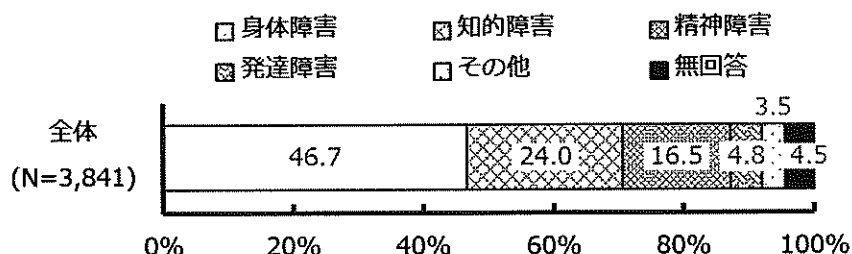
図表6：全体集計

		身体障害		知的障害		精神障害		発達障害		その他		無回答		合計	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
東 部	沼津市	87	4.8	62	6.7	26	4.1	11	6.0	4	3.0	9	3.1	199	5.2
	熱海市	18	1.0	6	0.7	1	0.2	2	1.1	2	1.5	4	2.0	33	0.9
	三島市	56	3.1	27	2.9	12	1.9	5	2.7	1	0.7	2	2.0	103	2.7
	富士宮市	76	4.2	28	3.0	31	4.9	9	4.9	4	3.0	8	5.1	156	4.1
	伊東市	27	1.5	12	1.3	3	0.5	2	1.1	6	4.4	3	3.1	53	1.4
	富士市	123	6.9	57	6.2	56	8.8	11	6.0	10	7.4	10	2.0	267	7.0
	御殿場市	35	2.0	30	3.3	7	1.1	4	2.2	4	3.0	1	1.0	81	2.1
	下田市	11	0.6	6	0.7	7	1.1	2	1.1	5	3.7	1	1.0	32	0.8
	裾野市	25	1.4	14	1.5	7	1.1	2	1.1	0	0.0	1	1.0	49	1.3
	伊豆市	20	1.1	5	0.5	4	0.6	1	0.5	1	0.7	0	0.0	31	0.8
	伊豆の国市	27	1.5	10	1.1	5	0.8	2	1.1	3	2.2	4	3.1	51	1.3
	東伊豆町	7	0.4	4	0.4	4	0.6	0	0.0	1	0.7	0	0.0	16	0.4
	河津町	4	0.2	2	0.2	2	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	0.2
	南伊豆町	5	0.3	3	0.3	3	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	0.3
	函南町	20	1.1	4	0.4	10	1.6	1	0.5	0	0.0	0	0.0	35	0.9
	松崎町	5	0.3	2	0.2	4	0.6	2	1.1	0	0.0	0	0.0	13	0.3
	西伊豆町	3	0.2	1	0.1	2	0.3	0	0.0	0	0.0	3	2.0	9	0.2
	清水町	12	0.7	5	0.5	4	0.6	0	0.0	0	0.0	1	1.0	22	0.6
	長泉町	18	1.0	11	1.2	4	0.6	3	1.6	2	1.5	0	0.0	38	1.0
	小山町	7	0.4	9	1.0	1	0.2	1	0.5	0	0.0	1	0.0	19	0.5
中 部	静岡市	321	17.9	152	16.5	78	12.3	36	19.6	19	14.1	30	10.2	636	16.6
	島田市	40	2.2	28	3.0	17	2.7	7	3.8	2	1.5	6	4.1	100	2.6
	焼津市	58	3.2	24	2.6	32	5.0	4	2.2	3	2.2	4	0.0	125	3.3
	藤枝市	69	3.8	24	2.6	38	6.0	1	0.5	11	8.1	8	3.1	151	3.9
	牧之原市	35	2.0	21	2.3	5	0.8	1	0.5	2	1.5	0	0.0	64	1.7
	吉田町	18	1.0	18	2.0	5	0.8	0	0.0	0	0.0	1	1.0	42	1.1
	川根本町	2	0.1	4	0.4	1	0.2	0	0.0	0	0.0	2	1.0	9	0.2
西 部	浜松市	386	21.5	182	19.8	137	21.6	50	27.2	31	23.0	22	13.3	808	21.0
	磐田市	79	4.4	45	4.9	32	5.0	8	4.3	7	5.2	4	1.0	175	4.6
	掛川市	49	2.7	32	3.5	19	3.0	5	2.7	4	3.0	7	5.1	116	3.0
	袋井市	34	1.9	26	2.8	16	2.5	4	2.2	2	1.5	0	0.0	82	2.1
	湖西市	26	1.4	19	2.1	9	1.4	3	1.6	3	2.2	2	1.0	62	1.6
	御前崎市	12	0.7	11	1.2	11	1.7	2	1.1	1	0.7	2	1.0	39	1.0
	菊川市	33	1.8	22	2.4	22	3.5	1	0.5	0	0.0	2	1.0	80	2.1
	森町	11	0.6	1	0.1	0	0.0	2	1.1	3	2.2	3	1.0	20	0.5
県外		1	0.1	0	0.0	4	0.6	1	0.5	1	0.7	1	1.0	8	0.2
無回答		34	1.9	14	1.5	15	2.4	1	0.5	3	2.2	31	29.6	98	2.6
全体		1794	100.0	921	100.0	634	100.0	184	100.0	135	100.0	173	100.0	3841	100.0

問4 あなたの主な障害は次のどれですか。障害が複数ある場合は、ご自分で主な障害と考えているものをお選びください。(単数回答)

主な障害は、「身体障害」が46.7%と最も多く、次いで「知的障害」が24.0%、「精神障害」が16.5%などとなっています。(図表7)

図表7：全体集計



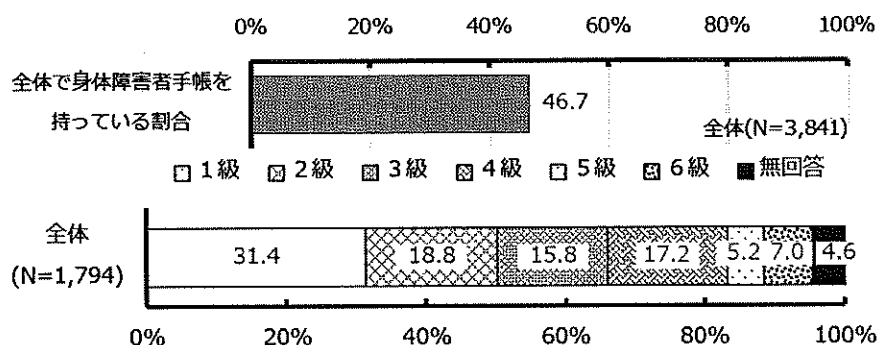
身体障害者手帳を持っている方にお聞きします。

問5 お持ちの手帳の障害等級は何級ですか。(単数回答)

身体障害者手帳を持っている割合は、全体の46.7%となっています。

身体障害者手帳の等級は、「1級」が31.4%と最も多く、次いで「2級」が18.8%、「4級」が17.2%、「3級」が15.8%などとなっています。(図表8)

図表8：全体集計

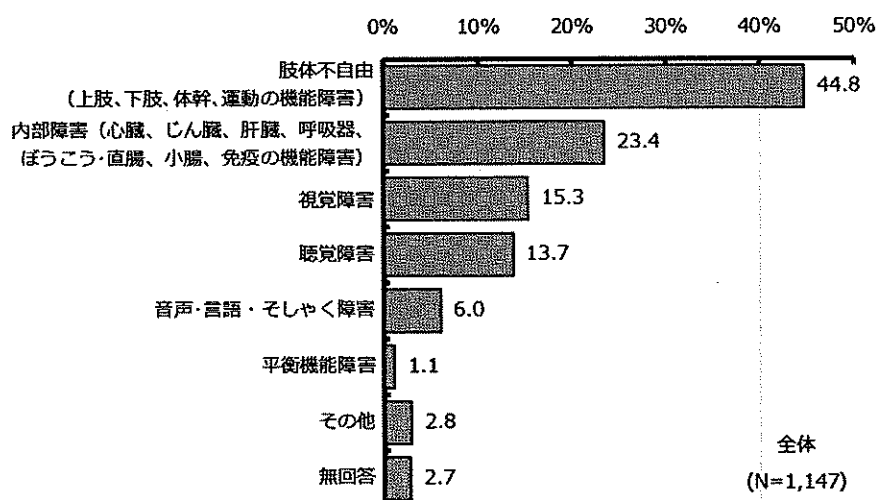


身体障害者手帳を持っている方にお聞きします。

問5-2 身体障害者手帳に表示されている、あなたの障害区分を教えてください。(複数回答)

身体障害者手帳に表示されている障害区分は、「肢体不自由」が44.8%と最も多く、次いで「内部障害」が23.4%、「視覚障害」が15.3%、「聴覚障害」が13.7%などとなっています。(図表9)

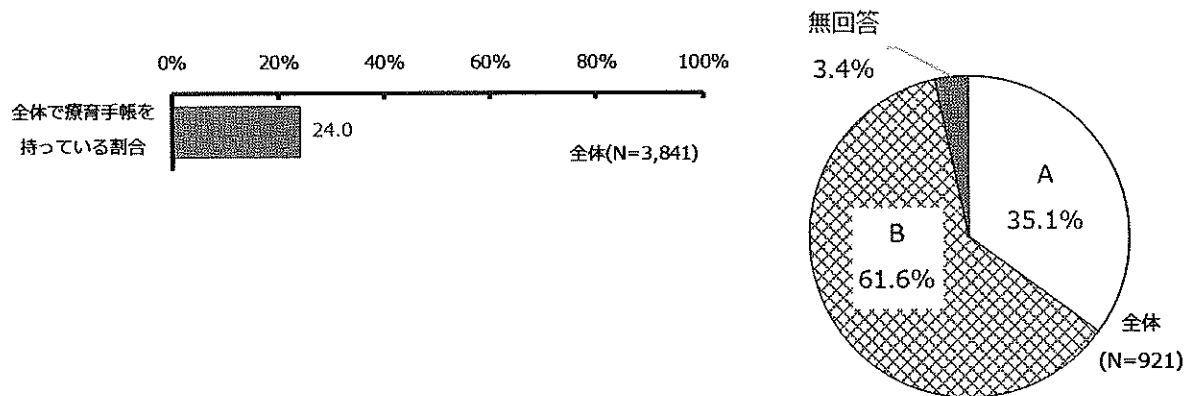
図表9：全体集計



療育手帳を持っている方にお聞きします。

問6 お持ちの手帳に記載してある障害の程度を教えてください。(単数回答)

図表 10：全体集計



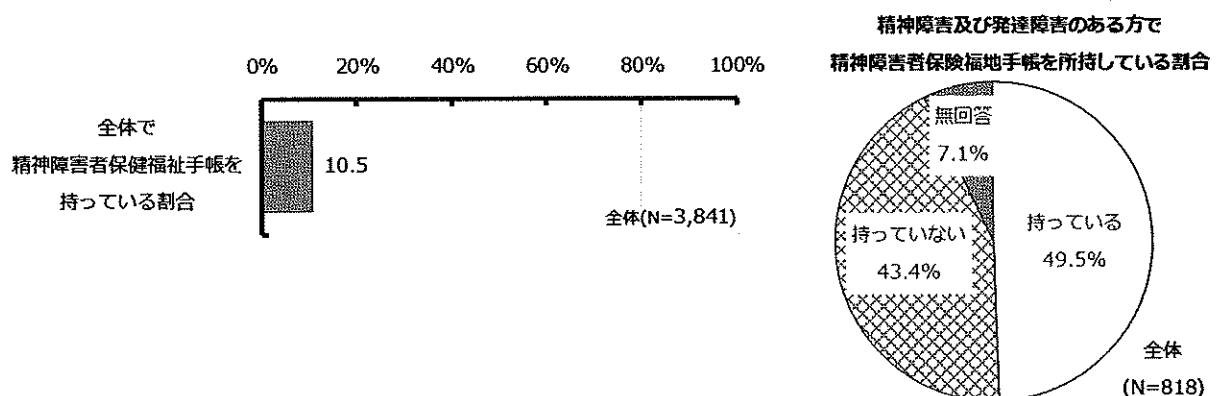
療育手帳を持っている割合は、全体の 24.0%となっています。

療育手帳の程度は、「B」が 61.6%、「A」が 35.1%となっています。(図表 10)

精神障害及び発達障害のある方にお聞きします。

問7 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(単数回答)

図表 11：全体集計



精神障害者保健福祉手帳を持っている割合は、全体の 10.5%となっています。

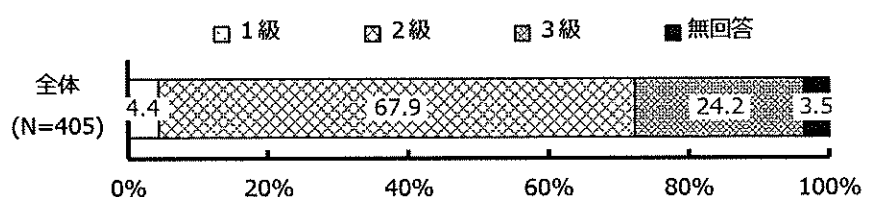
精神障害及び発達障害のある方で、精神障害者保健福祉手帳を所持している割合は、49.5%となっています。(図表 11)

問7で精神障害者保健福祉手帳を「持っている」と回答された方にお聞きします。

問7-2 お持ちの手帳に記載してある障害の程度をお答えください。(単数回答)

図表 12：全体集計

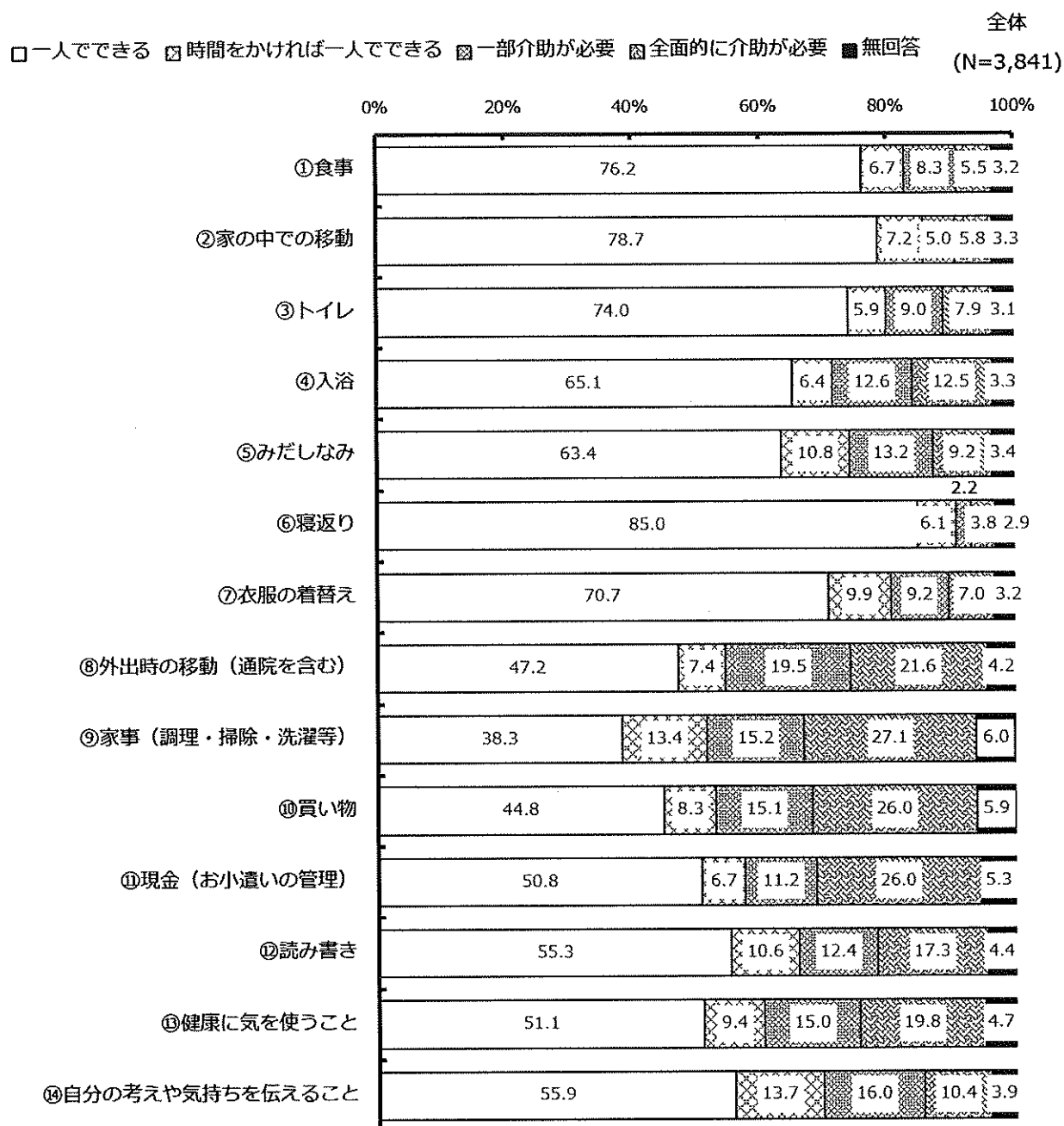
精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が 67.9%と最も多く、次いで「3級」が 24.2%、「1級」が 4.4%となっています。(図表 12)



2 住まい・暮らしについて

問8 次の各項目について、あなたはどの程度一人で行えますか。（補装具等をお使いの方は、使用した状態でお願いします。）（それぞれ単数回答）

図表 13：全体集計

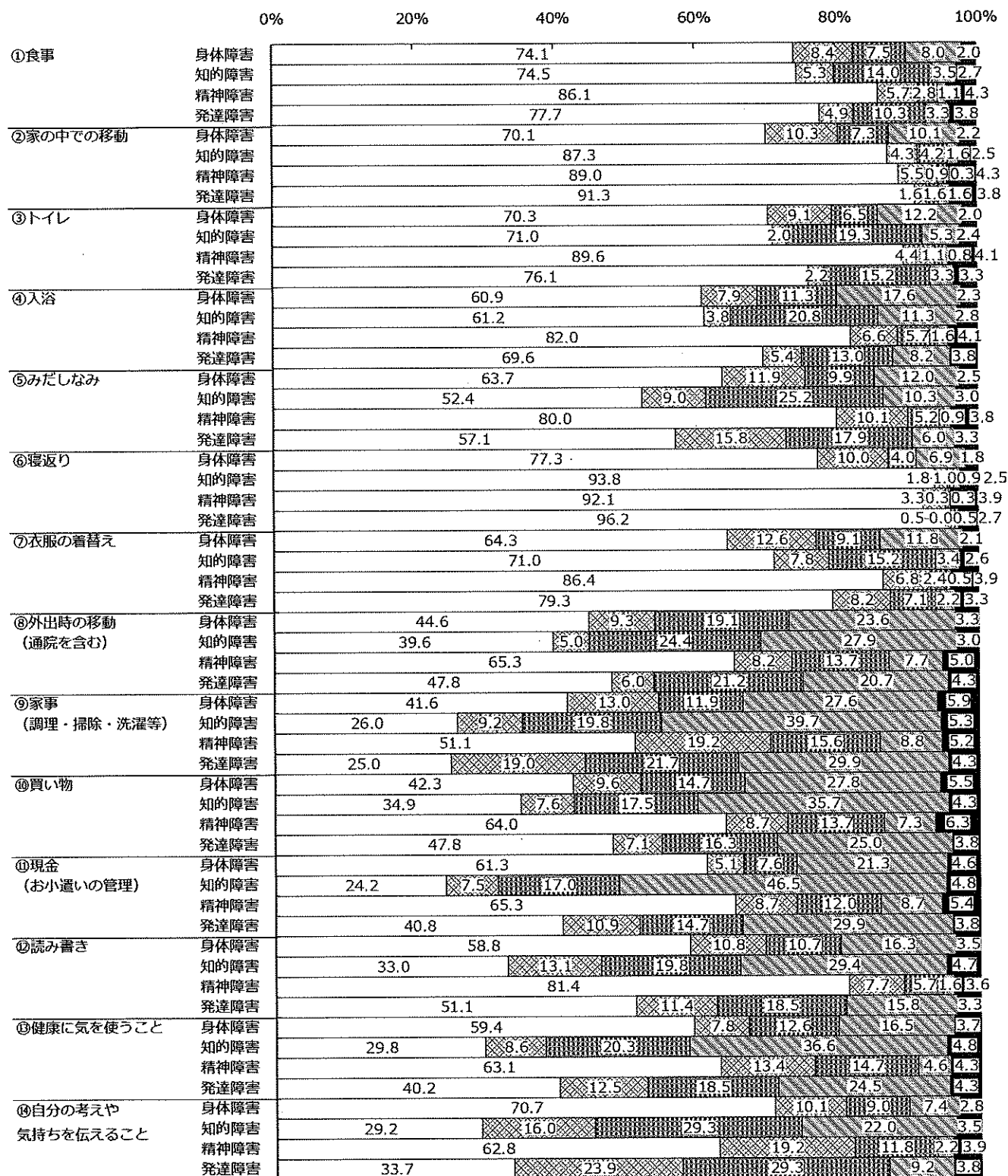


「一人で行える」ことは、《⑥寝返り》が85.0%と最も多くなっています。《①食事》、《②家の中での移動》、《③トイレ》、《⑦衣服の着替え》においても7割を超えて多くなっています。（図表 13）

図表 14：主な障害種別 集計

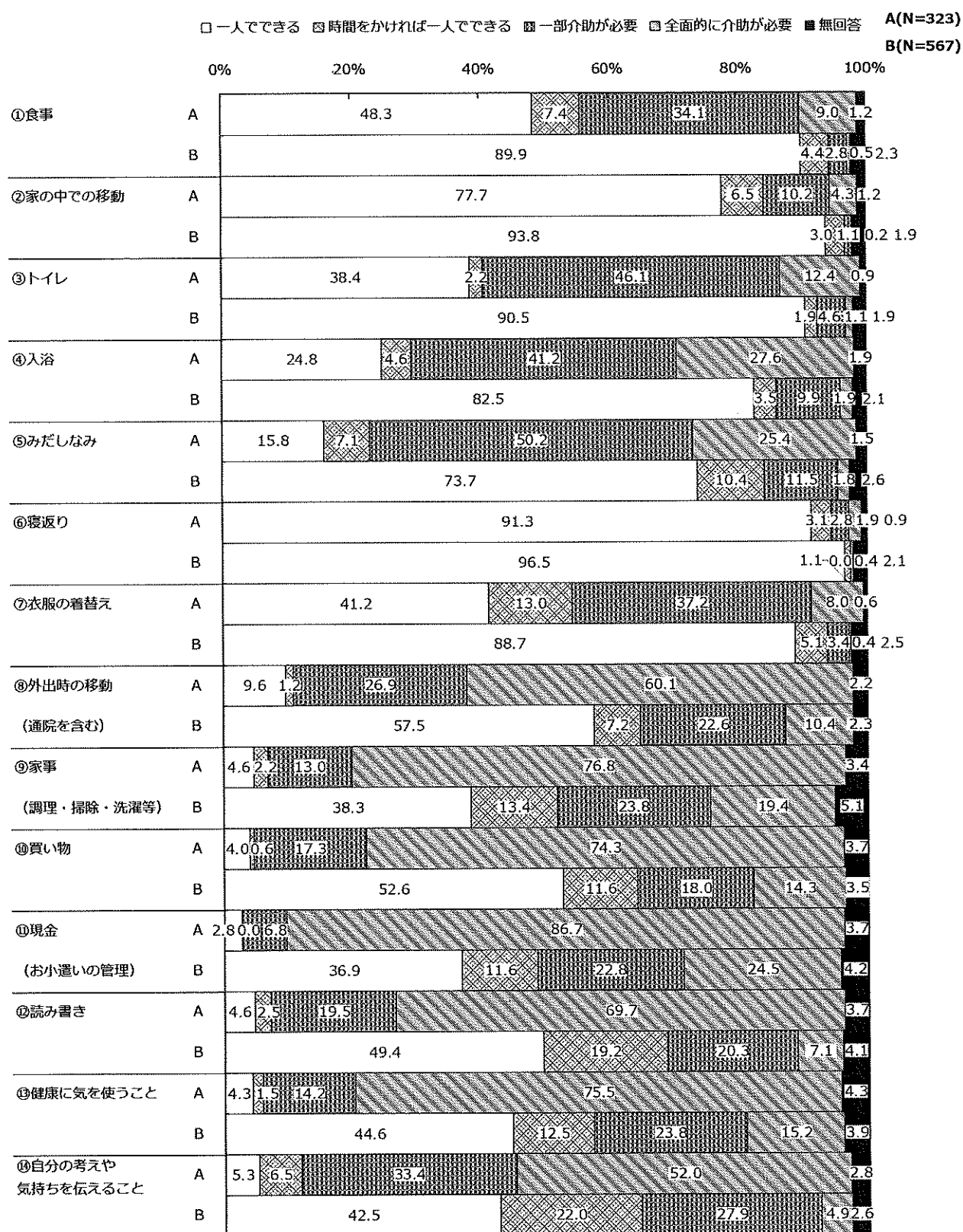
□一人で行える □時間をかければ一人で行える □一部介助が必要 □全面的に介助が必要 ■無回答

身体障害(N=1,794) 知的障害(N=921) 精神障害(N=634) 発達障害(N=184)



主な障害種別では、《⑨家事（調理・掃除・洗濯等）》がすべての障害種別において「一人で行える」が6割を下回っています。また、知的障害で7項目、発達障害で6項目において「一人で行える」が半数を下回り、精神障害では半数を下回った項目がなく、身体障害においても半数を下回った項目は3つのみとなっています。（図表 14）

図表 15：療育手帳程度別 集計



療育手帳程度別では、すべての項目において「一人でできる」は、AよりBで多くなっています。また、《⑧外出時の移動（通院を含む）》、《⑨家事（調理・掃除・洗濯等）》、《⑩買い物》、《⑪現金（お小遣い）の管理》、《⑫読み書き》、《⑬健康に気を使うこと》、《⑭自分の考えや気持ちを伝えること》は、Aにおいて半数以上が「全面的に介助が必要」と回答しています。（図表 15）

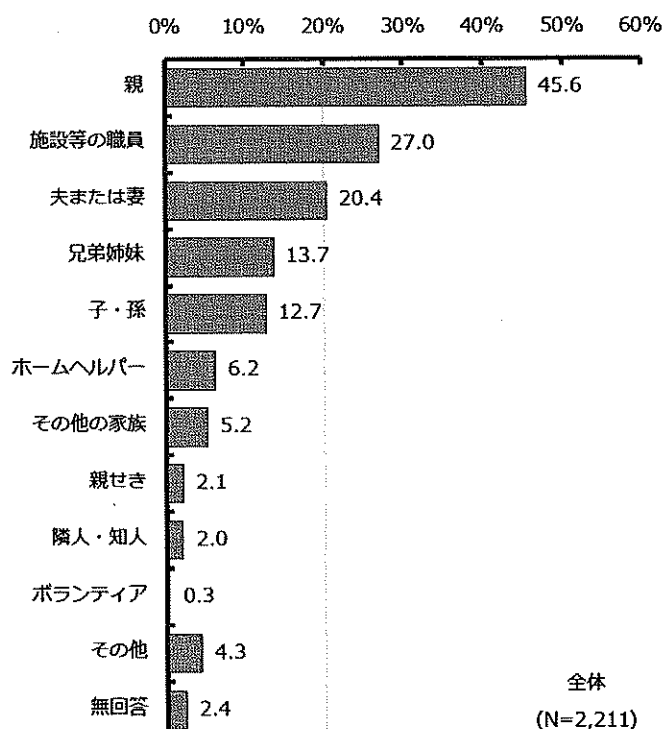
問8で「一部介助が必要」、「全面的に介助が必要」と回答された方にお聞きます。

問8-2 あなたを介助してくれるのはどなたですか。(複数回答)

介助してくれる方(介助者)は、「親」が45.6%と最も多く、次いで「施設等の職員」が27.0%、「夫または妻」が20.4%、「兄弟姉妹」が13.7%、「子・孫」が12.7%などとなっています。(図表16)

※回答肢「その他」4.3%の中では、「医者や看護師」、「学校の先生」が多くなっています。

図表16：全体集計

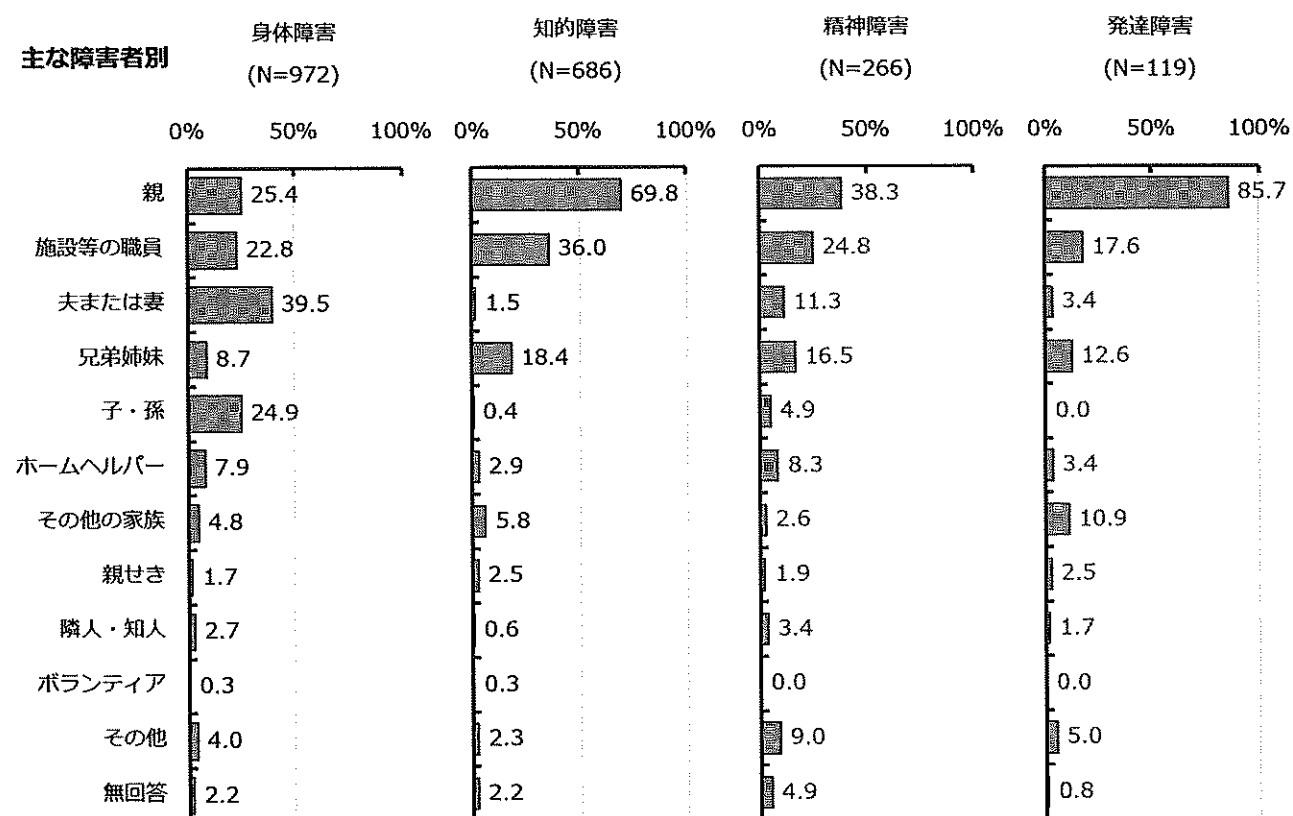


図表17：年代別集計

	調査数	夫または妻	親	子・孫	兄弟姉妹	その他の家族	親せき	ホームヘルパー	隣人・知人	ボランティア	施設等の職員	その他	無回答
10歳未満	175	6	166	1	22	25	10	0	0	0	30	12	1
10歳未満(%)	100.0	3.4	94.9	0.6	12.6	14.3	5.7	0.0	0.0	0.0	17.1	6.9	0.6
10歳代	234	0	215	0	41	32	7	5	1	0	42	6	4
10歳代(%)	100.0	0.0	91.9	0.0	17.5	13.7	3.0	2.1	0.4	0.0	17.9	2.6	1.7
20歳代	222	3	183	1	33	12	7	8	3	1	59	5	6
20歳代(%)	100.0	1.4	82.4	0.5	14.9	5.4	3.2	3.6	1.4	0.5	26.6	2.3	2.7
30歳代	175	9	126	5	22	6	0	7	1	0	46	13	9
30歳代(%)	100.0	5.1	72.0	2.9	12.6	3.4	0.0	4.0	0.6	0.0	26.3	7.4	5.1
40歳代	205	25	135	7	32	5	2	9	2	2	54	7	4
40歳代(%)	100.0	12.2	65.9	3.4	15.6	2.4	1.0	4.4	1.0	1.0	26.3	3.4	2.0
50歳代	275	57	99	18	49	6	5	23	10	0	89	18	8
50歳代(%)	100.0	20.7	36.0	6.5	17.8	2.2	1.8	8.4	3.6	0.0	32.4	6.5	2.9
60歳代	242	91	28	39	37	9	4	29	11	0	69	12	7
60歳代(%)	100.0	37.6	11.6	16.1	15.3	3.7	1.7	12.0	4.5	0.0	28.5	5.0	2.9
70歳以上	564	234	17	194	46	20	9	44	10	3	171	16	10
70歳以上(%)	100.0	41.5	3.0	34.4	8.2	3.5	1.6	7.8	1.8	0.5	30.3	2.8	1.8

年代別では、10歳未満～50歳代において「親」が最も多く、60歳代及び70歳以上においては「夫または妻」が最も多くなっています。また、70歳代を除くどの年代においても「施設等の職員」が次いで多くなっています。(図表17)

図表 18：主な障害種別 集計

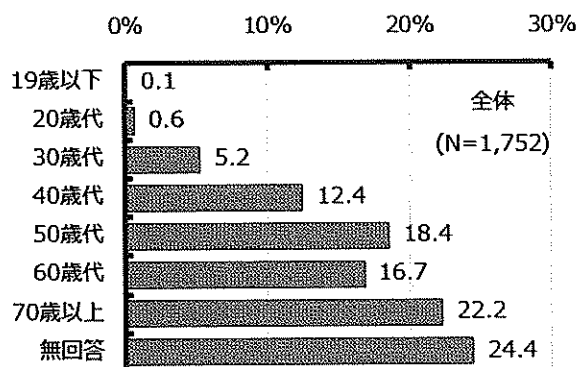


主な障害種別では、身体障害において「夫または妻」、「親」、「子・孫」、「施設等の職員」が多くなっています。また、知的障害・精神障害・発達障害においては「親」が最も多く、次いで「施設等の職員」、「兄弟姉妹」の順に多くなっています。(図表 18)

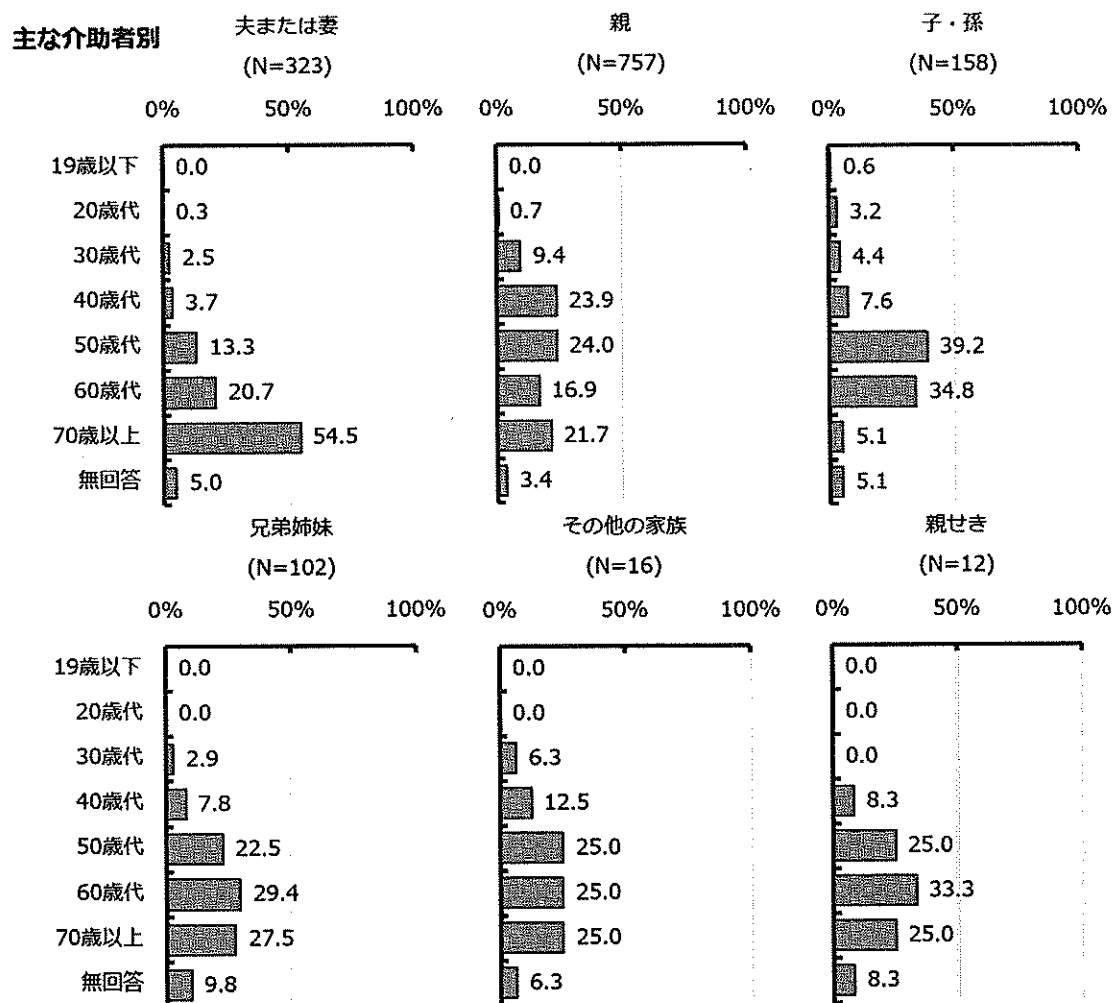
問8で「一部介助が必要」、「全面的に介助が必要」と回答された方にお聞きます。
問8-2 あなたを主に介助してくれる方(複数いる場合は主に介助している方)の年齢層を教えてください。(単数回答)

主な介助者の年齢層は、「70歳以上」が22.2%と最も多く、次いで「50歳代」が18.4%、「60歳代」が16.7%などとなっています。(図表19)

図表19：全体集計



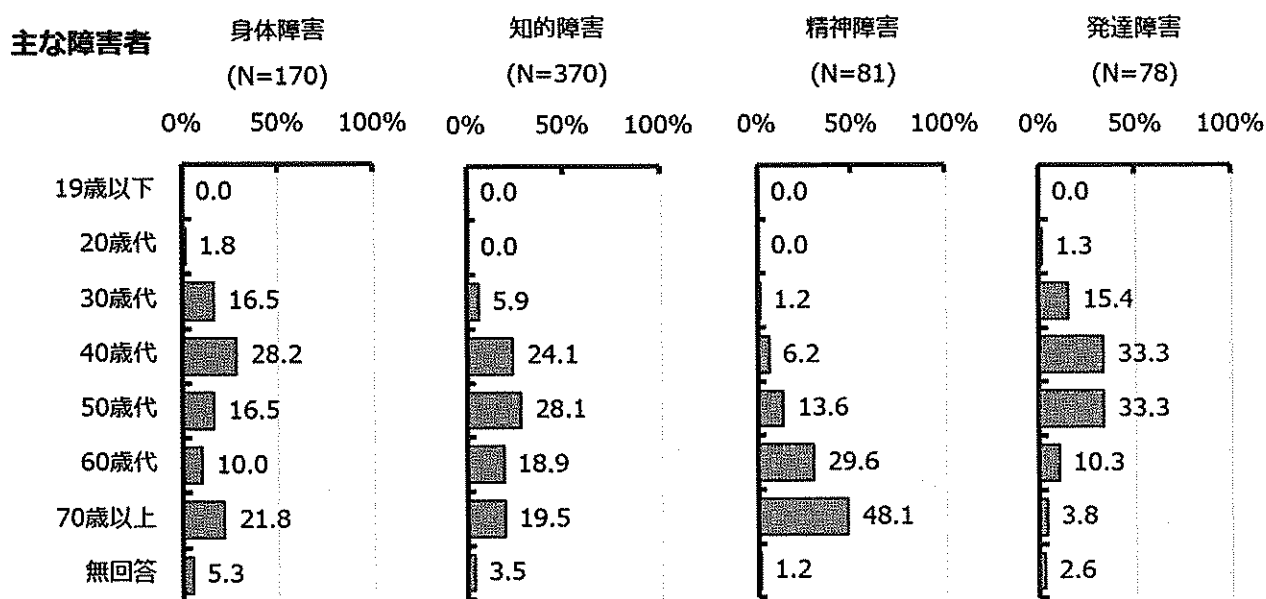
図表20：主な介助者別 集計



主な介助者別では、夫または妻において「70歳以上」が54.5%と多くなっています。また、子・孫において「50歳代」が39.2%と多くなっています。(図表20)

なお、図表20は、図表19のうち「主に介助してくれる方」が特定できた回答のみ集計しています。

図表 21：主な障害種別 集計（介助者が親に限定）



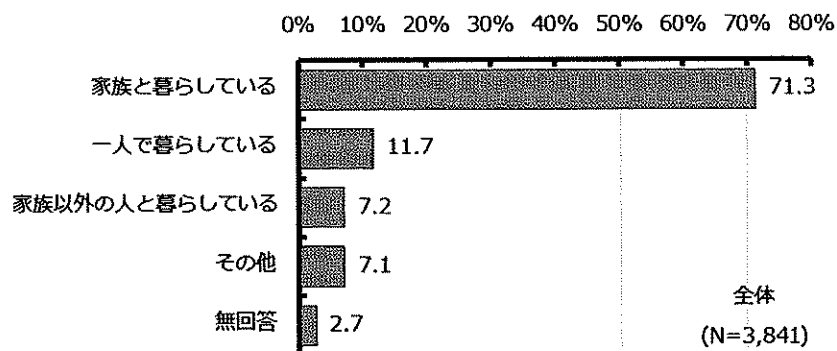
主な障害種別の介助者が親の場合の年代は、身体障害において「40 歳代」が最も多く、知的障害において「50 歳代」が最も多くなっています。発達障害においては「40 歳代」、「50 歳代」が同率で最も多くなっています。また、精神障害において「70 歳以上」が 48.1%と最も多くなっています。（図表 21）

問 9 あなたは現在、どなたと暮らしていますか。（単数回答）

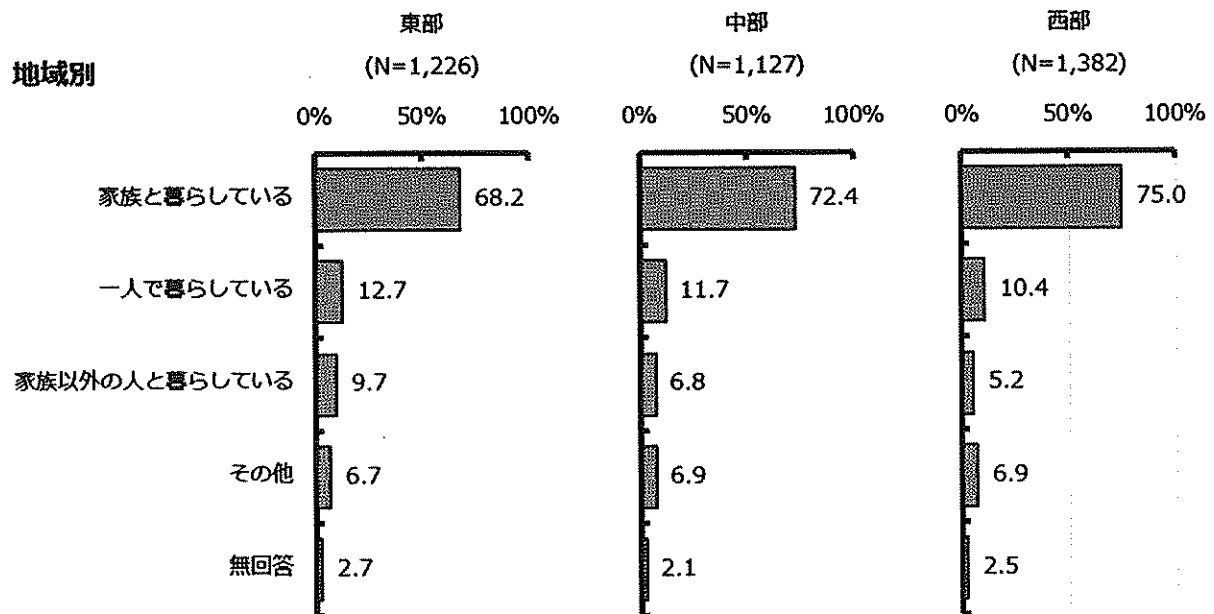
図表 22：全体集計

現在の暮らしの状況は、「家族と暮らしている」が 71.3%と最も多く、次いで「一人で暮らしている」が 11.7%、「家族以外の人と暮らしている」が 7.2%などとなっています。（図表 22）

※回答肢「その他」7.1%の中には、「入院中」、「施設入所」が多くなっています。

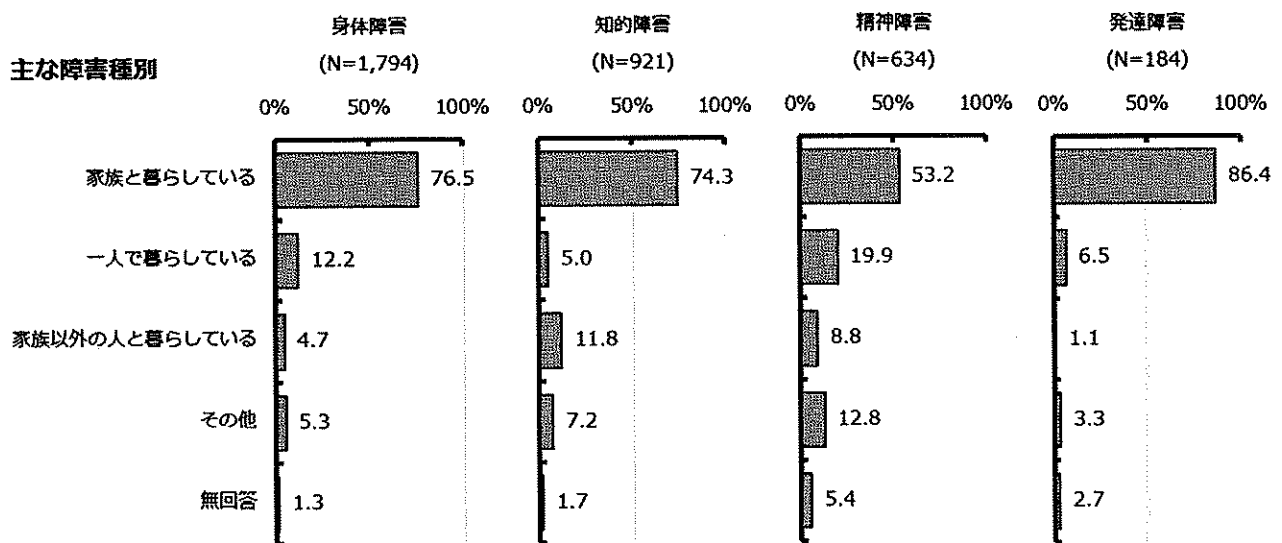


図表 23：地域別 集計



地域別では、「家族と暮らしている」が東部は 68.2%と唯一 7 割を下回っています。(図表 23)

図表 24：主な障害種別 集計



主な障害種別では、「一人で暮らしている」は精神障害が 19.9%と多くなっています。一方、精神障害において「家族と暮らしている」が 53.2%と他の障害と比べて少なくなっています。(図表 24)

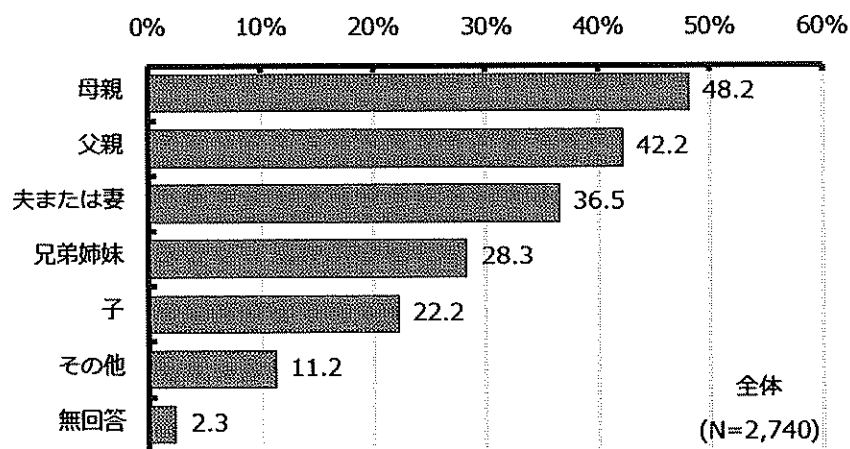
問9で「家族と暮らしている」と回答された方にお聞きします。

問9-2 いっしょに暮らしている方はどなたですか。(複数回答)

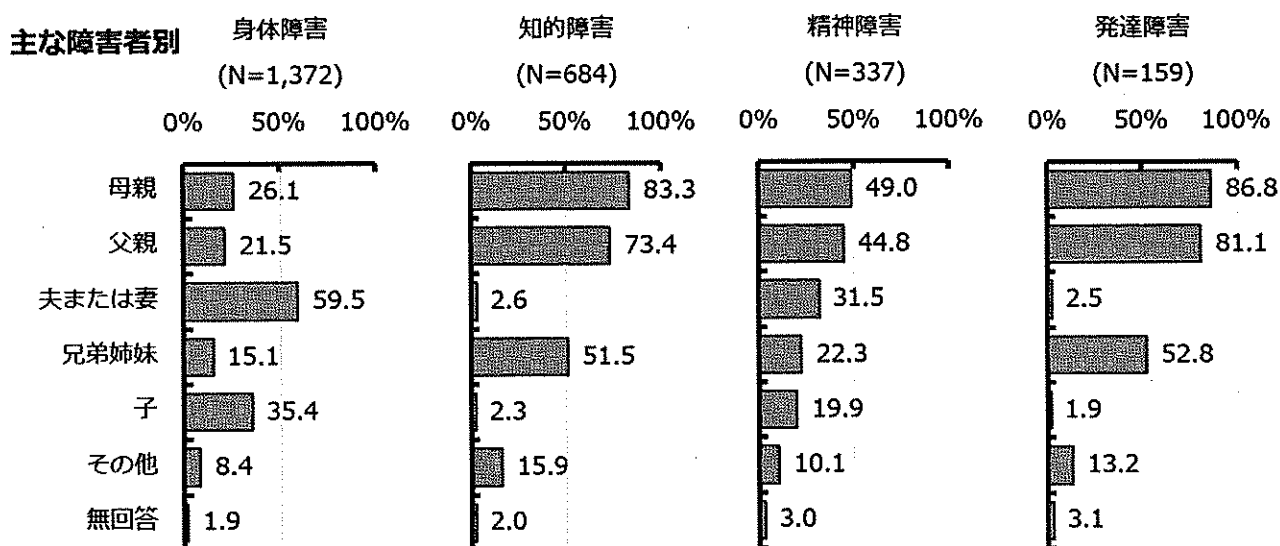
いっしょに暮らしている方は、「母親」が48.2%と最も多く、次いで「父親」が42.2%、「夫または妻」が36.5%、「兄弟姉妹」が28.3%などとなっています。(図表25)

※回答肢「その他」11.2%の中では、「祖母」、「孫」が多くなっています。

図表25：全体集計



図表26：主な障害種別 集計

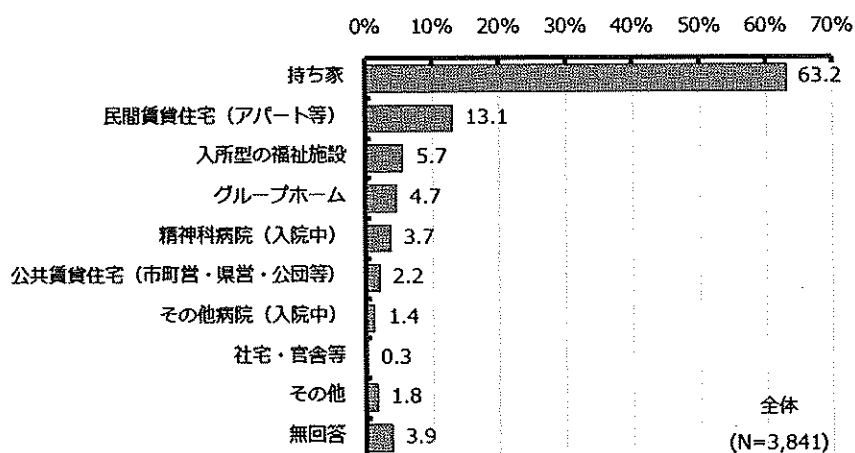


主な障害種別では、身体障害において「夫または妻」、「子」が多くなっています。また、知的障害・発達障害において「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」が多く、精神障害においては「母親」、「父親」が多くなっています。(図表26)

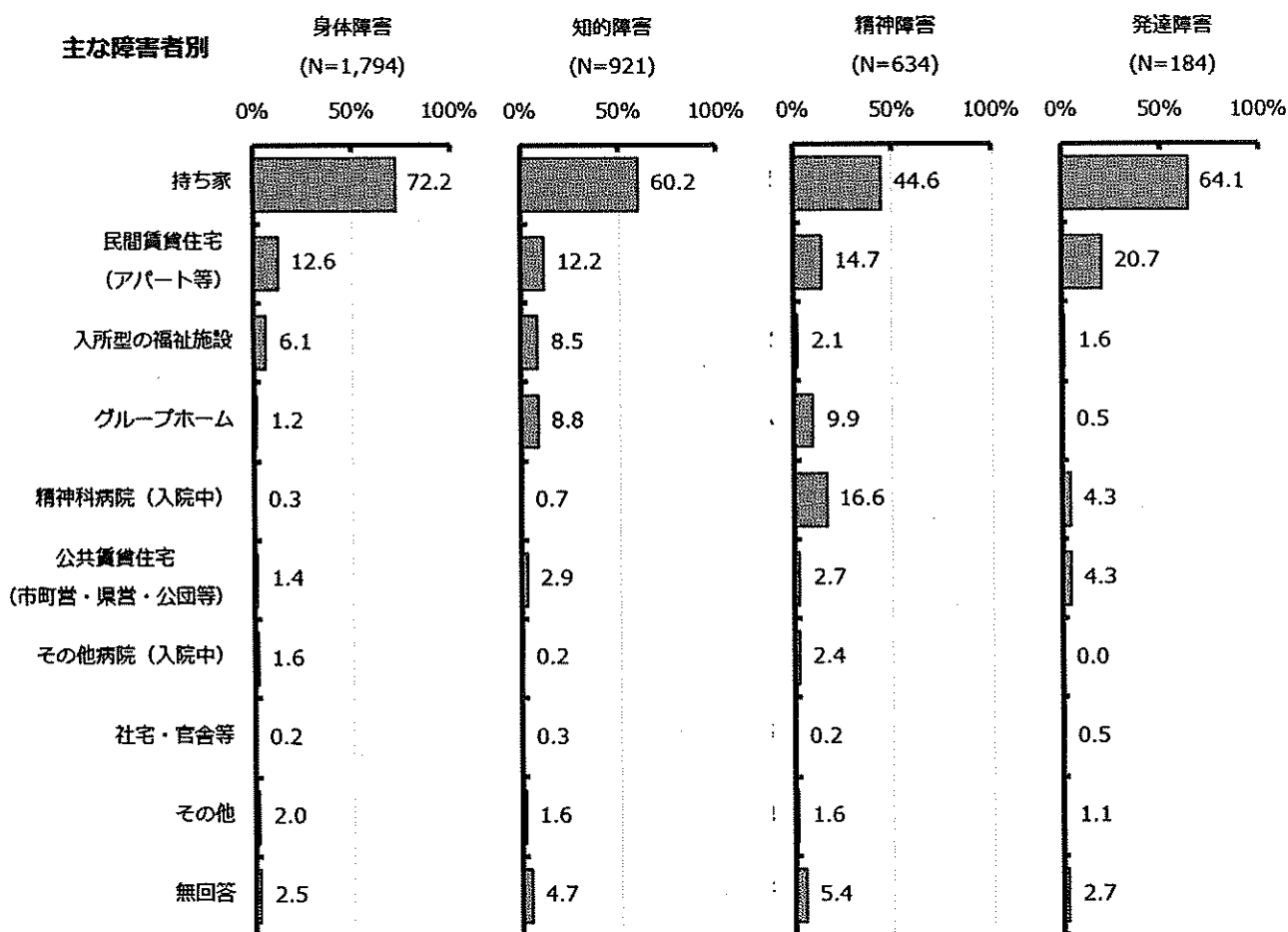
問 10 あなたは現在、どこで暮らしていますか。(単数回答)

生活している場所は、「持ち家」が63.2%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅（アパート等）」が13.1%、「入所型の福祉施設」が5.7%などとなっています。（図表 27）

図表 27：全体集計



図表 28：主な障害種別 集計



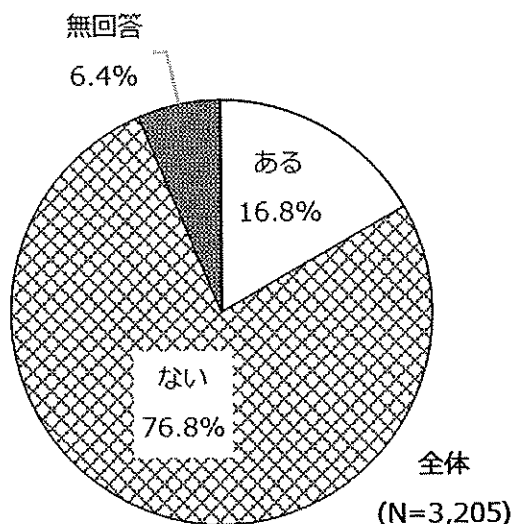
主な障害種別では、精神障害において「精神科病院（入院中）」が16.6%と多くなっています。また、精神障害において「持ち家」が44.6%と他の障害と比べると少なくなっています。（図表 28）

問 10 で「持ち家」、「民間賃貸住宅」、「公共賃貸住宅（市町営・県営・公団など）」、「社宅・官舎など」、「グループホーム」と回答された方にお聞きます。

問 10-2 以前、入所型の福祉施設または精神科病院等に入所・入院されていたことがありますか。（単数回答）

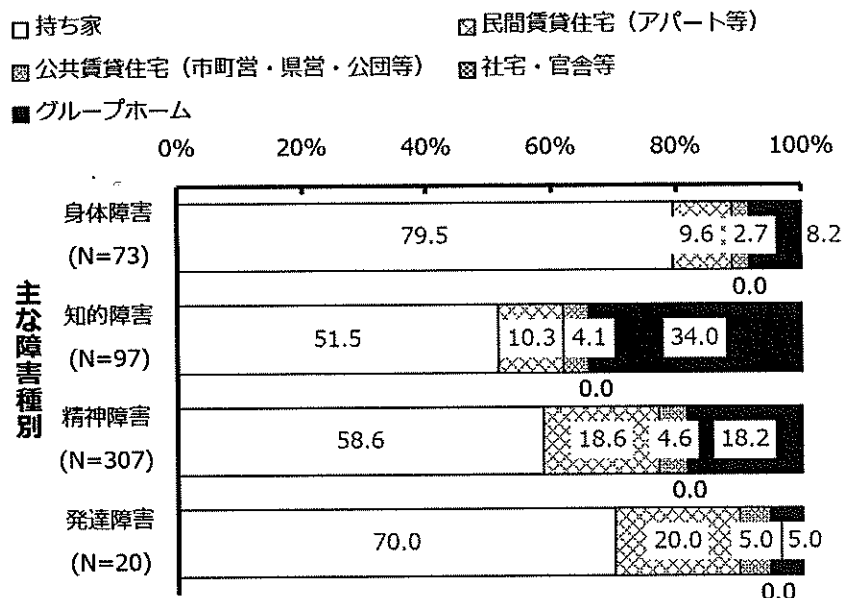
入所型の福祉施設または精神科病院等への入所・入院の経験は、「ある」が 16.8%、「ない」が 76.8% となっています。（図表 29）

図表 29：全体集計



「ある」と回答した方の主な障害種別の現在の住まいは、すべての障害種別において「持ち家」が半数を超えて多くなっています。また、知的障害において「グループホーム」が 34.0% と多くなっています。（図表 30）

図表 30：主な障害種別 集計（「ある」と回答した方の現在の住まい）

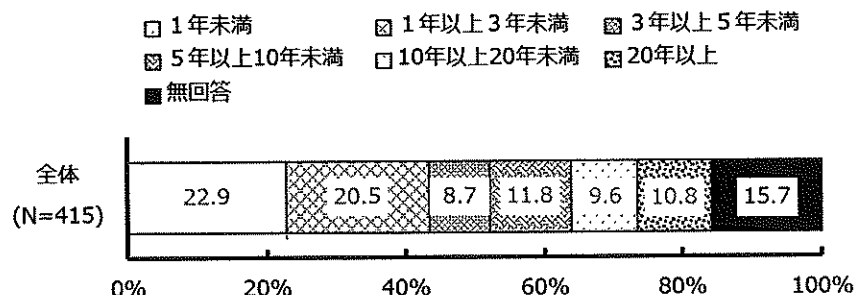


問 10 で「精神科病院（入院中）」、「その他病院（入院中）」及び「入所型の福祉施設」と回答された方にお聞きします。

問 11 福祉施設・病院等で、これまであわせて何年間生活していますか。（単数回答）

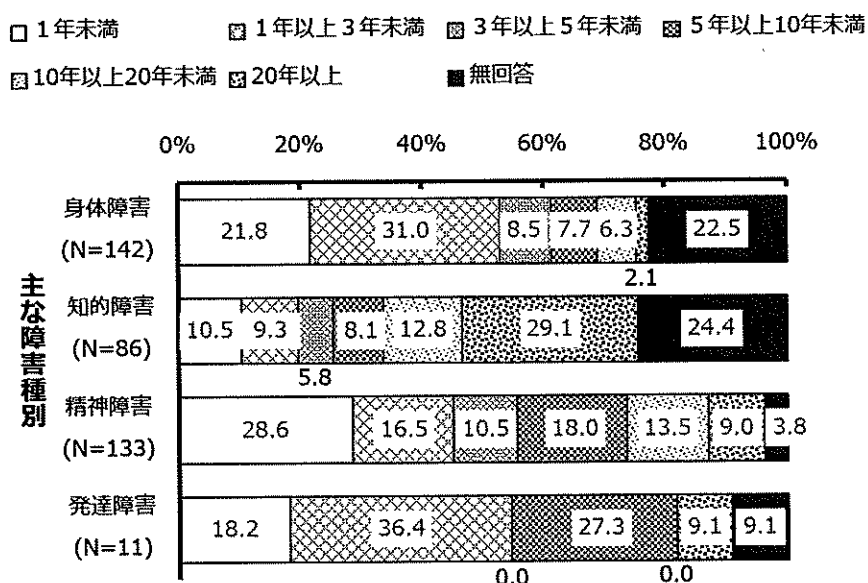
これまで福祉施設・病院等に入所・入院している期間の合算年数は、「1 年未満」が 22.9%と最も多く、次いで「1 年以上 3 年未満」が 20.5%、「5 年以上 10 年未満」が 11.8%、「20 年以上」が 10.8%などとなっています。（図表 31）

図表 31：全体集計



主な障害種別では、知的障害において「10 年以上 20 年未満」が 12.8%、「20 年以上」が 29.1%と 4 割が 10 年以上の生活となっています。また、知的障害において「20 年以上」が他の障害と比べると多くなっている。（図表 32）

図表 32：主な障害種別 集計

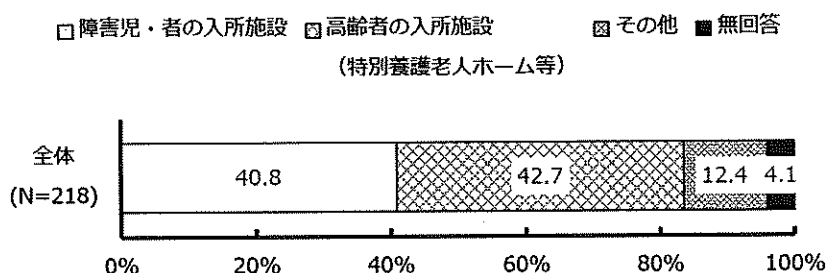


問 10 で「入所型の福祉施設」と回答された方にお聞きます。

問 11-2 現在、入所している福祉施設の種類の種類はどれですか。(単数回答)

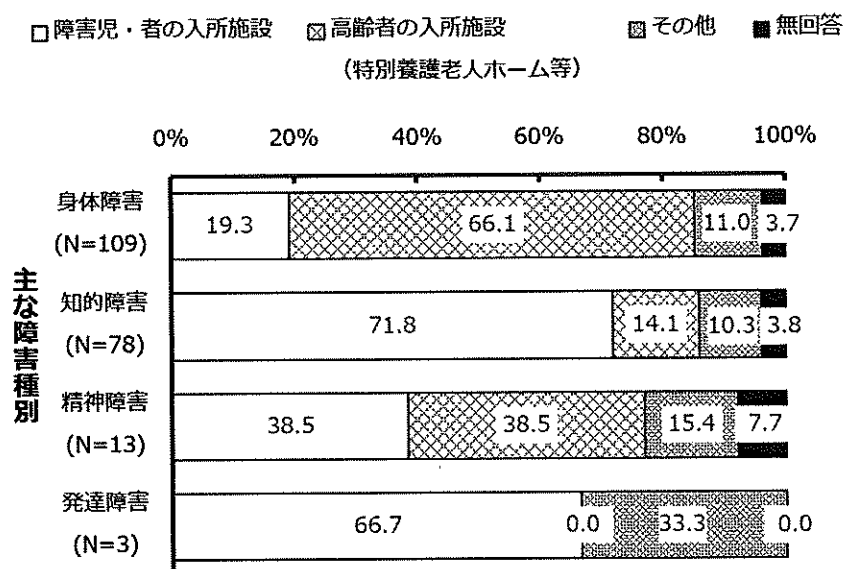
現在、入所している福祉施設は、「高齢者の入所施設（特別養護老人ホーム等）」が 42.7%と最も多く、次いで「障害児・者の入所施設」が 40.8%、「その他」が 12.4%となっています。（図表 33）

図表 33：全体集計



主な障害種別では、身体障害において「高齢者の入所施設（特別養護老人ホーム等）」が 66.1%と最も多く、知的障害において「障害児・者の入所施設」が 71.8%と最も多くなっています。（図表 34）

図表 34：主な障害種別 集計



図表 35：主な障害種別・年代別 集計

	調査数	施設 障害 児・ 者の 入所	ホ ー ム （ 特 別 養 護 老 人 施 設 ）	高 齢 者 の 入 所 施 設	そ の 他	無 回 答
身 体 障 害	10歳未満	1	1	0	0	0
	10歳未満(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	10歳代	2	2	0	0	0
	10歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	0	0	0	0	0
	20歳代(%)	-	-	-	-	-
	30歳代	4	3	1	0	0
	30歳代(%)	100.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	40歳代	2	1	0	1	0
	40歳代(%)	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	50歳代	10	5	3	0	2
	50歳代(%)	100.0	50.0	30.0	0.0	20.0
	60歳代	17	6	11	0	0
精 神 障 害	60歳代(%)	100.0	35.3	64.7	0.0	0.0
	70歳以上	67	2	53	10	2
	70歳以上(%)	100.0	3.0	79.1	14.9	3.0
	無回答	6	1	4	1	0
	無回答(%)	100.0	16.7	66.7	16.7	0.0
	小計	109	21	72	12	4
	小計(%)	100.0	19.3	66.1	11.0	3.7
知 的 障 害	10歳未満	1	1	0	0	0
	10歳未満(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	10歳代	7	6	0	1	0
	10歳代(%)	100.0	85.7	0.0	14.3	0.0
	20歳代	8	5	0	1	2
	20歳代(%)	100.0	62.5	0.0	12.5	25.0
	30歳代	8	7	0	1	0
	30歳代(%)	100.0	87.5	0.0	12.5	0.0
	40歳代	12	11	0	1	0
	40歳代(%)	100.0	91.7	0.0	8.3	0.0
	50歳代	16	13	1	1	1
	50歳代(%)	100.0	81.3	6.3	6.3	6.3
	60歳代	7	4	2	1	0
発 達 障 害	60歳代(%)	100.0	57.1	28.6	14.3	0.0
	70歳以上	16	6	8	2	0
	70歳以上(%)	100.0	37.5	50.0	12.5	0.0
	無回答	3	3	0	0	0
	無回答(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	小計	78	56	11	8	3
	小計(%)	100.0	71.8	14.1	10.3	3.8
そ の 他	10歳未満	0	0	0	0	0
	10歳未満(%)	-	-	-	-	-
	10歳代	1	1	0	0	0
	10歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	1	1	0	0	0
	20歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	0	0	0	0	0
	30歳代(%)	-	-	-	-	-
	40歳代	0	0	0	0	0
	40歳代(%)	-	-	-	-	-
	50歳代	1	0	0	1	0
	50歳代(%)	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	60歳代	1	1	0	0	0
	60歳代(%)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
全 体	70歳以上	0	0	0	0	0
	70歳以上(%)	-	-	-	-	-
	無回答	0	0	0	0	0
	無回答(%)	-	-	-	-	-
	小計	3	2	0	1	0
	小計(%)	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	その他	4	0	3	1	0
	その他(%)	100.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	全体	207	84	91	24	8
	全体(%)	100.0	40.6	44.0	11.6	3.9

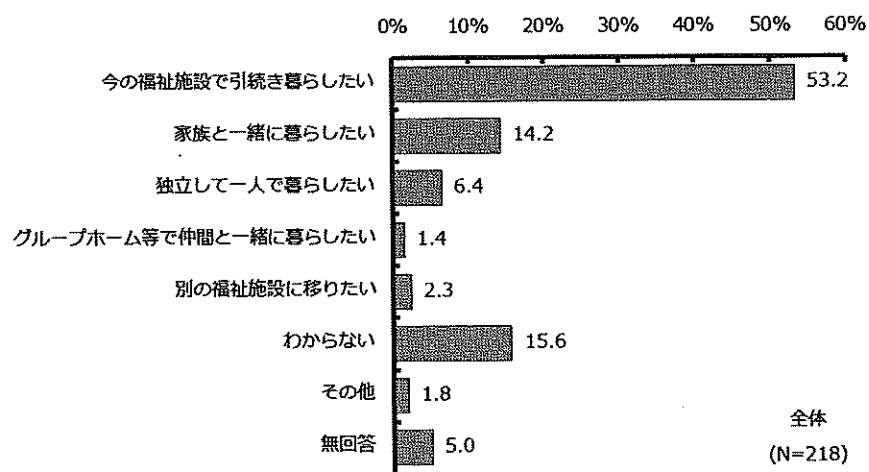
主な障害種別・年代別では、身体障害の70歳以上において「高齢者の入所施設（特別養護老人ホーム等）」が最も多く、知的障害の70歳以上を除く全ての年代において「障害児・者の入所施設」が最も多くなっています。（図表 35）

問 10 で「入所型の福祉施設」と回答された方にお聞きます。

問 11-3 今後、あなたはどこで暮らしたいですか。(単数回答)

今後、暮らしたい場所は、「今の福祉施設で引続き暮らしたい」が 53.2%と過半数を占めて多くなっています。一方、「家族と一緒に暮らしたい」は 14.2%と低くなっています。また、「わからない」が 15.6%となっています。(図表 36)

図表 36：全体集計



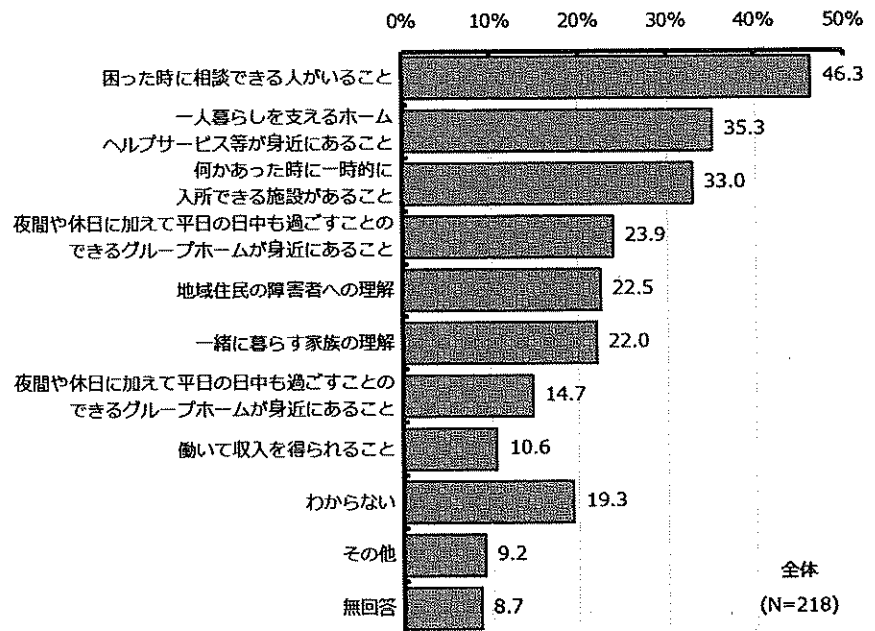
問 10 で「入所型の福祉施設」と回答された方にお聞きます。

問 11-4 入所型の福祉施設以外で暮らすためには、どのようなことが必要だと思いますか。

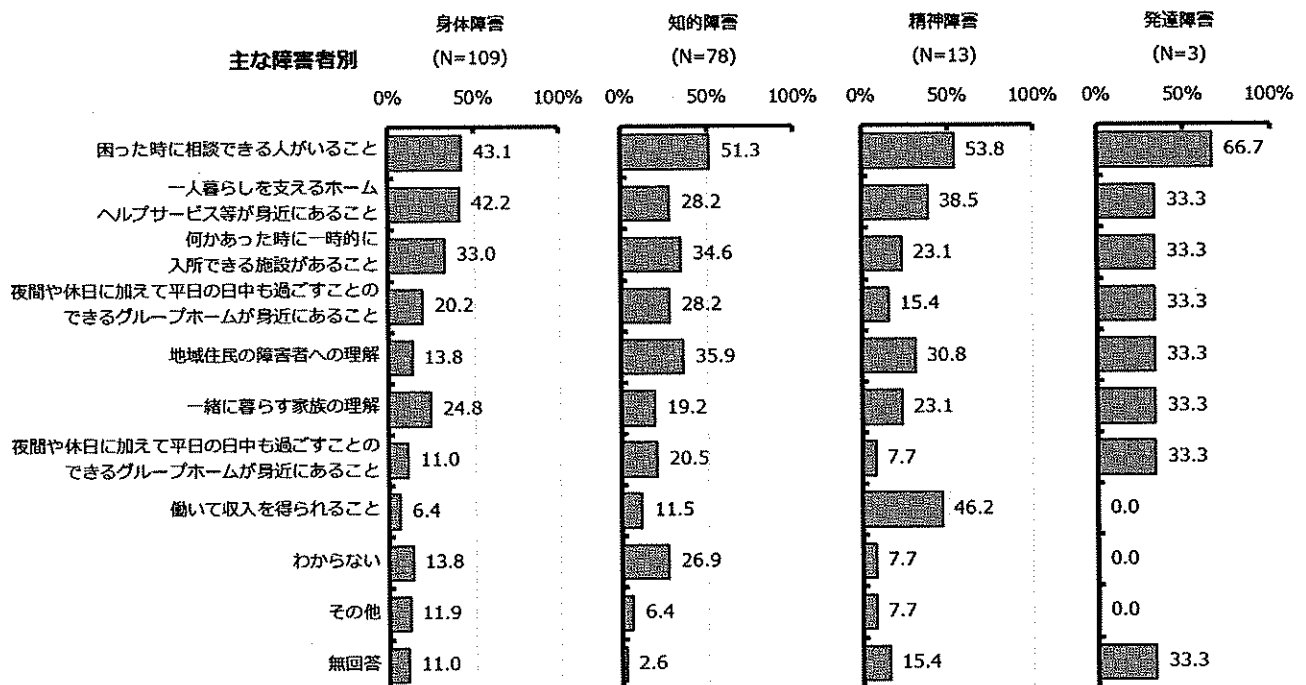
(複数回答)

入所している福祉施設以外で暮らすために必要だと思う事柄で3割を超えて多いのは、「困った時に相談できる人がいること」が46.3%と最も多く、以下、「一人暮らしを支えるホームヘルプサービス等が身近にあること」が35.3%、「何かあった時に一時的に入所できる施設があること」が33.0%となつています。(図表 37)

図表 37：全体集計



図表 38：主な障害種別 集計

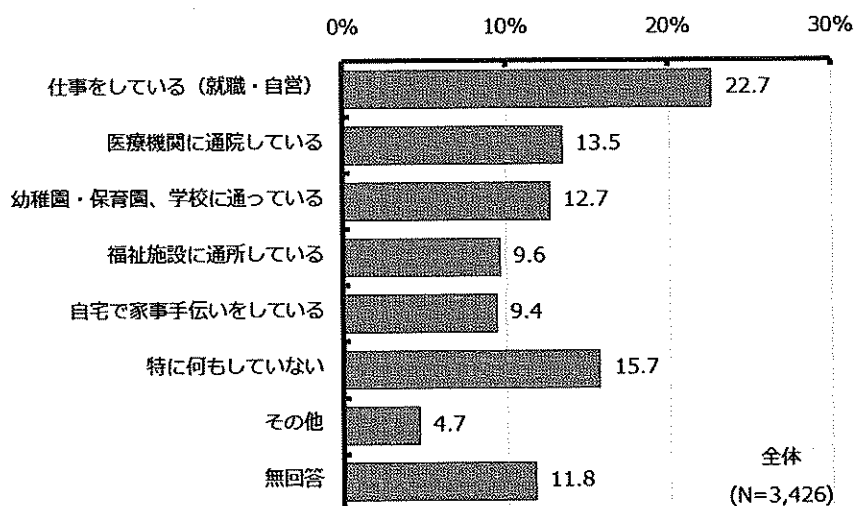


回答数の多い、身体障害と知的障害を比較すると、知的障害において「地域住民の障害者への理解」、「夜間や休日に加えて平日の日中も過ごすことのできるグループホームが身近にあること」などが多くなっています。身体障害においては「一人暮らしを支えるホームヘルプサービス等が身近にあること」などが多くなっています。(図表 38)

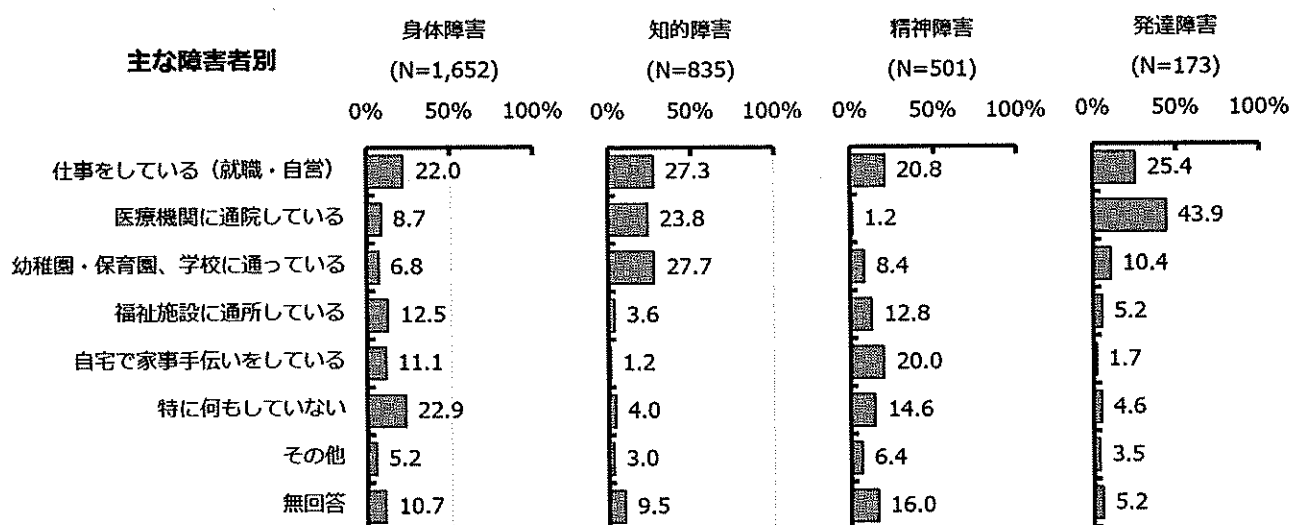
問 12 あなたの現在の日常生活のうち、占める割合が一番大きいものに○をつけてください。
(単数回答)(問 10 で「精神科病院(入院中)」、「その他病院(入院中)」及び「入所型の福祉施設」を選択した方は、この問は回答不要です。)

図表 39：全体集計

現在の日常生活の様子は、「仕事をしている(就職・自営)」が22.7%と最も多く、次いで「特に何もしていない」が15.7%、「医療機関に通院している」が13.5%、「幼稚園・保育園、学校に通っている」が12.7%などとなっています。(図表 39)

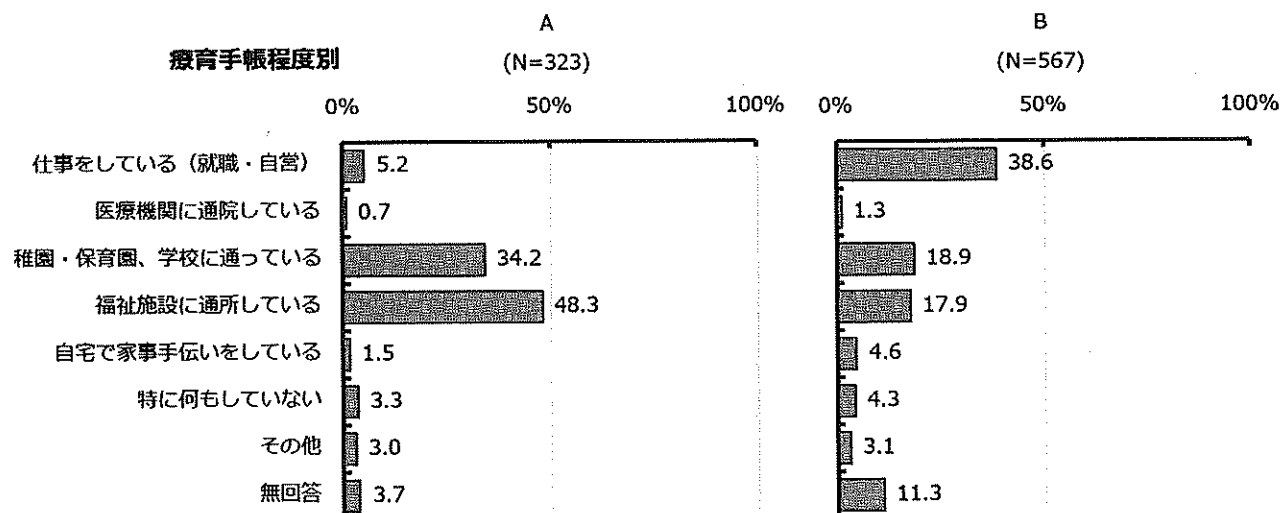


図表 40：主な障害種別 集計



主な障害種別では、身体障害において「特に何もしていない」が22.9%と多く、知的障害において「幼稚園・保育園、学校に通っている」が多くなっています。また、精神障害において「自宅で家事手伝いをしている」が20.0%と多く、発達障害において「医療機関に通院している」が43.9%と多くなっています。(図表 40)

図表 41：療育手帳程度別 集計

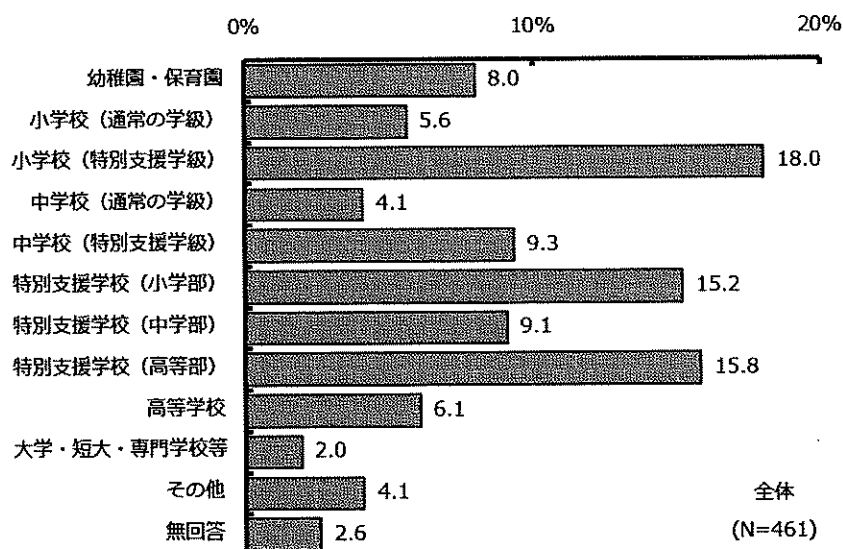


療育手帳程度別では、Aにおいて「幼稚園・保育園、学校に通っている」、「福祉施設に通所している」がBより多く、Bにおいて「仕事をしている（就職・自営）」が38.6%とAより33.4ポイント高くなっています。（図表 41）

問 12 で「幼稚園・保育園、学校に通っている」と回答された方にお聞きます。
問 12-2 通園・通学している学校等は次のどれですか。（単数回答）

通園・通学している学校等は、「小学校（特別支援学級）」が18.0%と最も多く、次いで「特別支援学校（高等部）」が15.8%、「特別支援学校（小学部）」が15.2%などとなっています。（図表 42）

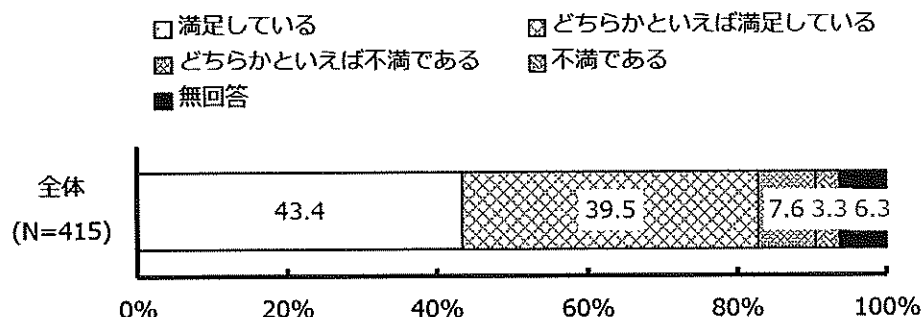
図表 42：全体集計



問 12 で「幼稚園・保育園、学校に通っている」と回答された方にお聞きます。

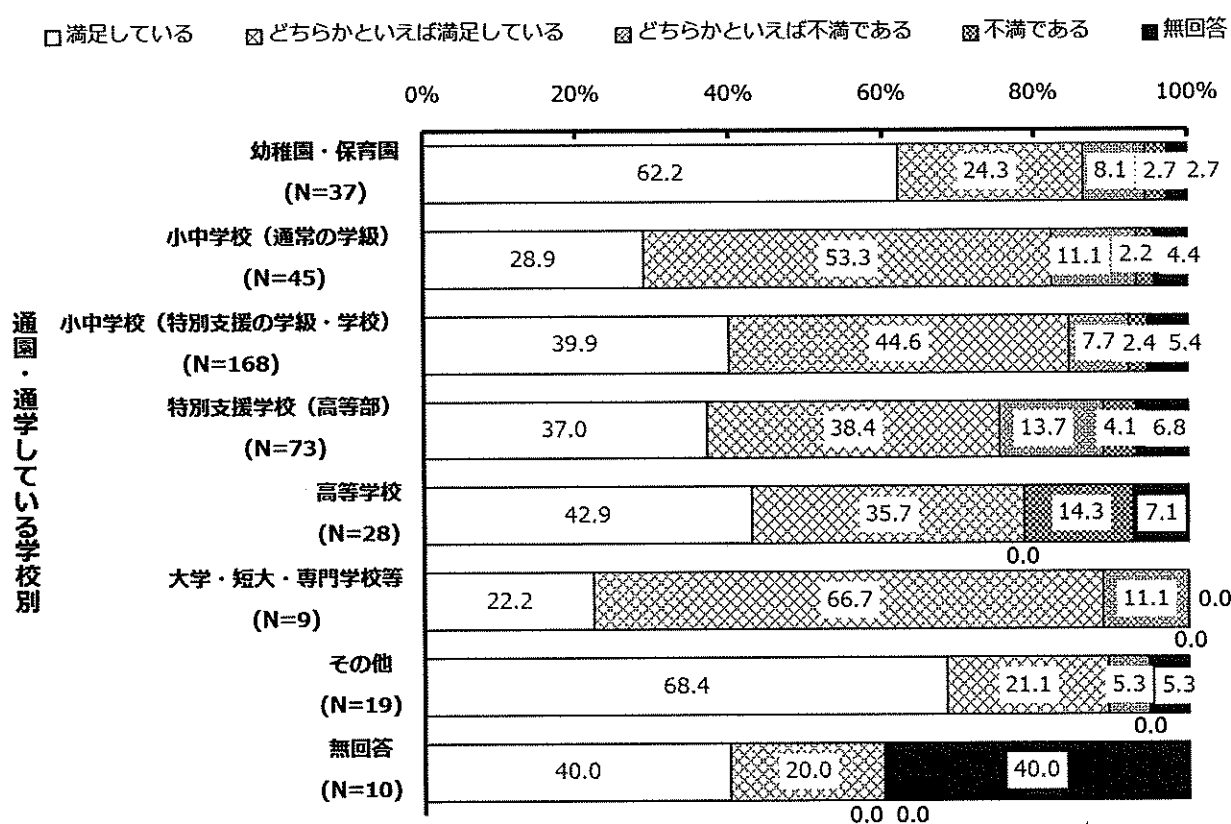
問 12-3 あなたは、通園・通学している学校等に対して、ニーズに応じた教育や障害に応じた配慮といった点で満足していますか。(単数回答)

図表 43：全体集計



通園・通学している学校等に対して、ニーズに応じた教育や障害に応じた配慮などの点の満足状況は、「満足している」が43.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足している」が39.5%、「どちらかといえば不満である」が7.6%、「不満である」が3.3%となっています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は、82.9%となっています。(図表 43)

図表 44：通園・通学している学校別 集計



通園・通学している学校別では、幼稚園・保育園において「満足している」が6割を超えて多くなっています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は、大学・短大・専門学校等において88.9%と最も多く、特別支援学校(高等部)において75.4%と最も少なくなっています。(図表 44)

問12-3で「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答された方にお聞きします。
問12-4 学校等に対して、要望があれば具体的に教えてください。

問12-3の通園・通学している学校等に対する満足度で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」を選択した方が、学校等に対する要望として記入されていたのは、「教師の障害への理解不足・障害特性に応じた指導について」が17件と最も多く、次いで「送迎・付き添いなどの親の負担について」の順となっています。（図表45）

図表45：学校などへの要望 分類後の件数

(単位：件)	教師の障害への理解不足・特性に応じた指導について	保育士・教師の増員について	教材・授業内容について	送迎・付き添いについて	学校の設備等について	いじめについて	その他	計
身体障害	5	1	2	0	2	0	6	16
知的障害	7	1	0	5	1	0	1	15
精神障害	0	0	1	0	0	0	0	1
発達障害	3	2	1	0	0	1	2	9
その他	1	0	0	1	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	0	1	2
計	17	4	4	6	3	1	10	45

主な意見（抜粋）

【教師の障害への理解不足・特性に応じた指導について】

- ・生徒によって対応が違いく精神的に苦しくなります。
- ・1人1人障害の違いがあるので、無理にみんなと一緒にさせないでほしい。
それぞれにあった対応をしてほしい。
- ・自分の障害について、自分からまわりに配慮をお願いすることはなかなか言い出しにくい。その気持ちをもっと汲んでほしいと思う。子供がもっと配慮をお願いしやすい雰囲気づくりや声掛けをしてほしい。
- ・先生方の中にも理解が浅い先生も見られるので、もっと深まることを期待している。
- ・学部が上がるごとに先生の質が見合わない。
特別支援学校は支援が必要だから通っているのだが先生達にも自覚してもらいたい。
この学校に行っているのに出来ていたことが出来なくなっていくことが増えてくるのはおかしい。
せっかく小学部、中学部で伸ばしてもらった能力なのに。

【保育士・教師の増員について】

- ・できる子できない子の対応が違いすぎる。できる子はほったらかしな感じがある。
先生の人数足りてないと感じる。
- ・小学校の支援員が足りていません。校外学習などは親が付き添わない場合は一人で自習という事もありました。そのたびに母が仕事を休んでいます。

【教材・授業内容について】

- ・公立高校は市によって対応に差があると感じる。
私はカリキュラムが気に入ったので、私立高校に通っているが、私立高校に介助員が付けられないのは、他の生徒や、公立高校に通った場合と比べて学びが補償されていない部分があり不公平だと感じている。
私立高校の合理的配慮をもっと普及させてほしい。
- ・通常級なので仕方がないが、筆記に時間がかかるため板書に必死で授業についていけない。
来年度、高校受験があるが県立高校はテスト時間の延長等の配慮が一切ないと聞いたため、もう少し寄り添った対応を今後期待したい。
- ・交流学級がなく、通常級の生徒との関わりが全くない。行事も同じ学校ではあるが、通常級と支援級と別で、支援級だけのグループ編成で参加している状態であり、インクルーシブ教育からはかけ離れている。

【送迎・付き添いなどの親の負担について】

- ・全く柔軟な対応がされない、送迎や学校付き添い等親への負担が大きい。共働きの時代にそぐわない制度が多い。
- ・高等部になると、親に色々丸投げな所がある
就職活動など親が仕事を休んで、面談予約や、見学も子供と見学に行かなければならない。
- ・学校の立地が遠い。高等部は自力通学なので、自分で行けない我が子の送迎に往復1時間半かかる。障害の具合、自宅距離など考慮して高等部もスクールバスを運営して欲しい。

【学校の設備等について】

- ・学校にエレベーターがないこと、移動教室で移動できなくて授業が受けれない。
リモート授業に対応していない、実施していても黒板が見えないことがある。
パソコンがあるのにデジタル教科書に対応していない、荷物が増えて病気の悪化に繋がる。

【いじめについて】

- ・イジメなどがあったとき。学校側は、親がでるまで、対応してくれなかった。
登下校に関しても、学校側は、関係ないと言いはる。

【その他】

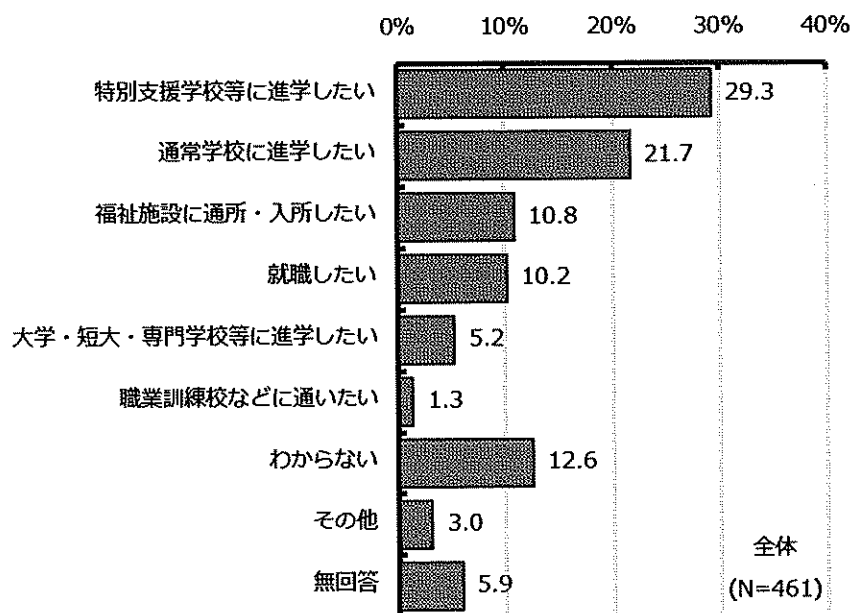
- ・就学前に通っていた発達支援センターは、すぐに常駐している看護師さんに体調の事など相談できましたが、今かよっている支援学校は、親が自分だけで判断がむずかしい事などなかなか相談ができないので、気軽に子どもの体調の事など相談できる環境がほしい。(学校を休む際など)
- ・通っている児発はとてもよいところですが、できるなら障害のない子供たちと同じ保育園に通わせてあげたかったです。
「肢体不自由」というだけで行ける場所が限定されるのは悲しいです。
分離ばかりで、みんなと一緒に生活させてあげたかったです。
- ・病気になった時などの、預け入れ先が困難。
- ・通常級か視覚支援学校の2択しか選択肢がないこと。
視覚支援学校は生徒数が少ないので勉強はしっかり見てもらえるが、友達との関わりは持てない。
発達クラスに通えれば、通常の学校の中なので、友達との関わりも持てる。
今後の進路を考えると、勉強か友達か、どちらかを選ばないと行けない時が来るので辛い。
本人も辛がっている。

問 12 で「幼稚園・保育園、学校に通っている」と回答された方にお聞きます。

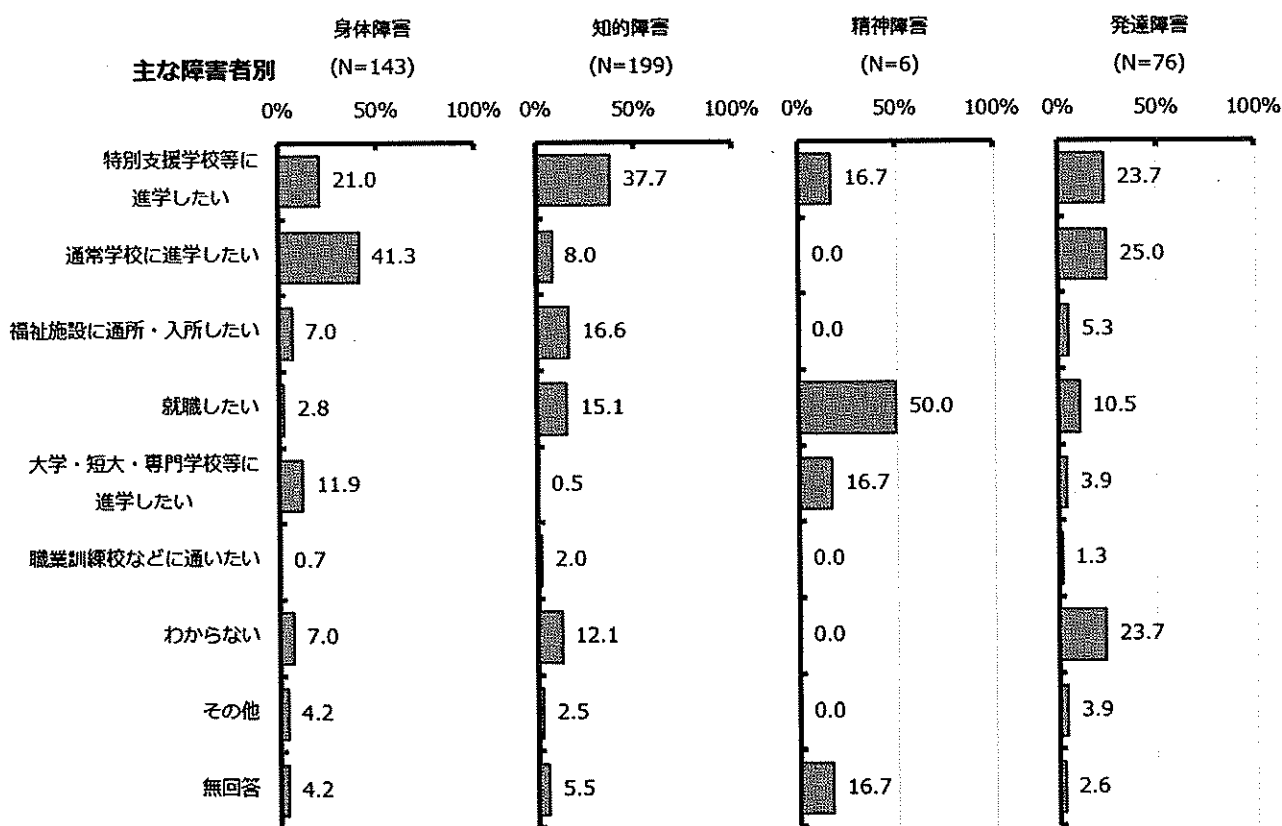
問 12-5 卒園・卒業後の進路をどう考えていますか。(単数回答)

図表 46：全体集計

卒園・卒業後の進路は、「特別支援学校等に進学したい」が 29.3%と最も多く、次いで「通常学校に進学したい」が 21.7%、「わからない」が 12.6%、「福祉施設に通所・入所したい」が 10.8%、「就職したい」が 10.2%などとなっています。(図表 46)

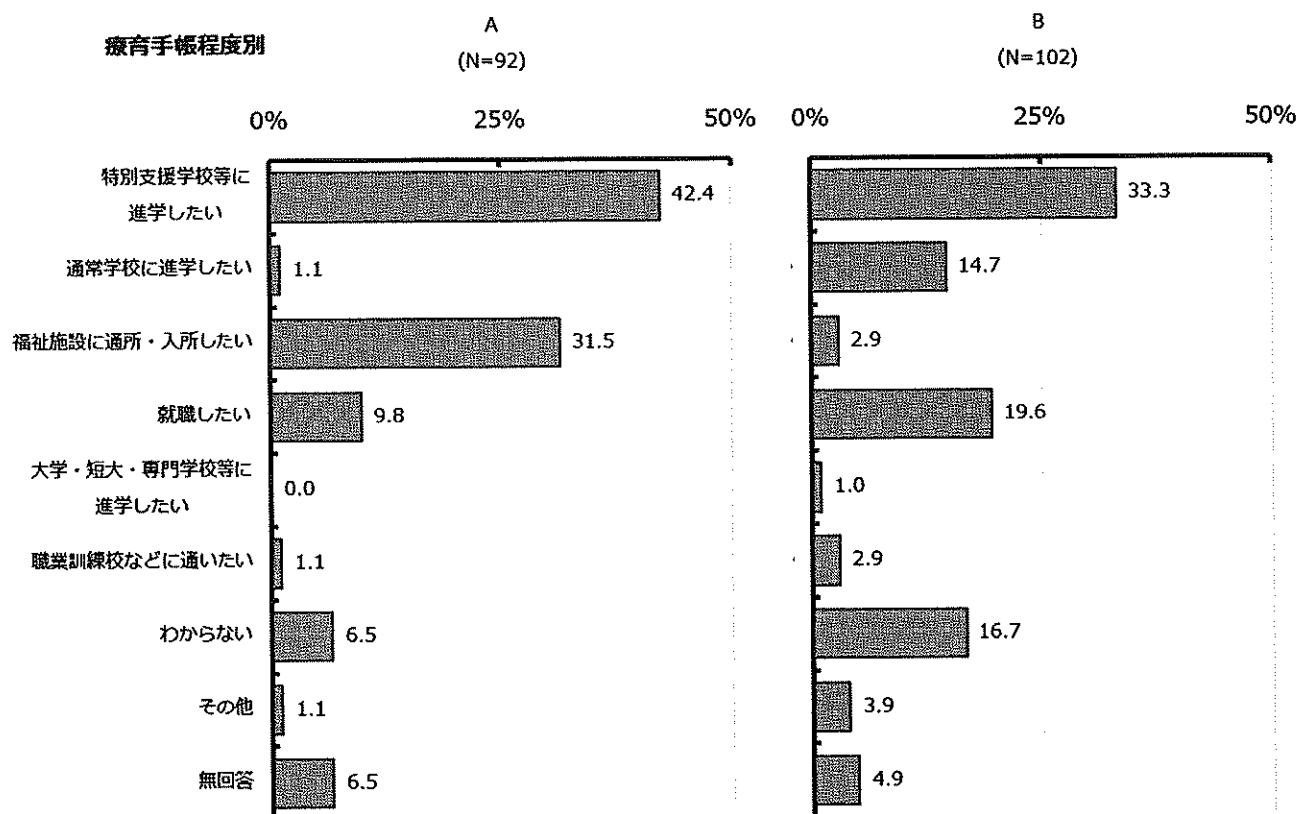


図表 47：主な障害種別 集計



主な障害種別では、身体障害において「通常学校に進学したい」が 41.3%と 4 割を超えて多くなっています。また、知的障害において「特別支援学校等に進学したい」が 37.7%と 3 割を超えて多くなっています。(図表 47)

図表 48：療育手帳程度別 集計

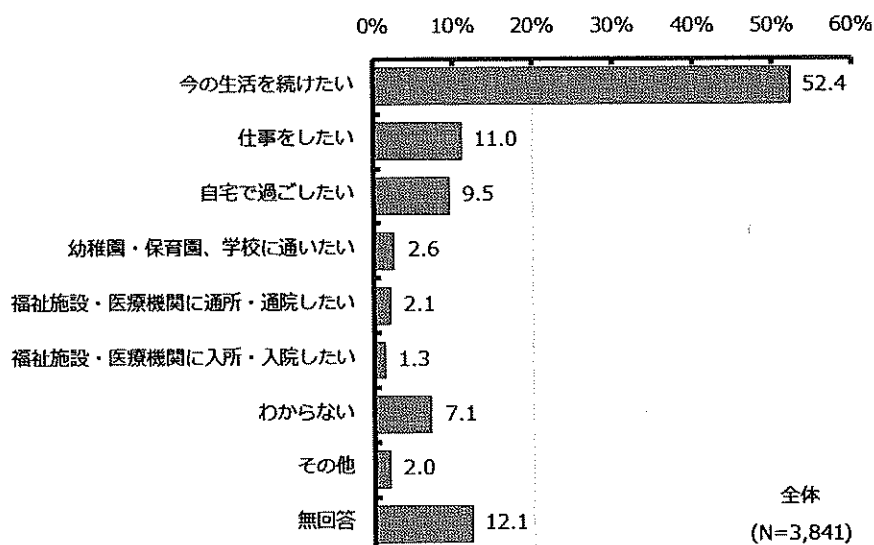


療育手帳程度別では、Aにおいて「福祉施設に通所・入所したい」が31.5%とBより14.9ポイント高く、Bにおいて「通常学校に進学したい」、「就職したい」がAより高くなっています。(図表 48)

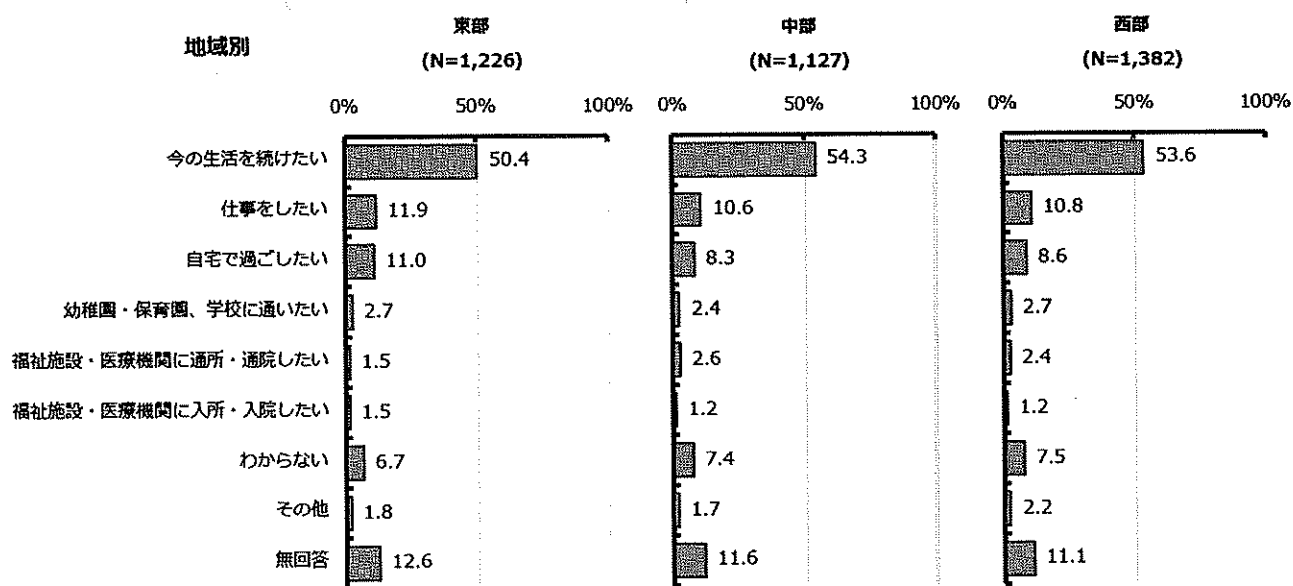
問 13 あなたが望んでいる日常生活について、教えてください。(単数回答)

望んでいる日常生活は、「今の生活を続けたい」が52.4%と最も多く、次いで「仕事をしたい」が11.0%、「自宅で過ごしたい」が9.5%などとなっています。(図表 49)

図表 49：全体集計

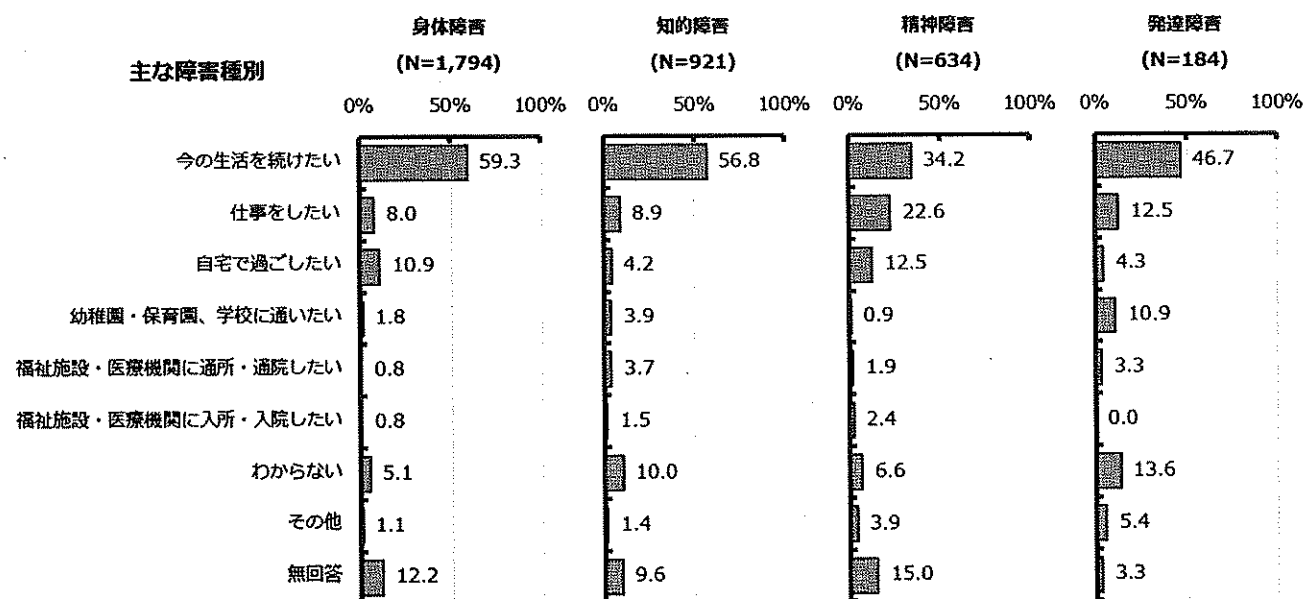


図表 50：地域別 集計



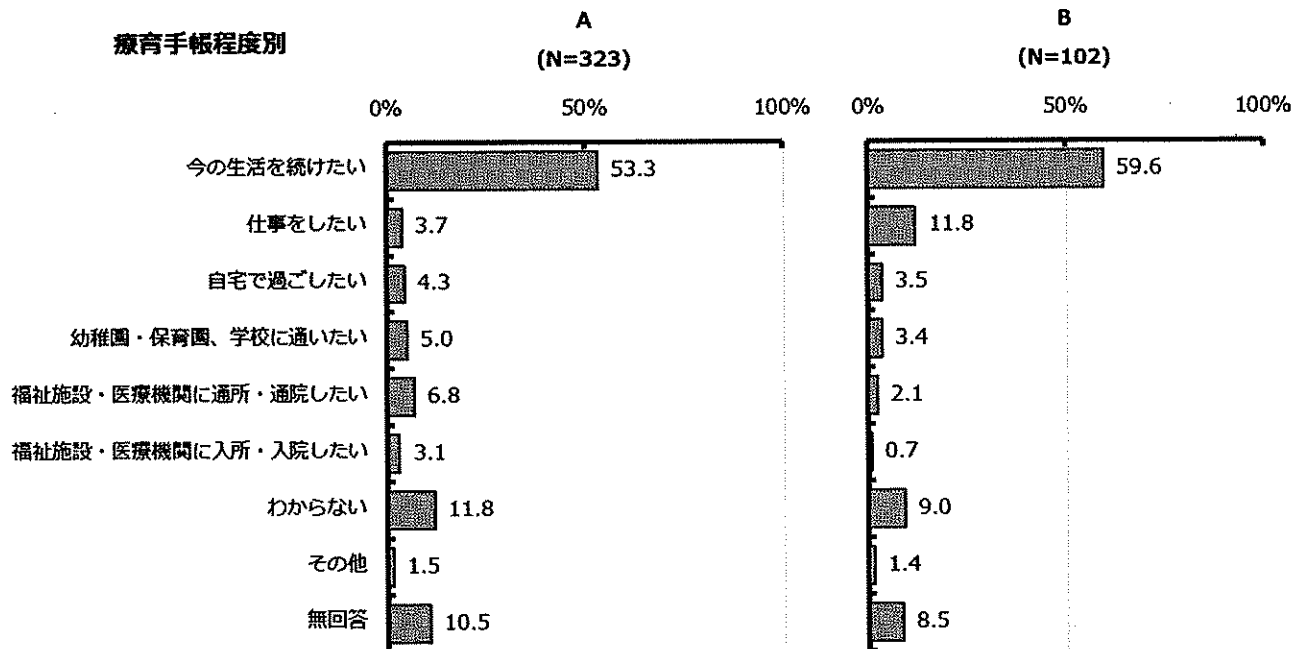
地域別で大きな差異はみられません。(図表 50)

図表 51：主な障害種別 集計



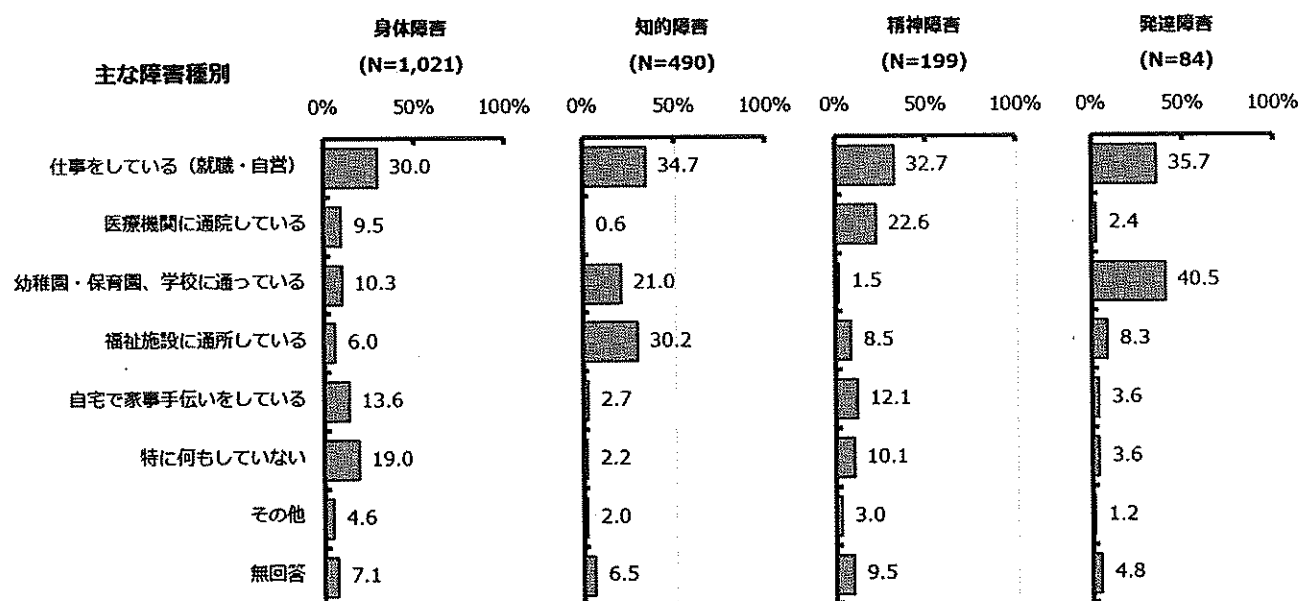
主な障害種別では、「今の生活を続けたい」は身体障害と知的障害が半数を超えて高く、精神障害は 34.2%と低くなっています。逆に、「仕事をしたい」は精神障害が 22.6%と 2 割を超えて高く、身体障害と知的障害は 1 割以下と低くなっています。(図表 51)

図表 52：療育手帳程度別 集計



療育手帳程度別では、「今の生活を続けたい」がBは 59.6%とA (53.3%) より 6.3 ポイント高くなっています。また、「仕事をしたい」がBは 11.8%とA (3.7%) より 8.1 ポイント高くなっています。(図表 52)

図表 53：主な障害種別 集計（問 13 で「今の生活を続けたい」と回答した方の日常生活の様子）



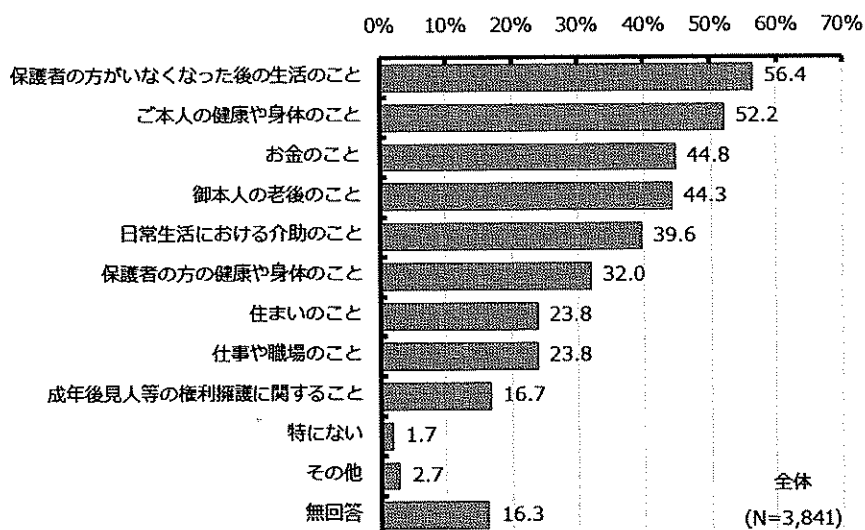
今の生活を続けたいと回答した方の主な障害種別の日常生活の様子は、すべての障害種別において「仕事をしている（就職・自営）」が多くなっています。その他では、発達障害において「幼稚園・保育園、学校に通っている」が 40.5%と多く、知的障害において「福祉施設に通所している」が 30.2%と多くなっています。また、精神障害において「医療機関に通院している」が 22.6%と多くなっています。（図表 53）

御本人の保護者の方（親御様やご家庭等で介助されている方）にお聞きします。

問 14 御本人が生活していく上で今後心配になることは何ですか。（複数回答）

保護者視点からの、今後の御本人（対象者）が生活していく上での心配点は、「保護者の方がなくなった後の生活のこと」が 56.4%と最も多く、次いで「ご本人の健康や身体のこと」が 52.2%、「お金のこと」が 44.8%、「ご本人の老後のこと」が 44.3%などとなっています。（図表 54）

図表 54：全体集計

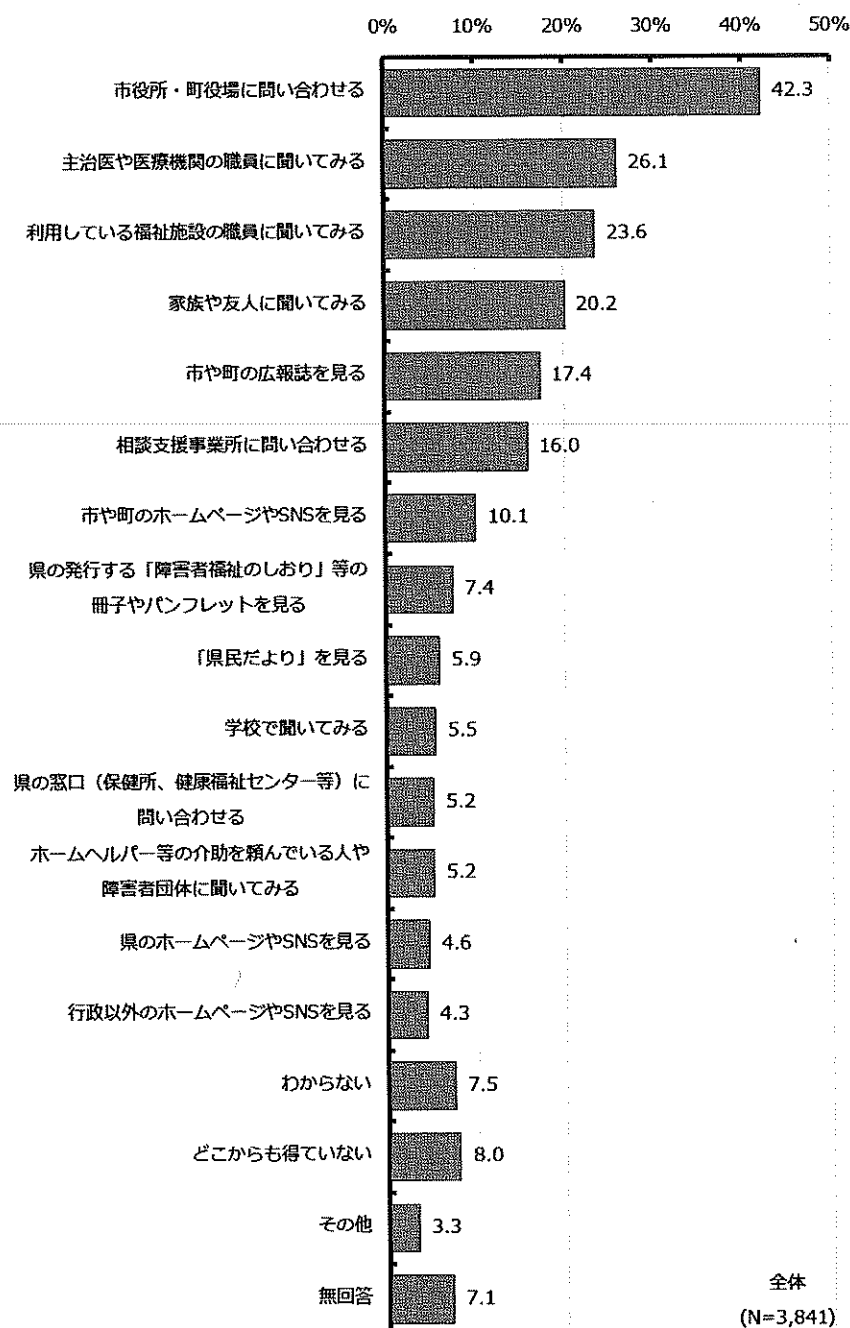


3 障害福祉サービス等の利用状況について

問 15 あなたは、ふだん障害福祉に関する情報をどこから得ていますか。(複数回答)

図表 55：全体集計

障害福祉に関する情報の入手先は、「市役所・町役場に問い合わせる」が42.3%と最も多く、次いで「主治医や医療機関の職員に聞いている」が26.1%、「利用している福祉施設の職員に聞いてみる」が23.6%、「家族や友人に聞いてみる」が20.2%、「市や町の広報誌を見る」が17.4%などとなっています。(図表55)



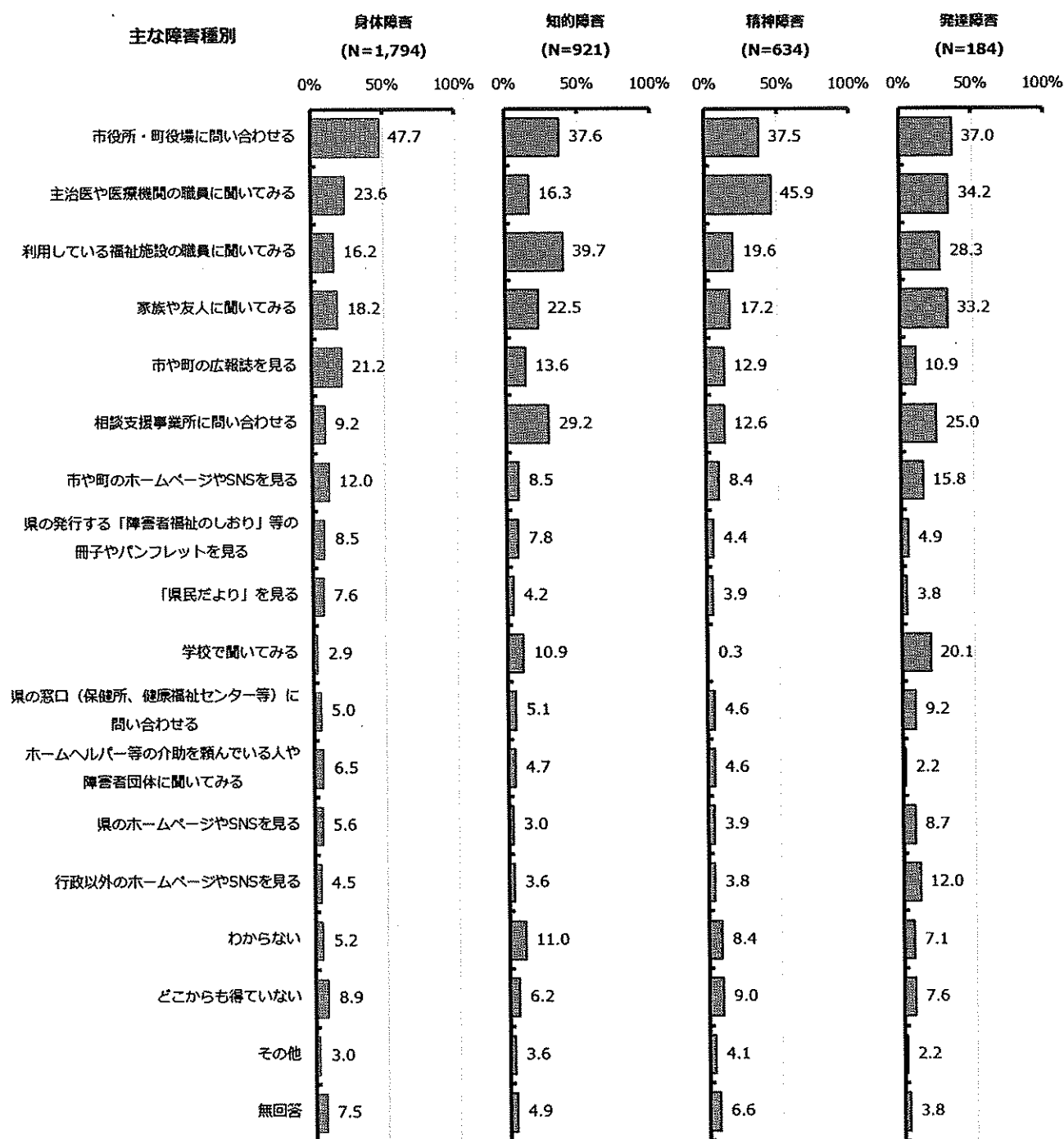
図表 56：年代別 集計

	調査数	市役所・町役場に問い合わせる	県の窓口（保健所、健康福祉センター等）に問い合わせる	相談支援事業所に問い合わせる	市や町の広報誌を見る	冊子やパンフレットを見る	県の発行する「障害者福祉のしおり」等の「障害者福祉」を見る	「県民だより」を見る	市や町のホームページやSNSを見る	県のホームページやSNSを見る	行政以外のホームページやSNSを見る
10歳未満	192	103	10	61	23	22	2	33	12	22	
10歳未満(%)	100.0	53.6	5.2	31.8	12.0	11.5	1.0	17.2	6.3	11.5	
10歳代	316	132	15	86	34	26	12	41	22	27	
10歳代(%)	100.0	41.8	4.7	27.2	10.8	8.2	3.8	13.0	7.0	8.5	
20歳代	349	122	22	94	36	22	7	38	21	22	
20歳代(%)	100.0	35.0	6.3	26.9	10.3	6.3	2.0	10.9	6.0	6.3	
30歳代	305	116	10	66	35	16	13	38	19	18	
30歳代(%)	100.0	38.0	3.3	21.6	11.5	5.2	4.3	12.5	6.2	5.9	
40歳代	390	158	19	73	58	28	25	50	27	17	
40歳代(%)	100.0	40.5	4.9	18.7	14.9	7.2	6.4	12.8	6.9	4.4	
50歳代	573	265	35	88	98	45	38	72	31	25	
50歳代(%)	100.0	46.2	6.1	15.4	17.1	7.9	6.6	12.6	5.4	4.4	
60歳代	481	210	24	59	113	30	26	58	22	18	
60歳代(%)	100.0	43.7	5.0	12.3	23.5	6.2	5.4	12.1	4.6	3.7	
70歳以上	961	405	48	59	226	79	84	38	12	8	
70歳以上(%)	100.0	42.1	5.0	6.1	23.5	8.2	8.7	4.0	1.2	0.8	

	障害者団体からヘルパー等の介助を頼んでいる人を見る	主治医や医療機関の職員に聞いてみる	職員に聞いてみる福祉施設の職員に聞いてみる	家族や友人に聞いてみる	学校で聞いてみる	わからない	どこからも得ていない	その他	無回答
10歳未満	9	92	76	67	56	8	6	10	2
10歳未満(%)	4.7	47.9	39.6	34.9	29.2	4.2	3.1	5.2	1.0
10歳代	9	98	89	107	115	33	24	7	1
10歳代(%)	2.8	31.0	28.2	33.9	36.4	10.4	7.6	2.2	0.3
20歳代	16	82	89	96	1	41	35	13	12
20歳代(%)	4.6	23.5	25.5	27.5	0.3	11.7	10.0	3.7	3.4
30歳代	11	63	90	63	7	32	30	14	17
30歳代(%)	3.6	20.7	29.5	20.7	2.3	10.5	9.8	4.6	5.6
40歳代	17	117	107	76	13	33	34	18	24
40歳代(%)	4.4	30.0	27.4	19.5	3.3	8.5	8.7	4.6	6.2
50歳代	26	149	122	104	8	45	42	17	34
50歳代(%)	4.5	26.0	21.3	18.2	1.4	7.9	7.3	3.0	5.9
60歳代	30	135	97	61	2	27	38	16	21
60歳代(%)	6.2	28.1	20.2	12.7	0.4	5.6	7.9	3.3	4.4
70歳以上	64	188	178	154	2	48	78	25	123
70歳以上(%)	6.7	19.6	18.5	16.0	0.2	5.0	8.1	2.6	12.8

年代別では、いずれの年代でも「市役所・町役場に問い合わせる」が最も多くなっています。また、「行政以外のホームページやSNSを見る」は年代が高くなるほど回答割合が少なくなる傾向にあります。（図表 56）

図表 57：主な障害種別 集計

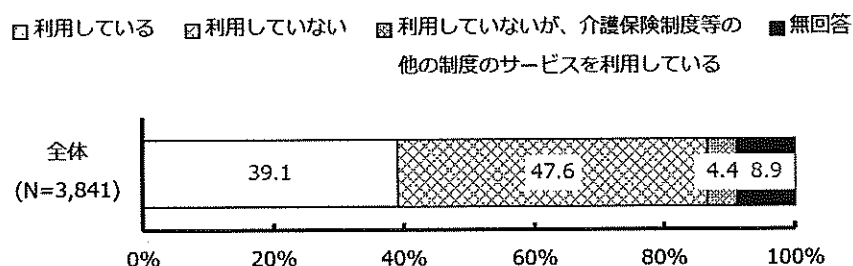


主な障害種別の特徴をみると、身体障害は「市役所・町役場に問い合わせる」が47.7%と多く、次いで「主治医や医療機関の職員に聞いてみる」が23.6%となっています。知的障害は「利用している福祉施設の職員に聞いてみる」(39.7%)と「市役所・町役場に問い合わせる」(37.6%)が4割弱となっています。精神障害は「主治医や医療機関の職員に聞いてみる」が45.9%と最も多くなっています。発達障害では「市役所・町役場に問い合わせる」、「主治医や医療機関の職員に聞いてみる」、「家族や友人に聞いてみる」が3割を超えて多くなっています。(図表 57)

問 16 あなたは現在、障害福祉サービス等を利用していますか。(単数回答)

障害福祉サービス等の利用状況は、「利用していない」が47.6%と最も多く、次いで「利用している」が39.1%、「介護保険制度などの他の制度で福祉サービスを利用している」が4.4%となっています。(図表58)

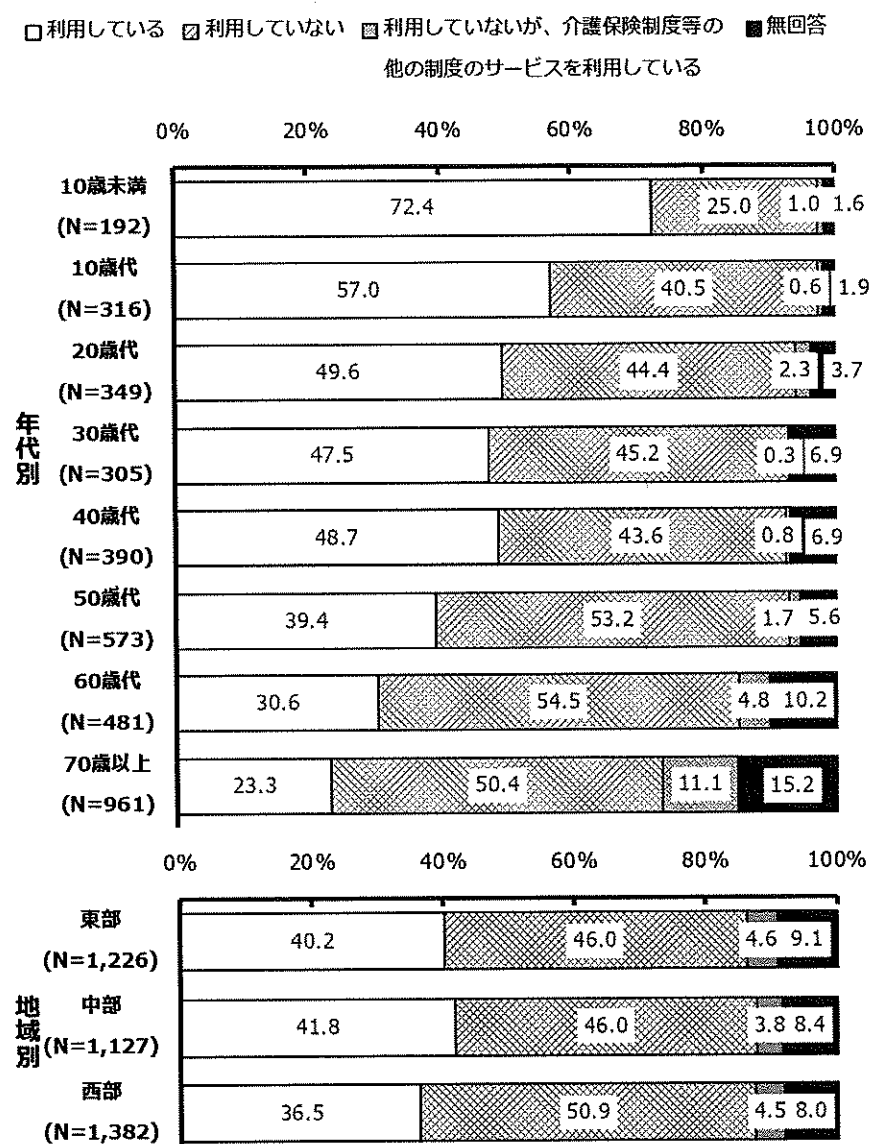
図表 58：全体集計



年代別では、年代が高くなるほど「利用していない」が多くなる傾向にあります。また、70歳以上において「介護保険制度などの他の制度で福祉サービスを利用している」が11.1%と多くなっています。(図表59)

地域別では、大きな差異はみられません。(図表59)

図表 59：年代別・地域別 集計

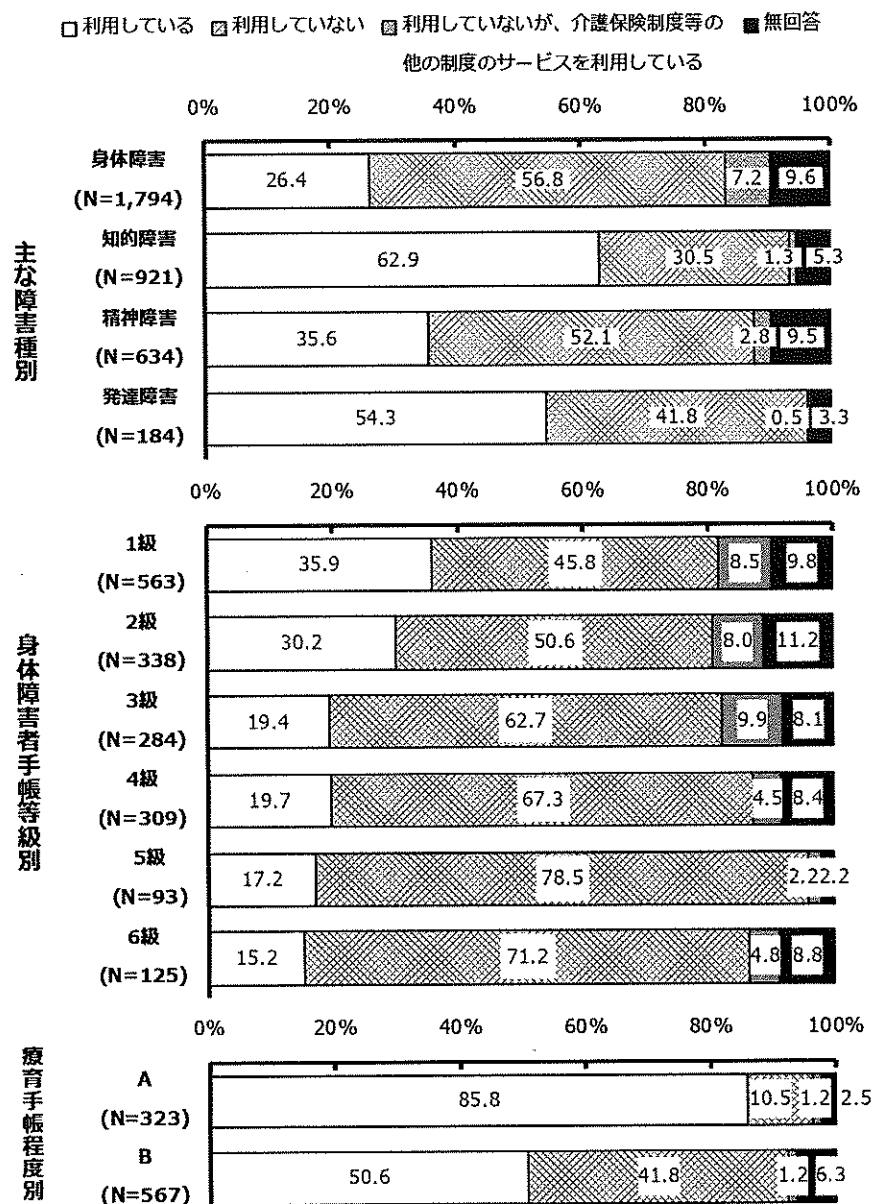


主な障害種別では、身体障害・精神障害において「利用していない」が半数を超えて多く、知的障害・発達障害において「利用している」が半数を超えて多くなっています。(図表 60)

身体障害者手帳等級別では、1級において「利用している」が35.9%と多く、2級～6級において「利用していない」が半数を超えて多くなっています。(図表 60)

療育手帳程度別では、Aにおいて「利用している」が85.8%とB(50.6%)より35.2ポイント高くなっています。(図表 60)

図表 60：主な障害種別・身体障害者手帳等級別・療育手帳程度別 集計

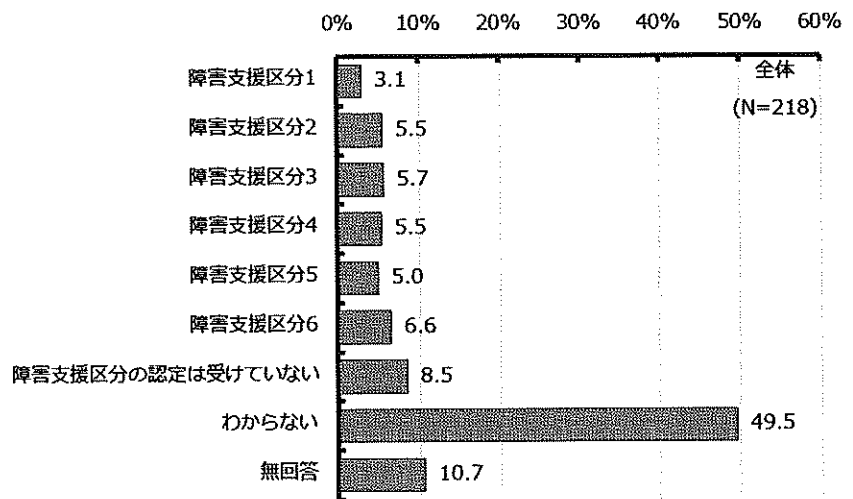


問 16 で障害福祉サービス等を「利用している」と回答された方にお聞きます。

問 16-2 障害支援区分について教えてください。(単数回答)

障害支援区分は、「障害支援区分の認定は受けていない」が 8.5%と最も多く、次いで「障害支援区分 6」が 6.6%、「障害支援区分 3」が 5.7%などとなっています。また、「わからない」が 49.5%と多くなっています。(図表 61)

図表 61：全体集計



図表 62：年代別集計

	調査数	障害支援区分 1	障害支援区分 2	障害支援区分 3	障害支援区分 4	障害支援区分 5	障害支援区分 6	障害支援区分の認定は受けていない	わからない	無回答
10歳未満	139	4	0	0	0	0	0	7	123	5
10歳未満(%)	100.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	88.5	3.6
10歳代	180	5	2	3	4	2	3	30	119	12
10歳代(%)	100.0	2.8	1.1	1.7	2.2	1.1	1.7	16.7	66.1	6.7
20歳代	173	4	10	12	8	20	24	10	74	11
20歳代(%)	100.0	2.3	5.8	6.9	4.6	11.6	13.9	5.8	42.8	6.4
30歳代	145	5	13	9	15	6	25	8	57	7
30歳代(%)	100.0	3.4	9.0	6.2	10.3	4.1	17.2	5.5	39.3	4.8
40歳代	190	4	15	17	9	13	16	17	89	10
40歳代(%)	100.0	2.1	7.9	8.9	4.7	6.8	8.4	8.9	46.8	5.3
50歳代	226	5	15	20	17	19	13	18	101	18
50歳代(%)	100.0	2.2	6.6	8.8	7.5	8.4	5.8	8.0	44.7	8.0
60歳代	147	3	10	10	12	6	5	15	66	20
60歳代(%)	100.0	2.0	6.8	6.8	8.2	4.1	3.4	10.2	44.9	13.6
70歳以上	224	14	9	7	11	7	11	17	85	63
70歳以上(%)	100.0	6.3	4.0	3.1	4.9	3.1	4.9	7.6	37.9	28.1

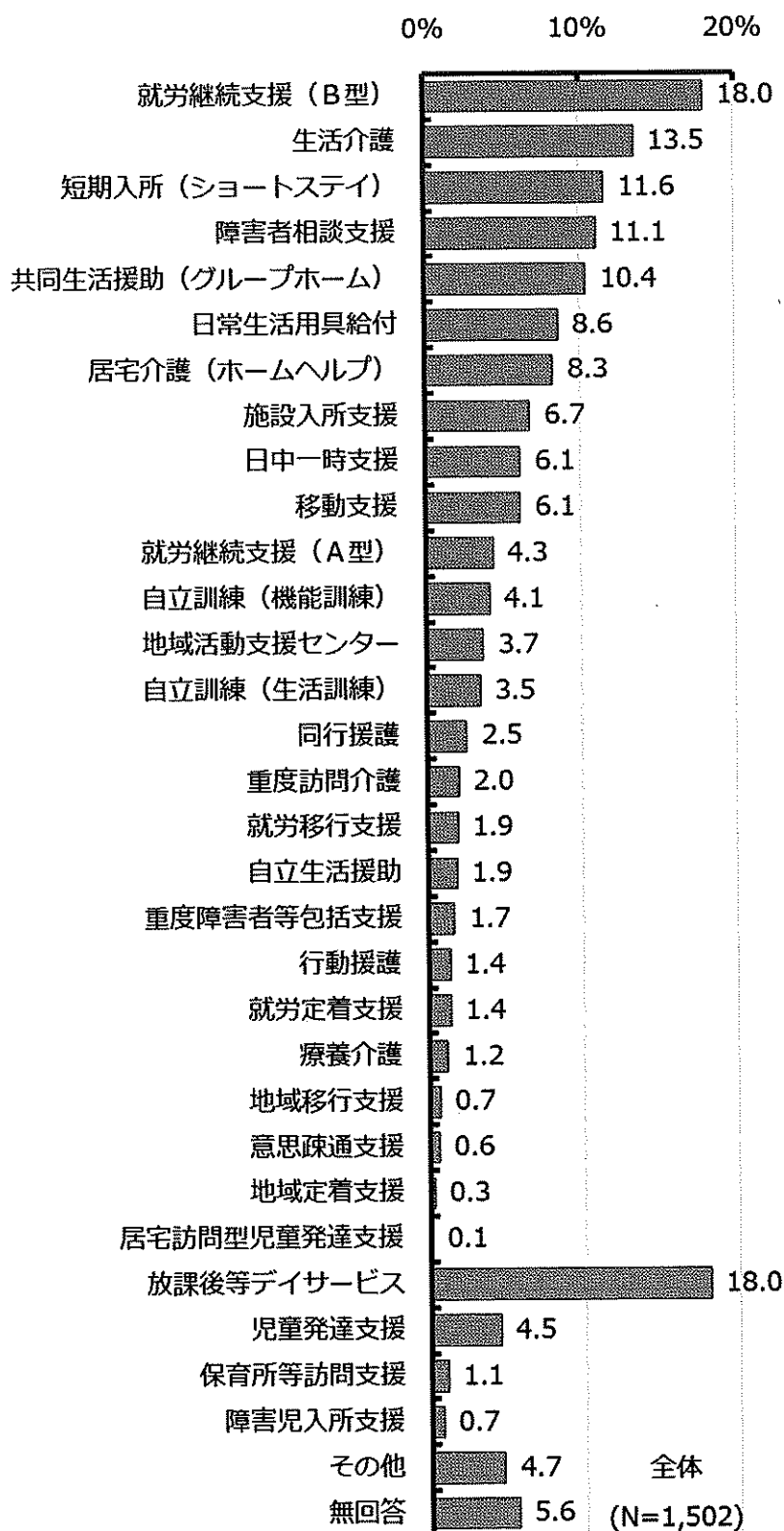
年代別では、いずれの年代でも「わからない」が最も多くなっています。(図表 62)

問 16 で障害福祉サービス等を「利用している」と回答された方にお聞きます。

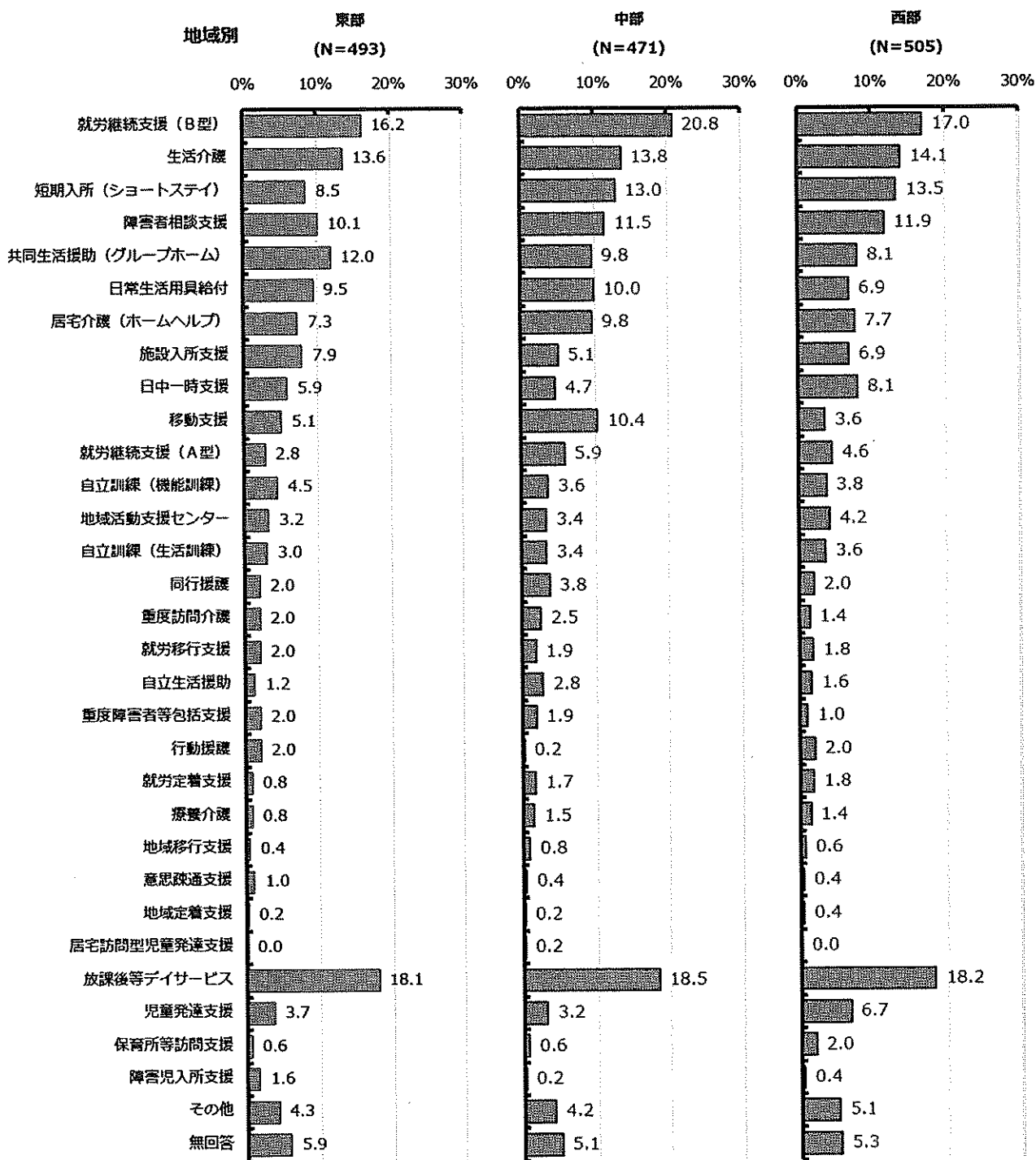
問 16-3 現在どのようなサービスを利用していますか。(複数回答)

図表 63：全体集計

利用しているサービスは、「就労継続支援（B型）」と「放課後等デイサービス」が18.0%と最も多く、次いで「生活介護」が13.5%、「短期入所（ショートステイ）」が11.6%、「障害者相談支援」が11.1%、「共同生活援助（グループホーム）」が10.4%などとなっています。（図表 63）

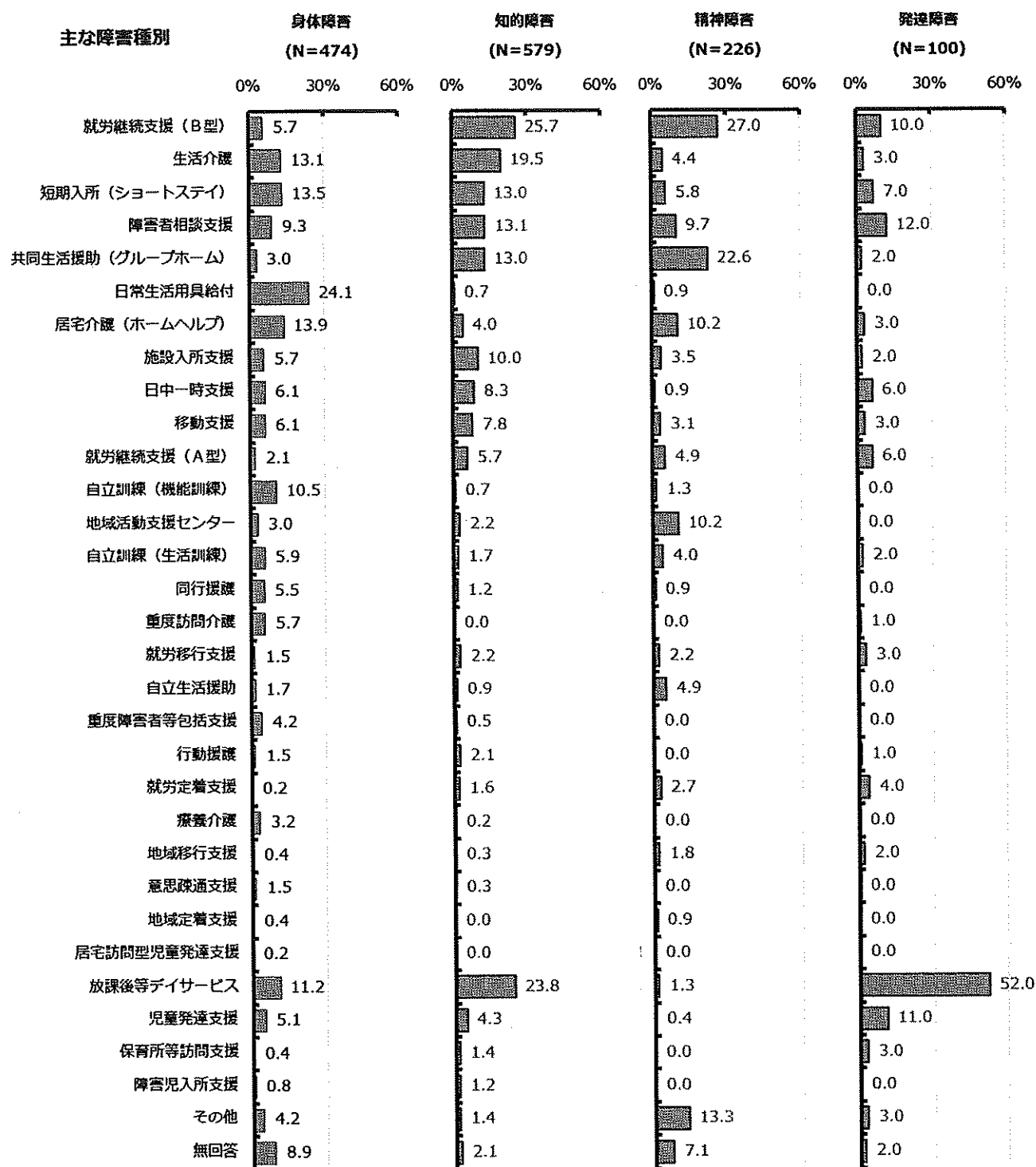


図表 64：地域別 集計



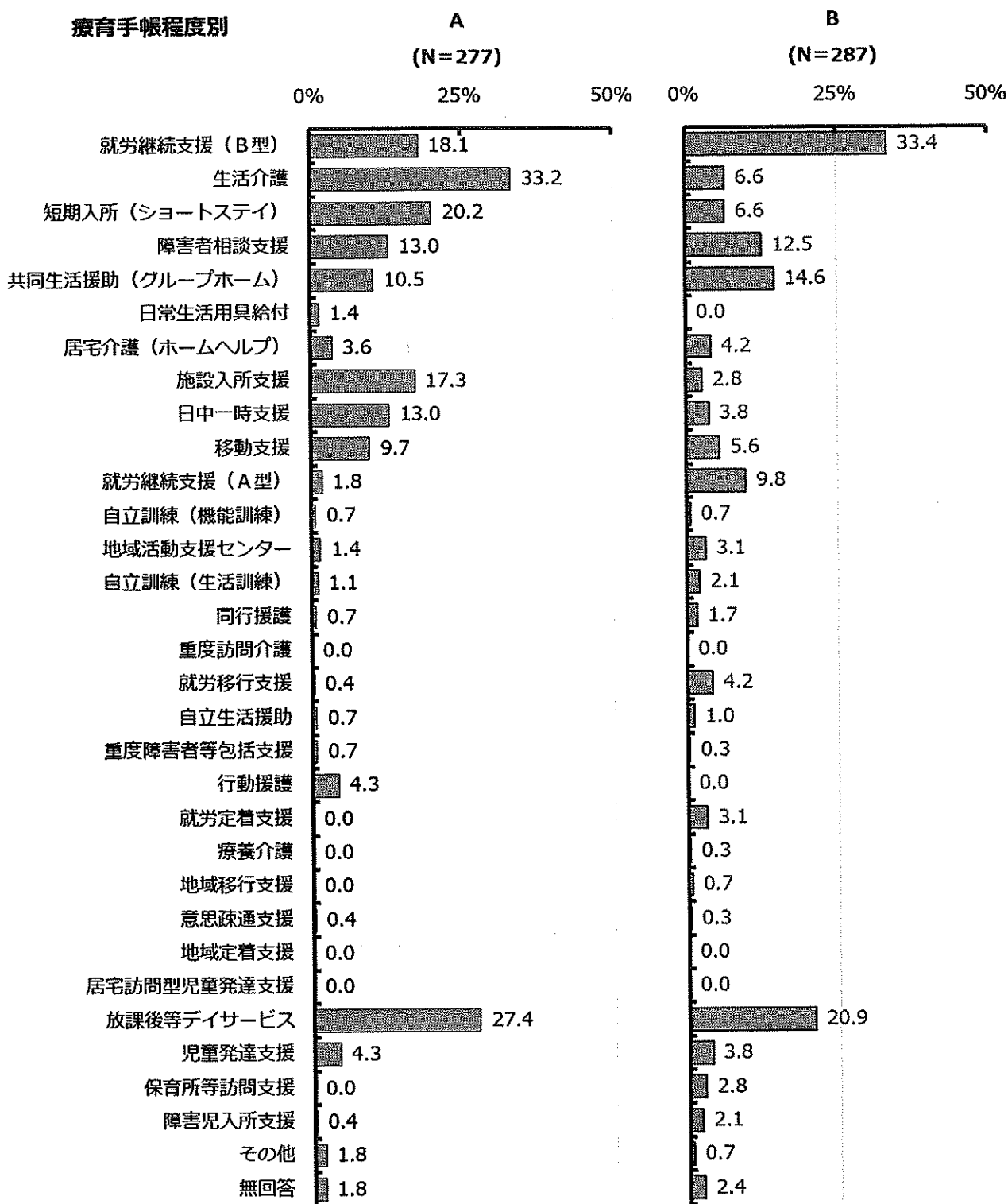
地域別では、中部で「移動支援」が他地域に比べやや多くなっています。それ以外では、地域別で大きな差は見られませんでした。(図表 64)

図表 65：主な障害種別 集計



主な障害種別に利用の多いサービスをあげると、身体障害は「日常生活用具給付」(24.1%)と「自立訓練 (機能訓練)」(10.5%)が他の障害に比べて多くなっています。知的障害は「施設入所支援」(10.0%)が多くなっています。精神障害は「共同生活援助 (グループホーム)」(22.6%)と「地域活動支援センター」(10.2%)が多くなっています。発達障害は「放課後等デイサービス」が52.0%と半数を占めて多くなっています。(図表 65)

図表 66：療育手帳程度別 集計



療育手帳程度別では、AはBに比べ「生活介護」及び「短期入所（ショートステイ）」「施設入所支援」「日中一時支援」「放課後等デイサービス」が多く、Bは「就労継続支援（B型）」及び「共同生活援助（グループホーム）」「就労継続支援（A型）」がAより多くなっています。（図表 66）

図表 67：年代別 集計

	調査数	居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	療養介護	生活介護	短期入所（ショートステイ）	施設入所支援	自立生活援助	自立生活援助（グループホーム）	共同生活援助（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）
10歳未満	139	1	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	3	0	0	0	0
10歳未満(%)	100.0	0.7	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
10歳代	180	6	2	1	1	0	0	6	18	3	0	1	0	2	2	6	8
10歳代(%)	100.0	3.3	1.1	0.6	0.6	0.0	0.0	3.3	10.0	1.7	0.0	0.6	0.0	1.1	1.1	3.3	4.4
20歳代	173	13	3	2	4	1	3	43	36	8	2	15	1	5	12	12	56
20歳代(%)	100.0	7.5	1.7	1.2	2.3	0.6	1.7	24.9	20.8	4.6	1.2	8.7	0.6	2.9	6.9	6.9	32.4
30歳代	145	7	2	3	5	1	2	34	26	9	0	20	1	1	2	10	47
30歳代(%)	100.0	4.8	1.4	2.1	3.4	0.7	1.4	23.4	17.9	6.2	0.0	13.8	0.7	0.7	1.4	6.9	32.4
40歳代	190	8	1	1	0	1	1	31	21	14	4	26	4	7	6	15	50
40歳代(%)	100.0	4.2	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	16.3	11.1	7.4	2.1	13.7	2.1	3.7	3.2	7.9	26.3
50歳代	226	20	3	9	4	3	4	29	19	27	9	36	8	11	4	14	64
50歳代(%)	100.0	8.8	1.3	4.0	1.8	1.3	1.8	12.8	8.4	11.9	4.0	15.9	3.5	4.9	1.8	6.2	28.3
60歳代	147	25	2	7	1	4	0	26	14	14	3	28	15	13	1	3	23
60歳代(%)	100.0	17.0	1.4	4.8	0.7	2.7	0.0	17.7	9.5	9.5	2.0	19.0	10.2	8.8	0.7	2.0	15.6
70歳以上	224	36	12	12	6	15	8	26	31	20	7	12	26	10	1	3	6
70歳以上(%)	100.0	16.1	5.4	5.4	2.7	6.7	3.6	11.6	13.8	8.9	3.1	5.4	11.6	4.5	0.4	1.3	2.7

	就労定着支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	障害児入所支援	地域移行支援	地域定着支援	障害者相談支援	意思疎通支援	日常生活用具給付	移動支援	地域活動支援センター	日中一時支援	その他	無回答
10歳未満	0	54	80	0	12	4	0	0	16	0	20	1	0	16	3	0
10歳未満(%)	0.0	38.8	57.6	0.0	8.6	2.9	0.0	0.0	11.5	0.0	14.4	0.7	0.0	11.5	2.2	0.0
10歳代	0	6	129	0	2	7	1	0	13	0	10	7	0	17	1	3
10歳代(%)	0.0	3.3	71.7	0.0	1.1	3.9	0.6	0.0	7.2	0.0	5.6	3.9	0.0	9.4	0.6	1.7
20歳代	10	0	1	0	0	0	2	0	33	2	13	22	7	21	4	3
20歳代(%)	5.8	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	19.1	1.2	7.5	12.7	4.0	12.1	2.3	1.7
30歳代	2	3	10	0	1	0	1	1	19	0	5	13	7	9	7	7
30歳代(%)	1.4	2.1	6.9	0.0	0.7	0.0	0.7	0.7	13.1	0.0	3.4	9.0	4.8	6.2	4.8	4.8
40歳代	3	3	23	1	0	0	4	1	26	0	10	13	11	7	10	6
40歳代(%)	1.6	1.6	12.1	0.5	0.0	0.0	2.1	0.5	13.7	0.0	5.3	6.8	5.8	3.7	5.3	3.2
50歳代	5	0	12	0	0	0	1	1	32	3	12	15	6	10	19	16
50歳代(%)	2.2	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	14.2	1.3	5.3	6.6	2.7	4.4	8.4	7.1
60歳代	0	0	3	0	0	0	0	0	11	0	14	6	10	3	10	7
60歳代(%)	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	9.5	4.1	6.8	2.0	6.8	4.8
70歳以上	0	0	6	0	0	0	0	1	11	4	41	13	8	6	11	35
70歳以上(%)	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	4.9	1.8	18.3	5.8	3.6	2.7	4.9	15.6

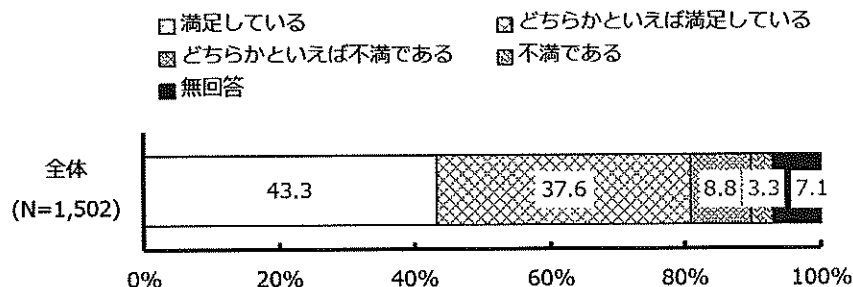
年代別では、20歳未満において「放課後等デイサービス」が最も多くなっています。また、20歳以上60歳未満において「就労継続支援（B型）」が最も多くなっています。（図表 67）

問 16 で障害福祉サービス等を「利用している」と回答された方にお聞きます。

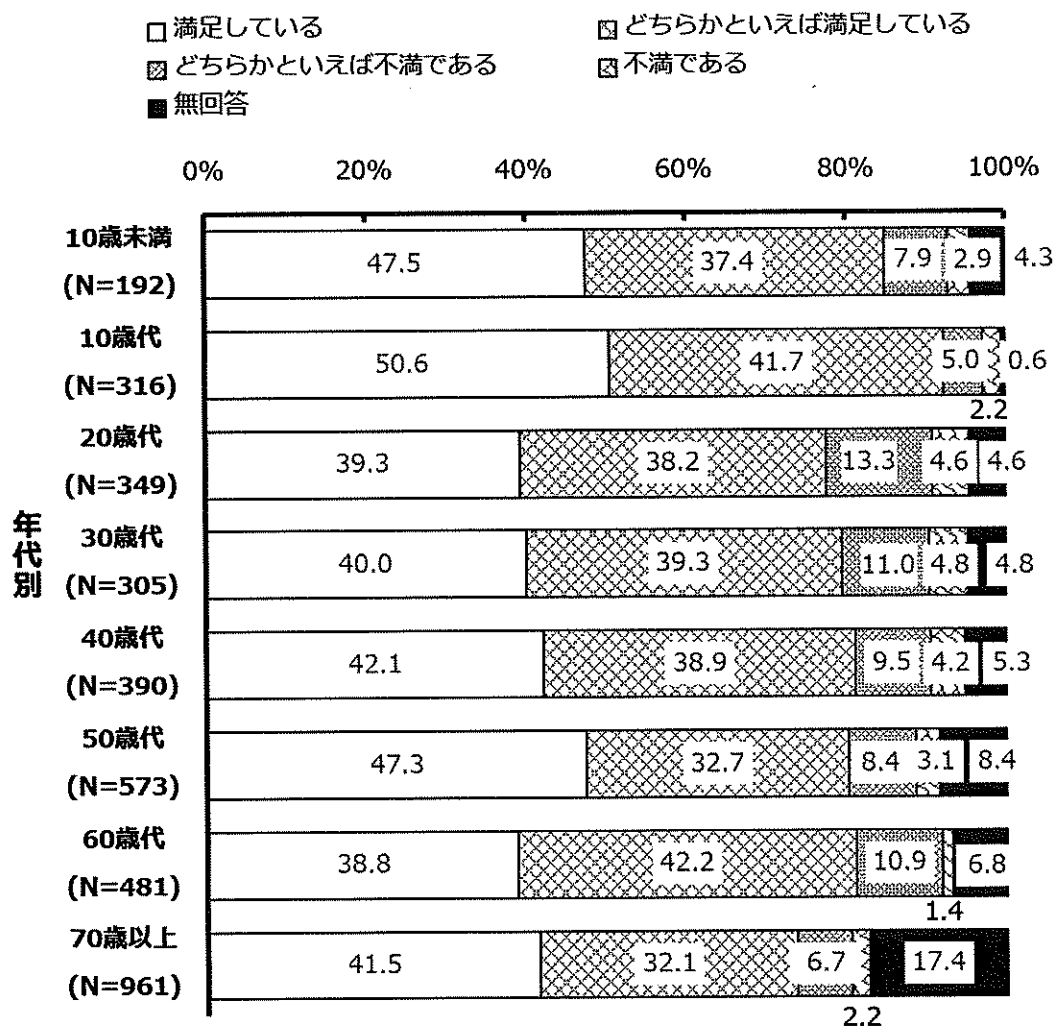
問 16-4 現在利用しているサービスに満足していますか。(単数回答)

障害福祉サービスの満足状況は、「満足している」が43.3%と最も多く、「どちらかといえば満足している」が37.6%と続いています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は、80.9%となっています。(図表 68)

図表 68：全体集計



図表 69：年代別 集計



年代別では、20歳代と60代以外の全ての年代において「満足している」が4割を超えて多くなっています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は10歳代において9割を超えて多くなっています。(図表 69)

問16-4で「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答された方にお聞きします。
問16-5 不満がある理由を、具体的に教えてください。

問16-3の障害福祉サービス等への満足度で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」を選択した方が、不満である理由として記入されていたのは、「使いたいサービスが使えないこと」が最も多く、次いで「サービスの質に関すること」の順となっています。(図表70)

図表70：不満がある理由 分類後の件数

図表 10：不利益のある理由の種類別件数

(単位：件)	使いた ない こと サ ー ビ ス が 使	サ ー ビ ス の 質 に 関 する	職 員 ・ ス タ フ の 態 度	本 人 の 嫌 が る こ と	予 約 が い こ と ば い で 利 用	利 用 し たい と き や 土 日	サ ー ビ ス の 利 用 量 が 少 ない こ と	サ ー ビ ス の 時 間 ・ 送 迎 に 関 する こ と	他 の 人 の 利 用 に 関 する こ と
身体障害	10	7	7	6	4	2	3	2	
知的障害	10	4	4	3	4	4	0	3	
精神障害	1	6	5	2	1	2	4	2	
発達障害	3	3	2	1	0	1	1	0	
その他	2	2	0	1	0	0	0	0	
無回答	0	1	1	0	0	0	1	0	
計	26	23	19	13	9	9	9	7	

(単位：件)	サ ー ビ ス の 利 用 の 経 費 負	サ ー ビ ス の 内 容 に 関 する	工 賃 ・ 賃 金 が 安 い こ と	役 所 ・ 役 場 や 手 続 き に	サ ー ビ ス 提 供 事 業 所 に	そ の 他 の サ ー ビ ス ・ 制	そ の 他	計
身体障害	2	0	0	3	0	1	5	52
知的障害	1	2	1	0	1	1	3	41
精神障害	1	0	4	0	1	0	5	34
発達障害	0	3	0	0	0	0	2	16
その他	2	1	0	0	0	0	0	8
無回答	0	0	0	0	0	0	1	4
計	6	6	5	3	2	2	16	155

主な意見（抜粋）

【職員・スタッフの態度や質に関すること】

- ・計画相談員の対応の不備で就労継続 A 型事業所に迷惑をかけてしまい、自分が対応することになりトラブルになってしまいました。
- ・介護保険未申請なのに障害福祉支援を受けようとした際介護保険を使うよう言われた。言いたいことはわかるが説得の仕方や言い放つ話し方に不快を感じた。
- ・話を聞いてくれるが、聞くだけで事態が進展しない。

【サービスの利用量が少ないこと】

- ・ヘルパーの数が不足気味でサービスの時間を減らさざるをえない。
- ・学校が休みとなる夏期冬期休暇中の利用時間が短い、また平日 17 時までのため、親が正社員として働く選択ができない。

【利用したいときや土日等に利用できないこと・予約がいっぱいで利用できないこと】

- ・希望の日時は事業所の空いている日時しか利用できない。
- ・利用したい人が多く、サービスを提供する側は少ないので、思うように使えない。土、日など余暇で利用したくても利用者が集中するし、ヘルパーは同性がいいと思うが、男性のヘルパーが少ない。

【サービスの内容に関すること】

- ・親亡きあとの生活を考えると施設入所が望ましい。居心地のよい GH は理想的だが、重度の障害者を受け入れる GH などほとんどないし、今後も増えていかない。入所施設はいっぱいで練習もなかなか使えない。
- ・移動支援をやっている事業所（新規を受け付けしている）が少ない。ショートステイをもっと気軽に使えるようにしてほしい。

【サービス提供事業所に関すること】

- ・通っている放デイが来年度から送迎をしてくれなくなるため、今年度で辞める予定ですが次が見つからない。
- ・ふけつで気持ち悪い（トイレや床などが）。

【工賃・賃金が安いこと】

- ・給料があまりにも少ない。もう少し、本人に合った就労先があると思う（高等部の時に情報が得られなかった）。

【本人のニーズと合わない・本人が嫌がること】

- ・自由がない。自分の意志で行動できない。
- ・コロナでという理由は分かっているが自由に外出したい。（外出制限がある事）。

【使いたいサービスが使えないこと】

- ・サービスを使いたくても、職員不足で全く使えない
- ・行動援護、ショートステイの重度・行動障害があるので受け入れ先がない。
- ・当事者が希望するサービスが行政(小山町)から許可されない、コロナの期間などもあり、様々に変化があり、今後に不安がある。
- ・介護している親が体調不良になった時や入院になった場合に緊急で受け入れてくれるショートステイがない。現状は、2ヶ月前に予約をしている。
緊急でも受け入れてくれる施設がないと、介護している立場としては不安。
- ・鉄道の無人駅で利用出来ない。

【その他のサービス・制度に関すること】

- ・手話に関して生活の情報量が少なすぎる。
- ・入所しててももっとお金が必要なので障害手当を入所しててもほしい。

【役所・役場や手続きに関すること】

- ・利用するに当たり更新がめんどろ。本人を連れていかないといけないのが大変！！
- ・書類上医師の証明を要するのに近所に適格資格のある医師がなく2時間車で行かなければ書類が出来ない。サービス受けられない。耳の障害のため補聴器購入時のこと。

【サービス利用の経費負担に関すること】

- ・用具の補助金がある事は高額な為、とてもありがたく思っております。ただ一生使わなければ生きられない用具の為、用具だけでなくそれに伴う商品にも少し援助していただけるとありがたく思います。
- ・聴覚補助具の電池について使用頻度が高いにも関わらず給付支援の間隔が1年と長い為結果的に自費で買うことが多く負担になっている。

【ヘルパーや他の利用者、近所の人との人間関係や関わりに関すること】

- ・人間関係について差別が多い。
- ・ショートステイに様々な脱衣行為対象者がおり、困惑する。

【サービスの時間・送迎等に関すること】

- ・ショートステイを利用しているが遠くにあるため送迎が大変。今は、送迎できるが今後、送迎できなくなったら不安である。
- ・もう少し長く預かってもらえるとフルタイムで働くことができる。

【サービスの質に関すること】

- ・楽しく通ってはいるが、通っていることによって生活能力が向上したとは特に感じる事ができない。
- ・視覚障害で拡大鏡を給付してもらいましたが使用してもはっきり見えない。
- ・障害者雇用がしっかりしている企業を紹介できていない。こちらから企業へ希望、更正をお願いしても、対応してもらえない。

【その他】

- ・医療関係の問診票を記入してくれる人を見つからない。
- ・職員とのコミュニケーションが苦手な事もあり、自分の考えや意思を伝える事が出来ず、自分の中で不満を募らせてしまう事が多い。
- ・会社勤めができないので生活費をかせげない→支給を望む。

問 16 で障害福祉サービス等を「利用していない」と回答された方にお聞きます。

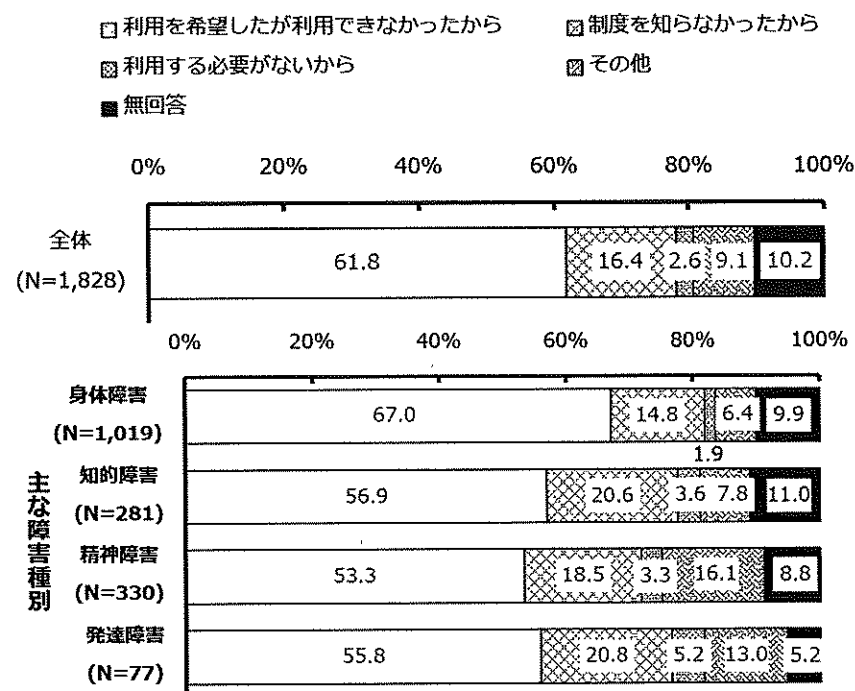
問 17 サービスを利用していない理由は何ですか。(単数回答)

サービスを利用していない理由は、「利用を希望したが利用できなかったから」が61.8%と最も多く、次いで「制度を知らなかったから」が16.4%、「利用する必要がないから」が2.6%となっています。(図表 71)

※回答肢「その他」9.1%の中では、「入院中」、「検討中」、「よくわからない」が多くなっています。

主な障害種別では、身体障害において「利用を希望したが利用できなかったから」が6割を超えて多くなっています。(図表 71)

図表 71：全体・障害種別 集計



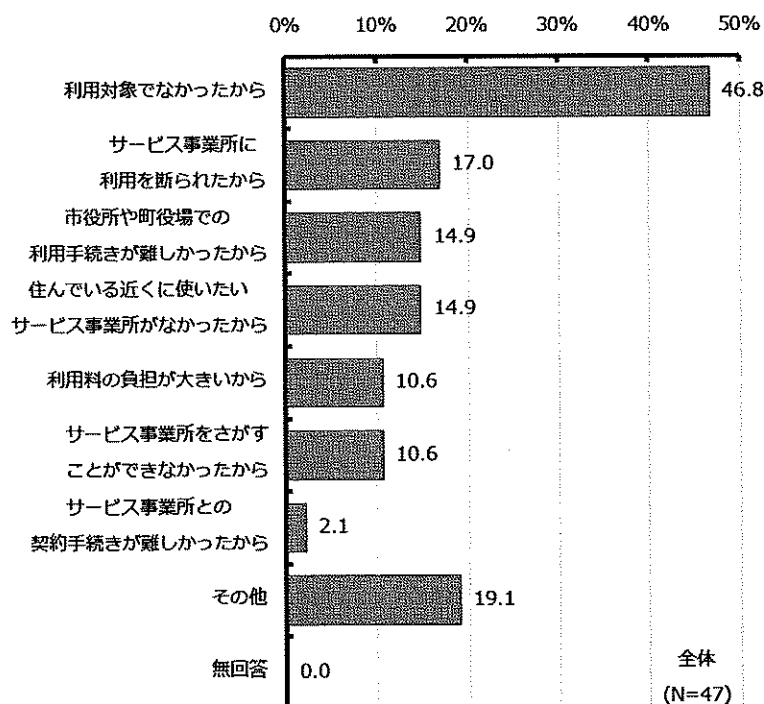
問 17 で「利用を希望したが利用できなかったから」と回答された方にお聞きます。

問 17-2 その理由は何ですか。(複数回答)

サービスの利用を希望したが利用できなかった理由は、「利用対象でなかったから」が46.8%と最も多く、次いで「サービス事業所に利用を断られたから」が17.0%、「市役所や町役場での利用手続きが難しかったから」「住んでいる近くに使いたいサービス事業所がなかったから」がそれぞれ14.9%などとなっています。(図表 72)

※回答肢「その他」19.1%の中では、「定員超過」が多くなっています。

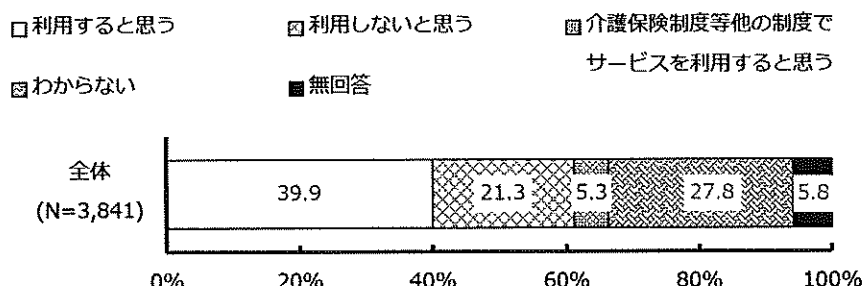
図表 72：全体集計



問 18 あなたは、今後(おおむね3年以内に)、障害福祉サービス等を利用しますか。(単数回答)

今後の障害福祉サービス等の利用意向は、「利用すると思う」が39.9%と最も多く、次いで「わからない」が27.8%などとなっています。(図表 73)

図表 73：全体集計

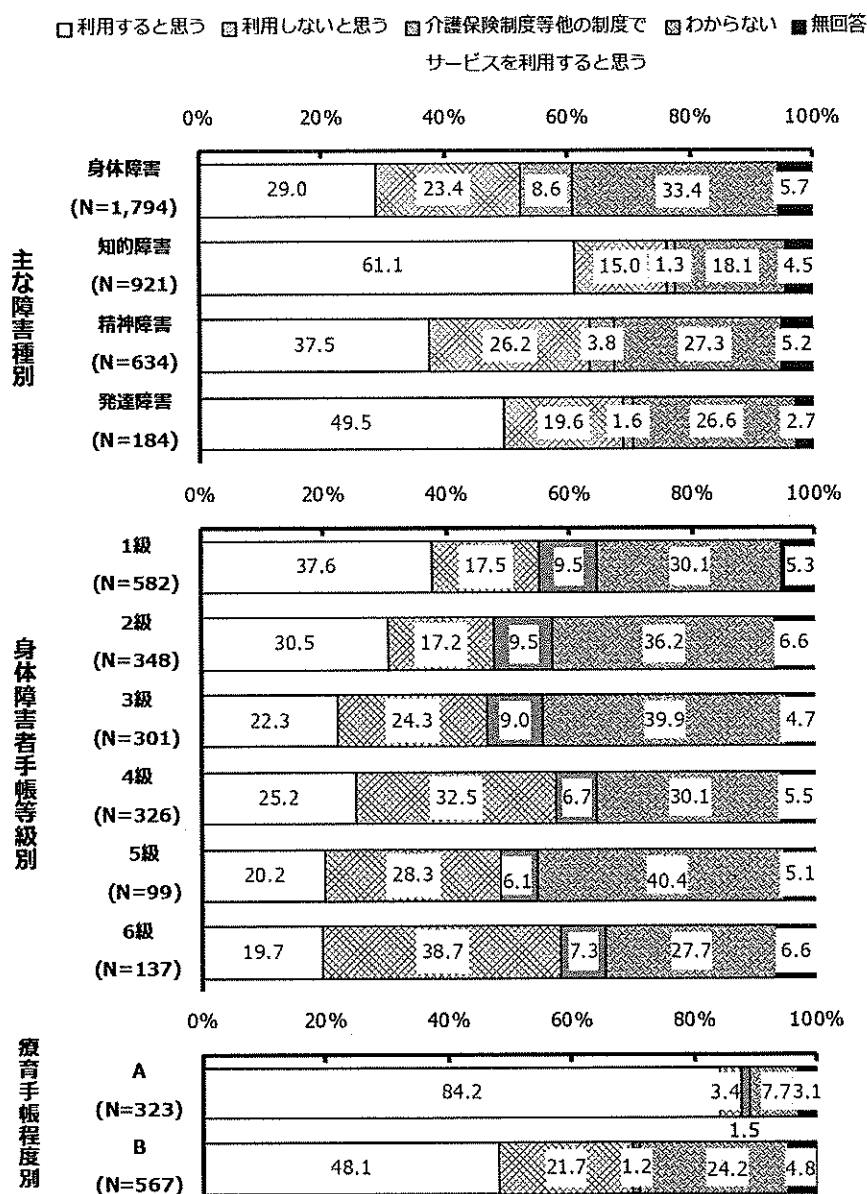


主な障害種別では、知的障害において「利用すると思う」が6割を超えて多くなっています。また、発達障害においても「利用すると思う」が半数近くなっています。(図表 74)

身体障害者手帳等級別では、1級において「利用すると思う」が37.6%と多くなっています。(図表 74)

療育手帳程度別では、Aにおいて「利用すると思う」が84.2%とBより36.1ポイント高くなっています。(図表 74)

図表 74：主な障害種別・身体障害者手帳等級別・療育手帳程度別 集計

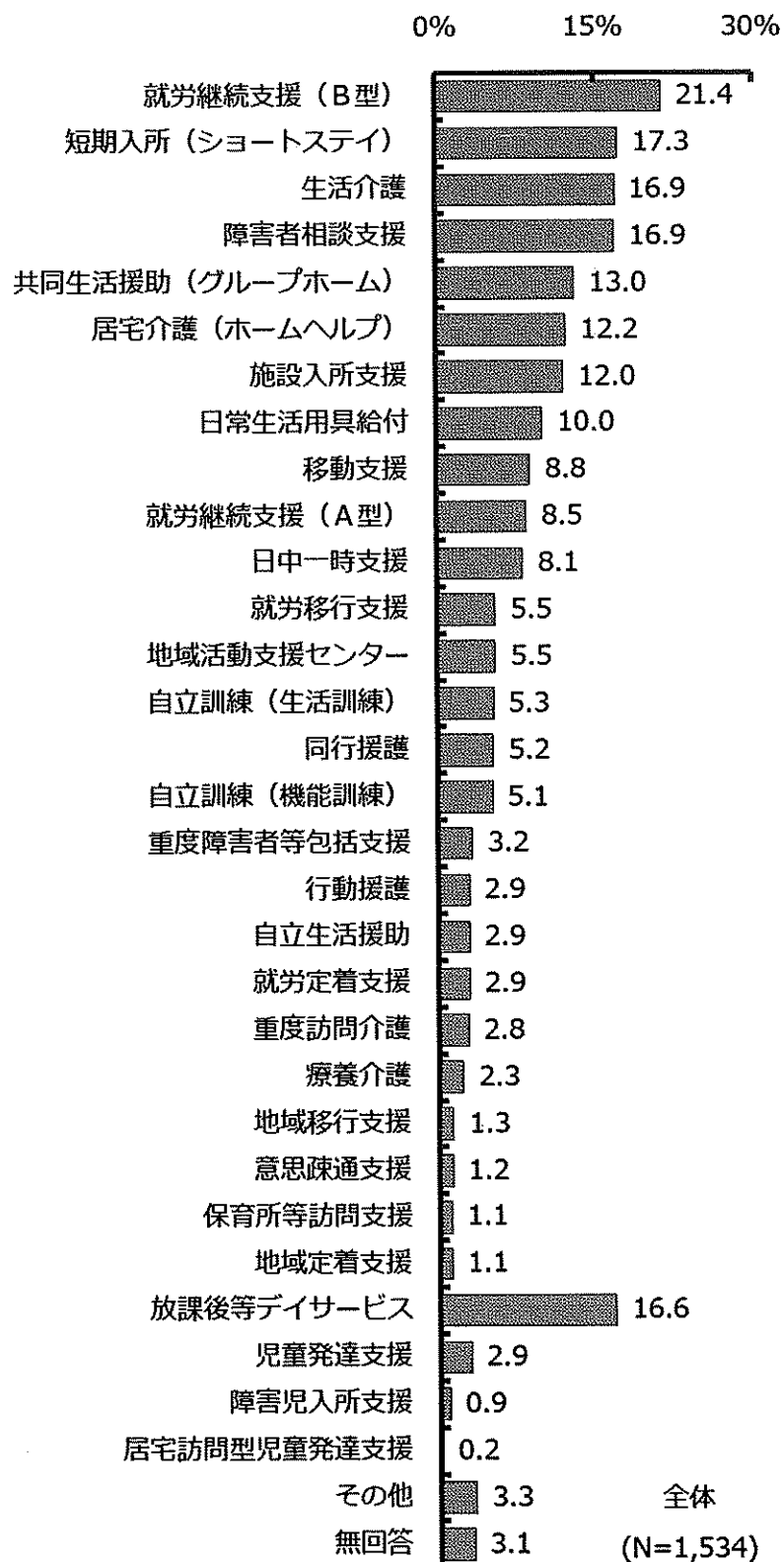


問 18 で障害福祉サービス等を「利用すると思う」と回答された方にお聞きます。

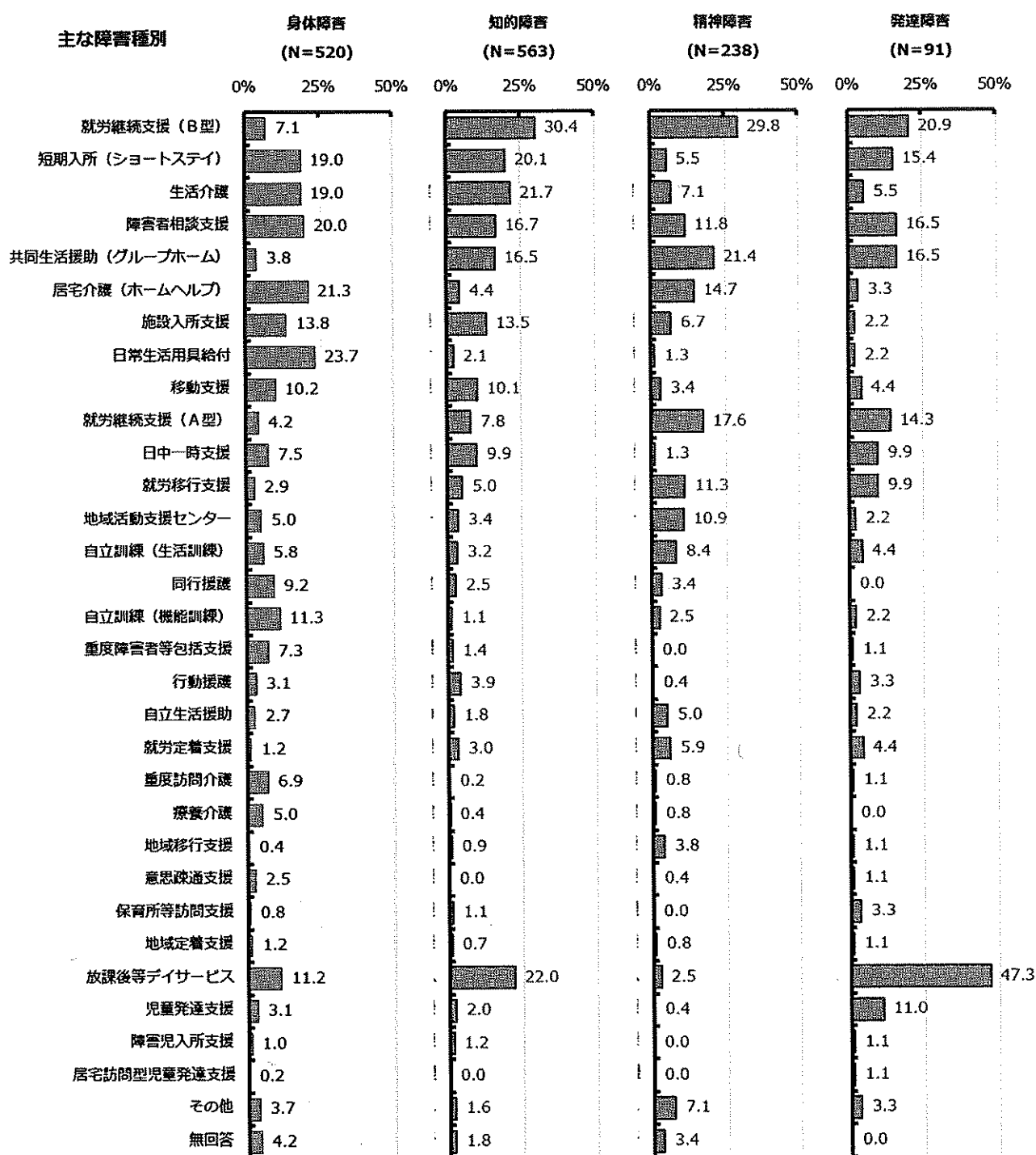
問 18-2 どのようなサービスを利用すると思いますか。(複数回答)

利用すると思うサービスは、最も多いサービスが「就労継続支援（B型）」で21.4%、次いで「短期入所（ショートステイ）」が17.3%、「生活介護」「障害者相談支援」が16.9%、「放課後等デイサービス」が16.6%などとなっています。（図表 75）

図表 75：全体集計

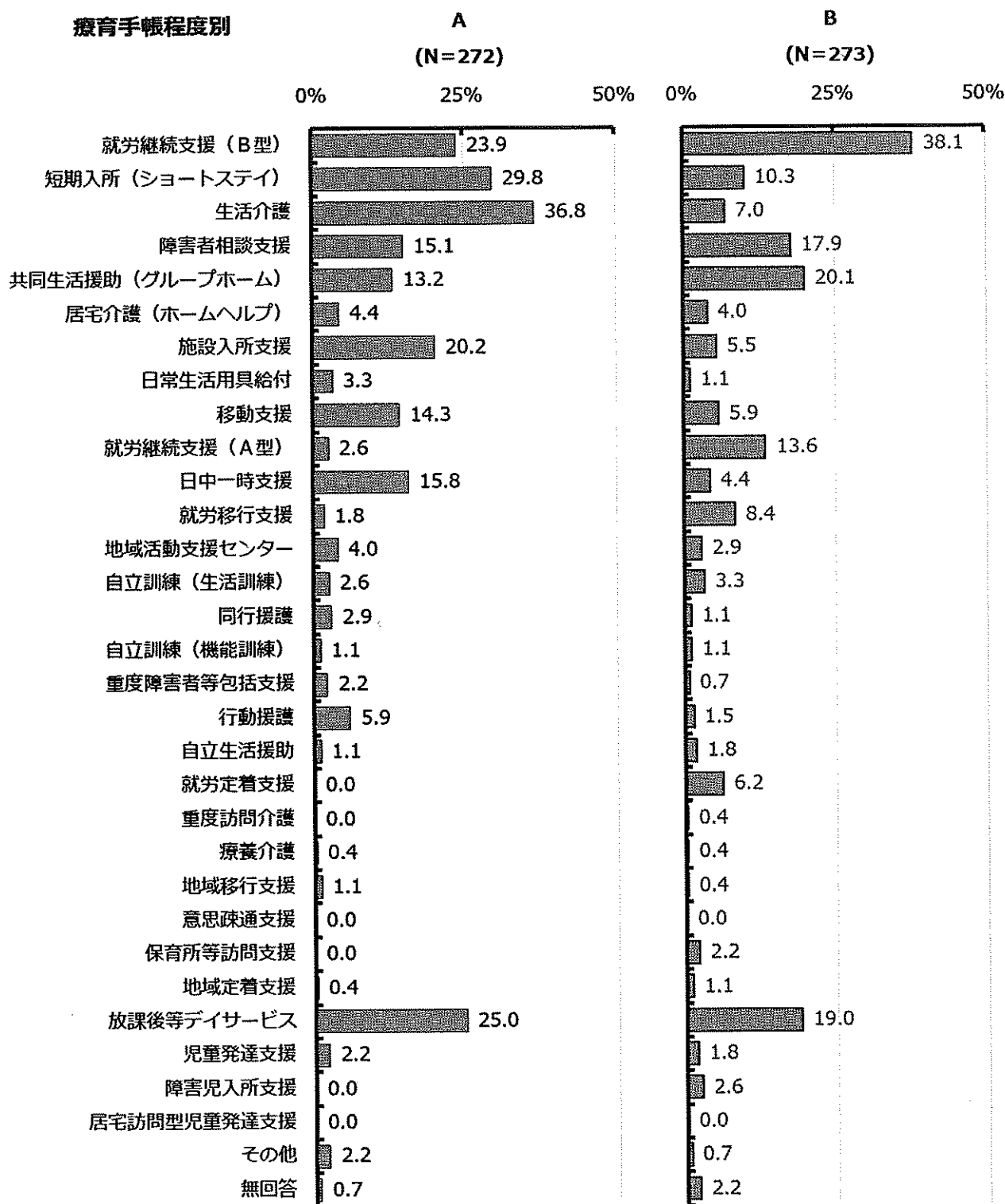


図表 76：主な障害種別 集計



主な障害種別に多いものをあげると、身体障害は「日常生活用具給付」（23.7%）と「居宅介護（ホームヘルプ）」（21.3%）が他の障害種別に比べて多くなっています。知的障害は「就労継続支援（B型）」（30.4%）と「生活介護」（21.7%）、「短期入所（ショートステイ）」（20.1%）が多くなっています。精神障害は「就労継続支援（B型）」（29.8%）と「共同生活援助（グループホーム）」（21.4%）、「就労継続支援（A型）」（17.6%）が多くなっています。発達障害は「放課後等デイサービス」が47.3%と突出して多くなっています。（図表 76）

図表 77：療育手帳程度別 集計



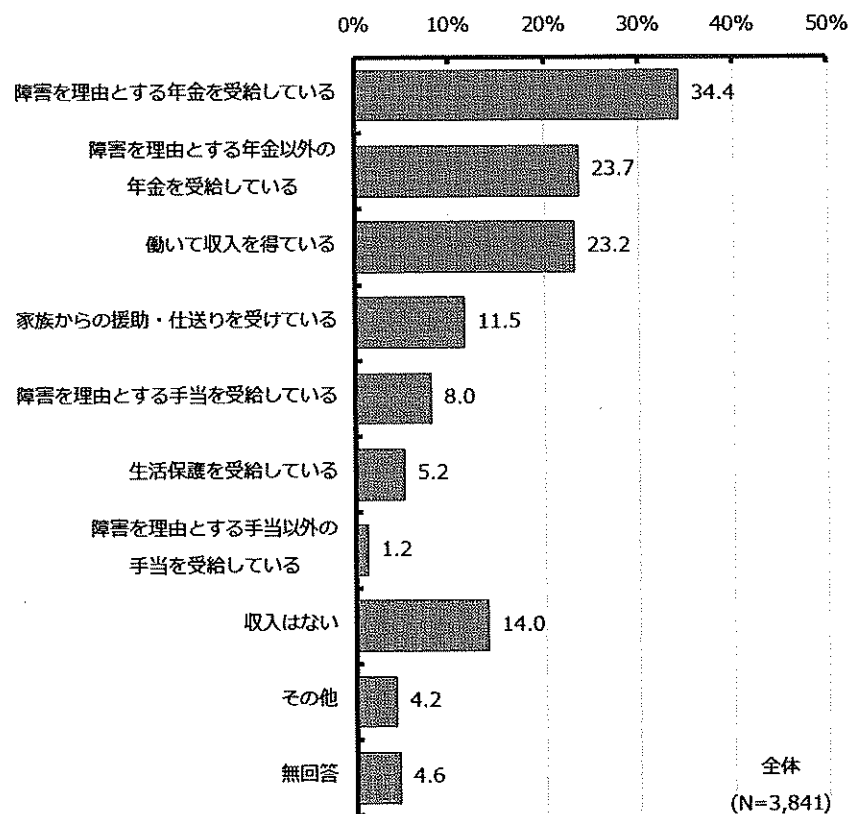
療育手帳程度別では、Aは「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」、「施設入所支援」、「移動支援」、「日中一時支援」、「放課後等デイサービス」がBより多く、Bは「就労継続支援（B型）」、「障害者相談支援」、「共同生活援助（グループホーム）」、「就労継続支援（A型）」がAより多くなっています。（図表 77）

4 仕事や家計について

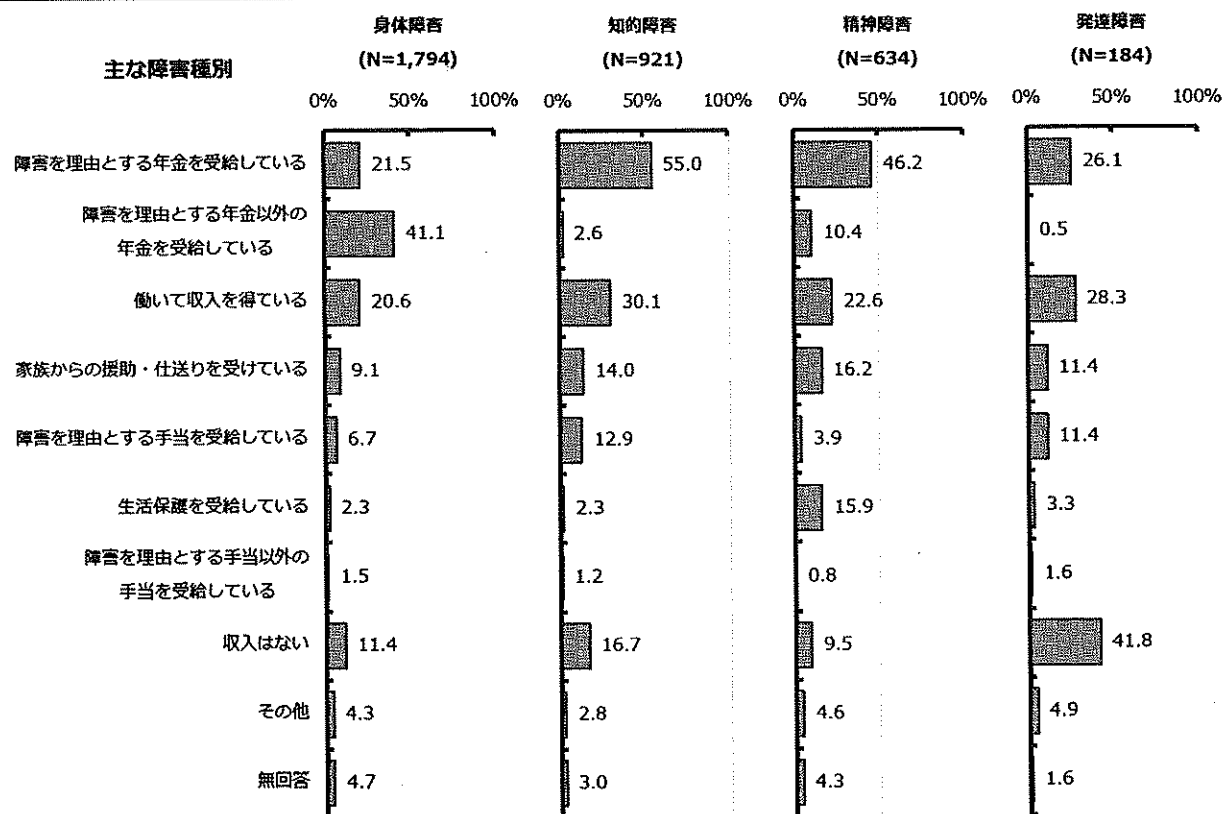
問 19 あなたの主な収入は、次のうちどれですか。（複数回答）

主な収入は、「障害を理由とする年金を受給している」が34.4%と最も多く、次いで「障害を理由とする年金以外の年金を受給している」が23.7%、「働いて収入を得ている」が23.2%などとなっています。また、「収入はない」は14.0%となっています（図表 78）

図表 78：全体集計

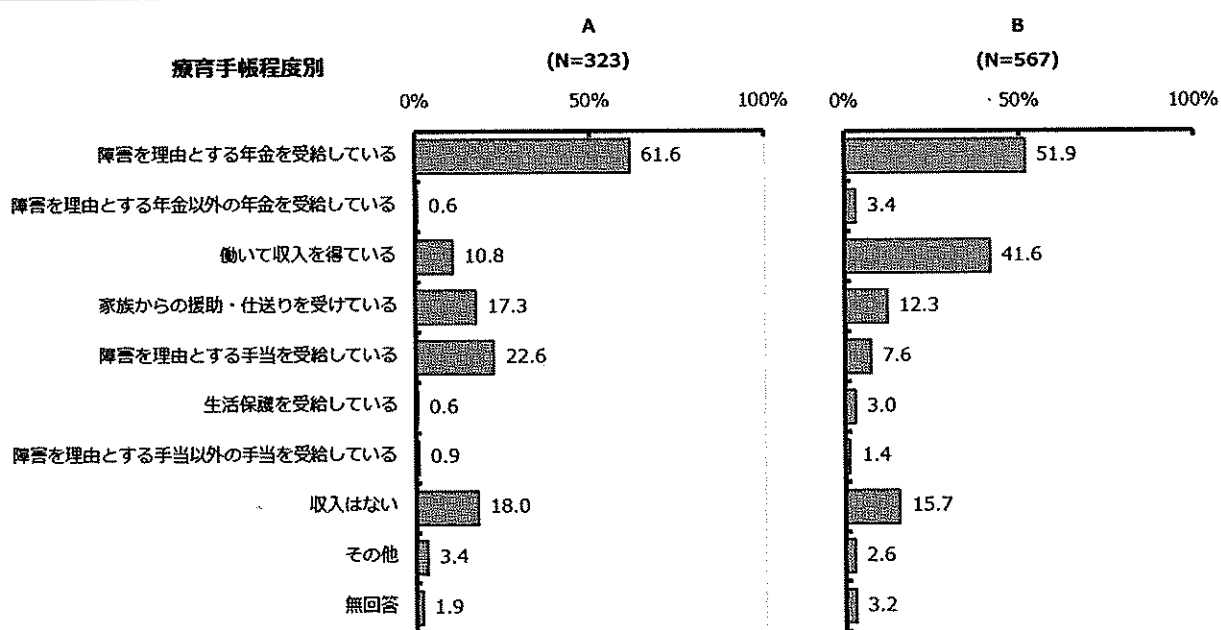


図表 79：主な障害種別 集計



主な障害種別では、知的障害において「障害を理由とする年金を受給している」が半数を超えて多くなっています。(図表 79)

図表 80：療育手帳程度別 集計

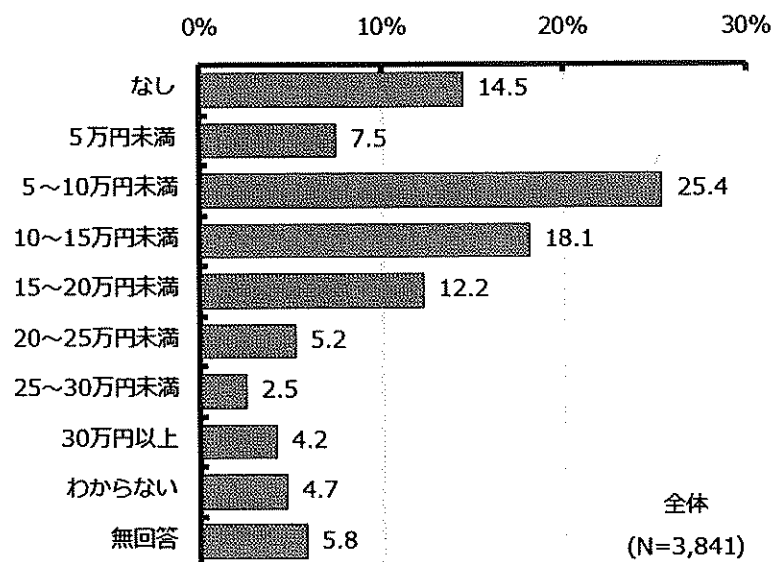


療育手帳程度別では、Aにおいて「障害を理由とする手当を受給している」が61.6%とBより9.7ポイント高く、Bにおいて「働いて収入を得ている」が41.6%とAより30.8ポイント高くなっています。(図表 80)

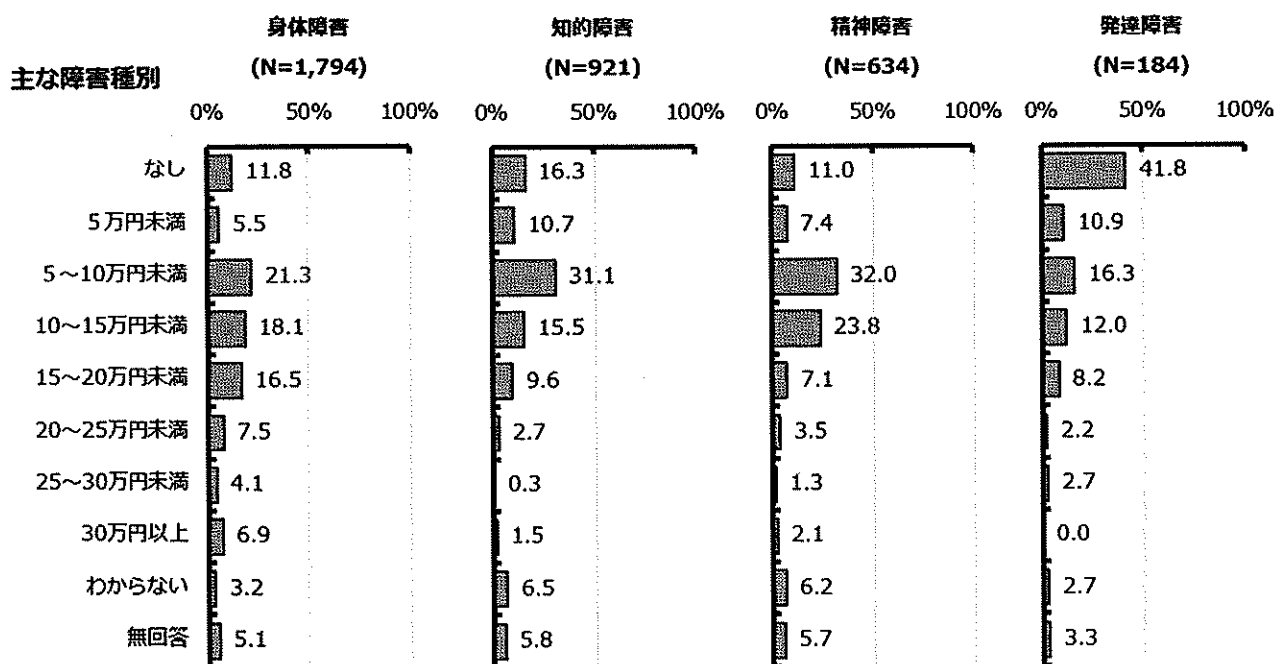
問 20 あなたの月平均の収入(税を含む)はいくらですか。(単数回答)
 (*収入には、あなたが働いて得た収入のほか、年金・手当等も含めてください。)

図表 81：全体集計

月平均の収入は、「5～10万円未満」が25.4%と最も多く、次いで「10～15万円未満」が18.1%、「なし」が14.5%などとなっています。(図表 81)

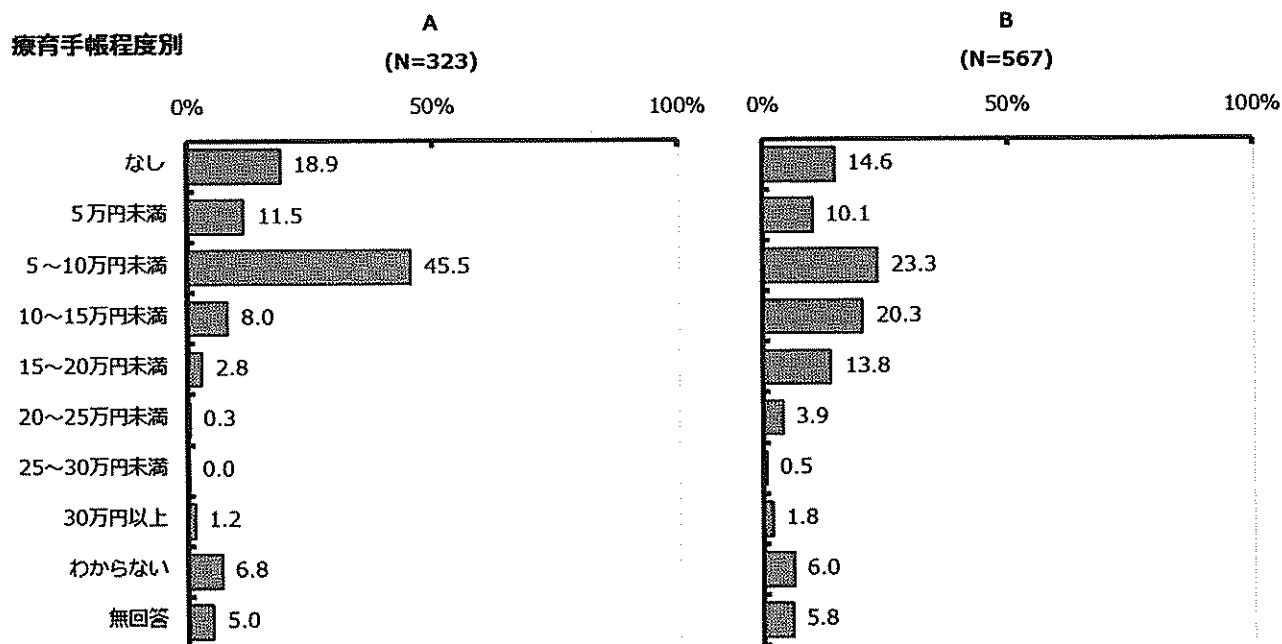


図表 82：主な障害種別 集計



主な障害種別では、身体障害・知的障害・精神障害においては「5～10万円未満」が最も多くなっています。また、発達障害においては「なし」が41.8%と多くなっています。(図表 82)

図表 83：療育手帳程度別 集計

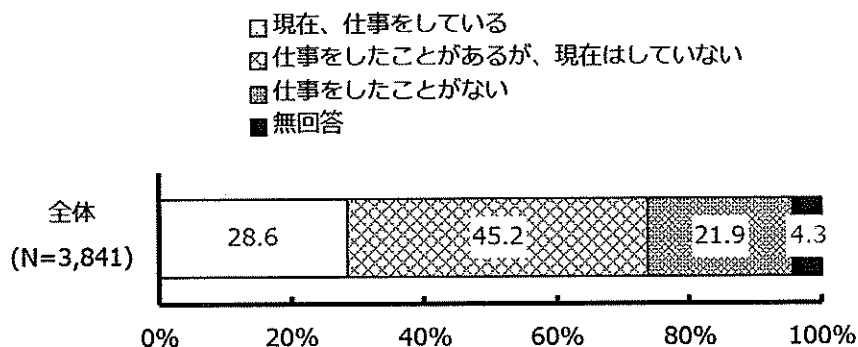


療育手帳程度別では、Aにおいて「5～10万円未満」が45.5%とBより22.2ポイント高く、Bにおいて「10～15万円未満」が20.3%とAより12.3ポイント高くなっています。(図表 83)

問 21 あなたは、これまでに仕事をしたことがありますか。(単数回答)

就労状況は、「仕事をすることがあるが、現在はしていない」が45.2%と最も多く、次いで「現在、仕事をしている」が28.6%、「仕事をすることがない」が21.9%となっています。(図表 84)

図表 84：全体集計



稼働年齢（16歳～64歳）の就労状況は、「現在、仕事をしている」が42.3%と最も多く、次いで「仕事をしたことがあるが、現在はしていない」が36.3%、「仕事をしたことがない」が17.9%となっています。（図表 85）

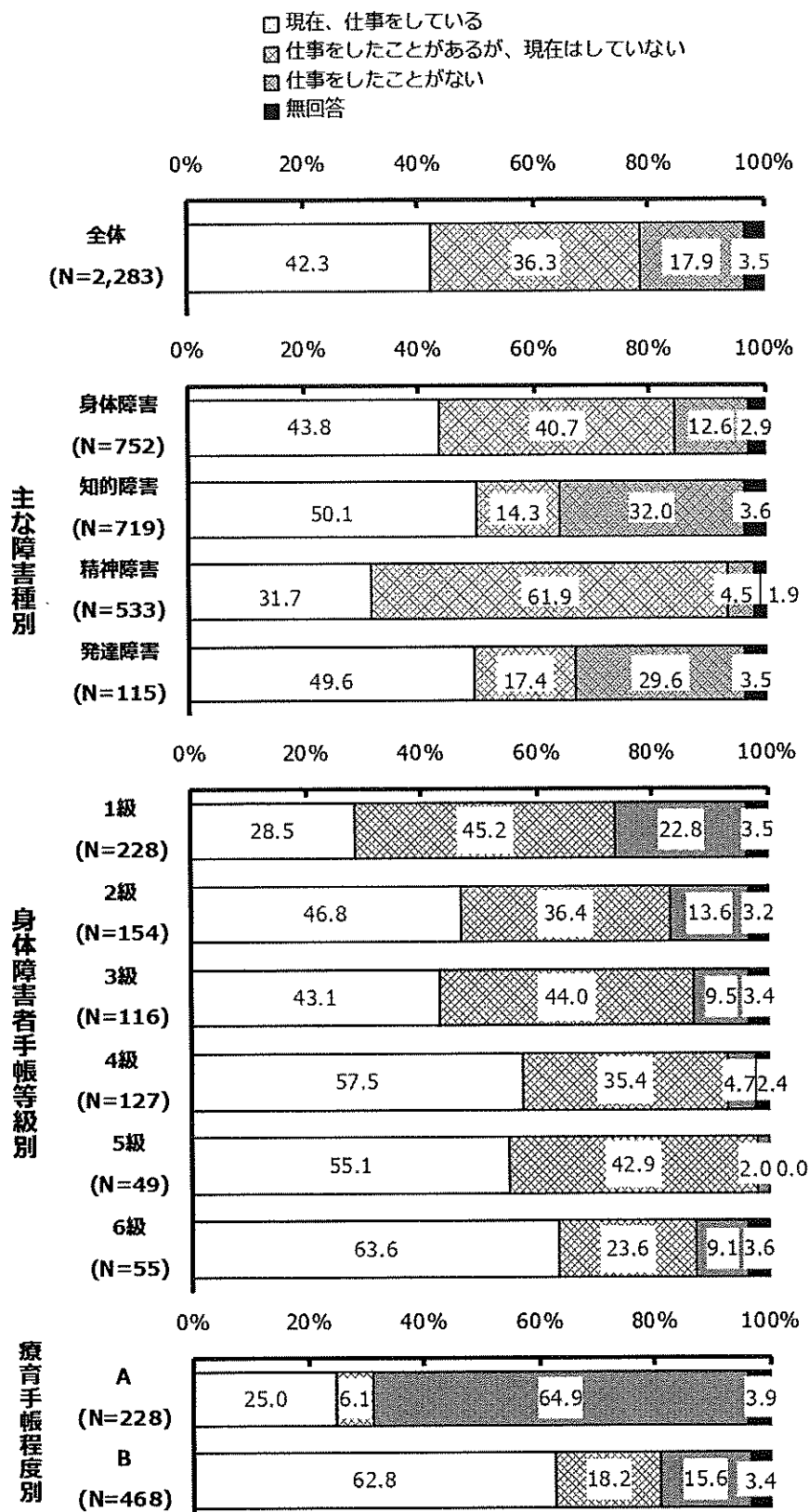
稼働年齢（16歳～64歳）の主な障害種別では、身体障害・知的障害・発達障害において「現在、仕事をしている」が最も多く、精神障害において「仕事をしたことがあるが、現在はしていない」が61.9%と最も多くなっています。（図表 85）

稼働年齢（16歳～64歳）の身体障害者手帳等級別では、4～6級において「現在、仕事をしている」が半数を超えて最も多く、1級において「仕事をしたことがない」が22.8%と多くなっています。（図表 85）

稼働年齢（16歳～64歳）の療育手帳程度別では、Aにおいて「仕事をしたことがない」が64.9%とBより49.3ポイント高く、Bにおいて「現在、仕事をしている」、「仕事をしたことがあるが、現在はしていない」がAより多くなっています。（図表 85）

図表 85：稼働年齢での全体・主な障害種別・障害者手帳等級別

・療育手帳程度 集計

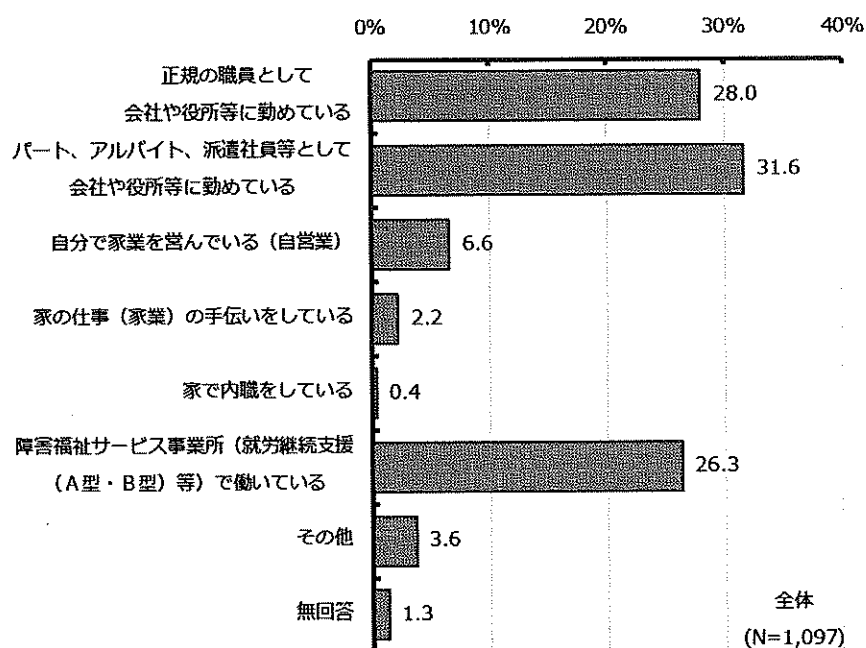


問21で「現在、仕事をしている」と回答された方にお聞きます。

問21-2 どのような仕事をしていますか。(単数回答)

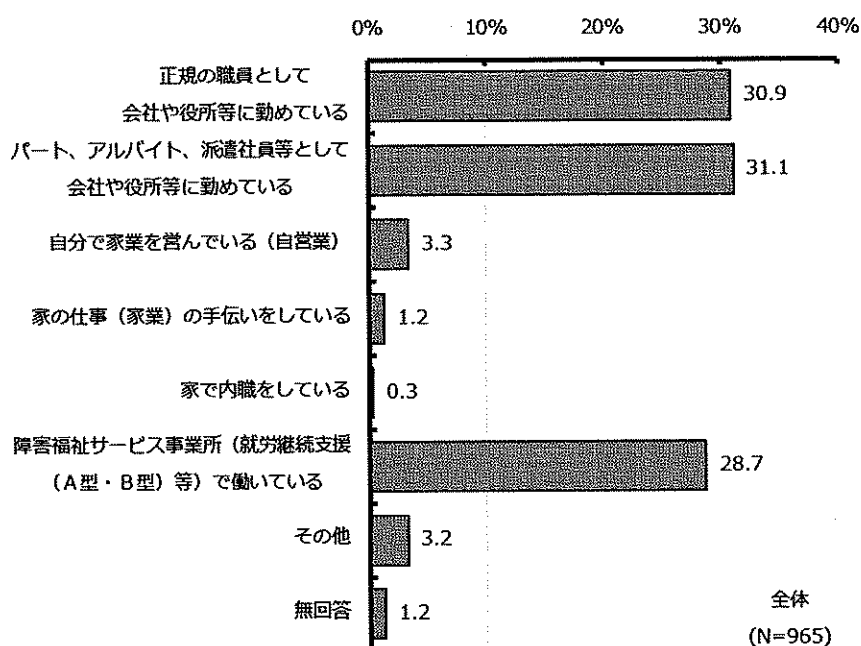
就労形態は、「パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている」が31.6%と最も多く、次いで「正規の職員として会社や役所等に勤めている」が28.0%、「障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型・B型）等）で働いている」が26.3%などとなっています。（図表86）

図表 86：全体集計

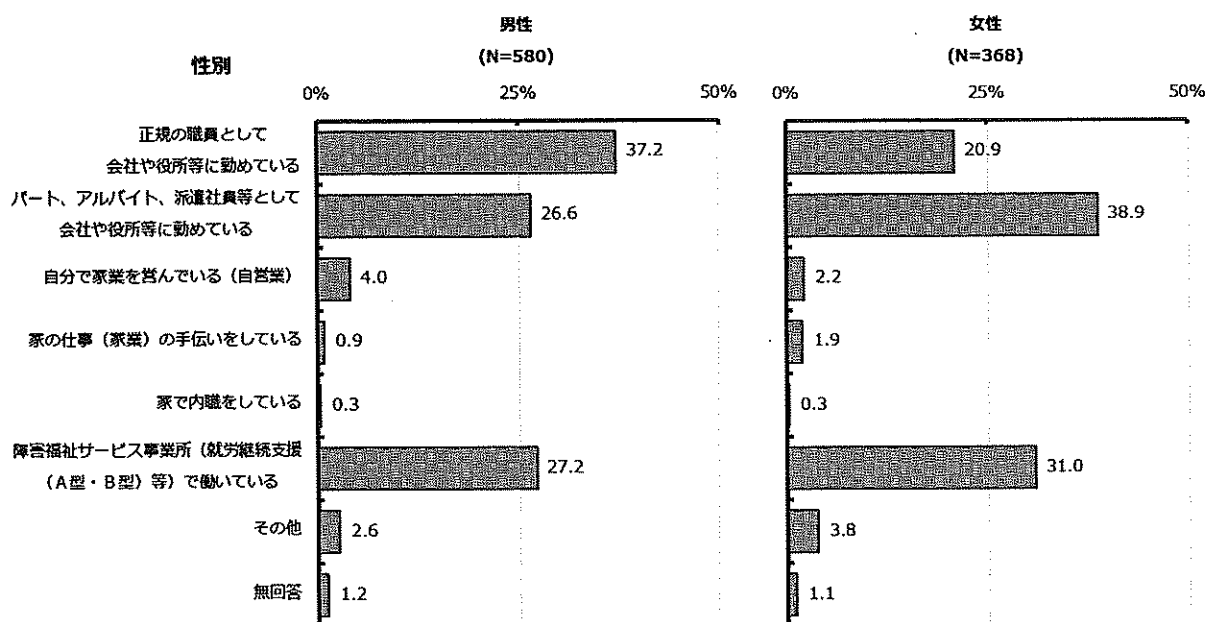


図表 87：稼働年齢での全体集計

稼働年齢（16歳～64歳）の就労形態は、「パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている」が31.1%と最も多く、次いで「正規の職員として会社や役所等に勤めている」が30.9%、「障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型・B型）等）で働いている」が28.7%などとなっています。（図表87）

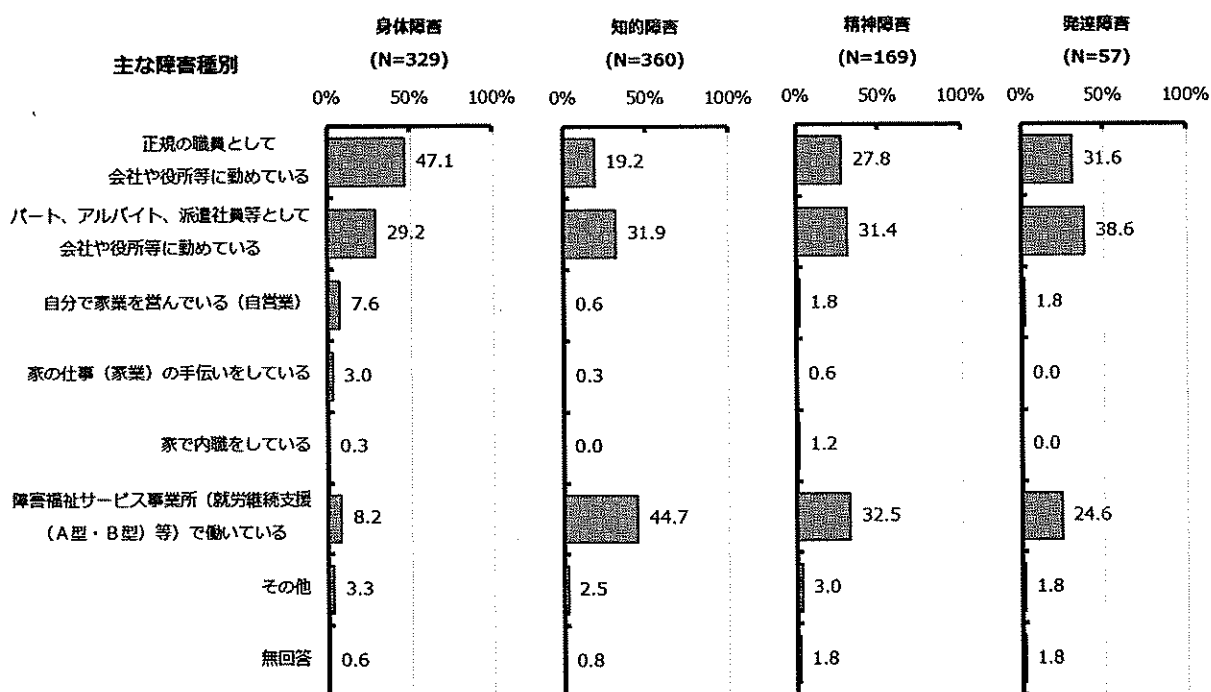


図表 88：稼働年齢での性別 集計



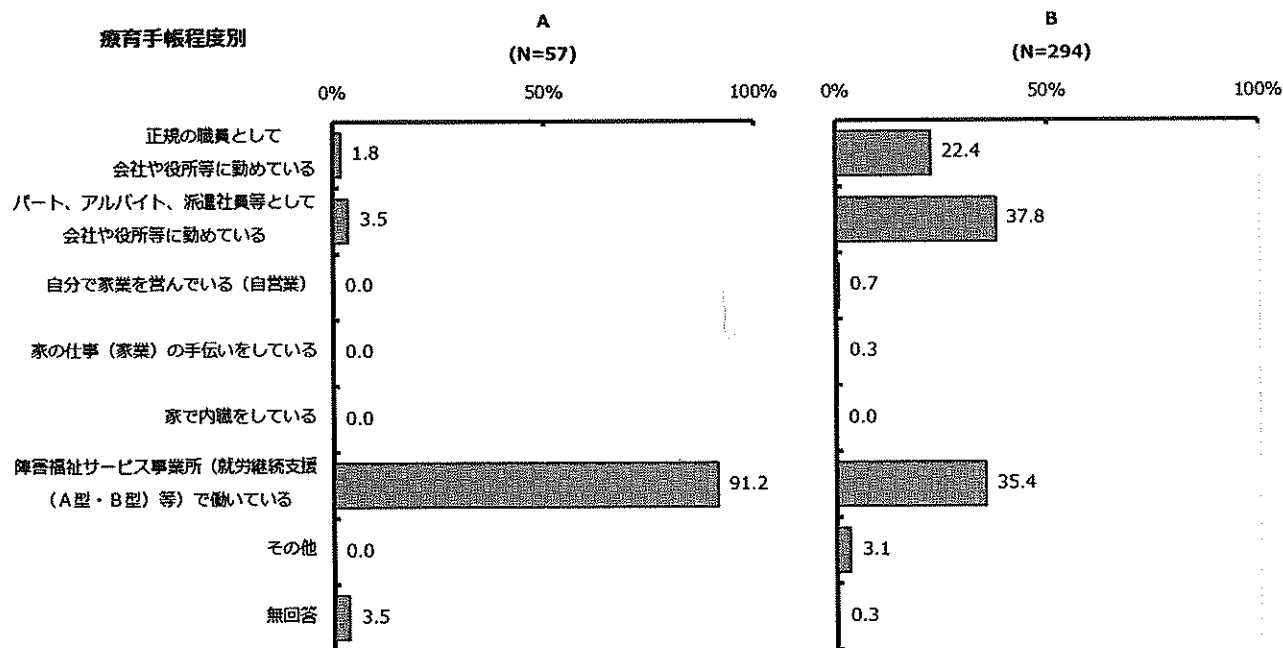
稼働年齢（16歳～64歳）の性別では、男性において「正規の職員として会社や役所等に勤めている」が37.2%と女性より16.3ポイント高く、女性において「パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている」が38.9%と男性より12.3ポイント高くなっています。（図表88）

図表 89：稼働年齢での主な障害種別 集計



稼働年齢（16歳～64歳）の主な障害種別では、身体障害において「正規の職員として会社や役所等に勤めている」が47.1%と最も多くなっています。また、知的障害において「障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型・B型）等）で働いている」が最も多くなっています。（図表89）

図表 90：稼働年齢での療育手帳程度別 集計

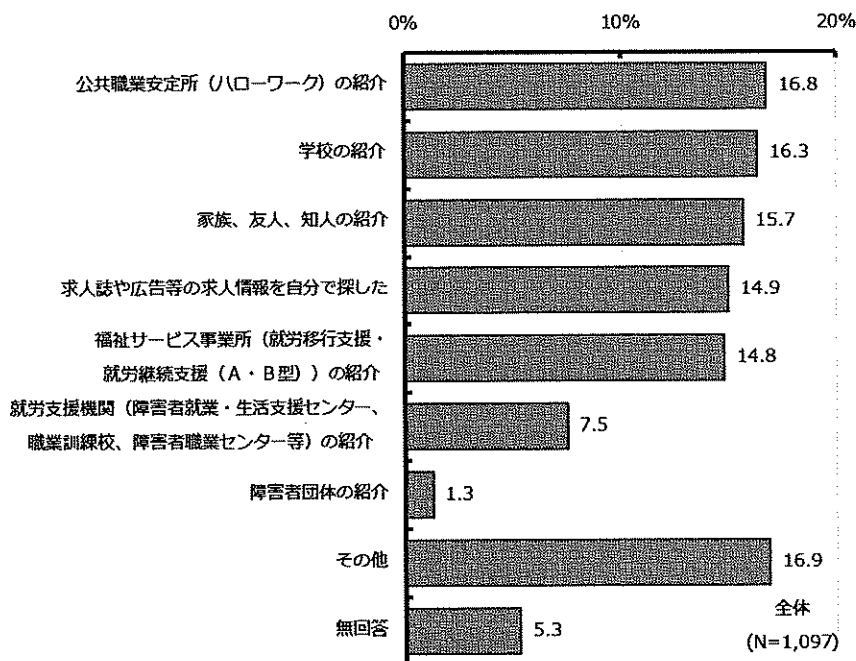


稼働年齢（16歳～64歳）の療育手帳程度別では、Aにおいて「障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型・B型）等）で働いている」が91.2%とBより55.8ポイント高く、Bにおいて「正規の職員として会社や役所等に勤めている」、「パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている」が多くなっています。（図表 90）

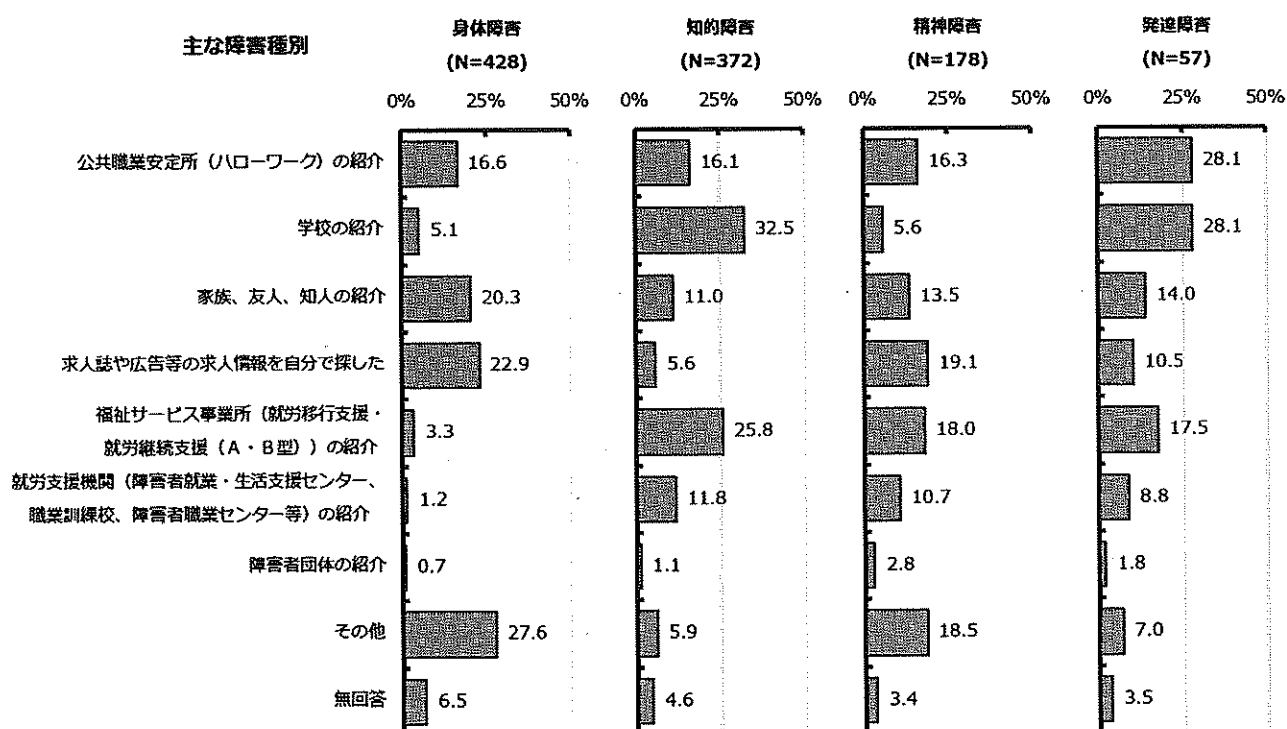
問21で「現在、仕事をしている」と回答された方にお聞きます。
問21-3 現在の仕事をどのように見つけましたか。（複数回答）

現在の仕事に就いたきっかけは、「公共職業安定所（ハローワーク）の紹介」が16.8%と最も多く、次いで「学校の紹介」が16.3%、「学校、友人、知人の紹介」が15.7%などとなっています。（図表 91）

図表 91：全体集計



図表 92：主な障害種別 集計



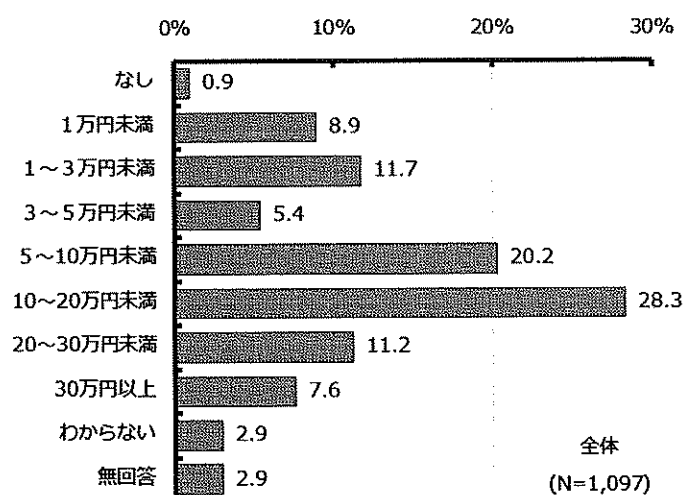
主な障害種別では、身体障害は「求人誌や広告等の求人情報を自分で探した」（22.9%）が最も多く、知的障害は他の障害に比べ「学校の紹介」（32.5%）や「福祉サービス事業所（就労移行支援・就労継続支援（A・B型））の紹介」（25.8%）が多くなっています。（図表 92）

問 21 で「現在、仕事をしている」と回答された方にお聞きます。

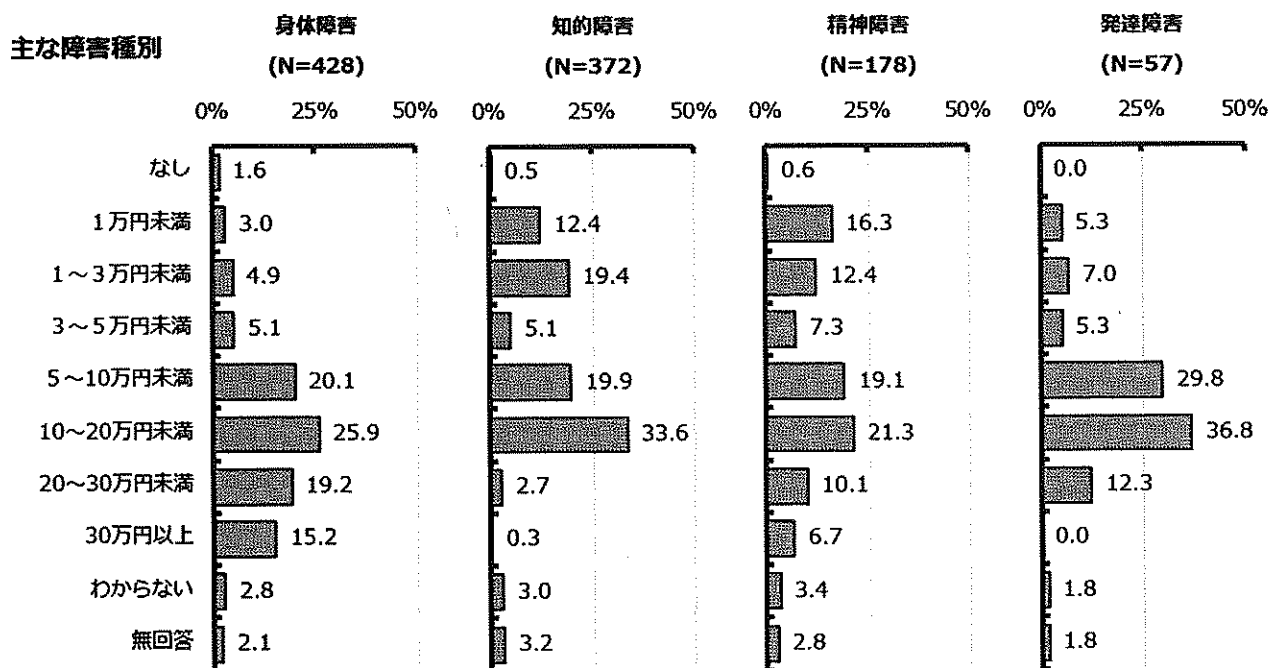
問 21-4 仕事によって得られる月平均の収入（税を含む）はいくらですか。（単数回答）

仕事によって得られる月平均の収入（税を含む）は、「10～20 万円未満」が 28.3%と最も多く、次いで「5～10 万円未満」が 20.2%、「1～3 万円未満」が 11.7%、「20～30 万円未満」が 11.2%などとなっています。（図表 93）

図表 93：全体集計

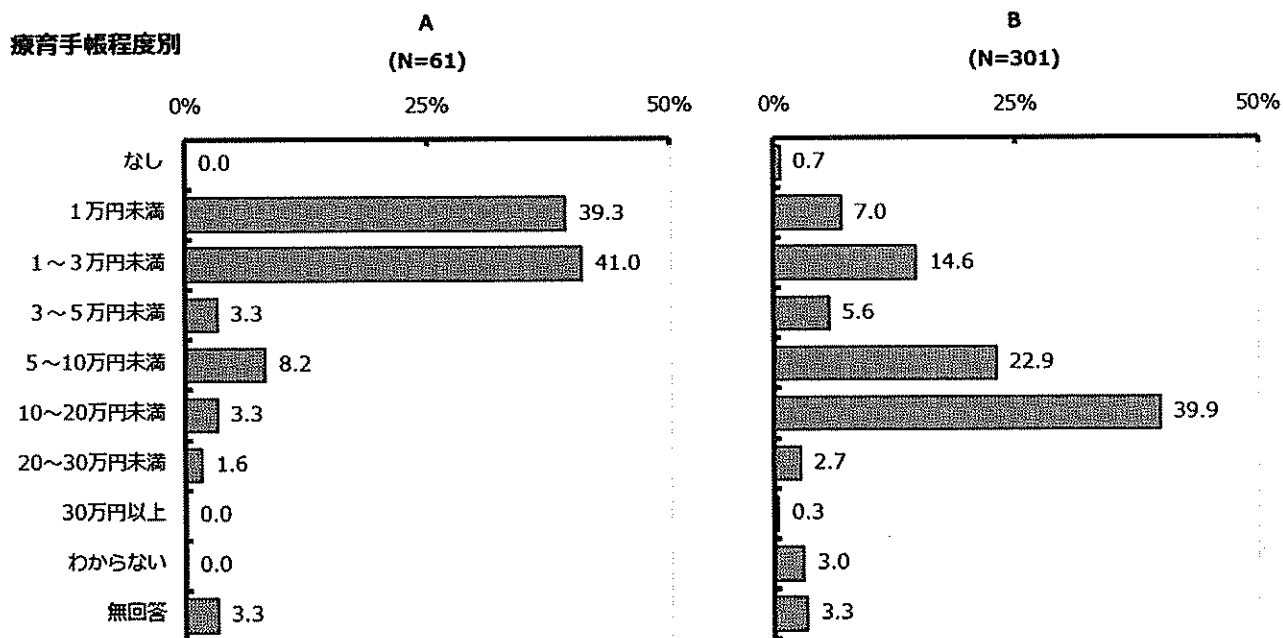


図表 94：主な障害種別 集計



主な障害種別では、すべての障害において「10～20 万円未満」が最も多くなっています。(図表 94)

図表 95：療育手帳程度別 集計



療育手帳程度別では、Aにおいて「1 万円未満」、「1～3 万円未満」がBより多く、Bにおいて「5～10 万円未満」、「10～20 万円未満」がAより多くなっています。(図表 95)

問21で「仕事をしたことがあるが、現在はしていない」または「仕事をしたことがない」と回答された方にお聞きします。

問21-5 あなたは、将来、会社等で働きたいですか。(単数回答)

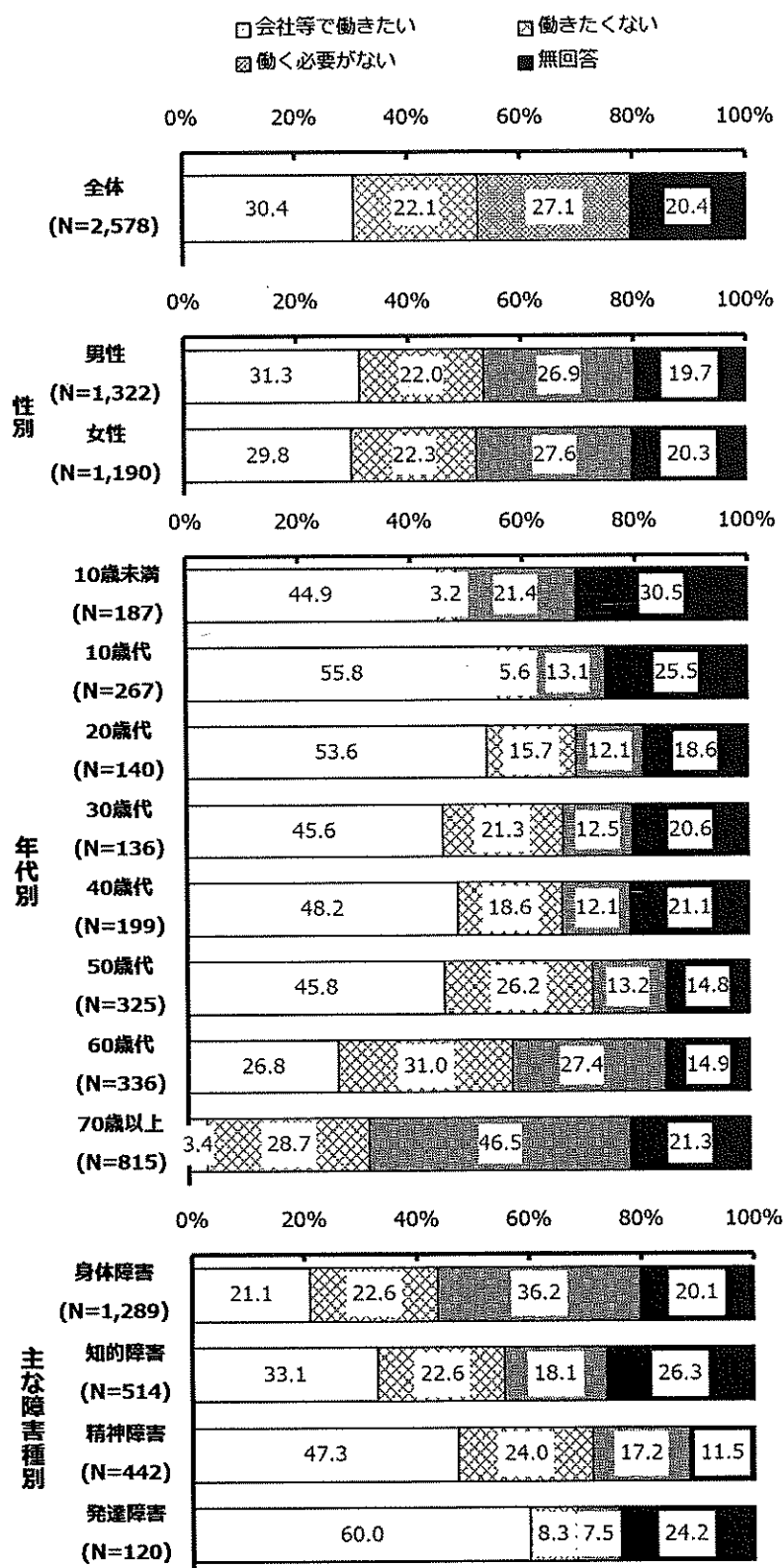
将来の就労意向は、「会社等で働きたい」が30.4%と最も多く、次いで「働く必要がない」が27.1%、「働きたくない」が22.1%となっています。(図表96)

性別では、大きな差異はみられません。(図表96)

年代別では、60歳代において「働きたくない」が3割を超えて多くなっています。また、70歳以上において「会社等で働きたい」が3.4%と少なく、「働く必要がない」が46.5%と多くなっています。(図表96)

主な障害種別では、身体障害において「働く必要がない」が36.2%と最も多く、発達障害において「会社等で働きたい」が60.0%と最も多くなっています。(図表96)

図表96：全体・性別・年代別・主な障害種別 集計



5 生活の環境や安全・安心について

問 22 自分の住んでいる街が、障害のある人にとって安心して暮らせるところだと思いますか。(単数回答)

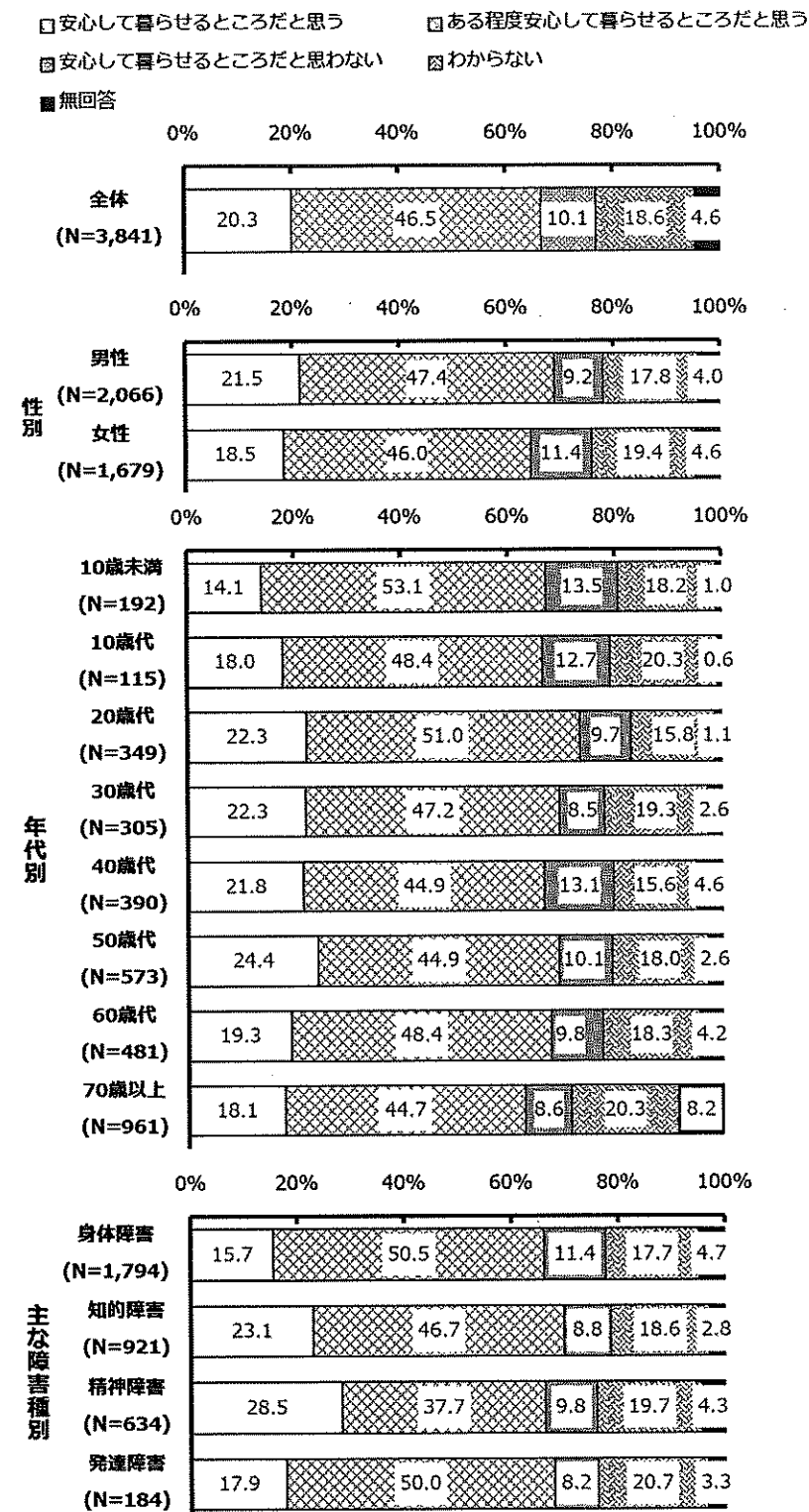
自分の住んでいる街が、障害のある人にとって安心して暮らせるところだと思うかについては、「ある程度安心して暮らせるところだと思う」が46.5%と最も多く、次いで「安心して暮らせるところだと思う」が20.3%と続いています。また、『安心して暮らせるところだと思う+ある程度安心して暮らせるところだと思う』は、66.8%となっています。(図表 97)

性別では、大きな差異はみられません。(図表 97)

年代別では、10歳未満において「安心して暮らせるところだと思う」が14.1%と少なくなっています。また、『安心して暮らせるところだと思う+ある程度安心して暮らせるところだと思う』は、20歳代において7割を超えています。(図表 97)

主な障害種別では、精神障害において「安心して暮らせるところだと思う」が28.5%と多くなっています。(図表 97)

図表 97：全体・性別・年代別・主な障害種別 集計



問22で「安心して暮らせるところだと思わない」と回答された方にお聞きます。

問22-2 暮らしやすい街にするためには何が必要だと思いますか。

具体的に記載してください。

問22の設問で、「安心して暮らせるところだと思わない」と回答した方が、暮らしやすい街にするために必要だと思うこととして記入されていたのは、「街のバリアフリー化等」が最も多く、次いで「心のバリアフリー化・障害に対する理解」の順となっています。

主な障害種別では、身体障害において「街のバリアフリー化等」が最も多く、知的障害・精神障害・発達障害において「心のバリアフリー化・障害に対する理解」が最も多くなっています。(図表98)

図表98：暮らしやすい街にするために必要だと思うこと 分類後の件数

(単位：件)	街のバリアフリー化等	心のバリアフリー化・障害に対する理解	福祉施設サービスの充実	医療サービスの充実	行政機関の対応	防災対策	防犯対策	交通安全対策
身体障害	61	26	20	4	10	9	0	0
知的障害	6	25	14	2	2	3	0	0
精神障害	7	15	5	0	1	1	3	0
発達障害	2	7	1	0	0	0	0	0
その他	1	0	2	1	1	0	0	1
無回答	1	0	1	0	2	0	0	0
計	78	73	43	7	16	13	3	1

(単位：件)	情報保障	商業施設の充実	交通機関の充実・移動手段	雇用支援	賃金・経済的な上昇、割引・など	ミニユニ関係・シヨ	人間関係・その他	計
身体障害	1	4	23	2	14	7	8	189
知的障害	3	0	6	1	4	4	2	72
精神障害	3	1	5	1	7	3	4	56
発達障害	0	1	0	2	0	0	2	15
その他	0	1	1	0	0	1	0	9
無回答	0	1	1	0	0	0	1	7
計	7	8	36	6	25	15	17	348

主な意見（抜粋）

【街のバリアフリー化等】

- ・視力障害があるため、歩道に凹凸があったり、横断歩道が欲しいところになかったりすると外出しにくい。
- ・道路の整備（歩道、点字ブロック、道路わきの白線、音声信号など）。
- ・街灯や誘導ブロックが少ない。
- ・生活をする場、仕事のある場（施設）、インクルージング公園などの社会資源を増やす。移動手段などいつでも気軽に利用できる場所、色々な人と交流できる場所。

【心のバリアフリー化・障害に対する理解】

- ・いろいろな障害のある人がいる中、理解されるのは難しいと思う。人権について知る機会を職場などで増やす。
- ・地域住民に障害の理解と近隣住民の間接的な見守りサポートや必要な部分にボランティアを支援できる地域ネットワークの強化、地域社会に気兼ねなく参加できる環境作りが必要だと思います。
- ・見た目で障害者と見られていないため困った事は沢山あります。介助がしやすい方向にお願いしたいです。
- ・多様性が認められてきている現代社会において1部しか認められていない状況や障害者に対しての偏見や固定概念などで埋め尽くされている為その部分を無くし全体を認められるような社会づくり。

【福祉サービスの充実等】

- ・すべての障がいに対応できるサービス、施設が近くに必要。
- ・気軽に相談できる所、居場所などが必要と感じています。
- ・介護保険だけでなく、障害の支援居宅介護ヘルパーをふやしてほしい。送迎のある作業所をふやしてほしい。
- ・若年層の精神疾患患者への生計・就労サポート及びサポート施設の充実。

【医療サービスの充実等】

- ・病院、施設等が遠い、救急車の台数が少ない。
- ・医療ケアが必要な未就学児が利用できる保育所等の拡充。
- ・介護に安心感がもてない。近所に医療機関が一箇所、眼科がない。

【行政機関の対応等】

- ・行政がもっと障害のある方に寄り添って欲しい。サービスが不足している。働く場所がない。
- ・サービスが充実していないし、対応があまりいいものとは言えない。
- ・介護度等で受けられるサービスが違うが日々出来る動作が違って来るので即応して対処していただきたい。

【防災対策】

- ・災害時、自分で移動できない。避難するところがない。安心して避難できる場所が必要。
- ・防災対策 障害者に対しての現実的な課題がある。
- ・ハザードマップで災害指定場所になっている。移住しているのでこの地の習慣がわからない。

【防犯対策】

- ・パトロール（警察の介入）。

【交通安全対策】

- ・家も多いが交通量が多いので事故が多い。

【情報保障】

- ・情報開示。役場の福祉課は率先して色々発信してほしい。本当にいつも教えてくれない（ネットで調べている）。
- ・偏見、差別、理解を求められないので正確な情報を発信してほしい。
- ・福祉サービスを受けられる案内がもっとわかりやすく示してほしい。スマホのアプリに作ってほしい。イベントも多く開催してほしい。
- ・障害者に対する情報が欲しい。障害者がいる事を理解してもらいたい。

【商業施設の充実】

- ・買い物に不便。近くにスーパーがない。
- ・身障者用の駐車場はあるのに、飲食店に行くと車いす用(多目的)のトイレがないので困る。

【交通機関・移動手段の充実】

- ・車が無いと地区から出られず、買い物も出来ない。病院や買い物のための交通支援。
- ・生活圏内を回るミニバス等の整備。
- ・緊急に高度な医療を受ける必要がある場合、間に合わない恐れがある。伊豆縦貫道の早期完成、医療機関の整備。

【雇用支援】

- ・障害者が活躍出来、充実した生活を送る為に、理解や特性が生かせる雇用を創設してもらいたい。
- ・まだ小学一年生なのですが、障害児の働く場所がもっといろいろ増えて欲しいと感じるし、健常児と障害児が分離されている子供時代を送ることで、社会に出たあとの不安はたくさんあります。視覚障害者が働ける場所が少ない。サポートしてくれる所が少ない。

【経済的な支援・賃金上昇、割引など】

- ・市、行政の支援・援助など説明がなく非常に不安を抱えている。どこに相談していいかもわからない。
- ・手当の充実、特別支援学校の増設、発達障害専門の医療機関の増設。
- ・意味のわからないマニュアルがおおすぎる。一人一人にあった支援をしてほしい。

【人間関係・コミュニケーション】

- ・言語障害なので、TELにもでれない。何かあっても、連絡もとれない。110番も119番もできない。
- ・組ごとに役(神社総代、水道組合、体育委員、祭りの係)が廻ってくる。それを安心して回避できるようになって欲しい。お金で解決できるのなら、(罰金とか)そうしたい。
- ・地域の人が助け合う街にしたい。
- ・スタッフの人手、不足の為、ゆっくり会話がされずただテレビのみが楽しみの様子。外出の楽しみが全くない。

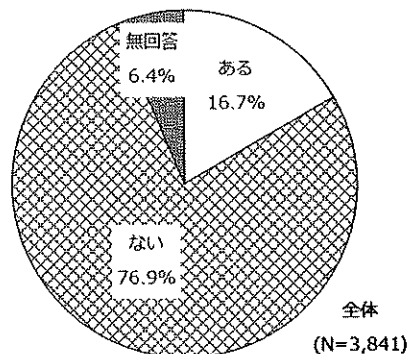
【その他】

- ・遊ぶ所がない。周りへの配慮が必要の為人が多いところでは遊べない。体育館などの室内を借りてあそべたりしたい。遊び道具もあると良い。沼津市の公園は全体的に古い。
- ・不審者という考え方を学校で子供に教えることをやめる。
- ・全体的に、なんでもなくて不便。
- ・今の家が借家なので今まで築いてきて人たちと一緒にいられない。人の質をあげる。
- ・再教育を施して欲しい。

問 23 生活をしている中で、差別や虐待を受けたことはありますか。(単数回答)
 *「虐待」とは身体的なものだけでなく、金銭的、心理的、性的な虐待を含みます。

生活をしている中で、差別や虐待を受けたことの有無は、「ある」が16.7%、「ない」が76.9%となっています。(図表 99)

図表 99：全体集計

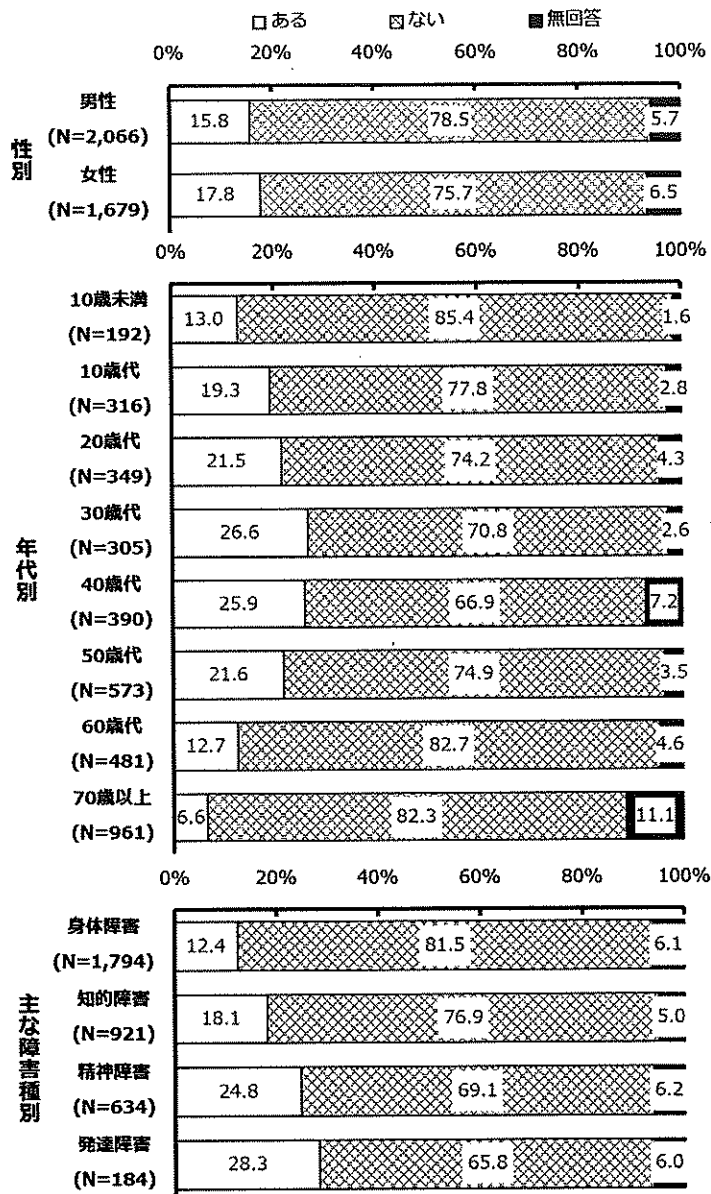


性別では、大きな差異はみられません。(図表 100)

年代別では、20 歳代から50 歳代までの年代では「ある」が2割を超えて多くなっています。(図表 100)

主な障害種別では、精神障害・発達障害において「ある」が2割を超えて多くなっています。(図表 100)

図表 100：性別・年代別・主な障害種別 集計

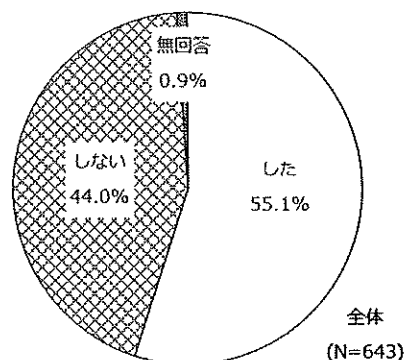


問23で「ある」と回答された方にお聞きます。

問23-2 差別や虐待を受けたことを誰かに相談しましたか。(単数回答)

差別や虐待を受けたことの相談経験は、「した」が55.1%、「しない」が44.0%となっています。(図表101)

図表101：全体集計

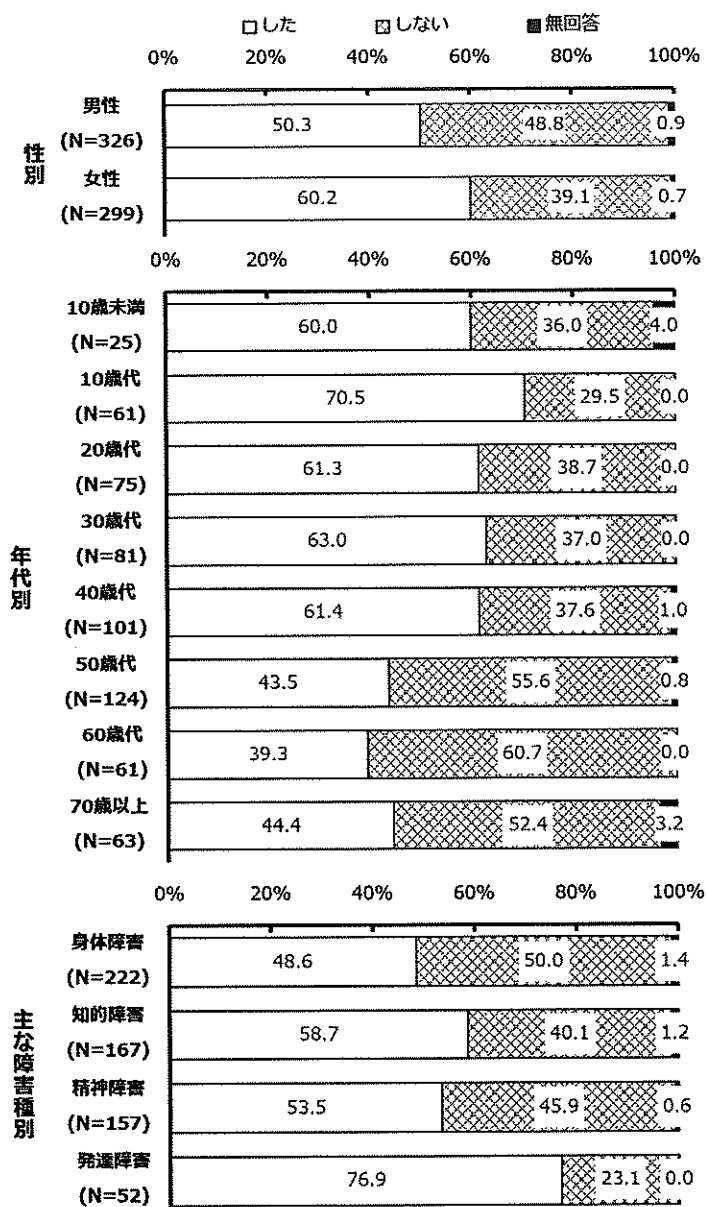


性別では、女性において「した」が60.2%と男性より9.9ポイント高くなっています。(図表102)

年代別では、10歳代において「した」が7割を超えて多くなっています。また、60歳代において「しない」が6割を超えて多くなっています。(図表102)

主な障害種別では、発達障害において「した」が76.9%と多くなっています。また、身体障害において「しない」が半数となっています。(図表102)

図表102：性別・年代別・主な障害種別 集計

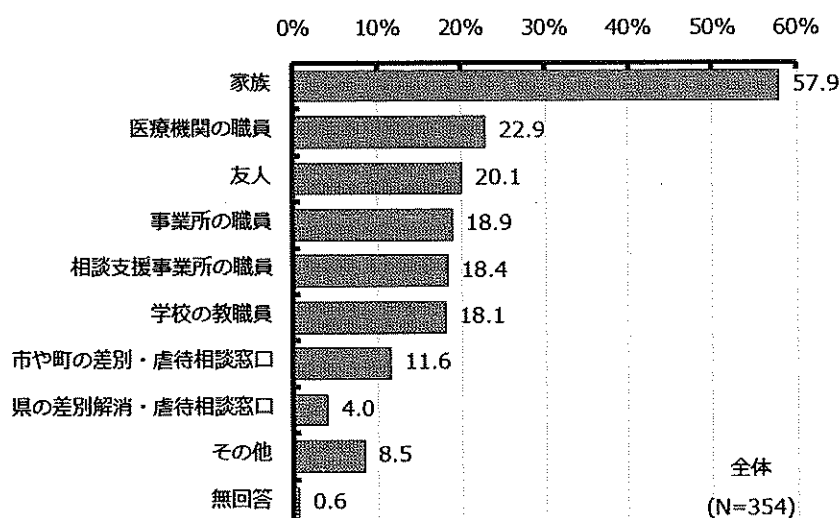


問23-2で「した」と回答された方にお聞きます。

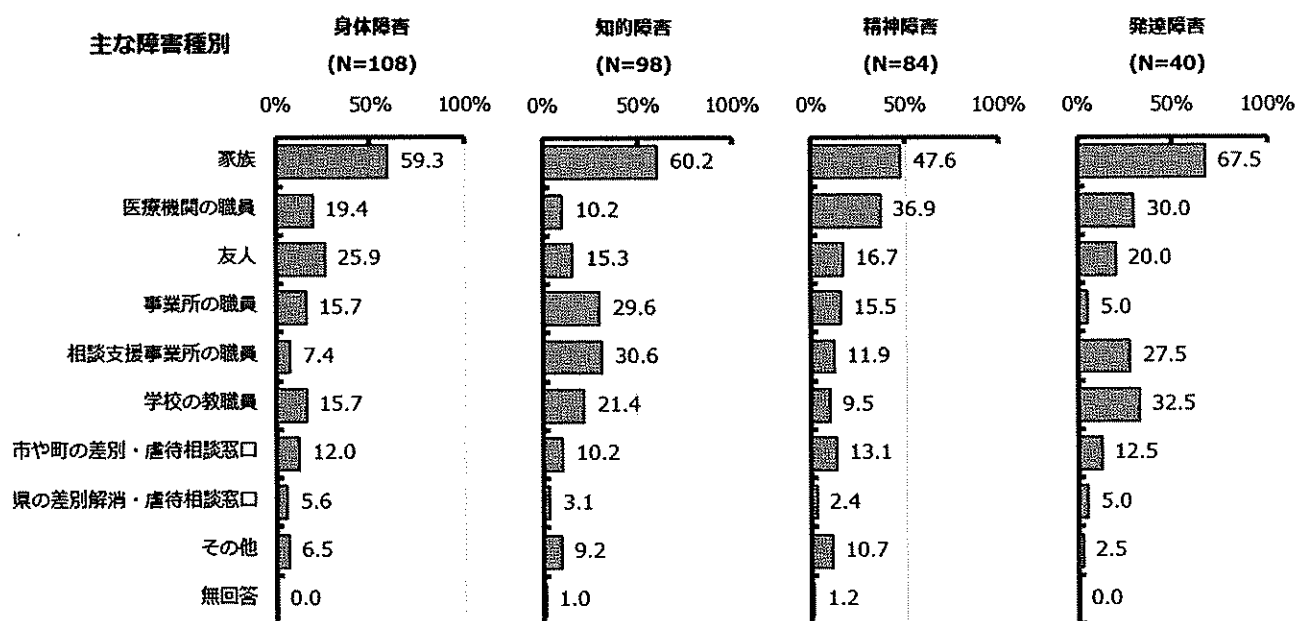
問23-3 どこに相談しましたか。(複数回答)

差別や虐待を受けた時の相談先は、「家族」が57.9%と最も多く、次いで「医療機関の職員」が22.9%、「友人」が20.1%、「事業所の職員」が18.9%、「相談支援事業所の職員」が18.4%、「学校の教職員」が18.1%などとなっています。(図表103)

図表103：全体集計



図表104：主な障害種別 集計

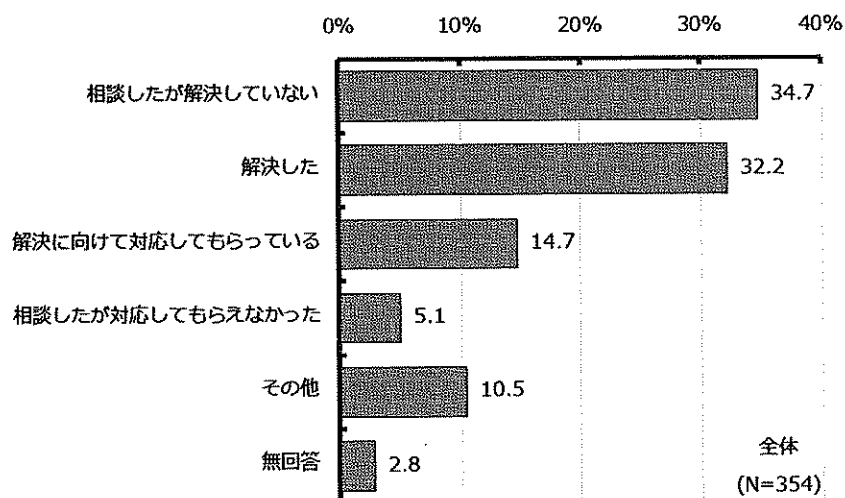


主な障害種別では、すべての障害において「家族」が最も多くなっています。次点で多くなっているのは、身体障害で「友人」(25.9%)、知的障害で「相談支援事業所の職員」(30.6%)、精神障害で「医療機関の職員」(36.9%)、発達障害で「学校の教職員」(32.5%)となっています。(図表104)

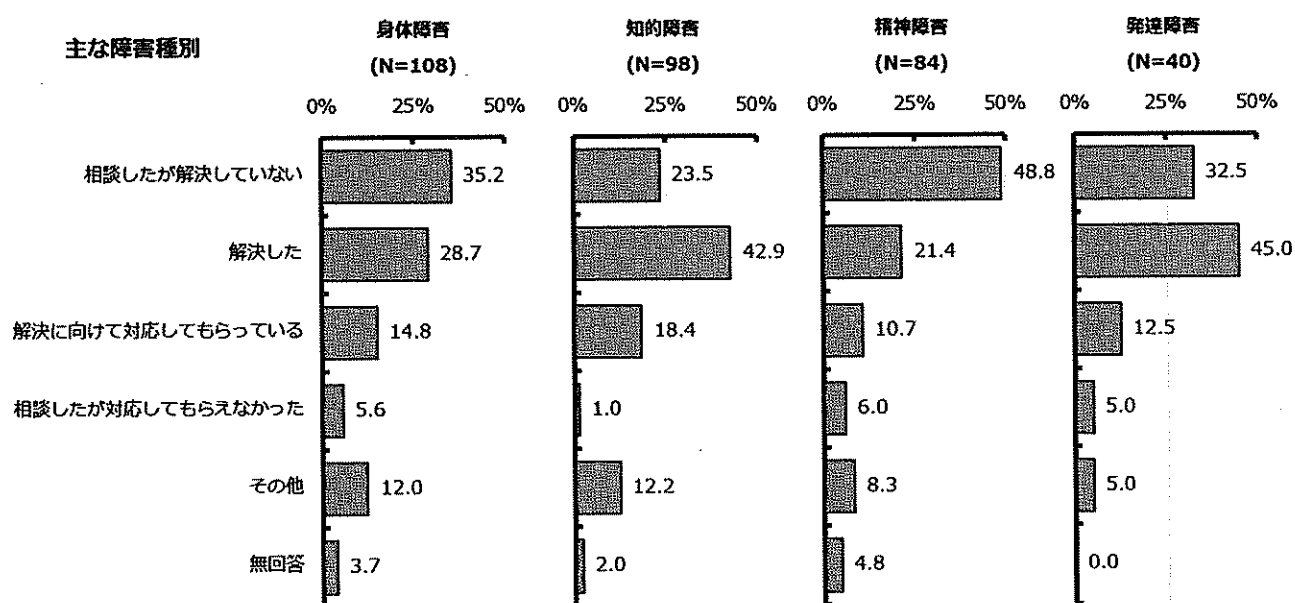
問23-2で「した」と回答された方にお聞きます。
問23-4 その相談は解決しましたか。(単数回答)

図表 105：全体集計

相談が解決したかどうかは、「相談したが解決していない」が34.7%と最も多く、次いで「解決した」が32.2%、「解決に向けて対応してもらっている」が14.7%、「相談したが対応してもらえなかった」が5.1%となっています。(図表 105)



図表 106：主な障害種別 集計



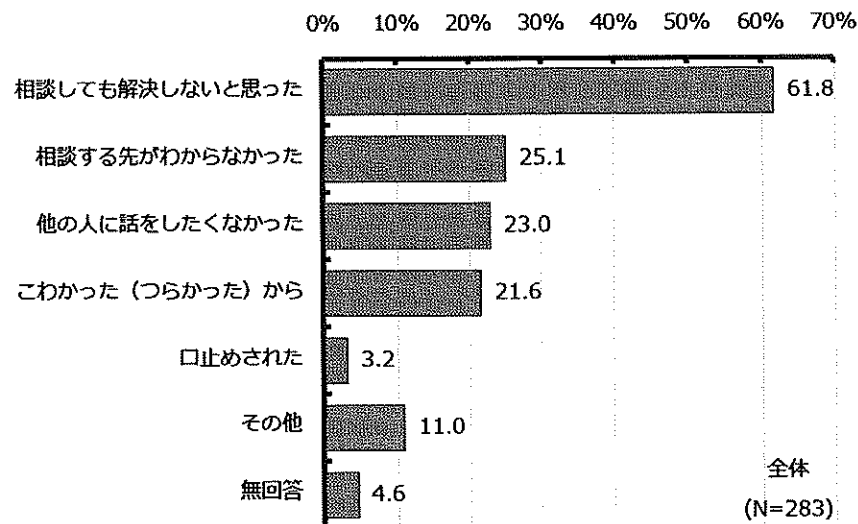
主な障害種別では、知的障害において「解決した」が45.0%と最も多く、精神障害においては「相談したが解決していない」が48.8%と最も多くなっています。(図表 106)

問23-2で「しない」と回答された方にお聞きます。

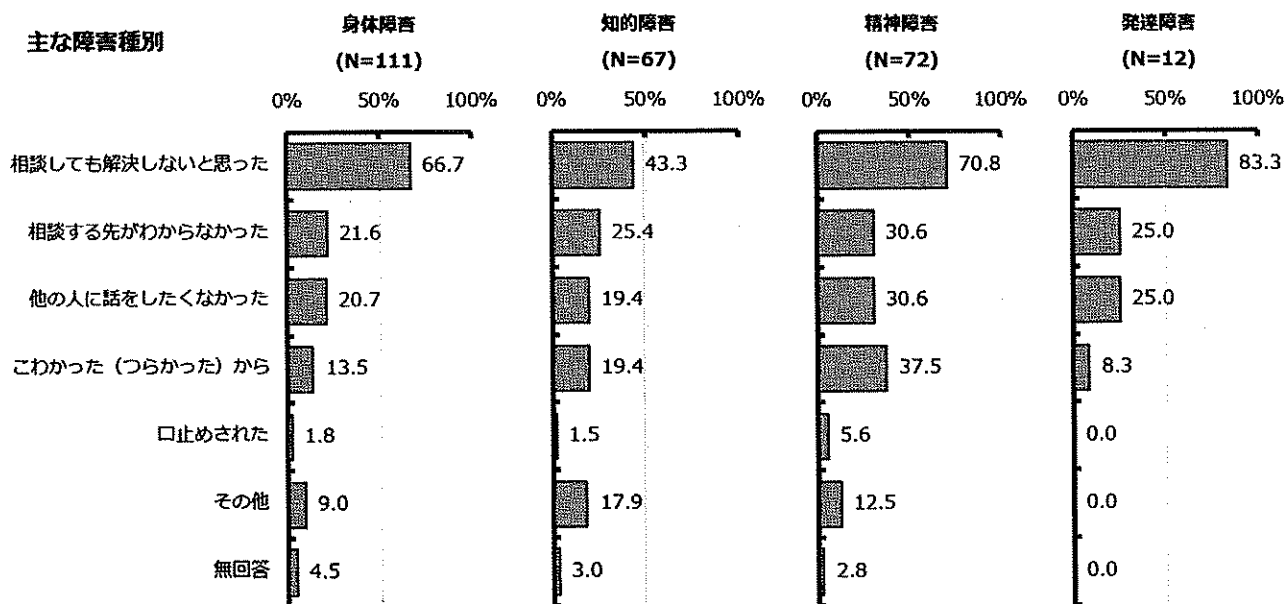
問23-5 それはなぜですか。(複数回答)

差別や虐待を受けても相談しなかった理由は、「相談しても解決しないと思った」が61.8%と最も多く、次いで「相談する先がわからなかった」が25.1%、「他の人に話をしたくなかった」が23.0%などとなっています。(図表107)

図表107：全体集計



図表108：主な障害種別 集計



主な障害種別では、「相談しても解決しないと思った」が、すべての障害種別において最も多くなっています。また、精神障害において「こわかった (つらかった) から」が37.5%と他の障害に比べて多くなっています。(図表108)

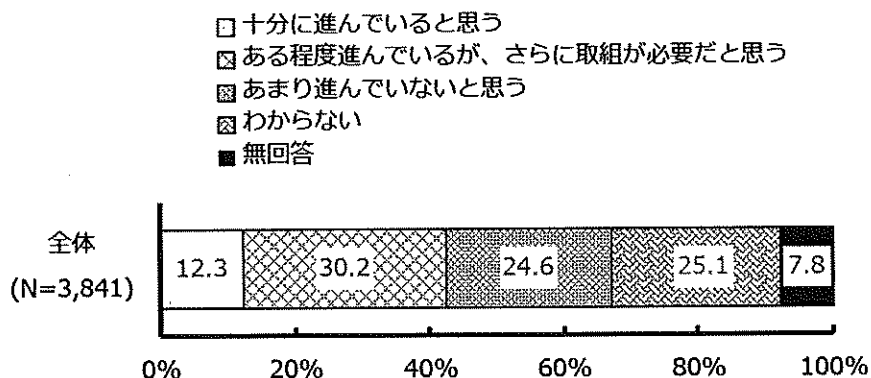
問 24 あなたは、バリアフリー化の現状についてどう思いますか。(単数回答)

*「バリアフリー化」とは、すべての人が不自由なく行動できるように環境を整えることをいいます。例えば、次のようなものがあります。

- ・道路や建物で、段差をなくしたり、スロープを設置したりする
- ・誰でも使いやすいような機能やデザインの製品を作る
- ・視覚や聴覚に障害のある人等が、必要な時に必要な情報を得られるようにする

図表 109：全体集計

バリアフリー化の現状については、「ある程度進んでいるが、さらに取組が必要だと思う」が30.2%と最も多く、次いで「わからない」が25.1%、「あまり進んでいないと思う」が24.6%などとなっています。(図表 109)



地域別では、大きな差異はみられません。
(図表 110)

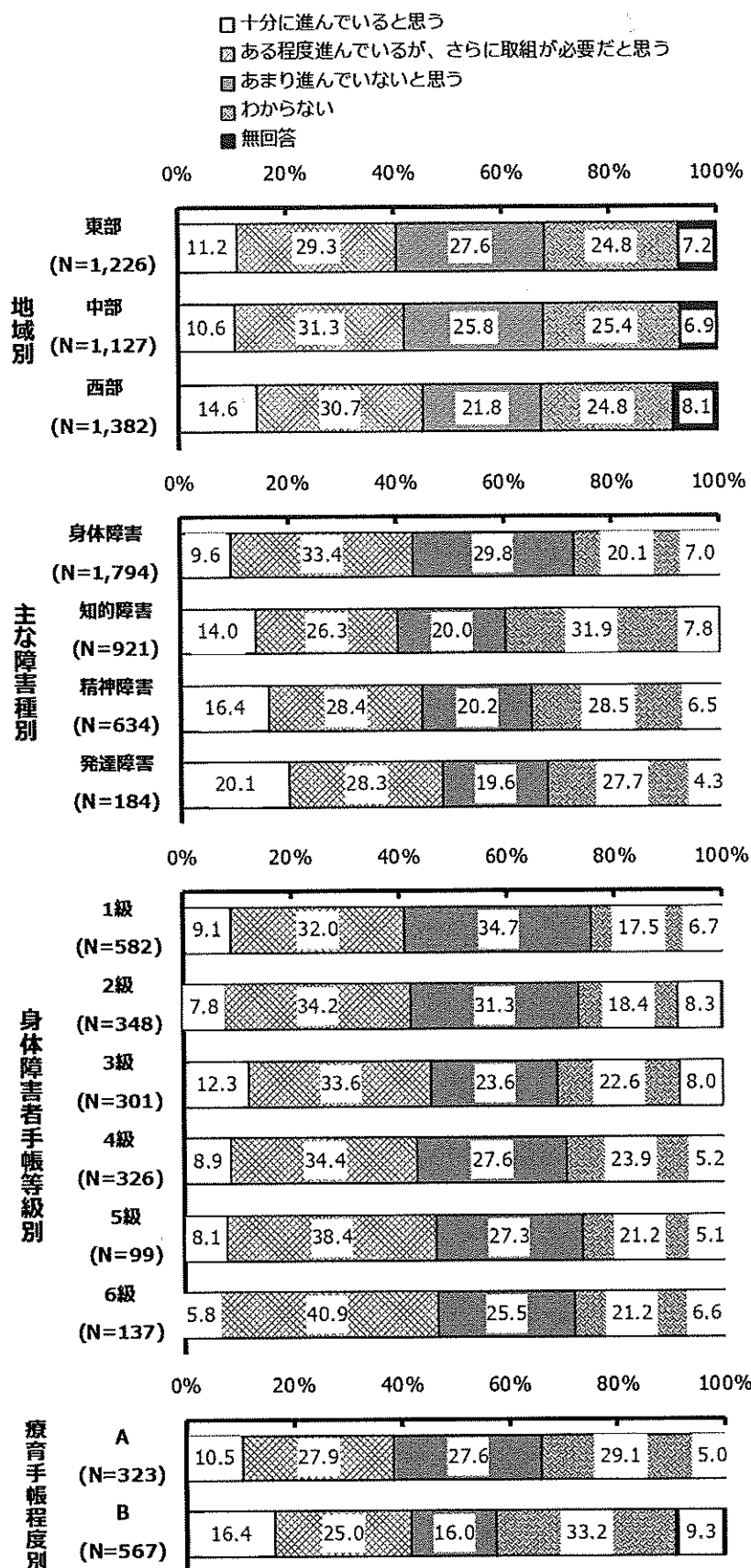
主な障害種別では、身体障害において「あまり進んでいないと思う」が29.8%と多くなっています。(図表 110)

身体障害者手帳等級別では、等級による回答割合に大きな差異はみられません。(図表 110)

療育手帳程度別では、Aにおいて「あまり進んでいないと思う」が27.6%とBより11.6ポイント高くなっています。(図表 110)

図表 110：地域別・主な障害種別・身体障害者手帳等級別

・療育手帳程度別 集計



問 24 でバリアフリー化が「ある程度進んでいるが、さらに取組が必要だと思う」または「あまり進んでいないと思う」と回答された方にお聞きします。
問 24-2 今後、バリアフリー化が必要なところはどこだと思いますか。

問 24 のバリアフリー化の現状についての設問で、「ある程度進んでいるが、さらにバリアフリー化が必要だと思う」または「進んでいないと思う」を選択した方が、バリアフリー化が必要なところとして記入されていたのは、「道路・歩道等」が最も多く、次いで「階段・エレベーター・エスカレーター・スロープ・手すり」の順となっています。(図表 111)

図表 111：バリアフリー化が必要なところ 分類後の件数

(単位：件)	道路・歩道等	階段・エレベーター・手すり	街中・駅周辺	商業施設・飲食店・娯楽施設	駐車場・駐輪場	行政機関・公共施設	心のバリアフリー等	交通機関・乗り物	トイレ・お風呂	すべて・町全体等	情報保障・表示等	医療機関	住宅	学校
身体障害	299	76	46	58	23	35	19	32	34	32	25	25	22	21
知的障害	82	21	17	14	5	7	22	13	14	9	9	5	4	6
精神障害	39	29	22	11	1	10	11	9	6	10	6	11	14	0
発達障害	11	6	2	4	0	7	6	1	2	2	3	1	1	2
その他	12	6	3	1	1	2	1	0	0	1	4	3	3	0
無回答	10	4	1	2	1	1	2	2	0	0	1	2	0	0
計	453	142	91	90	31	62	61	57	56	54	48	47	44	29

(単位：件)	以外（郊外・街中・駅周辺）	古い建物・古い施設	神社・寺	公園	民間施設	福祉施設	宿泊施設	避難場所・避難所	銀行・郵便局	ベンチなど休めると	わからない	特にな	その他	計
身体障害	7	6	7	3	2	1	1	1	1	0	10	2	34	822
知的障害	7	3	3	3	0	2	0	1	1	0	10	2	15	275
精神障害	2	6	0	1	2	0	0	0	0	0	12	0	15	217
発達障害	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	5	60
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	40
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	28
計	18	17	10	7	5	3	2	2	2	1	35	4	71	1442

主な意見（抜粋）

【道路・歩道等】

- ・道路の段差。歩道左右のガードレール（つかまれる等）。点字ブロックの取れている所の補修遅れ。夜間照明（外灯）が少ない（夜は歩けない）。
- ・道路の老朽化で修繕していない所もある。
- ・普通の通路でも段差がある所は多く、車イスの方が大変そう。
- ・歩行者道路に電柱が立っている場合、視覚障害のある者にとってかなりじゃまになる。
- ・車いすの方が健常者と同じように生活できるよう、道幅を広げるなど必要だと思います。
- ・お散歩している方が増えているので通路側の歩道をバリアフリー化して欲しい。
- ・道路の直角を進む時、塀の高さを低くしてほしい。（先方が見える様）角をまがる時、時々ぶつかりそうになるから。

【交通機関・乗り物】

- ・バスの優先席を増やせるといい。市役所の放送が聞き取りにくいです。
- ・電車の中での情報が得にくい。
- ・車椅子でバスに乗れない。

【情報保障・表示等】

- ・聴覚障害の情報保障がまだ足りていない。テレビを見ても手話通訳がついていない。字幕は日本語ですし、生活しづらいです。
- ・デジタル化に伴い、それに移行しきれていない方々が多数いるように思う。便利な反面使えないと生活そのものが難しくなっている。弱者にも優しいデジタル化を進めて欲しい。
- ・災害時の情報提供→聞こえない方には文字も読むのも大変な方がいます。文を噛み砕いて表示する、絵を入れて表示するなど工夫が必要です。
- ・町内のスピーカーで流す広報が聞こえない。市役所でなんとかならないのかと相談すると、県のメール配信、市のライン登録などすすめられ、毎日天気の情報や市政の動きの連絡ばかりでほしい情報が入ってこない。
広報のしくみがわからないので（どういうルートで流れるのか等）いつもの的はずれている。
- ・ユニバーサルデザインを一般化する。特定の人がユニバーサルデザインを使用するのではなく、全ての人がユニバーサルデザインを使用することが必要。

【階段・エレベーター・エスカレーター・スロープ・手すり】

- ・スロープになっていても入り口がせまかったり中途半端なバリアフリーが多いと思う。
- ・障害者用のエレベーターの設置。
- ・大きな建物に手すりをつけてほしい。またはエスカレーターとかエレベーターをつけてほしい。
- ・車椅子可となってもスロープが急で介助が無いと入れないことがある。地域の病院でも段差があつて入れないことがある。
- ・階段に色を付ける（グレー・濃淡どちらかで）ステップ幅が分かる。弱視・乱視は階段の段差が分かりにくく、下りる時に戸惑う。どんな階段なのかわからない。

【商業施設・飲食店・娯楽施設】

- ・店内での買い物、車椅子が入れるように。
- ・メニューを全部のお店でタブレットにしてほしい。
- ・飲食店等にスロープがほしい。
- ・スーパー、コンビニでセルフレジが普及しており、障害の方々は現金での取扱いに慣れている人もいるため、誰にでも使いやすいレジがあれば…。

【心のバリアフリー等】

- ・身体的な制度や町のバリアフリー化で設備はととのってきていると思うが精神的な面はまだ進んでなく、社会進出がまだ滞っている。例えば認知症カフェなどもまだ数が少ない。
- ・本人以外の人でも、外国人に対して差別があったり完全なバリアフリーではないと思う。会社でも違う。
- ・人工内耳や補聴器の存在を多くの人に知ってもらうこと。

【トイレ・お風呂】

- ・トイレに体が大きくなった人でも使えるオムツ替え台があるところが増えてほしい。
- ・障害者用トイレに大きなベット（折りたたみ）を置いてもらいたい。
- ・トイレのスペースを広くとってほしい。
- ・大浴場の洗い場から浴槽迄の距離の間の長さ不安。
- ・バリアフリートイレの表現の仕方を変えるべき。

【行政機関・公共施設】

- ・市役所に手続きに行く時、階段が多い、障害者用の駐車場が少ないと感じた。
- ・聞き取る事が苦手なので、何が起きたのか視覚でわかりやすくしてもらえると助かります。
- ・焼津市役所の立体駐車場から本館に入る廊下が吹きさらしの為、雨だと濡れるし、滑りやすい為、怖くて利用していない。
- ・公共施設（図書館など）のトイレが古く、使いにくいところが多いので利用しやすくなるといいと思う。

【すべて・町全体等】

- ・全て。静岡はデパートの中は休む場所として椅子が色々な所においてあり足が痛くなって休む事ができるが、静岡市の町中はそういう場所がないというか少ない。今バス停に椅子がなくなり、足が不安定になると長く立っているのは大変、手すりも少ない。
- ・どこにと言うわけではなく、全般的に広げていく必要があると思う。
- ・高齢者の増加のため、進めた方が良くと思うから。

【医療機関】

- ・古くから開業しているクリニックなどはスロープではなく階段のところがある。
- ・病院、公共施設などで呼ばれる時、氏名で呼ばれたり、番号で呼ばれたり、待っている場所から離れている所で呼ばれたり統一されていない。呼ぶ声の大きさも色々です。電光掲示板はとても助かります。
- ・病院等の待ち合い（車イスを置くと通路をせまくしてしまう）。
- ・県立こども病院をよく利用しますが、予約していても小さい障がいのある子どもと何十分も待たされたり、一緒に入れるトイレが少なく困る事が多い。子ども病院なのに、子どもと障がいのある子どもを連れている親に全然やさしくないと思う。

【学校】

- ・幼稚園、学校にスロープとエレベーターを付けてくれると、身体のみで知覚面では問題ない子どもにとって助かります。
- ・中学校のトイレが和式のため使えず、洋式が1つしかなく、誰かが利用していると使えない。もっと洋式を増やしてほしいです。
- ・学校や仕事などで配るプリントの文字を大きくして欲しい。
- ・聴覚障害児が普通校に通う場合の支援。情報保障がされ、聞こえる人と同等の教育が受けられる環境を整えて欲しい。

【住宅】

- ・平らな土地に団地を作ってほしい。高齢者が多い団地なのに高台にあり買い物にもみなさんたいへんそう
- ・市営住宅の3階に住んでいる為階段の登り降りが大変になってきてる。
- ・スロープ等障がい者用に設置されている箇所までの道のりが遠いなど不便さがある。

【郊外（街中・駅周辺以外）】

- ・駅中心部は、比較的整備は進んでいるが、他の地域では、そのような整備が進んでいるとは思えない。むしろ、昭和で時が止まっている地域が多い。
- ・田舎などの公道では自転車を歩道で通行する人がいまだに多いので、そういった所で必要になると思います。

【公園】

- ・公園とトイレを増やしてほしい。もっとバスの本数を増やしてほしい。
- ・多目的トイレを公園等の場所に増やしていくことが必要だと思う。

【駐車場・駐輪場】

- ・身体障害者用の駐車場が少ないと感じる。
- ・駐車場で大雨の時の車への乗り込み・降車時・動作が遅いのでとても濡れてしまう。小さくても屋根があったり、捕まる手すりなどがあると良い所が…あとは滑りにくい床材をとりいれてほしい。
- ・障害者の駐車場を健常者が安易に停めないような工夫が必要。住んでいる街には視覚障害の人が必要と思われる“信号機の音”（青になった時の音）が出るところがほとんどない。

【街中・駅周辺】

- ・伊豆箱根鉄道のホームにエレベーターがなく、階段しかない駅がある。障害者だけでなく、ベビーカーも不便だと思う。
- ・駅にホームドアを設置してほしい。

【古い建物・古い施設】

- ・新しい施設等ではある程度配慮されてるところもみられるが、古い施設のほとんどが改善が必要。また災害時の避難場所は特に早急な対応が必要であると思う。
- ・古いまま修繕されていない道路や建物（狭い路地やスロープ・エレベーターのない施設など）。

【民間施設】

- ・官庁とかは進んでいるが民間では差がまだある。

【避難場所・避難所】

- ・避難所には指定されているところのバリアフリー化が進んでいるかといえばそうではない気がする。（福祉）避難所に指定されている体育館ですら、障がいのある方々が使えるトイレかといえば、そうとはいえない現状を感じる。非常用電源（不安定でない）が足りないのではないかな？
- ・災害時の避難所のトイレなど。

【神社・寺】

- ・お寺や神社は平らでありますますが、ジャリであったりします私は時々車イスを利用しますが、ジャリなどはとても難しいです。
- ・寺院仏閣などお参りをしたいが車椅子では行けない所が多い。バスの乗り降りには、他の方に気を遣ってしまい嫌な視線を感じるのでバスは利用しにくいので意識改革が必要。

【住宅】

- ・平らな土地に団地を作ってほしい。高齢者が多い団地なのに高台にあり買い物にもみなさんたいへんそう
- ・市営住宅の3階に住んでいる為階段の登り降りが大変になってきてる。
- ・スロープ等障がい者用に設置されている箇所までの道のりが遠いなど不便さがある。

【福祉施設】

- ・就労継続支援B型の事業所に通所しているが、所内での段差や、加齢化と共に足腰が弱り、2階での作業ができなくなるなど、バリアフリー化が望まれます。
- ・就労支援A型、B型の施設をもう少し広くする。(車椅子が通れるように)。

【ベンチなど休めるところ】

- ・バス停や駅前等々座れる・休める所が足りないと思う。

【宿泊施設】

- ・病院、宿泊施設等、オムツ交換着替えをする場所が欲しい。

【銀行・郵便局】

- ・銀行窓口 セルフレジがわからない。

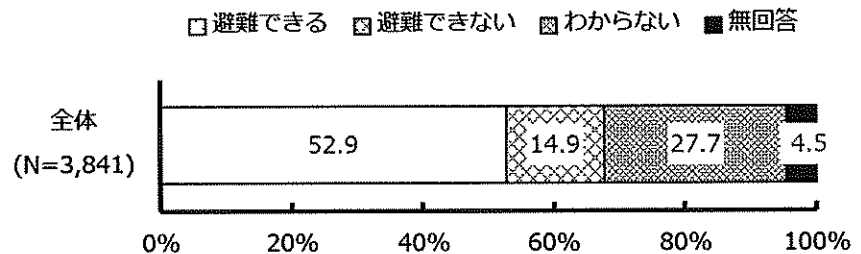
【その他】

- ・特に公的文書、申請者は「本人が来い。」と必ず言われます。「委任状を持ってこい。」と二言目も決まっています。そんなもの書けたら施設に入所なんてしていない。足の、手の悪い人だけがバリアフリーではない。
- ・聴覚障害者のために文字で表示して見せるための機器の設置（手書きタブレット＜電子版＞や文字起こしソフトの活用）
- ・（発達障害 知的障害に関して）教育面のインクルージング化。就労面での促進、支援体制。
- ・TVのすべての番組に同時字幕を。
- ・万人にあうようなものはないと思う。どこかにしわ寄せは有ると思う。
- ・日本のバリアフリー技術を全世界に認知して広め、多く人が利用しやすいだけでなく、日本の力をアピールした方がいいと思う。
- ・サービスの無人化（AIの導入）
- ・自閉症や行動障害になってしまう過敏な人のために広い空間に（例えば病院など）大勢の人がいるところにクールダウンできる場所。（赤ちゃんのおむつかえるへやのような）本人がおちつくためのへやを作ってほしい。

問 25 あなたは、災害等の緊急時に、自宅または施設から一人でまたは支援を受けながら、安全に避難できる環境にありますか。(単数回答)

災害等の緊急時に、自宅または施設から一人でまたは支援を受けながら、安全に避難できる環境にあるかについては、「避難できる」が52.9%と最も多く、次いで「わからない」が27.7%、「避難できない」が14.9%となっています。(図表 112)

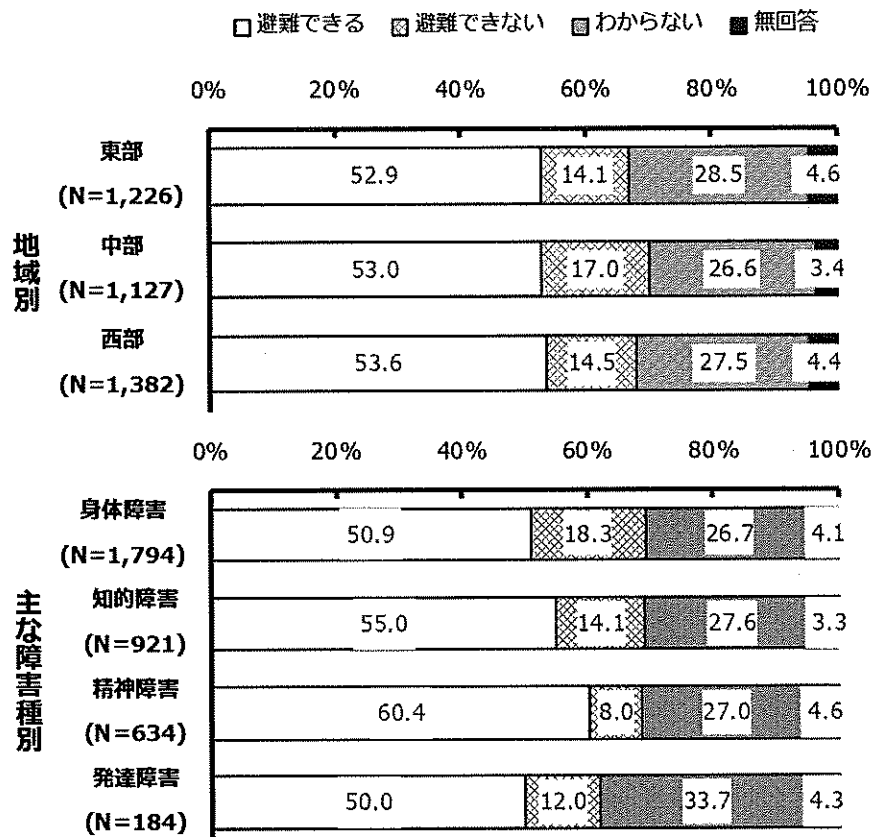
図表 112：全体集計



地域別では、大きな差異はみられません。(図表 113)

主な障害種別では、精神障害者において「避難できる」が60.4%と多くなっています。(図表 113)

図表 113：地域別・主な障害種別 集計

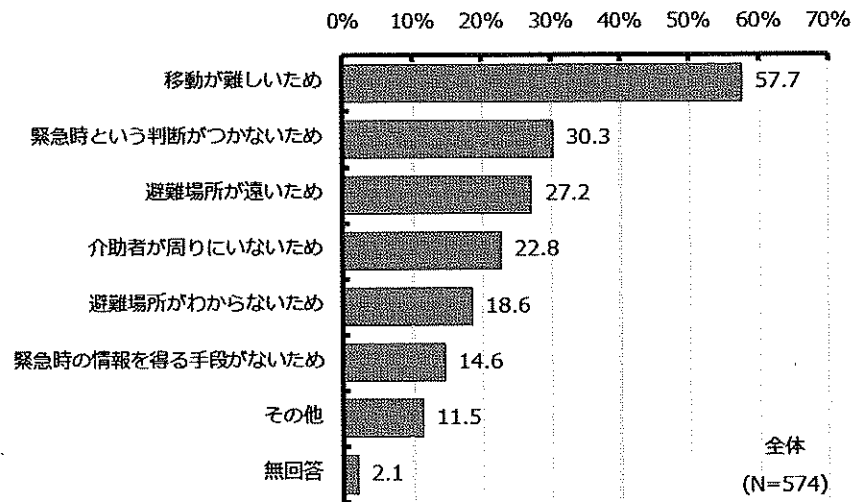


問25で安全に「避難できない」と回答された方にお聞きします。

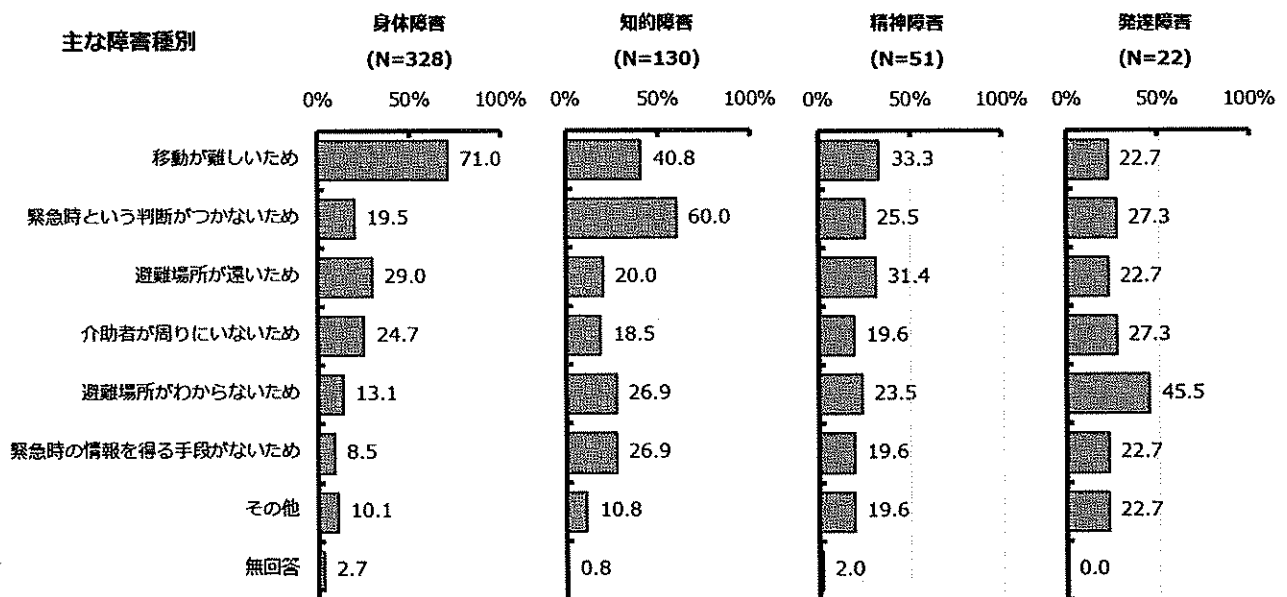
問25-2 避難できない理由を具体的に教えてください。(複数回答)

安全に避難できない理由は、「移動が難しいため」が57.7%で最も多く、次いで「緊急時という判断がつかないため」が30.3%、「避難場所が遠いため」が27.2%、「介助者が周りにいないため」が22.8%などとなっています。(図表114)

図表114：全体集計



図表115：主な障害種別 集計



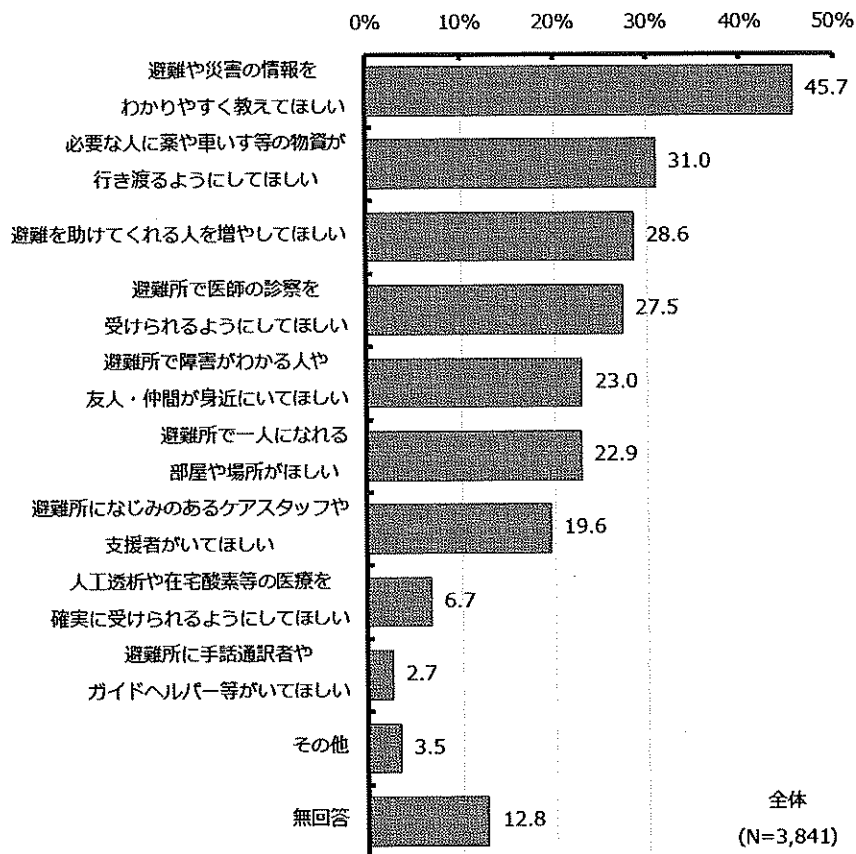
主な障害種別では、身体障害は「移動が難しいため」が71.0%と多く、知的障害は「緊急時という判断がつかないため」が60.0%と多くなっています。(図表115)

問 25-3 地震や台風などの災害が発生した時に何か必要だと思いますか。

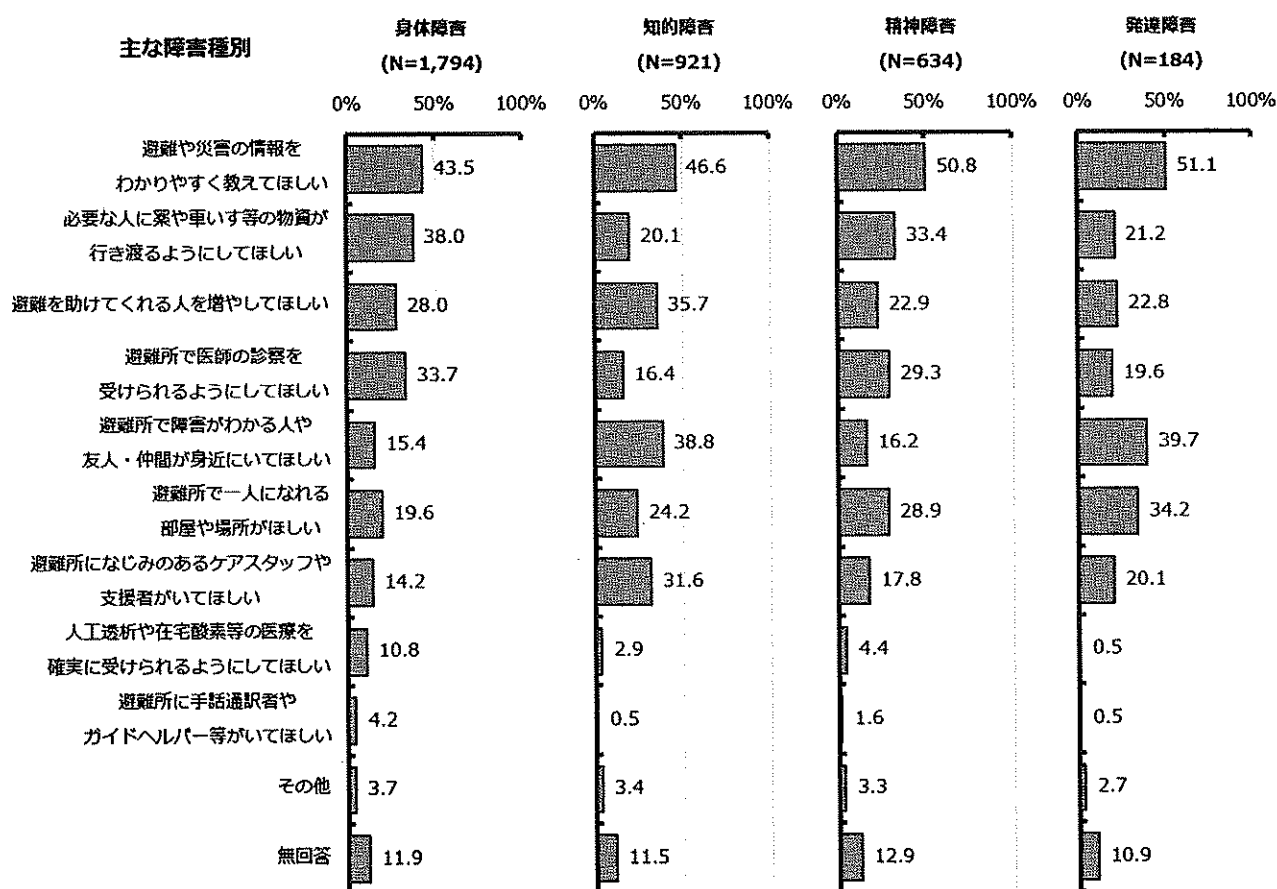
(複数回答：3つまで)

地震や台風などの災害が発生した時に必要だと思うことは、「避難や災害の情報をわかりやすく教えてほしい」が45.7%と最も多く、次いで「必要な人に薬や車いす等の物資が行き渡るようにしてほしい」が31.0%、「避難を助けてくれる人を増やしてほしい」が28.6%、「避難所で医師の診察を受けられるようにしてほしい」が27.5%などとなっています。(図表 116)

図表 116：全体集計

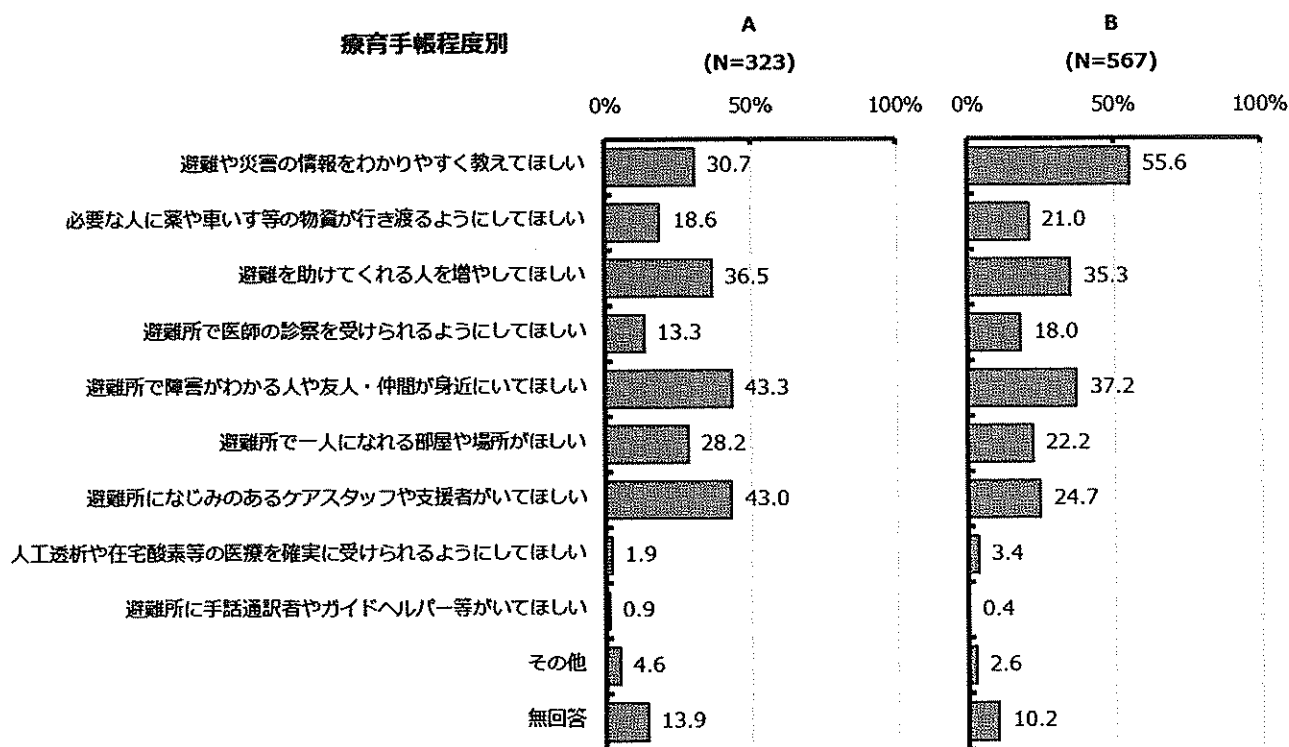


図表 117：主な障害種別 集計



主な障害種別では、全ての種別で「避難や災害の情報をわかりやすく教えてほしい」が最も多くなっています。身体障害と精神障害では「必要な人に医薬品や車いす等の物資が行き渡るようにしてほしい」と「避難所で医師の診察を受けられるようにしてほしい」が多くなっています。一方、知的障害と発達障害では「避難所で障害がわかる人や友人・仲間が身近にいてほしい」が多くなっています。(図表 117)

図表 118：療育手帳程度別 集計



療育手帳程度別では、Aでは「避難所で障害がわかる人や友人・仲間が身近にいてほしい」、「避難所になじみのあるケアスタッフや支援者がいてほしい」が、Bでは「避難や災害の情報をわかりやすく教えてほしい」がそれぞれ多くなっています。(図表 118)

6 社会参加について

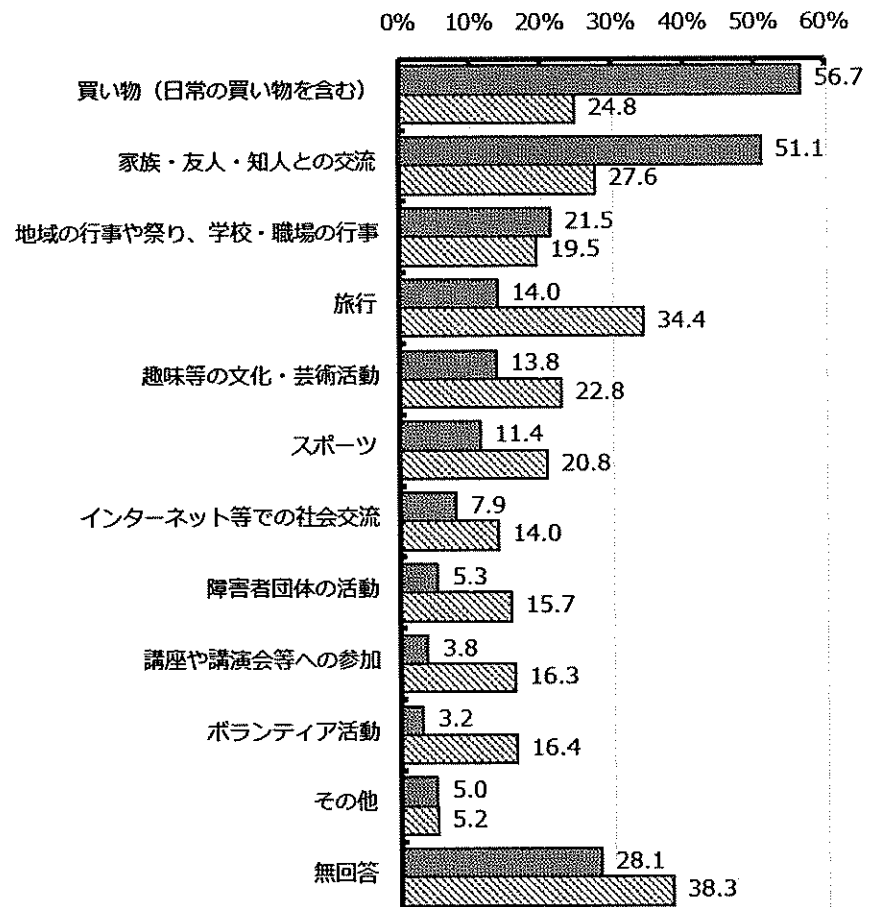
問 26 あなたは、最近どのような社会参加をしていますか。また、今後どのような社会参加をしたいと思いますか。（それぞれ複数回答）

最近1か月間に行った社会参加は、「買い物（日常の買い物を含む）」が56.7%と最も高く、次いで「家族・友人・知人との交流」が51.1%、「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」が21.5%などとなっています。

また、今後したい社会参加は、「旅行」が34.4%と最も高く、次いで「家族・友人・知人との交流」が27.6%、「買い物（日常の買い物を含む）」が24.8%などとなっています。（図表119）

図表 119：全体集計

■ 最近1か月間に行った社会参加(N=3,841) □ 今後したい社会参加(N=3,841)



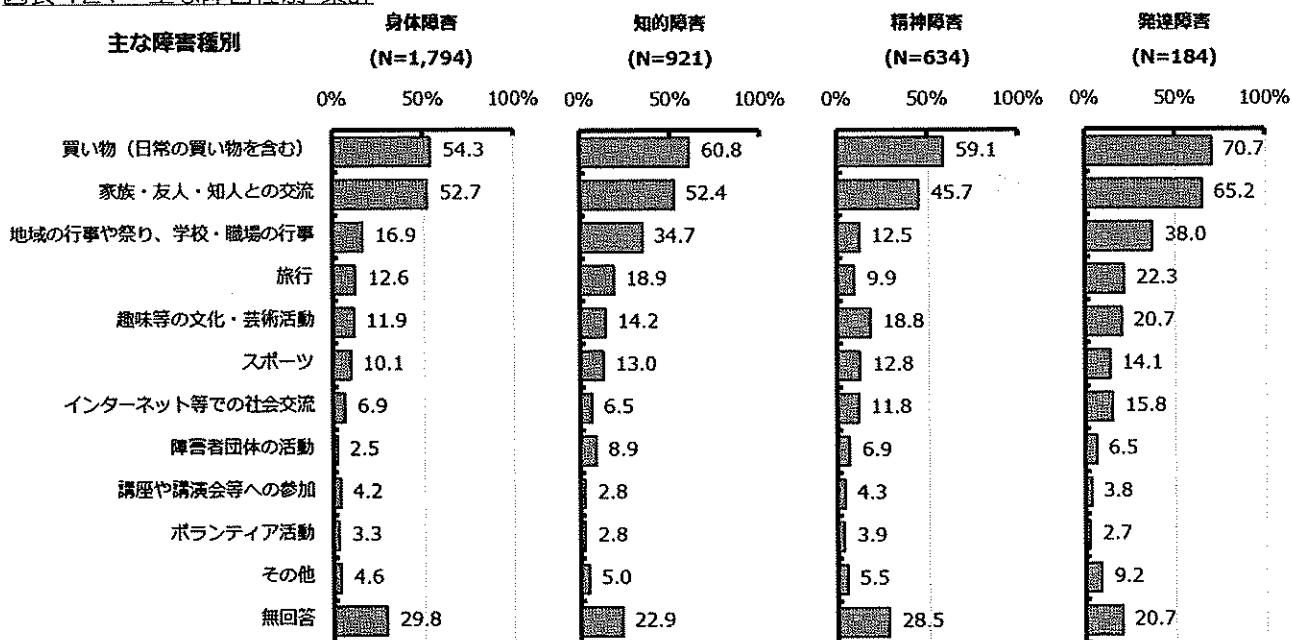
最近行った社会参加

図表 120：年代別 集計

	調査数	買い物（日常の買い物を含む）	家族・友人・知人との交流	地域の行事や祭り、学校・職場の行事	旅行	趣味等の文化・芸術活動	スポーツ	交流	インターネット等での社会	障害者団体の活動	講座や講演会等への参加	ボランティア活動	その他	無回答
10歳未満	192	114	133	104	47	22	31	6	9	0	1	13	47	
10歳未満(%)	100.0	59.4	69.3	54.2	24.5	11.5	16.1	3.1	4.7	0.0	0.5	6.8	24.5	
10歳代	316	207	216	173	74	54	68	49	24	4	14	28	55	
10歳代(%)	100.0	65.5	68.4	54.7	23.4	17.1	21.5	15.5	7.6	1.3	4.4	8.9	17.4	
20歳代	349	246	225	93	75	84	49	59	30	18	9	21	56	
20歳代(%)	100.0	70.5	64.5	26.6	21.5	24.1	14.0	16.9	8.6	5.2	2.6	6.0	16.0	
30歳代	305	193	176	61	59	52	40	43	23	10	9	13	64	
30歳代(%)	100.0	63.3	57.7	20.0	19.3	17.0	13.1	14.1	7.5	3.3	3.0	4.3	21.0	
40歳代	390	248	201	99	67	67	52	42	29	20	20	22	101	
40歳代(%)	100.0	63.6	51.5	25.4	17.2	17.2	13.3	10.8	7.4	5.1	5.1	5.6	25.9	
50歳代	573	346	279	97	77	78	66	38	37	21	19	24	159	
50歳代(%)	100.0	60.4	48.7	16.9	13.4	13.6	11.5	6.6	6.5	3.7	3.3	4.2	27.7	
60歳代	481	268	212	64	47	48	41	29	19	17	13	30	152	
60歳代(%)	100.0	55.7	44.1	13.3	9.8	10.0	8.5	6.0	4.0	3.5	2.7	6.2	31.6	
70歳以上	961	408	405	91	60	88	67	25	15	47	28	38	351	
70歳以上(%)	100.0	42.5	42.1	9.5	6.2	9.2	7.0	2.6	1.6	4.9	2.9	4.0	36.5	

年代別では、10歳未満・10歳代において「家族・友人・知人との交流」が6割を超えて多く、その他の年代では「買い物（日常の買い物を含む）」が最も多くなっています。（図表 120）

図表 121：主な障害種別 集計



主な障害種別では、全ての種別で「買い物（日常の買い物を含む）」と「家族・友人・知人との交流」が多くなっています。また、知的障害と精神障害において「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」が多くなっています。（図表 121）

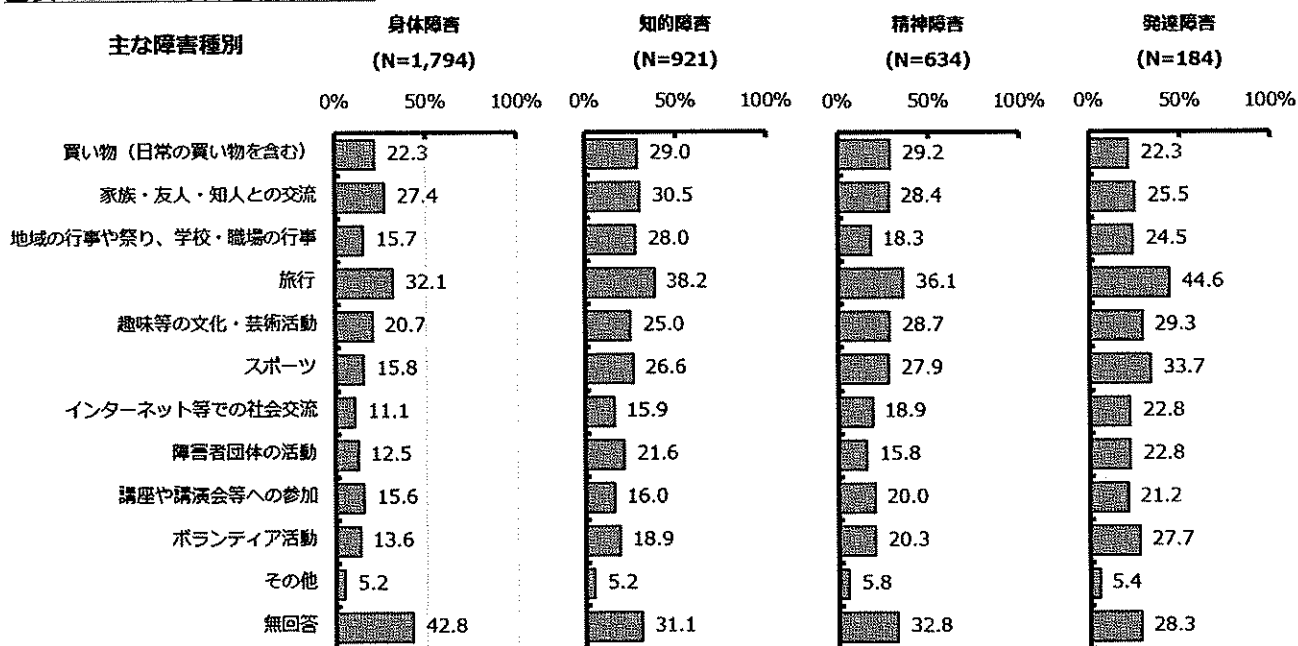
今後行いたい社会参加

図表 122：年代別 集計

	調査数	買い物（日常の買い物を含む）	家族・友人・知人との交流	地域の行事や祭り、学校・職場の行事	旅行	趣味等の文化・芸術活動	スポーツ	インターネット等での社会交流	障害者団体の活動	講座や講演会等への参加	ボランティア活動	その他	無回答
10歳未満	192	47	52	66	89	60	76	56	61	51	52	17	57
10歳未満(%)	100.0	24.5	27.1	34.4	46.4	31.3	39.6	29.2	31.8	26.6	27.1	8.9	29.7
10歳代	316	98	101	105	154	93	106	85	82	81	91	23	69
10歳代(%)	100.0	31.0	32.0	33.2	48.7	29.4	33.5	26.9	25.9	25.6	28.8	7.3	21.8
20歳代	349	98	100	115	162	111	120	64	101	77	101	24	73
20歳代(%)	100.0	28.1	28.7	33.0	46.4	31.8	34.4	18.3	28.9	22.1	28.9	6.9	20.9
30歳代	305	80	77	78	132	87	85	56	78	72	73	19	97
30歳代(%)	100.0	26.2	25.2	25.6	43.3	28.5	27.9	18.4	25.6	23.6	23.9	6.2	31.8
40歳代	390	100	107	93	139	111	102	79	78	77	83	25	138
40歳代(%)	100.0	25.6	27.4	23.8	35.6	28.5	26.2	20.3	20.0	19.7	21.3	6.4	35.4
50歳代	573	154	159	103	203	152	134	86	95	103	98	33	192
50歳代(%)	100.0	26.9	27.7	18.0	35.4	26.5	23.4	15.0	16.6	18.0	17.1	5.8	33.5
60歳代	481	128	140	64	170	117	78	55	50	73	68	22	199
60歳代(%)	100.0	26.6	29.1	13.3	35.3	24.3	16.2	11.4	10.4	15.2	14.1	4.6	41.4
70歳以上	961	187	251	80	201	100	59	36	39	69	39	27	515
70歳以上(%)	100.0	19.5	26.1	8.3	20.9	10.4	6.1	3.7	4.1	7.2	4.1	2.8	53.6

年代別では、60歳代までにおいて「旅行」が最も多く、70歳以上においては「家族・友人・知人との交流」が最も多くなっています。（図表 122）

図表 123：主な障害種別 集計



主な障害種別では、すべての障害種別において「旅行」が最も多くなっています。また、発達障害において「ボランティア活動」が多くなっています。（図表 123）

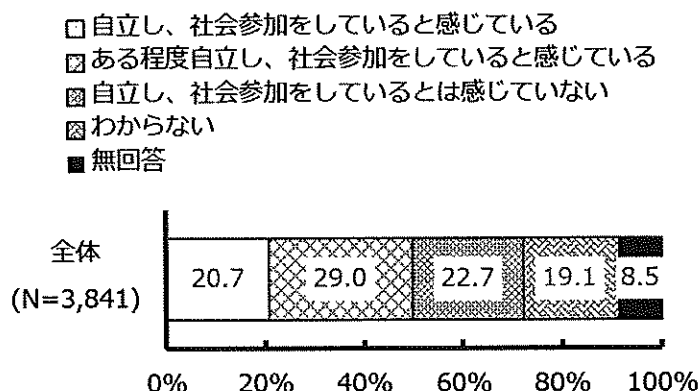
問 27 あなたは、日常生活において自立し、社会参加をしていると感じていますか。

(単数回答)

*ここでいう、「自立」とは、必要とする支援を受けながらも、自分の意思をもって日常生活を送ることを含みます。

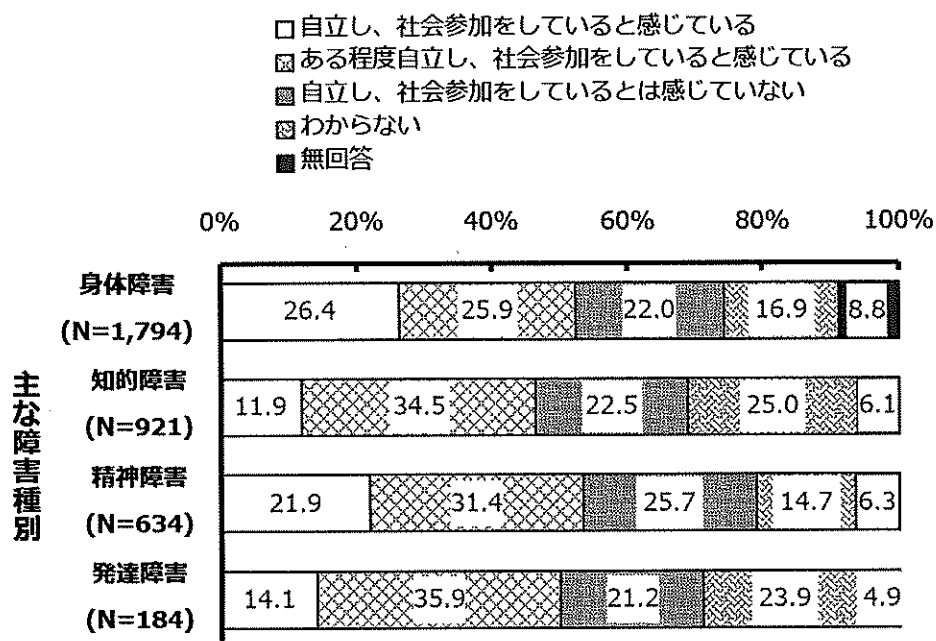
日常生活において自立し、社会参加をしていると感じるかについては、「ある程度自立し、社会参加をしていると感じている」が29.0%と最も多く、次いで「自立し、社会参加をしているとは感じていない」が22.7%、「自立し、社会参加をしていると感じている」が20.7%、「わからない」が19.1%となっています。また、『自立し、社会参加をしていると感じている+ある程度自立し、社会参加をしていると感じている』は、49.7%となっています。(図表 124)

図表 124：全体集計



主な障害種別では、身体障害において「自立し、社会参加をしていると感じている」が26.4%と多く、精神障害において「自立し、社会参加をしているとは感じていない」が25.7%と多くなっています。(図表 125)

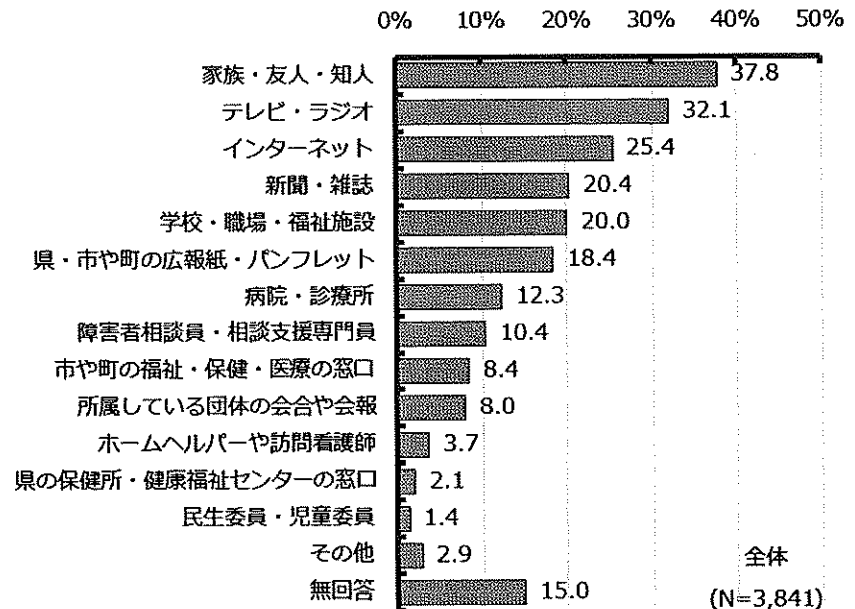
図表 125：主な障害種別 集計



問 28 あなたは、問 26 のような社会参加のために必要な情報を、主にどこから得ていますか。(複数回答)

必要な情報の入手先は、「家族・友人・知人」が 37.8%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が 32.1%、「インターネット」が 25.4%などとなっています。(図表 126)

図表 126：全体集計

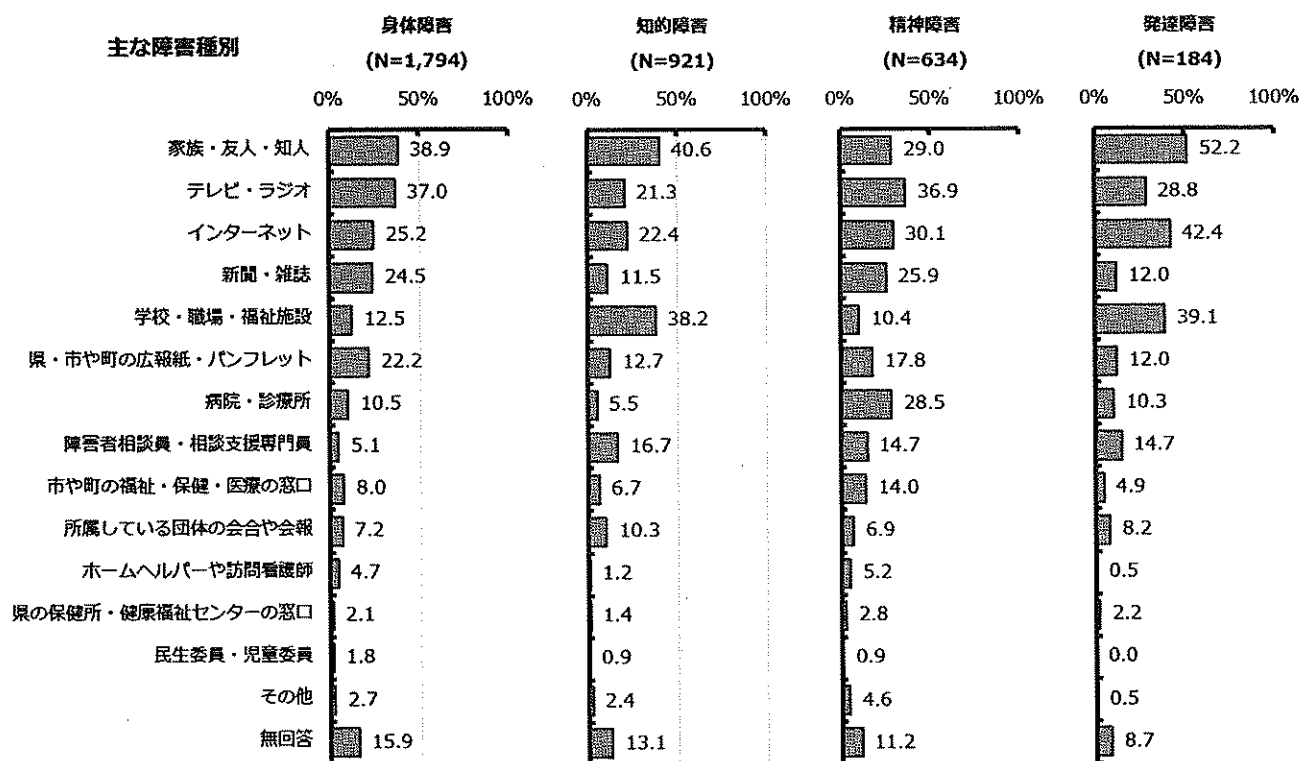


図表 127：年代別集計

	調査数	家族・友人・知人	テレビ・ラジオ	インターネット	新聞・雑誌	学校・職場・福祉施設	県・市や町の広報紙・パンフレット	病院・診療所	障害者相談員・相談支援専門員	市や町の福祉・保健・医療の窓口	所属している団体の会合や会報	ホームヘルパーや訪問看護師	県の保健所・健康福祉センターの窓口	民生委員・児童委員	その他	無回答
10歳未満	192	96	21	56	6	116	20	29	32	17	11	5	8	1	3	21
10歳未満(%)	100.0	50.0	10.9	29.2	3.1	60.4	10.4	15.1	16.7	8.9	5.7	2.6	4.2	0.5	1.6	10.9
10歳代	316	173	54	100	18	183	32	34	31	16	19	2	1	1	2	29
10歳代(%)	100.0	54.7	17.1	31.6	5.7	57.9	10.1	10.8	9.8	5.1	6.0	0.6	0.3	0.3	0.6	9.2
20歳代	349	173	94	156	47	93	61	38	59	25	45	9	8	1	3	27
20歳代(%)	100.0	49.6	26.9	44.7	13.5	26.6	17.5	10.9	16.9	7.2	12.9	2.6	2.3	0.3	0.9	7.7
30歳代	305	103	85	123	39	61	42	30	50	29	27	4	4	2	10	42
30歳代(%)	100.0	33.8	27.9	40.3	12.8	20.0	13.8	9.8	16.4	9.5	8.9	1.3	1.3	0.7	3.3	13.8
40歳代	390	144	123	133	82	89	76	68	55	38	29	10	6	7	14	55
40歳代(%)	100.0	36.9	31.5	34.1	21.0	22.8	19.5	17.4	14.1	9.7	7.4	2.6	1.5	1.8	3.6	14.1
50歳代	573	182	226	171	137	101	111	90	67	59	40	17	19	4	24	60
50歳代(%)	100.0	31.8	39.4	29.8	23.9	17.6	19.4	15.7	11.7	10.3	7.0	3.0	3.3	0.7	4.2	10.5
60歳代	481	150	185	123	112	39	114	72	49	55	35	28	8	7	17	64
60歳代(%)	100.0	31.2	38.5	25.6	23.3	8.1	23.7	15.0	10.2	11.4	7.3	5.8	1.7	1.5	3.5	13.3
70歳以上	961	348	348	61	281	53	216	69	35	63	76	50	20	28	34	219
70歳以上(%)	100.0	36.2	36.2	6.3	29.2	5.5	22.5	7.2	3.6	6.6	7.9	5.2	2.1	2.9	3.5	22.8

年代別では、10歳未満と10歳代において「学校・職場・福祉施設」が半数を超えて多くなっています。また、50歳代以上において「テレビ・ラジオ」が3割を超えて多くなっています。(図表 127)

図表 128：主な障害種別 集計

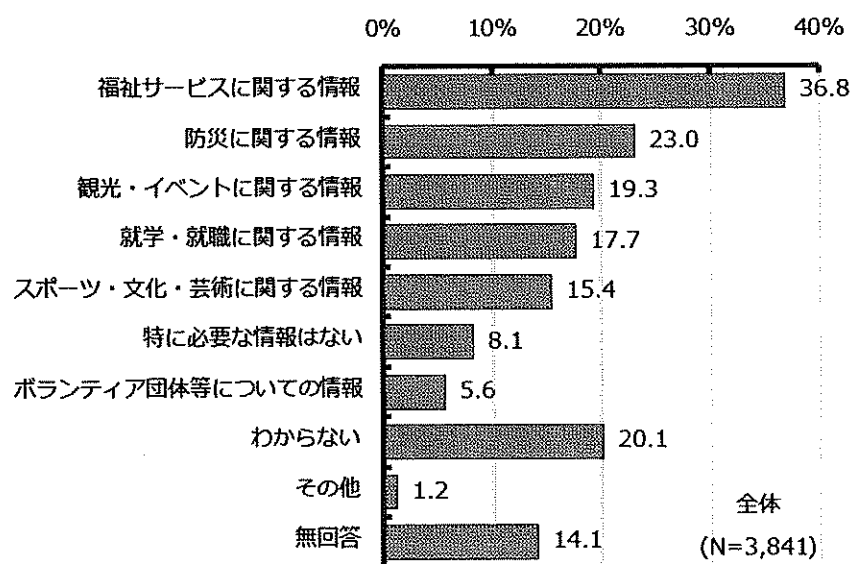


主な障害種別では、身体障害及び知的障害、発達障害において「家族・友人・知人」が最も多くなっています。精神障害においては「テレビ・ラジオ」が36.9%と最も多くなっています。また、精神障害において「病院・診療所」が他の障害と比べて多くなっています。(図表 128)

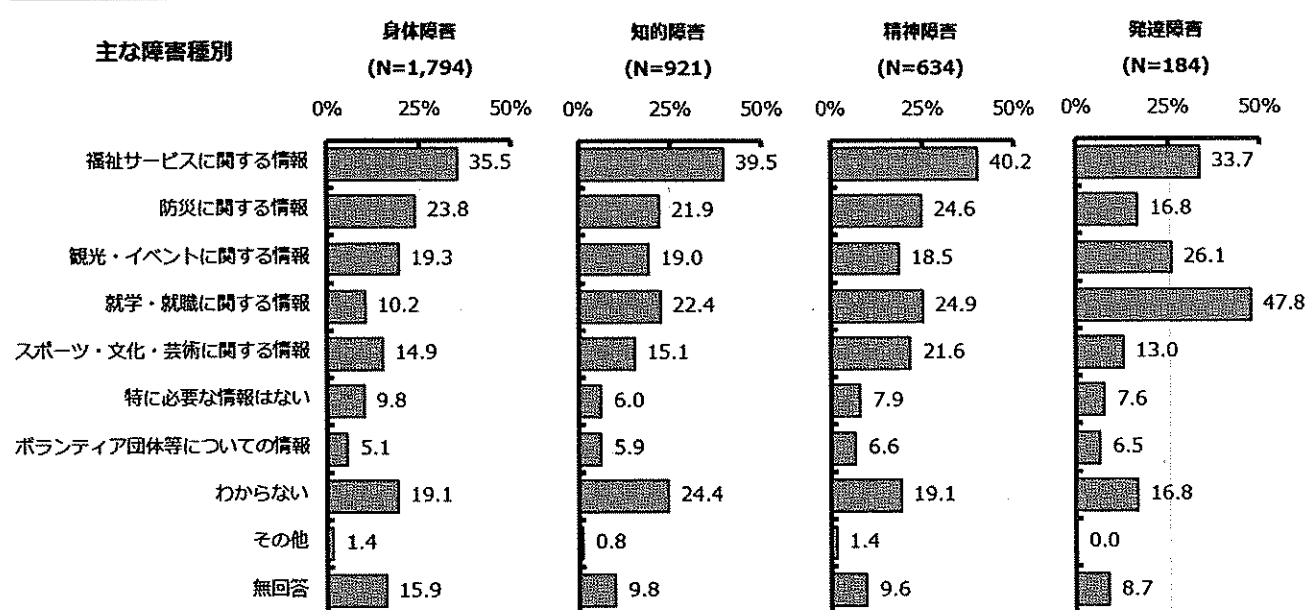
問 29 あなたにとって社会参加の機会を増やすために、今後充実してほしい情報は何か。
(複数回答：3つまで)

図表 129：全体集計

社会参加の機会を増やすために、今後充実してほしい情報は、「福祉サービスに関する情報」が 36.8%と最も多く、次いで「防災に関する情報」が 23.0%、「観光・イベントに関する情報」が 19.3%などとなっています。(図表 129)



図表 130：主な障害種別 集計



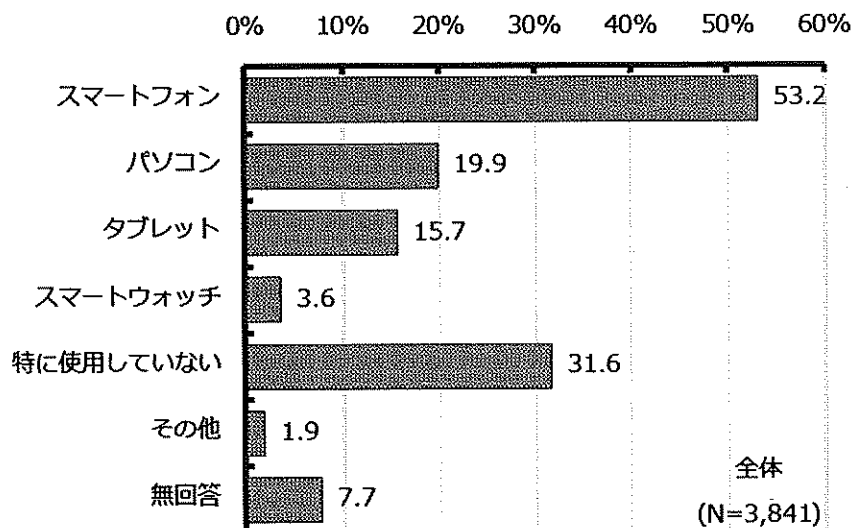
主な障害種別では、身体障害・知的障害・発達障害において「福祉サービスに関する情報」が最も多く、発達障害は「就学・就職に関する情報」が 47.8%と最も多くなっています。(図表 130)

問 30 あなたは普段の生活で、どのようなＩＣＴ機器を使用していますか。

(複数回答)

普段の生活で使用しているＩＣＴ機器は、「スマートフォン」が53.2%と最も多く、次いで「特に使用していない」が31.6%、「パソコン」が19.9%、「タブレット」が15.7%などとなっています。(図表 131)

図表 131：全体集計

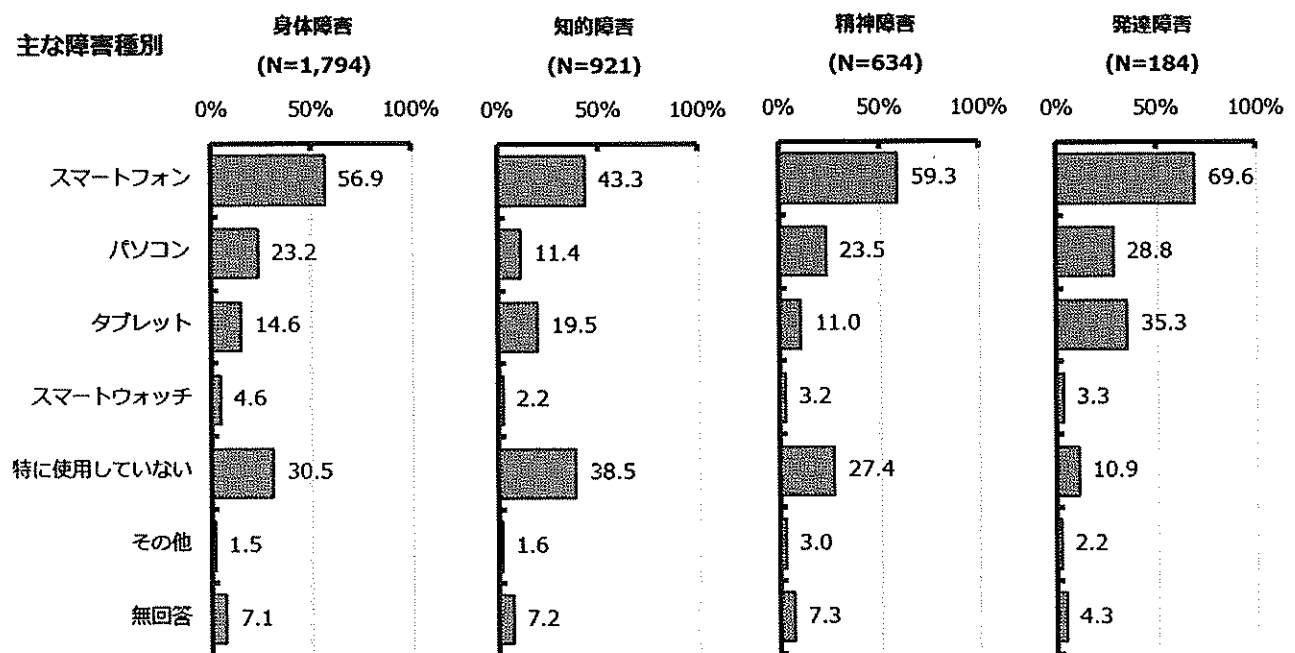


図表 132：年代別 集計

	調査数	スマートフォン	パソコン	タブレット	スマートウォッチ	特に使用していない	その他	無回答
10歳未満	192	67	11	66	2	84	2	7
10歳未満(%)	100.0	34.9	5.7	34.4	1.0	43.8	1.0	3.6
10歳代	316	184	68	127	7	60	4	13
10歳代(%)	100.0	58.2	21.5	40.2	2.2	19.0	1.3	4.1
20歳代	349	248	96	94	19	60	5	9
20歳代(%)	100.0	71.1	27.5	26.9	5.4	17.2	1.4	2.6
30歳代	305	202	76	57	22	64	3	22
30歳代(%)	100.0	66.2	24.9	18.7	7.2	21.0	1.0	7.2
40歳代	390	235	97	65	21	107	6	28
40歳代(%)	100.0	60.3	24.9	16.7	5.4	27.4	1.5	7.2
50歳代	573	349	138	84	20	159	15	31
50歳代(%)	100.0	60.9	24.1	14.7	3.5	27.7	2.6	5.4
60歳代	481	274	114	55	27	145	13	37
60歳代(%)	100.0	57.0	23.7	11.4	5.6	30.1	2.7	7.7
70歳以上	961	355	114	32	13	448	19	110
70歳以上(%)	100.0	36.9	11.9	3.3	1.4	46.6	2.0	11.4

年代別では、すべての年代において「スマートフォン」が最も多くなっています。また、10歳未満と70歳以上において「特に使用していない」が4割を超えて多くなっています。(図表 132)

図表 133：主な障害種別 集計



主な障害種別では、すべての障害種別において「スマートフォン」が最も多くなっています。また、発達障害において「タブレット」が35.3%と多く、「特に使用していない」が10.9%と少なくなっています。(図表 133)

問30で「1」～「5」と回答された方にお聞きします。

問30-2 ICT機器が役に立ったと思うのはどのような場面ですか。
具体的に記載してください。

図表 134：障害者別 集計

(単位：件)	パソコン	スマートフォン	タブレット	スマートウォッチ	その他	計
身体障害	315	674	198	64	19	1270
知的障害	276	132	18	8	225	659
精神障害	296	59	18	12	190	575
発達障害	94	51	6	4	49	204
その他	32	4	4	3	24	67
無回答	16	4	0	1	12	33
計	1029	924	244	92	519	2808

問30のICT機器の使用状況についての設問で、「1」～「5」を選択した方が、ICT機器が役に立った場面として記入されていたのは、身体障害において「スマートフォン」が最も多く、その他の障害においては「パソコン」が最も多くなっています。(図表 134)

図表 135：年代別 集計

(単位：件)	パソコン	スマートフォン	タブレット	スマートウォッチ	その他	計
10歳未満	45	48	1	2	42	138
10歳代	120	89	5	3	85	302
20歳代	197	79	16	4	117	413
30歳代	133	39	19	1	74	266
40歳代	170	48	19	2	92	331
50歳代	260	71	18	13	152	514
60歳代	190	45	21	7	102	365
70歳以上	294	40	12	17	220	583
計	1409	459	111	49	884	2912

年代別では、10歳未満において「スマートフォン」が最も多く、その他の年代においては「パソコン」が最も多くなっています。(図表 135)

主な意見（抜粋）

【パソコン】

- ・電話をせずに情報を得られる。
- ・社会参加の情報を得る（実際の行動は少ないが…）。
- ・書類作り及び管理。
- ・雨等でお散歩ができない日にユーチューブチャンネルでラジオ体操をしたり、好きな動画をみて楽しく過ごすことができている。スマートフォンだと画面が小さいため、パソコンがいい。
- ・株式取引。
- ・声で調べられる。漢字がわからなくても自動でしらべてくれる。
- ・只今、外出困難（精神的）なため自立支援員の力をかりて在宅の仕事を希望して、パソコンを使って練習している。在宅の仕事は、なかなか見つかりにくく、心配している。
- ・業務に関する情報収集。AI との対話による知的好奇心の刺激

【スマートフォン】

- ・体調が悪く話せない時にスマホを使って意思を伝えられたとき。通院時にスマホで移動手段を調べた時。
- ・自宅で手続きや情報収集がある程度行える、LINE で家族と連絡が取れる、メモをまとめられる、予定やお金の管理ができる。
- ・地図の利用で特に迷わず目的地へ行ける。又は下調べ出来る事前に必要なものを調べる。
- ・災害の時に、アラームが鳴り情報を知ることができる。
- ・補聴器の電池が切れてしまい聞こえない時にメモアプリを使って会話した場面。
- ・本読みが苦手なので、音声で読みあげてくれること。
- ・目の前にいなくても好きな相手とやり取りができる。通知があるので便利。一度交信が途絶えても SNS で検索すると友人や家族と連絡できる。
- ・現金を降ろし忘れていても電子マネー（モバイル含）で支払える。電子チケットを家にいて購入できるので当日並ばなくてもいい。
- ・具合が悪い時にスマートフォンの Siri の音声機能で病院に連絡することができた。服薬のアラームとメッセージで通知してくれるのでのみ忘れが防げている

【タブレット】

- ・現在利用している B 型就労でタブレット・パソコンでのイラスト作成ゲーム作成など必須であります。スマホで自身の描いた作品を発信している様です。
- ・大学で研究している電子教科書を iPad にダウンロードして、学習している。UD ブラウザというアプリを使用して、学習している。
- ・コロナ禍後、zoom を利用するようになって、全国各地の障害当事者の方たちと色々な研修を受けるようになり、たくさんの刺激をいただき、自立生活をはじめることができた。

【スマートウォッチ】

- ・スマートウォッチを通じて、電話の着信やアラームを振動という形で認識できること。PC やスマホを通じて、音声で文字で認識できること。
- ・心電図や血圧など記録されて常に自分の体調が（心臓の様子が）わかる心が疲れている時に音楽を聴いたり、ちょっとわからない事もすぐに調べられていい。
- ・スマートウォッチで睡眠の質が分かった時。
- ・スマートウォッチで居場所が確認できる。

【その他】

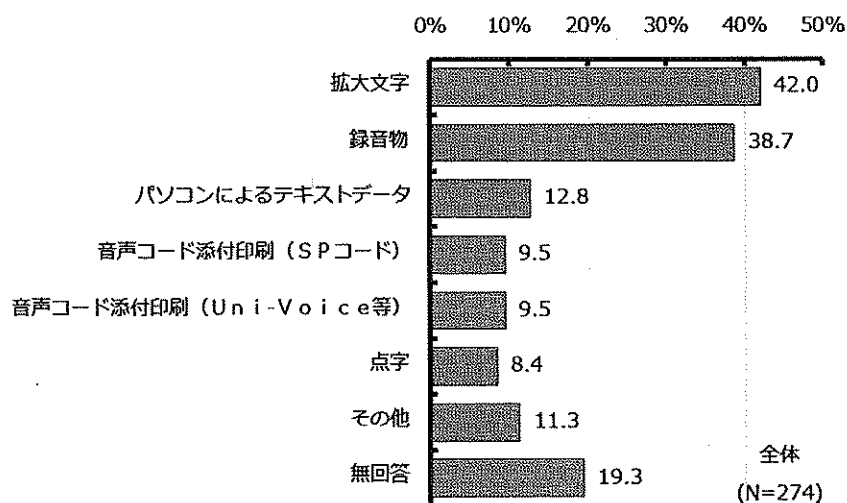
- ・「アレクサ」言葉かけのみで対話ができる。DAZN（ダゾン）すべてのサッカー、野球がみられる映画も数多くみることができる。
- ・パソコンの音声機能で情報が得られる。スマートフォンでドアの開閉等ができる。アレクサでエアコン、テレビを付けたりできる。
- ・ニュースを見る。動物園の旅行のため。雇用情報。メール（SMS）。

視覚障害のある方（問5-2で「視覚障害」と回答された方）にお聞きます。
問31 あなたは、どのような媒体での情報提供を希望しますか。（複数回答）

情報提供を希望する媒体は、「拡大文字」が42.0%と最も多く、次いで「録音物」が38.7%、「パソコンによるテキストデータ」が12.8%などとなっています。（図表136）

※回答肢「その他」19.3%の中では、「ラジオ」、「テレビ」が多くなっています。

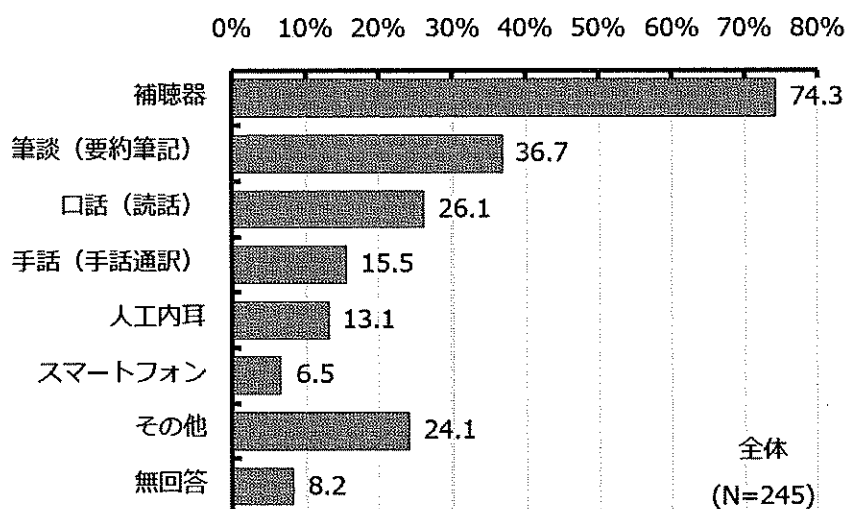
図表136：全体集計



聴覚障害のある方（問5-2で「聴覚障害」と回答された方）にお聞きます。
問32 あなたのコミュニケーション手段を教えてください。（複数回答）

コミュニケーション手段は、「補聴器」が74.3%と最も多く、次いで「筆談（要約筆記）」が36.7%、「口話（読話）」が26.1%などとなっています。（図表137）

図表137：全体集計

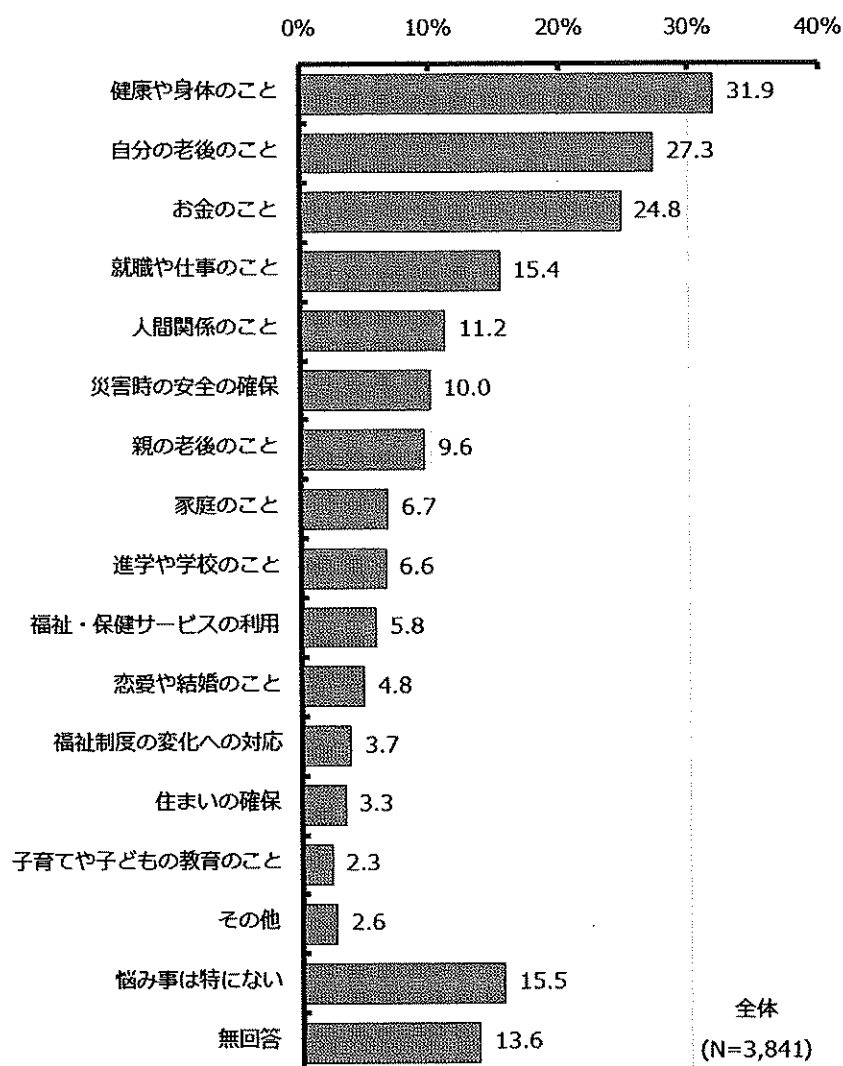


7 悩み事に対する相談について

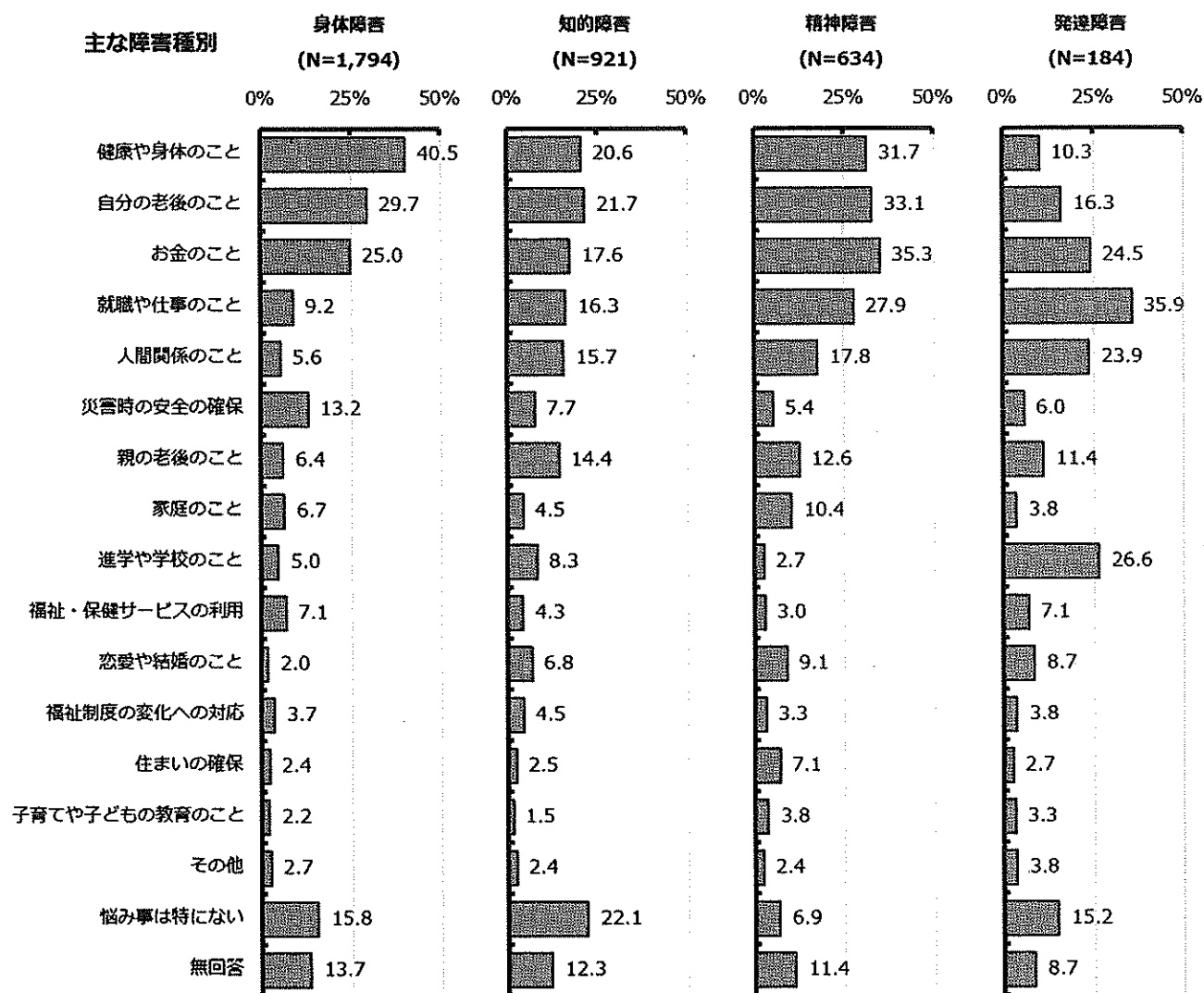
問 33 現在、悩み事がありますか。(複数回答：3つまで)

悩み事は、「健康や身体のこと」が31.9%と最も多く、「自分の老後のこと」が27.3%、「お金のこと」が24.8%などとなっています。なお、「悩み事は特にない」は15.5%となっています。(図表 138)

図表 138：全体集計



図表 139：主な障害種別 集計

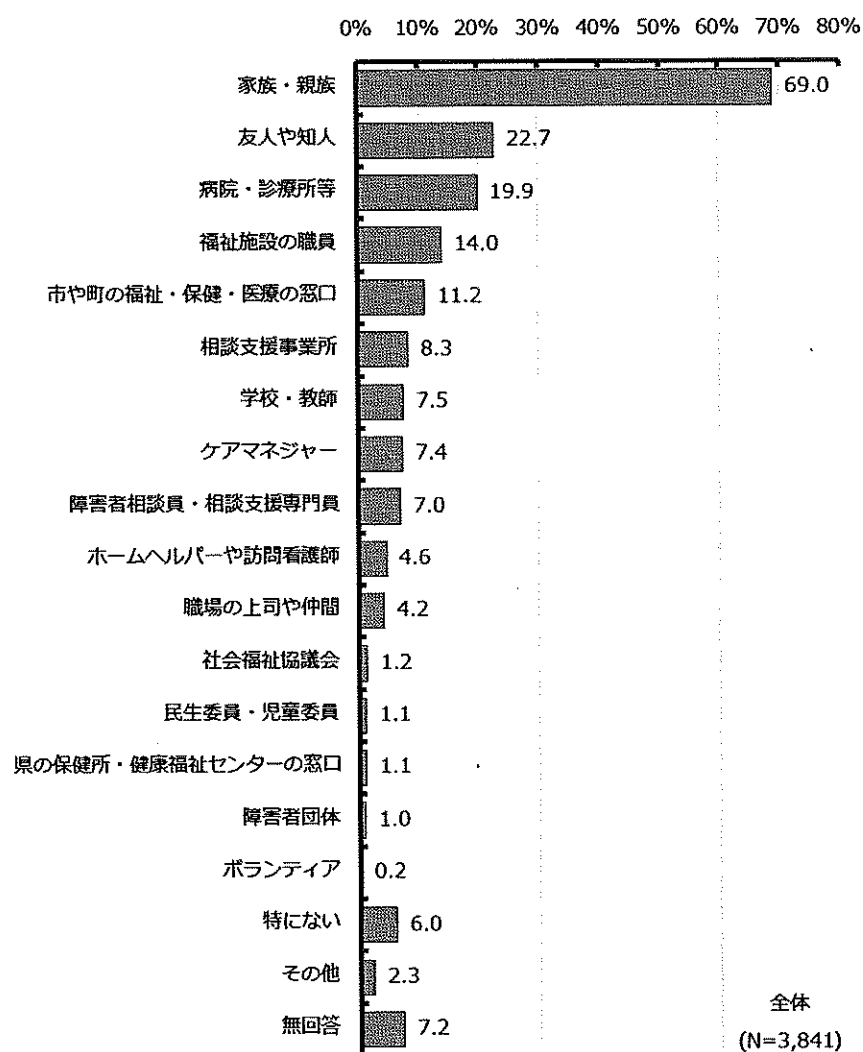


主な障害種別では、身体障害において「健康や身体のこと」、「自分の老後のこと」に加え「お金のこと」が多く、知的障害においては「健康や身体のこと」、「自分の老後のこと」に加え「悩み事は特にない」が多くなっています。また、精神障害において「健康や身体のこと」、「自分の老後のこと」に加え「お金のこと」、「就職や仕事のこと」が多く、発達障害においては「就職や仕事のこと」、「進学や学校のこと」に加え「人間関係のこと」が多くなっています。(図表 139)

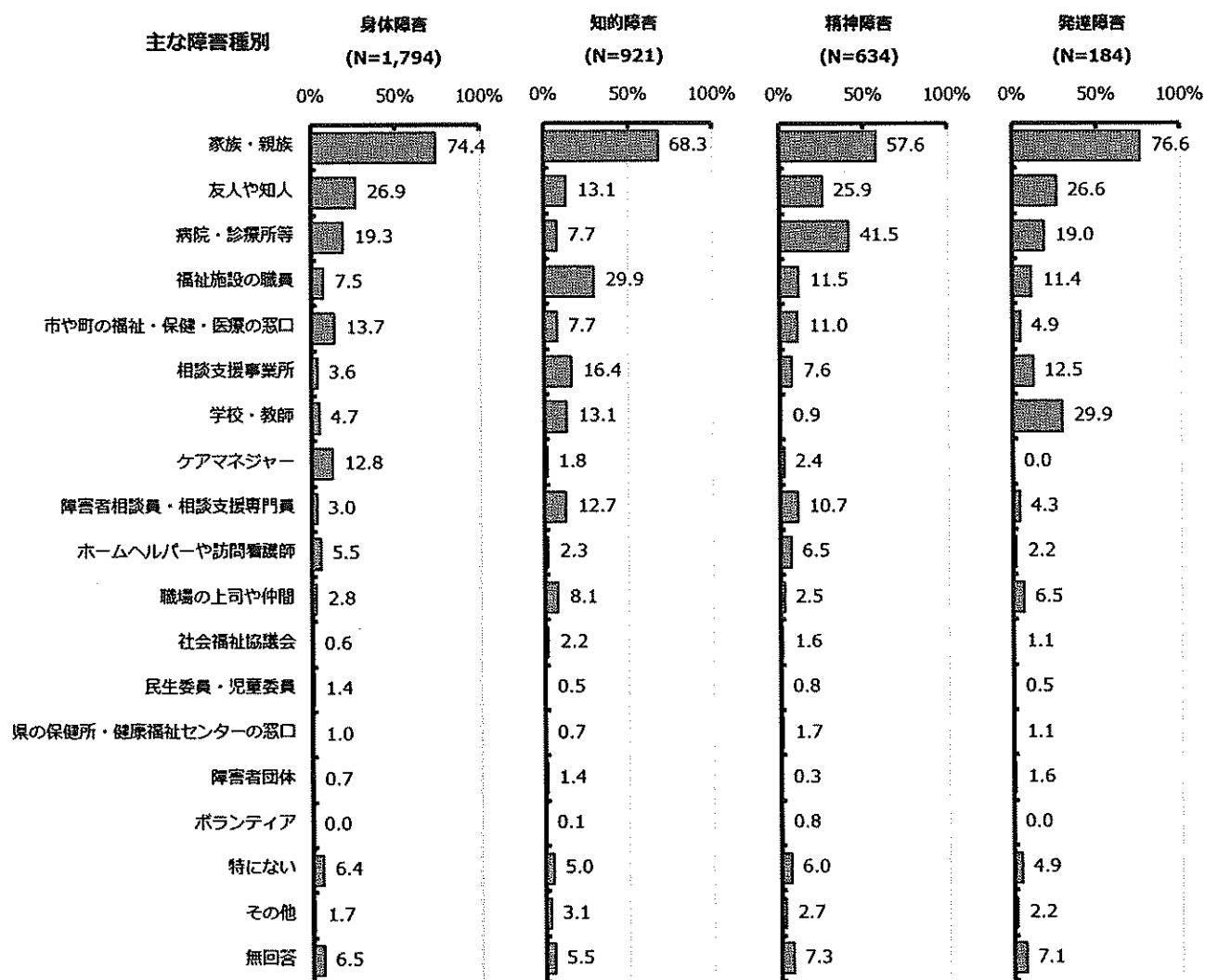
問 34 困った時のあなたの主な相談先はどこですか。(複数回答：3つまで)

困った時の主な相談先は、「家族・親族」が69.0%と最も多く、次いで「友人や知人」が22.7%、「病院・診療所等」が19.9%などとなっています。(図表 140)

図表 140：全体集計



図表 141：主な障害種別 集計



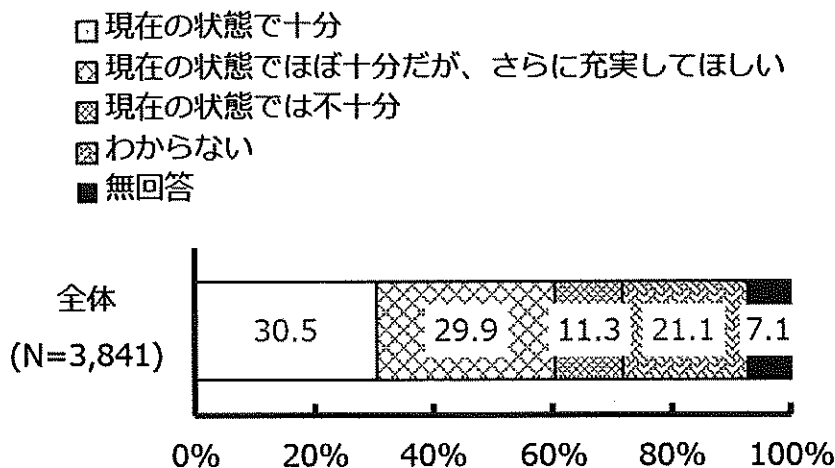
主な障害種別で多い相手は、すべての障害種別において「家族・親族」が最も多くなっています。次点で、身体障害は「友人や知人」(26.9%)、知的障害で「福祉施設の職員」(29.9%)、精神障害は「病院・診療所等」(41.5%)、発達障害は「学校・教師」(29.9%)が多くなっています。(図表 141)

問 35 困った時の相談支援体制について、現在の状態はあなたにとって十分ですか。

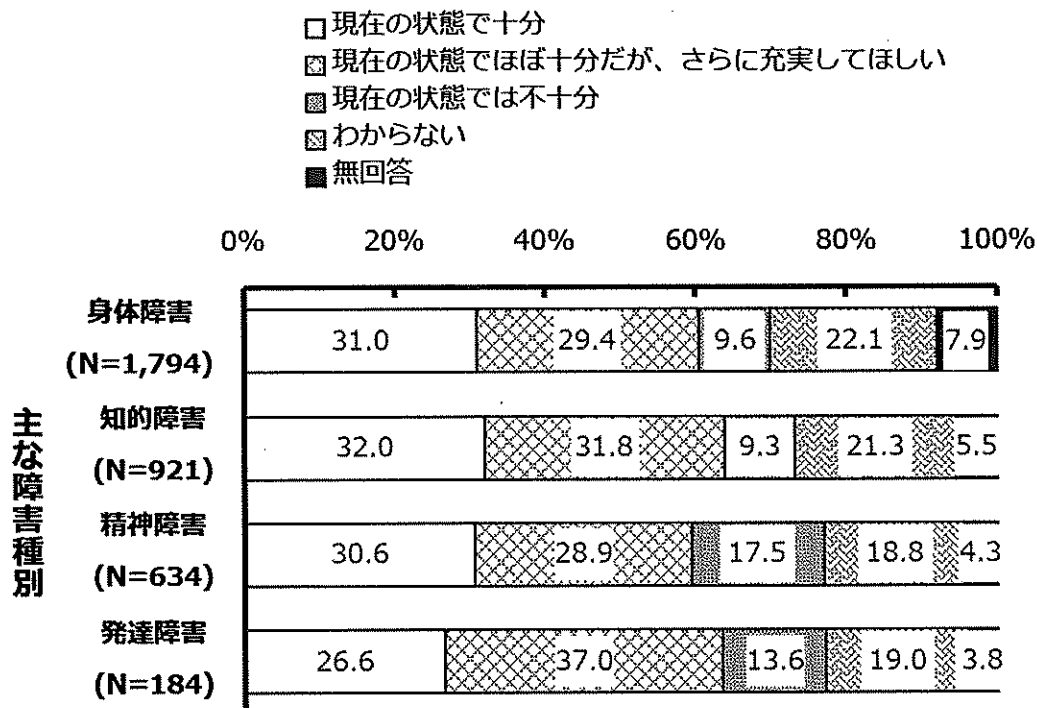
(単数回答)

現在の困った時の相談支援体制の状態は十分かについては、「現在の状態で十分」が30.5%と最も多く、次いで「現在の状態でほぼ十分だが、さらに充実してほしい」が29.9%、「わからない」が21.1%、「現在の状態では不十分」が11.3%となっています。また、『現在の状態で十分+現在の状態でほぼ十分だが、さらに充実してほしい』は、60.4%となっています。(図表 142)

図表 142：全体集計



図表 143：主な障害種別 集計

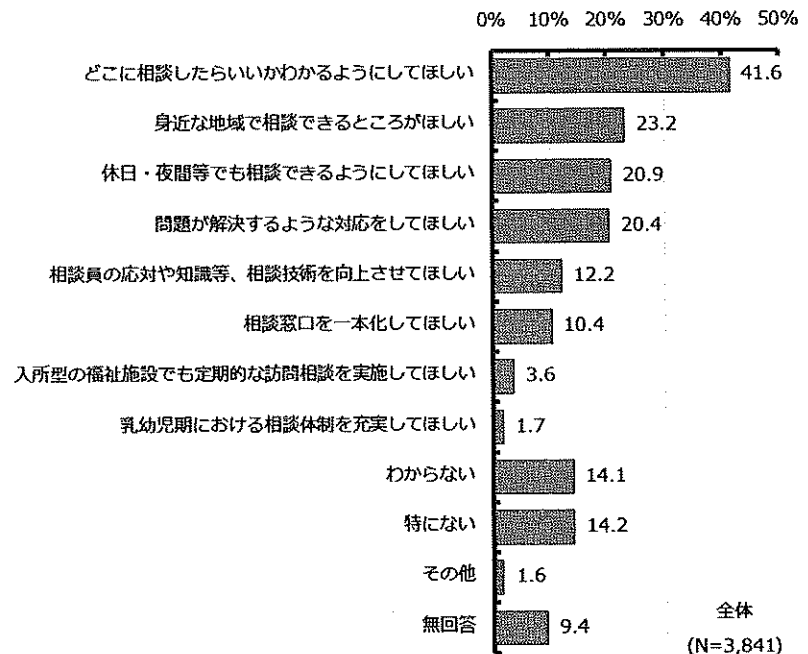


主な障害種別では、精神障害・発達障害において「現在の状態では不十分」の割合が1割を超えて少し多くなっています。(図表 143)

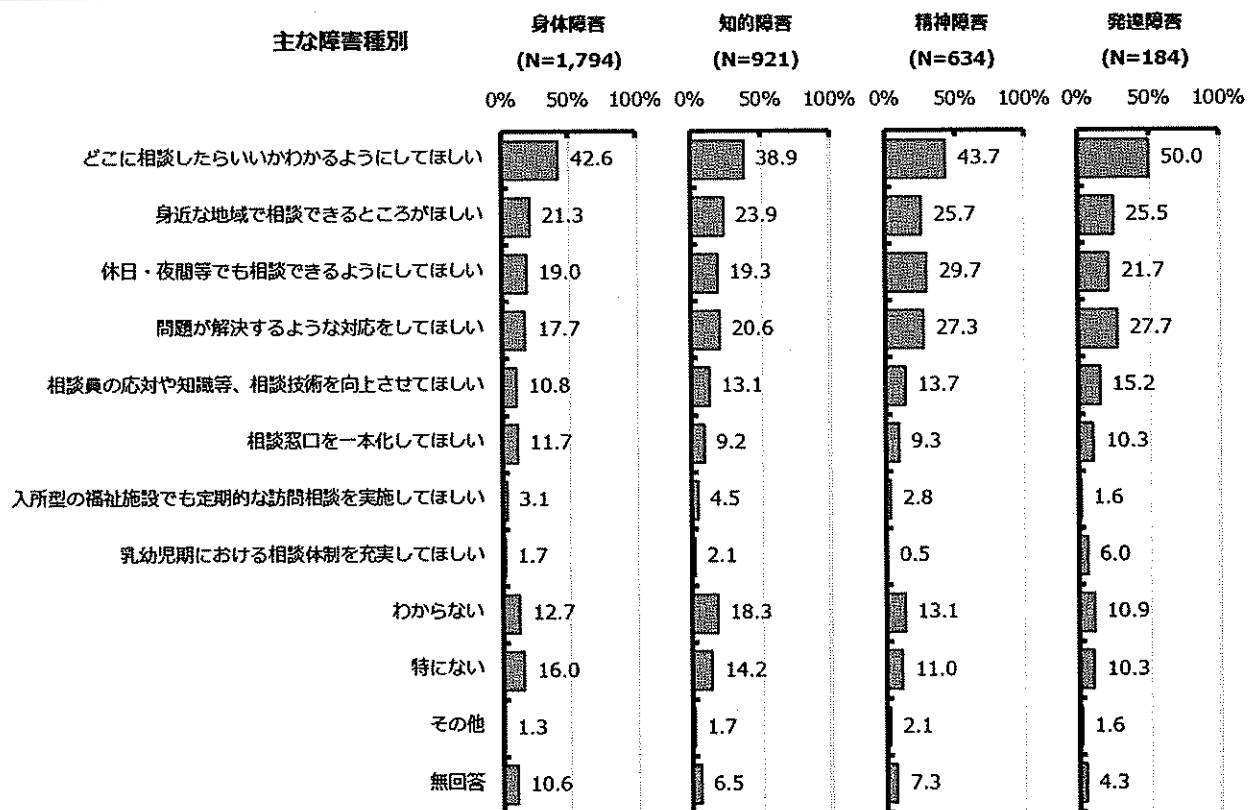
問 36 今後、福祉や生活に関する相談の支援体制として、どのようなことを希望しますか。
(複数回答：3つまで)

今後、福祉や生活に関する相談体制として希望することは、「どこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」が41.6%と最も多く、次いで「身近な地域で相談できるところがほしい」が23.2%、「休日・夜間等でも相談できるようにしてほしい」が20.9%、「問題が解決するような対応をしてほしい」が20.4%などとなっています。(図表 144)

図表 144：全体集計



図表 145：主な障害種別 集計



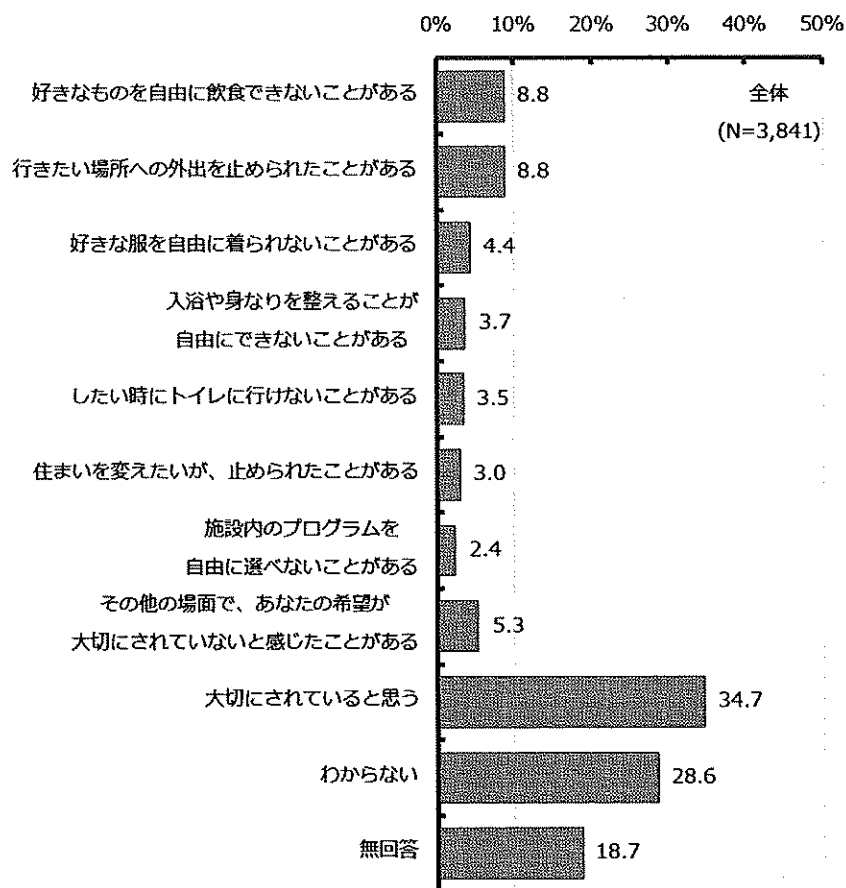
主な障害種別では概ね同様の傾向にはあるが、精神障害において「休日・夜間等でも相談できるようにしてほしい」が少し多く、発達障害においては「どこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」が50.0%と少し多くなっています。(図表 145)

8 その他

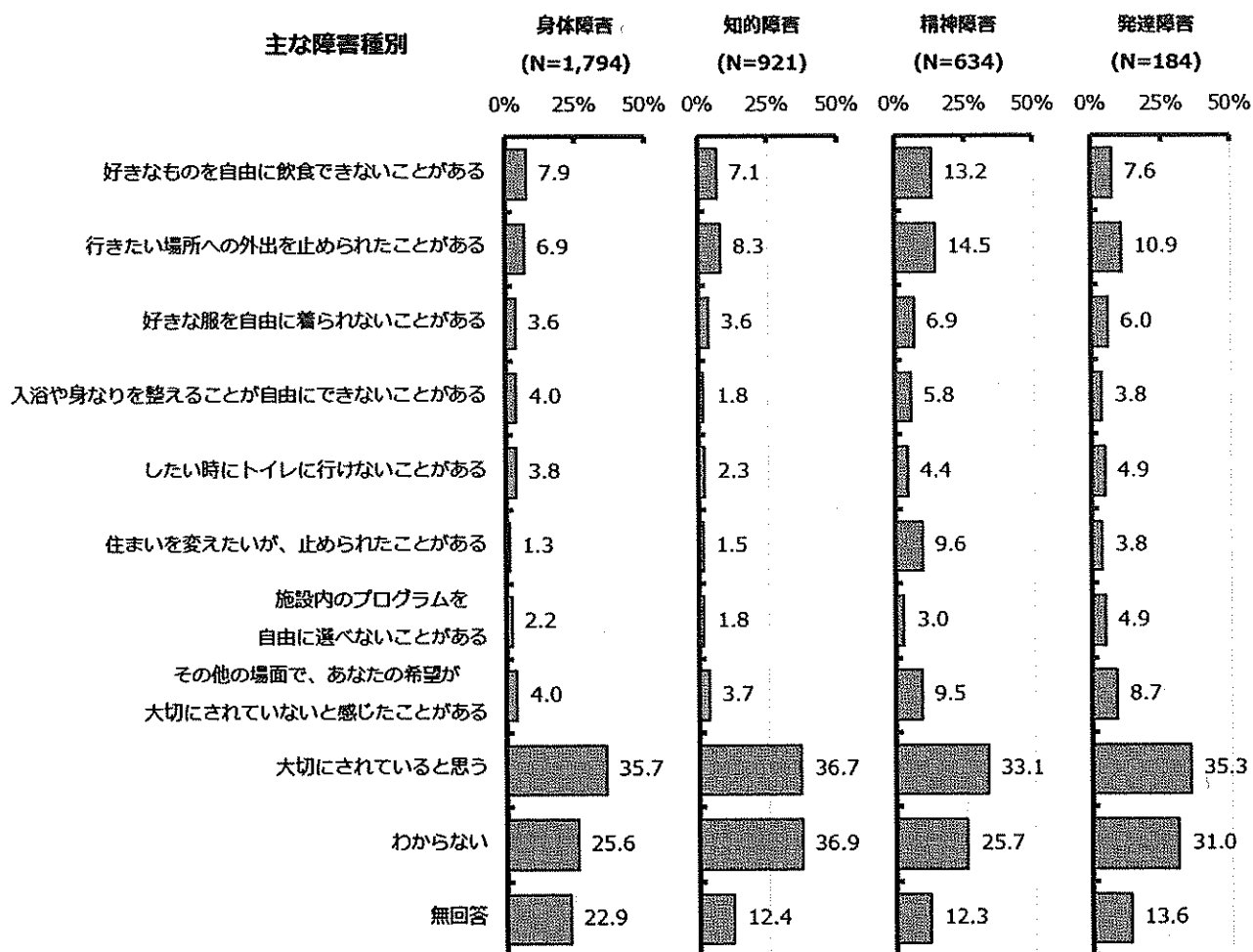
問 37 あなたは、次のような場面等で、理由や十分な説明もなく、あなたの希望や意思が、周りの人に理解（大切に）されないと感じたことはありますか。（複数回答）

「大切にされていると思う」が34.7%と最も多くなっています。理解されないと感じた場面では「行きたい場所への外出を止められたことがある」と「好きなものを自由に飲食できないことがある」がそれぞれ8.8%となっています。（図表 146）

図表 146：全体集計



図表 147：主な障害種別 集計

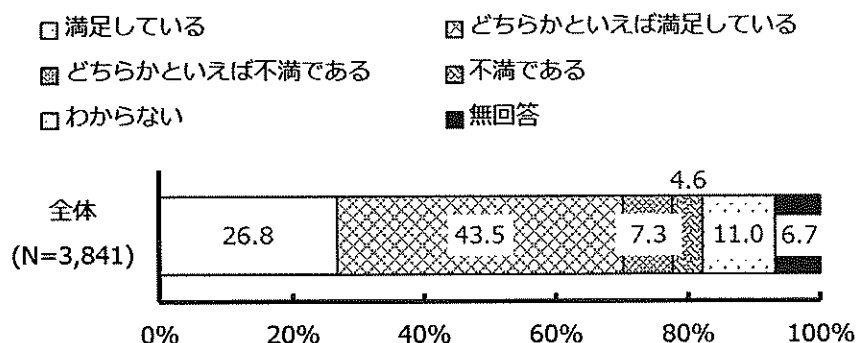


主な障害種別では、全ての障害種別において「大切にされていると思う」が3割以上と多くなっています。身体障害においては「好きなものを自由に飲食できないことがある」が7.9%と多くなっています。また、知的障害・精神障害・発達障害において「行きたい場所への外出を止められたことがある」が大切にされないと感じたことの中では最も多くなっています。(図表 147)

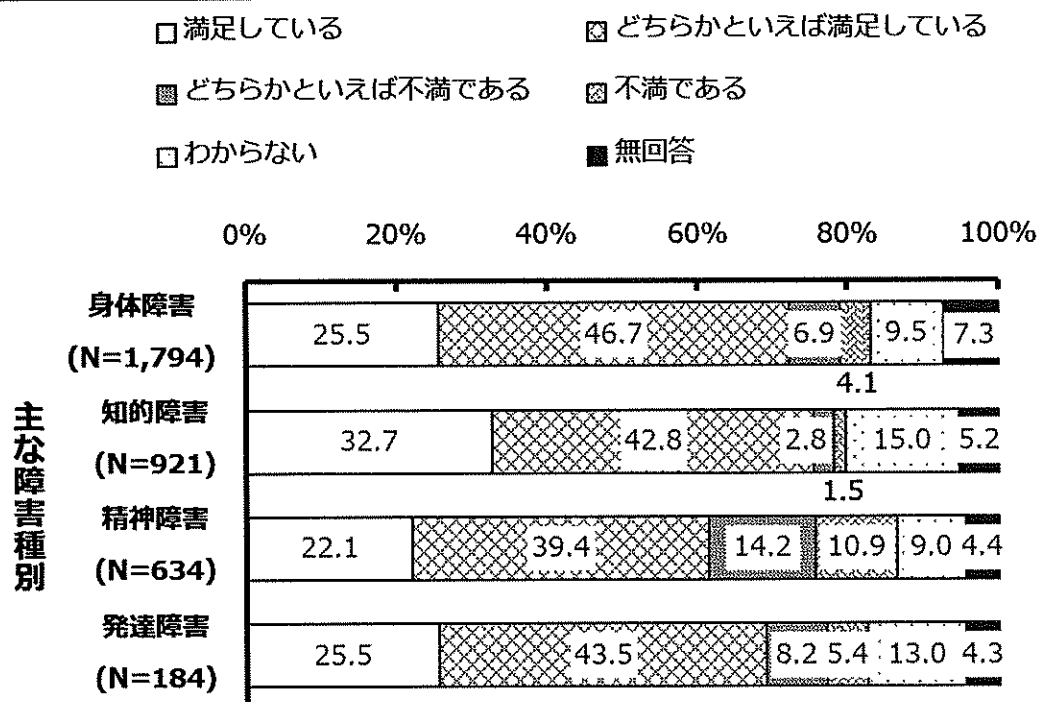
問 38 あなたは、現在の生活に満足していますか。(単数回答)

現在の生活の満足状況は、「どちらかといえば満足している」が43.5%と最も多く、次いで「満足している」が26.8%、「わからない」が11.0%、「どちらかといえば不満である」が7.3%、「不満である」が4.6%となっています。また、『満足している+どちらかといえば満足している』は、70.3%となっています。(図表 148)

図表 148：全体集計



図表 149：主な障害種別 集計



主な障害種別では、知的障害において「満足している」が32.7%と多くなっています。また、精神障害において「どちらかといえば不満である」、「不満である」を合計すると25.1%であり、やや多くなっています。(図表 149)

問 38 で現在の生活に「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答された方にお聞きします。

問 38-2 現在の生活に不満がある理由を具体的に教えてください。

問 38 の現在の生活への満足度についての設問で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」を選択した方が、現在の生活に不満がある理由として記入されていたのは、「行動に制約があること・やりたいことができないこと」が最も多く、次いで「家計・収入・金銭に関すること」、「自分の体調・障害・病気等に関すること」の順となっています。(図表 150)

図表 150：現在の生活に不満がある理由 分類後の件数

(単位：件)	こや行 とり動 に制約 がある こと・ ない・	こ家 と計・ 収入 金銭に 関する	等自 に分 の体調 こと・ 障害・ 病気	こ家 と族や 人間関 係に関 する	就 労に 関する こと	入 院中 のため	す福 社制 度・サ ービス に関	将 来の こと・ 介護 者が いな	住 まい のこと	こ障 害へ の理 解等 に関 する
身体障害	45	26	24	6	9	1	10	4	5	4
知的障害	4	6	0	6	3	0	0	1	0	3
精神障害	14	25	21	13	13	13	4	9	5	5
発達障害	3	2	1	1	2	3	1	2	0	1
その他	1	1	2	1	1	1	2	0	3	0
無回答	0	2	1	2	1	0	0	0	0	0
計	67	62	49	29	29	18	17	16	13	13

(単位：件)	す医 療制 度・サ ービス に関	交 通手 段の こと	に障 害・リ スク アミ ニ ティ ・ケ ー シ ョ ン	る行 政機 関の 対 応等 に関 する	結 婚含 む し た い 一 ひ と り 暮 ら し る	家 族と また は地 域で 暮ら す	教 育に 関する こと	わ から ない ・特 に ない	そ の 他	計
身体障害	6	7	6	3	1	1	1	1	6	165
知的障害	0	3	0	2	1	2	0	0	0	31
精神障害	4	0	1	1	4	1	0	13	0	146
発達障害	0	0	1	1	1	1	1	0	0	21
その他	1	1	1	1	0	0	0	4	0	20
無回答	0	0	0	0	1	0	0	1	0	8
計	11	11	9	8	8	5	2	24	6	391

主な意見（抜粋）**【行動に制約があること・やりたいことができないこと】**

- ・ 障害者である事を理由に車を運転させてもらえない場合があり、現在もいまだに運転できない状況にあります。
- ・ 自分でできないことがほとんどで歯がゆい。ほとんどの場面で介助がないと動いたりできない。高齢で筋力も低下している。
- ・ 透析に時間をとられる。
- ・ 両眼が見えない為何をやるにしても人をたのんでやるので早く自分でできるようになりたい。

【家計・収入・金銭に関すること】

- ・ パート収入での生活をしており、十分ではない。家族の助けがなくても生活ができるようにしたい。
- ・ 物価や値上がりが進み出掛けたり外食する機会が減少しました。支援が増えれば障害者も生活が豊かになると思います。
- ・ お金がない、体調が不安定、仕事の面接に行っても病名だけで不採用になる。
- ・ 入院費の助成が無いため入院したくても出来ない。

【自分の体調・障害・病気等に関すること】

- ・ 自分の病気が治らない為、家事が充分にできない。
- ・ 精神面で高低があるので、いつも穏やかに生活できるようになりたい。
- ・ 学校に行きたいけど体調が悪くて寮に入れてもらえず行けないから。
- ・ 現在は病気休暇中であるが、もともとは社会人として働いていたため、今の生活では社会的役割を自分が果たせていないと感じるから。

【家族や人間関係に関すること】

- ・ 不満と言う程でもないが自分が辛い時(身体的に)でも高齢の両親の世話からは逃げられないので苦しい時が結構ある。
- ・ 仕事とプライベートでの人間関係を充実したいが、うまくできない。
- ・ 夫に対する愛情がうすれて、いっしょに居たくない。離婚して、今好きな人といっしょに居たい。
- ・ 夫と夫の親と同居していますが、ストレスがしんどく、別々に暮らしたいですが、出来なくてしんどいです。

【就労に関すること】

- ・ 自分には障害があるが、同じ仕事場で五体満足の人以上に仕事をしていると感じるが、その人たちと給料は同じである。
- ・ 職場の人間関係に困っている。相談する人がいない。上司から自分にたいして叱られる。改善策がわからない。
- ・ 仕事を早くみつけて、仕事に行きたいが、それまでのプロセスがわからない。
- ・ 普通学級へ通学している為、今後の就職、自立等の支援の相談先がわからない。

【家族とまたは地域で暮らしたい（ひとり暮らし・結婚含む）】

- ・ 自立した生活を希望、目指しているが実現できない。

【入院中のため】

- ・ 閉鎖病棟に入院中で外出も買い物もできないから。

【福祉制度・サービスに関すること】

- ・障害者年金の不等について。自分と同じ等級で同じ症状でもらえる人とももらえない人がいる。また不正受給しているような人もいるようなこともよく耳に届くが、差別化をフラットにできないのか。生活が苦しい。
- ・自宅で生活したいが歩行ができない状況。歩行できるよう積極的にリハビリをしてくれない。
- ・人工呼吸器だからガマンする事ばかりで疲れた。どんな障害でも誰でも平等に福祉サービスを受けられる様にしてほしい。
- ・就職する為に支援施設を利用しているが、形式的な内容で個性や特性を生かしたカリキュラムが組まれていない。毎日、決まった事を繰り返すだけの内容になり成長があるのか不安がある。

【将来のこと・介護者がいなくなった後の生活のこと】

- ・実家で暮らしているが、母が亡くなった後暮らせる場所がない。訪問介護を受けたいが妹の拒否で利用できない。
- ・将来の展望が気になって安心出来ない。

【住まいのこと】

- ・家の造りがバリアフリーでない為。
- ・家が火事になり、保険に入っていなかったため、建てなおす事ができず、アパート暮らしになった。自分の家がほしい。金だけが出ていく！

【障害への理解等に関すること】

- ・親が自分の病気の事を知ろうとしない。サポート・援助がない。
- ・もっと自分の障害について理解を深める場や、同じ悩みを抱える人たちと交流できる場が欲しい。
- ・介助者である夫の理解が薄く、怒られてしまうことが多々ある。家庭のことは家庭任せになっており、夫に無理をかけている。社会的役割が失われ、なんのために生きているのか希望を見出しにくい。

【交通手段のこと】

- ・移動手段がない為家からなかなか外出できない。(バスなどがなくなったりしている) タクシーは高すぎる。補助券をもらっているけれど、タクシー代が高すぎて、あっという間に券がなくなってしまう。
- ・バスの本数が減ってタクシーの利用が増えたが、昨年実施の(試験)相乗りタクシーが廃止になった。是非実施してほしい。又はタクシー券を増やしてほしい。(外出は月1回ばかりではありません)。

【バリアフリー・情報保障・コミュニケーションに関すること】

- ・聴覚障害がある為人とコミュニケーションが充分にできず、自然と関りを持つとは思わなくなってしまう。積極的でなくなる。
- ・自分の言いたいことが言えない。自分の言葉で自分の感情を表現することかができない。

【医療制度・サービスに関すること】

- ・透析を近くの病院でしたい(送迎のある)。通うに週3日遠いので大変ガソリンも高い。家族に送迎してもらわなければならないので退職してもらった。
- ・担当医によって患者のとりあつかい方がちがう。担当医を自分で選べる事ができる様にして欲しい。

【教育に関すること】

- ・学校が騒がしく安心して1日過ごせない。そのため半分以下の授業しか受けていないから、勉強もわからないところがある。家庭で補いきれない。どの子ものびのびと学校生活をおくりたい。
- ・学校の選択肢をふやしてほしいです。もしくは、行きたいところに行けるようになれば幸いです。大人ではなく、子供が子供同士ですごせる学校生活を送らせてあげたいです。

【行政機関の対応等に関すること】

- ・行政の対応が不十分であること。
- ・市役所の福祉課もっと親身に！！気軽に相談できる所であってほしい！！マニュアルどおりの人が多い（市役所）

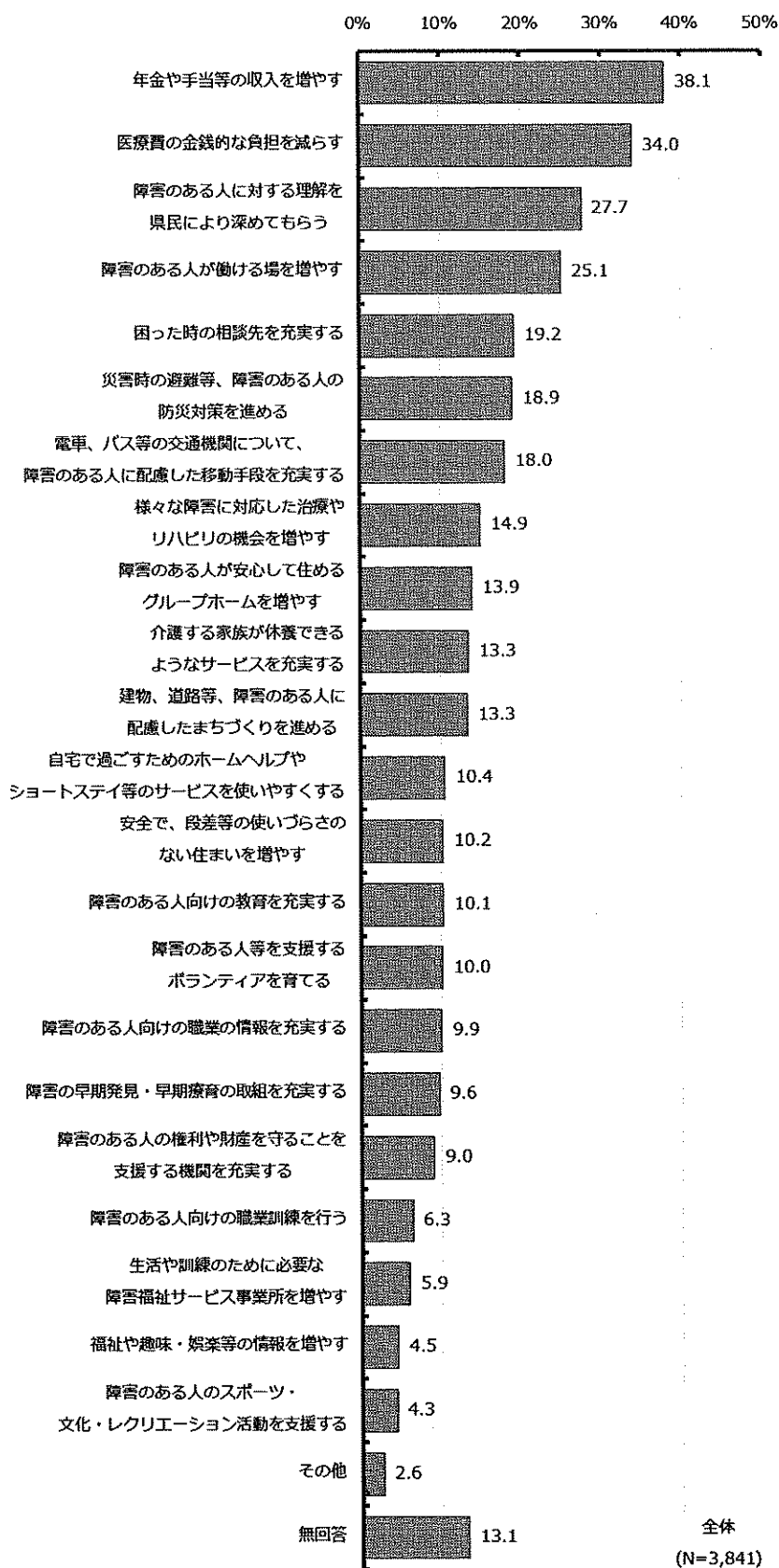
【その他】

- ・本当は誰も自分のことを知らない土地に行きたい。
- ・余裕のある生活したいです。
- ・食事、安心安全なものを出して欲しい。
- ・行動範囲がある程度決まってしまう、それよりも外に行く事がないので目新しい物もなくつまらない。近所の目を気にするあまり好きなように散歩もできない。よってほぼ家に閉じこもりになってしまい何もできない。

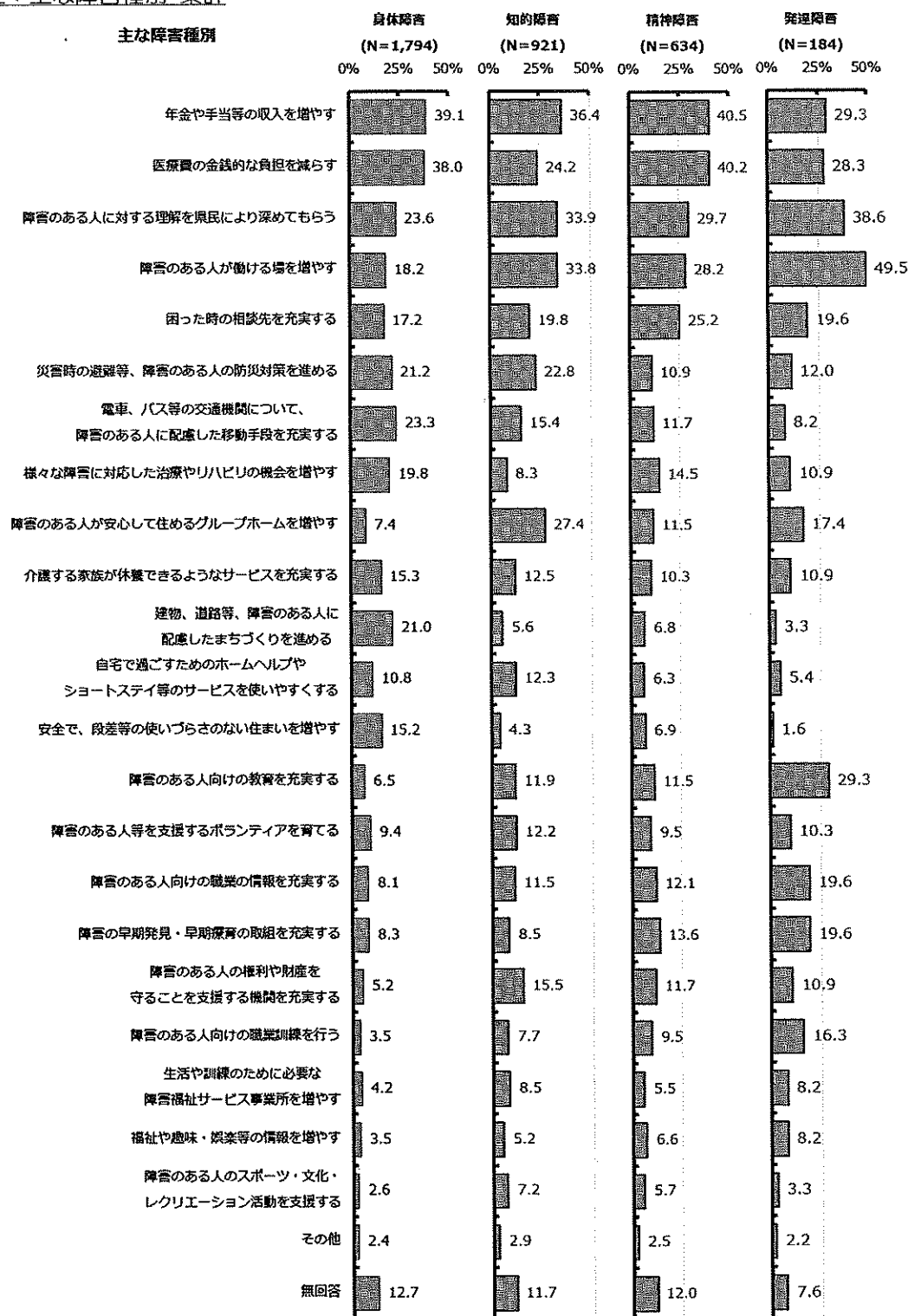
問 39 今後、行政に力を入れてほしいことはどのようなことですか。（複数回答：5つまで）

今後、行政に力を入れてほしいことは、「年金や手当等の収入を増やす」が38.1%と最も多く、次いで「医療費の金銭的な負担を減らす」が34.0%、「障害のある人に対する理解を県民により深めてもらう」が27.7%、「障害のある人が働ける場を増やす」が25.1%などとなっています。（図表151）

図表 151：全体集計



図表 152：主な障害種別 集計



主な障害種別では、身体障害・精神障害において「年金や手当等の収入を増やす」、「医療費の金銭的な負担を減らす」が最も多く、身体障害においては「建物、道路等、障害のある人に配慮したまちづくりを進める」(21.0%) も多くなっています。また、知的障害・発達障害において「障害のある人に対する理解を県民により深めてもらう」、「障害のある人が働ける場を増やす」が多くなっています。知的障害においては「障害のある人が安心して住めるグループホームを増やす」(27.4%)、発達障害においては「障害のある人向けの教育を充実する」(29.3%) も多くなっています。(図表 152)

○ 選択肢だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望がありましたら、以下の欄に自由にお書きください。

問 39 の今後行政に力を入れてほしいことについての設問と関連して、選択肢では表現しきれなかったことや、意見・要望として自由記述欄に記入されていたのは、「障害福祉サービス等に関すること」が最も多く、次いで「この調査に関すること」、「障害の理解・権利擁護に関すること」の順となっています。(図表 153)

図表 153：自由記述 分類後の件数

(単位：件)	障害福祉サービス等に関すること	この調査に関すること	障害の理解・権利擁護に関すること	福祉制度・施策に関すること	行政機関の対応・施策に関すること	相談支援体制に関すること	とまちづくり・理想の社会に関すること	現在の生活に関すること	経済的支援に関すること	介護者がいなかった場合の生活のこと	ン・その他道路や設備に関すること	教育に関すること	医療に関すること
身体障害	25	28	29	25	15	11	14	9	7	5	17	7	10
知的障害	27	20	8	13	9	14	3	4	2	10	1	8	2
精神障害	8	6	10	9	2	2	4	9	10	4	1	1	4
発達障害	5	7	3	3	0	0	1	0	2	1	0	3	1
その他	4	2	1	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1
無回答	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
計	70	64	53	51	28	27	24	22	22	21	20	20	18

(単位：件)	家族支援・負担軽減に関すること	就労・職場に関すること	全に防災・防犯・交通安全に関すること	職員に関すること	人間関係・友人に関すること	情報保障に関すること	交通機関に関すること	その他要望	ひとり暮らしに関すること	住まいに関すること	特にない・わかからない・満足している	その他	計
身体障害	6	5	9	5	3	5	6	4	0	1	37	5	288
知的障害	4	5	3	6	3	3	3	4	1	0	16	6	175
精神障害	2	2	1	2	2	1	1	0	1	1	14	4	101
発達障害	1	2	0	0	2	2	0	1	0	0	1	1	36
その他	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	21
無回答	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	10
計	15	15	14	13	12	11	10	9	2	2	70	18	631

主な意見（抜粋。一部の意見は自由記述の中から重要な部分を要約しています）

【障害福祉サービス等に関すること】

- ・入所と在宅が同等のサービスが受けられるようになると良い。医療的ケアがあると、福祉型入所に入所できず、在宅でも夜間サービスが受けられないため、財源、人材の確保をお願いします。
- ・ショートステイは女性が同性介護で安心してあずけられる。場所を増やしてほしい。親なき後、理解ある場所で安心してらせるグループホームならあるといい。職員さんの教育がもっとよくなるといい。
- ・障がい者はもちろんであるが 福祉サービスに関わる人全てが ストレスなく支援出来るような取り組みをして欲しい。
- ・今は学校に通えて、放課後デイサービスにも通えていて、助かっています。高校を卒業後の進路が不安です。生活介護施設をもっと増やして欲しいです。施設に看護師が居ると安心して過ごせます。
- ・障害に対して'グレーゾーン'の人に対するケアを充実してほしい。
- ・以前より、身体障害者手帳を持っていたが、4級であった為、利用はしなかった。90才になって内部障害になり2級となった介護保険を利用しているし、障害福祉サービスをどの様に利用していくのか、わからない事がいっぱいある。タクシー券をもらったが家族が同行しなければ行く事ができず。それよりオムツ券を増やして欲しい。

【この調査に関すること】

- ・実態調査の量が多すぎて、途中で面倒になった。もっと簡潔にしてほしい。
- ・児童用のアンケートにしないと成人の場合とはことなるし、アンケートの設問がナンセンスになる。年代別にアンケートを作った方がいい。
- ・用語説明はやくにたしますね。できれば次回よりミシン目がはいっていきりとりできればありがたいです。
- ・『なるべく「あて名本人」が教えてください。』と記載があるので、自立している年齢以上を対象にしてほしい。
- ・重複した障害を持っていたり、障害を持っている人が認知症になったり、一つでは答えられない質問が多かったですし、今後高齢化が進めばもっとそのような人が増えていくと思います。
- ・聞くだけ聞いて何も変わらないのなら、このアンケートの意味が全くわからないので、アンケートを書かせたいならちゃんとやってほしいです！！

【障害の理解・権利擁護に関すること】

- ・障害のある人への差別や偏見をなるべくなくしてほしい。在日外国人、またはその家族への差別や偏見をなくしてほしい。
- ・アルコール依存症についての県民の理解がなく、人間関係が築きにくい。病気の名前を聞いただけで知らない人間だとレッテルをはられてしまう。
- ・聴覚障害など目(外観)に見えない障害はまわりの人に理解されない。病院などで呼ばれても聞きとれなくていやな顔をされたりする。誰から見ても聴覚障害というのが分かるものがあれ良いと思う時がよくあります。
- ・内部障害は外出時、周囲の配慮が得にくい。ヘルプマークのより一層の周知を期待したいです。
- ・差別しないような環境(生活)をするために、差別に対する罰則や法律強化などをしていただけると、障害者にとって過ごしやすい生活が出来るかと思います。障害に対する悪口、陰口が近年増えつつある傾向があるため、そうした言動や行動を無くすために、公的機関や警察に相談し、報告時点で早急に対応してもらうようにしてほしいです。
- ・1番身近な家族が先程記入した通り、自分の心と体の病気について理解してくれていない現実の時折、死にたくなる時が、あります。自分の様な病気の間人は、生きていて良いのか、死んだ方がいいのかと病む日が毎日つづいています。

【福祉制度・施策に関すること】

- ・障害の軽重に関係なくある程度、平等な制度にしてほしい。
- ・3級2級の人は年金をもらい、医療費もいらぬのに、4級はほとんどメリットがない。3級の人は毎週外食に、ゆたかにくらしている。
- ・手帳を取得した疾病とは別の難病をその後患う事になり特定疾患の受給者です。障害手帳の級にはプラスすることが出来る制度はないです。生活全般が不自由になりつつあり不安です。障害者手帳+特定疾患受給者の制度が必要です。
- ・特別児童手当・福祉児童手当等の所得制限を廃止して欲しい。助けられてないと感じる。物価高にも合っていないのでは。
- ・障害年金の審査が厳しい。市から国へ意見を提言してもらいたい。役所の人は親切でない。障がい者の立場で説明してもらいたい。
- ・成年後見人のこと、一般的に弁護士が年3回本人の所へ行き、裁判所へその記録を提出することと、お金の管理となっておりますが、本人はとても多動な子なので、見守りも必要です。見守りもいれて、成年後見人の契約にしてほしい。

【経済的支援に関すること】

- ・通院時だけでなく、ふだんの買い物でも利用できるようにタクシーチケットの金額をもっと増やしてほしい今の金額では通院のみでも1ヶ月で使ってしまうのでふだんのかいものがきびしい。
- ・日常生活用具費助成金の増額をしてほしい。
- ・働くことが出来ないのに、障害年金のみだけでは生活していくことができない。金せんな場面でのサービスを充実してほしい。お金のよゆうがないと、心もよゆうがなくなってしまう、病気が安定しない。
- ・手続きに時間がかかり過ぎて、働けない期間は夫の収入のみ。しかし、病院代はかかり、薬代も高いのに、認定されるまで待つしかなく、その間は借金。給付金も受け取れない。中間の収入者は、沢山いると思う。助すけて欲しい時に、それが出来なければ何の為に今まで税金や保険料（年金）、収めてきたのか分からない。
- ・現在も、公的な御支援をいただき、感謝申し上げます。希望としましては、運転免許返納者（または、返納を迷っている人たち）への一助となりますように、タクシー利用時の割引率のアップを検討していただけますと有り難いです。

【就労・職場に関すること】

- ・障がい者の働ける場は限られてるのでクリエイティブ系のようなやりがいのある仕事があれば良いと思います。
そして、障害のある人の自立ができるアドバイスがあるような機関を増えると助かります。
- ・障害者の親が働ける環境を作してほしい。通院やリハビリ等で休む機会が多いため、働きづらい。児童発達支援の利用時間が短いため、正社員で働くのは難しい。働けなくなった際、収入がなくなるので、手当を増やしてほしい。
- ・法定雇用率の達成のためには、まず、公共団体が率先して障害者を雇用するべきだと考えます。教育委員会は特にそれが低いです。一般企業に課するなら、まずは公共団体から、よろしくお願いします。
- ・障害を持つ生徒の卒業後の働く場や生活する場の選択肢の数や質、環境面、周りの人の理解などの充実、サポート体制の充実を願います。
- ・会社で働く時にパート・派遣 etc の契約をして安定した正社員で働ける環境が欲しいのとお金の面で不安定（静岡県の最低賃金）な時給で働く環境を変えてほしい。

【教育に関すること】

- ・普通級に行く事が難しいので支援級に通っています。学校は支援級の位置づけをもう少し考えて欲しいです。圧倒的に手が足りていません。平等に教育を受けたいです。
- ・障がいがあっても定時制や通信制の高校にも進学しやすいように、進学する本人の意思を尊重して、勉強面も社会的な面でも全力で支援してほしい（商業高校への進学も含めて）
障がいの程度が軽い人達を、無理やりに特別支援学校高等部へ進めさせようとしたり、本人の意思を尊重せず、強制的に進学先を変更させるのをやめてほしい。（特に中学校）。
- ・障害のある子を抱えた親の教育が足りていないように感じます。学齢期は学校と放デイ、卒業後は就労先がなんとかしてくれると思っている人が多い。年々変わって行く福祉の世界についてもっとアンテナを張り、情報を更新し、頼るばかりではなく、いただいたご恩を返していくことで、障害を抱えた人だけでなく、誰もが住みやすい地域になるのでは、と感じます。
- ・学習障害に対する教育の場がもっと必要なのは？各学校に通級教室の設置をしてもらいたい。人数が限られていると聞き、他の学校まで送りむかえが必要。働いている人からするととても大変です。通いたくても通えない。子供の成長がさまたげられてしまう気がします。
今すぐはできなくても、今後対応してもらえたらと思っています

【行政機関の対応・施策に関すること】

- ・市の横のつながりがうすすぎる。役所・保険センター・教育 など。何度も説明しなくてはいけなくて大変だった。
- ・相談先は市役所だと思うのですが、個人情報等守られるのか（窓口での相談状況含め）心配でしかない。個室、仕切板、隔板、名前を呼ばない等の配慮をしてもらえないかと思う。病院でも番号表示で名前は呼ばないのに…。
- ・装具等の申請に時間がかかりすぎていると感じます。特に装具を使う本人が成長期である場合、申請してから完了するまでに半年から1年かかると申請時の状況とはかなり変わってくる場合もあるので、もう少し時間を短縮できるよう改善して欲しいです。こちらとしても必要に迫って申請をしているので、よろしくお願い致します。
- ・行政側の担当者の勉強不足（行動不足）と求める書面が面倒。それにより障害程度が重度の方が理解できないことがあり、受けられる福祉を得られない。
- ・1市や県の窓口のワンストップ化でたらい回しがないようにしてほしい。

【現在の生活に関すること】

- ・自分より障害の重いかたや病気で苦しんでいる方いっぱいいると思うので、自分も役に立てられるようにボランティア活動できるようにしたい。
- ・収入が増えた場合の確定申告の不安がある。収入が増えた場合の税金の支払いについて不安がある。
- ・IT・AI等がすすみ支払い、お金管理が今後は変化していくため、対応の仕方等に不安があります。
- ・通院でお金がかかる。物価高騰できりつめた生活の中、視力が弱い事への不安がつのるばかり。
- ・退院させてほしい。

【まちづくり・理想の社会に関すること】

- ・小学生の子供を持つ親ですが、現状学校や放デイの方にサポートしてもらって通っている状況です。子供が成人して就職した頃には自立できているのか、また、職場にサポートしてくれる人や制度などが揃っている社会なのか、不安です。
- ・障害者本人を休ませる為に土日保育を使いたい市町村と園との相違がある。障害をもっている子育て出来る社会に力を入れてほしい。
- ・静岡県が「障害のある人に優しい県」のベスト10に入るようお願いします。（別のアンケートより）。

【職員に関すること】

- ・障害のある人たちが地域で暮らしていく為の福祉サービス、制度はあるが実行してくれる人（ヘルパーさん）や施設が足りてない。移動支援やショートステイなど今後利用していきたい。親が年老いてくるのでグループホームも考えているが知的障害が重く、支援や助言が多く必要だがそれをしてくれるのは入所施設（大きな）で、グループホームでの支援はなかなかない。
↑大きな施設は順番待ちの状態。
- ・新聞やTVなどで目にする障害者施設などでの「虐待」を多く感じています。職員の方達の対応をチェックするなど、様子を確認してほしい。いじわるをされても、自分の口から訴えたり「いやだ」と言えないので、入所することにとっても不安を感じています。
- ・福祉事業所、職員さんの声、意見をもっと聞いてほしいです。給料に合っていない（低すぎる）ので、手当をもっと出してあげてほしい。本当に困っている人の声を聞いてほしいです。
- ・相談先や支援員をボランティアではなく、専門のスタッフとして配置してほしい。また、県外の病院を受診している場合など諸々の手続きが煩雑な上、指定される期間が短い場合があるので余裕を持った対応をしてもらいたい。実例を上げると乳幼児の予防接種の償還払いなどは手続きしてから3カ月ほどしか猶予がないため、かかりつけ先の病院で何故浜松市はこんなに短いのかと驚かれたことがある。
- ・県や市などの正職員障害者採用を同じ採用試験にするのではなく、身体の障害か精神の障害など分けて、それぞれ特技に合わせた採用試験にしてほしい。

【その他要望】

- ・できれば総合病院のような、あたたかい食事が精神科病院の病院食でも食べられるとありがたい。普段は感謝し食べているが、あん（焼きそば・パスタ）やあたたかいはずのおかずが冷えていて、つらい気持ちになります。
- ・障害児支援計画書を書いてくれる方が居ない。頼んでも、児童が多すぎて…と断られる。
どうにかしてほしい。
- ・障害者保険証のマイナンバーカード化を早急にやってほしいです。
- ・高齢化に伴い 障害者だけでなく身内のいない人の保証人や住居などできるようにしてほしいです。
- ・両親に対してサービス内容の具体的説明会が欲しい。障害者の親たちが困っていることを話し合う機会を作って欲しい。
- ・障害、不登校、引きこもり、悩みを持っている人、仕事をしたいけど上手くできない人など、家にいる人など年齢関係なく、交流を増やしてほしい。とにかく交流をして楽しくいたい。
- ・もう一生治らない障害になって、もう死ぬしかないと思ってます。お金の不安、心のメンタルをケアしてくれる支援機関があればと思います。

【介護者がいなくなった後・介護ができなくなった場合の生活のこと】

- ・若いうち（障害者が）に、親亡き後のことを考える（親世代も）こと、備えることの大切さを考えて、親子で備える。親亡きあとを考えずに、親が抱えこんで、子どもも親だけに頼り、親が高齢になってから、子どもをヘルプされても、支援につながりにくい。
- ・今は夫が元気なのでいいが、夫が動けなくなった時どうするか、どこか施設に入るしかないか？
- ・親が高齢になり一緒に暮らせなくなった時、本人がどのように生活することができるのか、どのような選択肢があるのか、検索できる手立てがあると助かります。
- ・親の高齢化により自宅ですごせなくなった時、グループホーム等の施設にスムーズに入所できるのかがとても不安だ。

【情報保障に関すること】

- ・障害福祉サービスについて、自分から情報を求めないと教えてもらえない。障害者に対して優しくない。もっとこういうサービスが使えるという情報を行政の方から積極的に教えてほしい。
- ・引きこもりの経験や現在引きこもりであるというだけではB型就労を受けることが出来ず、今は病院に通いながらそこでお仕事もしている。当時の自分でも仕事、仕事の訓練ができる場所が欲しかった。もしあったのならばそれを知ることができるように情報を伝えてほしい。
- ・制度や支援があっても、本人が知らなければ意味がない事だと思います。知ってる人のみが得をする感じがします。
- ・個人病院などで、車椅子利用者であることを理由に、診察拒否される方が減る様に、障害者差別解消法の理解と適切な運用について、静岡県及び市では、必要な周知活動をお願いしたい。
- ・障害に特化したサービスが受けられるところの情報が欲しい。ex 言語聴覚士とか。

【バリアフリー・ユニバーサルデザイン・その他道路や設備に関すること】

- ・【バリアフリー化について】視覚障害者にとって、安易な段差解消でのバリアフリー化は、目標物が無くなり、外出が困難になる。段差解消に当たっては、当事者の意見を聞いて、適切な点字誘導ブロック敷設を進めて欲しい。
- ・役所に車イスの数が少ない。
- ・オストメイト用のトイレも男女分けてほしい。オストメイト用トイレは、利用したい時に小さい子供をつれた家族に使われている事が多く、さがすのが苦勞する。トイレの数は少ないので大変です。
- ・外出先での車イスのトイレの充実（飲食店・個人クリニック）。車イスの人が試着出来る所が欲しい（12月に義母の23回忌のため礼服）。
- ・転んだ時に衝撃を吸収してくれるような舗道が増えるといいなと思ったりします。

【相談支援体制に関すること】

- ・就学相談の相談員をもっと保護者に寄り添った考えが出来るような人、上辺だけの判断ではなく、保護者の話や色々な話を聞いて子供にとって何が安全か、何をすべきか、どこが楽しく過ごせるかを考えた上で判断するような人を増やした方がいいと思う。
- ・一般的なDV相談も、相談者に障害があると、障害者虐待相談窓口へ転送され、DV相談にスキルのない相談員と「お話し」して終わり。傾聴では何も解決しない。
- ・困っている人が困っていると声を挙げなければ対応してもらえない状況です。市で、手帳を保有している人は判っているはずなので、何年かに1度でも、市の方で訪問してその人の状態（状況）をはあくして不安や悩み事などを対応してくれる所を案内するなど、市の方からアクションを起こしてはどうですか。それには予算や人員が足りませんか。
- ・結婚相談やお付き合いを希望するのに、障害向けの相談所がほしい。

【医療に関すること】

- ・現在寝たままなので…どうしたら歩けるようになるか。装着器などをつけて歩けるようになったら嬉しい。歩ける器機も開発してほしい。歩行器の開発を望みます（大人用がほしい）赤ちゃんのように動きたい。
- ・医療機関（医者を含めて）、障害者施設などの職員が、業務のマニュアルを超えて、人として支援してくれるような世の中になるとよいと思う。
- ・聴覚障害ですが、受付等の呼び出しは音声で聞きとれなく、ずっと待たされたりしたことがある。特に病院等、いつ呼ばれるのか、ずっと神経を集中させなければならぬので、とても疲れる。
- ・新型コロナのワクチンが高くて、受けたくても受けられない。
- ・現居住地での病院では対応が難しい診察医療処置を受ける為、頻繁に東京の病院に出向いています。処置を受ける場合はいたしかないと、単に検査は地元で受け、診断や診察はリモートで出来る体制を確立して欲しい。

【家族支援・負担軽減に関すること】

- ・特別支援学校での親の負担の軽減を求めます。(送迎や医療行為の為の親の通学)→仕事を辞めざるをえない。
- ・親が働いていて、本人の病欠(学校)に対応できない場合、兄弟が休みをとって看護するなど、ヤングケアラーになってしまう場合がどうしても発生します。
病気で学校に行かせられない場合などの、預け入れ先、保護者が安心して働きにける環境を整えてほしい。
- ・障害を持っている子どもの就学支援金等があるといい。自転車で通学する事が難しい為、公共交通機関を使うもしくは保護者の送迎が必要となり、金銭的にも保護者の勤務時間に制限がある。

【交通機関に関すること】

- ・高齢で足が悪いので、自動車が欠かせません。しかし、免許返納をしなければならないという気持ちもあります。
- ・一見元気そうに見えても、心の障害を抱えた人もいる為公共交通機関でも安心して利用できたら嬉しいです。以前発作が出た時に優先席に座ったら老人男性に怒鳴られトラウマになり現在も利用が怖いと感じます。
- ・タクシーでの通院ができるとよいのですが、年間チケットだけでは足りない。駅にタクシーがいなくて困ることが多い。
- ・80才になったら免許を返納しようと思っています。又、返納は車だけ原付免許は残そうかと思直そうかと思う。畑までの移動手段として。交通手段は80才以上は優遇して欲しい。例えば年間パス券とか無料にするとか。JR(民営化から国営化にしろ要するに国有鉄道に)は100km以上は半額とかやる気がない。

【防災・防犯・交通安全に関すること】

- ・家にいる時に、災害があった場合、放送も聞こえない、スマートフォンで調べても分からない事もある。その時に、地域の人ともっと関わりをもてたらと思います。何かあった時、自分の所に声をかけに来てくれる、呼びに来てくれる、一緒に行動して避難所へ案内してくれるなど、自分に支援をしてくれる近所の方がいると助かる。
- ・障害者宅に緊急インターホンなど個人に持てると安心かと思います。ドアホンとか怖い人が訪れた時警察にボタン1個で出来るサービスがあったら一人暮らし生活が(障害で歩けない)出来る。
- ・災害時の避難所をテレビで観た時に、体育館に座布団を並べて有るだけだったので、実際に避難所へ行っても座る事も出来ないのかと、不安になりました。
座高の高い椅子を持参するのも、中々に難しいので、せめてパイプ椅子位は欲しいと思う。
- ・災害があったときの避難先のトイレ(和式はダメ)や移動が困る。入口が階段で車イスで行くことが出来ず人が大勢居ると車イスでの移動が出来ない。とにかく車イスで行動が出来ないところはこまる。

【人間関係・友人に関すること】

- ・障害者の人達が孤立しているのが現状で、仲間が欲しいと言う方達が多く、どの障害があっても、ここにすれば色々な人達がいるという居場所が必要と感じています。
- ・75才迄、10年間民生児童委員をしていましたが、本当はもう少し続けたく思っていました。コロナがはやり始めた頃、町内会長との意見の違いでやめざるとなり、非常に残念に思っています。

【住まいに関すること】

- ・車椅子で生活する住宅がほしい。現在、市営住宅、県営住宅でも車椅子で生活する住宅はありますが持ち家のある人は申し込めない、持ち家を売ろうにも売れない本人自身が判断を下せないため(脳出血からくる失語症)なんとかならないのか思案中、倒れてからずーと病院のためわからないことだらけで答えられるところが少ない。

【ひとり暮らしに関すること】

- ・行く先一人暮らしになった場合、みまもりの制度を充実していただけるとありがたいと思う。

【その他】

- ・障害のある方を訓練して、障害のない方のように、自分のやりたいことができるようにすることが大切だと考えています。
- ・今、長時間働いていますが重い物を扱う仕事なので年を取ってからも続けられるか自信がありません。転職も考えますが同じ給料がもらえるところがない。だからと言ってこのまま辞めても退職金が無いので将来が心配です。
- ・今まで当たり前のように暮らしてきましたが、これから年を取り家族や周りの環境も大きく変化すると思われませんが、自分の生活に感謝し順応できる自分でありたい。
- ・障害者の人達が孤立しているのが現状で、仲間が欲しいと言う方達が多く、どの障害があっても、ここにくれば色々な人達がいるという居場所が必要と感じています。
- ・手当を不当に受けている人が居る。もう少し、しっかり調べて欲しい。

Ⅲ 付録：調査票

令和6年度 静岡県 障害のある方の実態調査

しずおかけん しょうがい かた じつたいちょう さ
静岡県 障害のある方の実態調査

1 あなたについて

問1 はじめに、調査票の記入者をお答えください。 (番号を1つだけ○で囲む)

- 1 ご本人が自分で記入
 2 ご本人の回答を他の方が代筆
 3 ご本人以外の方が回答
 ↳ご本人以外の場合は、回答いただく方を○で選択してください。
- ① 夫または妻 ② 親 ③ 子 ④ 兄弟姉妹 ⑤ 孫
 ⑥ 家族以外の介助者 (福祉施設の職員等を含む) ⑦ その他 ()

問2 あなたの性別と年齢を教えてください。 (令和6年9月1日現在)

- 1 男性 2 女性 3 回答しない

満 () 歳

問3 お住まいの市・町 はどちらですか。 (市 町 名を記入)

() 市・町

問4 あなたの主な障害は次のどれですか。障害が複数ある場合は、ご自分で主な障害と考えているものをお選びください。 (番号を1つだけ○で囲む)

- 1 身体障害 (難病の方を含む) →問5へ (2ページ)
 2 知的障害 →問6へ (2ページ)
 3 精神障害 →問7へ (2ページ)
 4 発達障害 →問7へ (2ページ)
 5 その他 () →問5へ (2ページ)

問5 ^{しんたいしょうがいしやてちょう も かた き}身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。

^{も てちょう しょうがいどうきゅう なんきゅう}お持ちの手帳の障害等級は何級ですか。

^{ばんごう かこ}(番号を1つだけ○で囲む)

1 ^{きゅう} 1 級	2 ^{きゅう} 2 級	3 ^{きゅう} 3 級
4 ^{きゅう} 4 級	5 ^{きゅう} 5 級	6 ^{きゅう} 6 級

問5-2 ^{しんたいしょうがいしやてちょう も かた き}身体障害者手帳を持っている方にお聞きします。

^{も てちょう ひょうじ しょうがいぐん おし}お持ちの手帳に表示されている、あなたの障害区分を教えてください。

^{ばんごう かこ}(あてはまる番号をすべて○で囲む)

1 ^{しかくしょうがい} 視覚障害	2 ^{ちやうかくしょうがい} 聴覚障害	3 ^{へいこうきのうしょうがい} 平衡機能障害
4 ^{おんせい げんご} 音声・言語・そしゃく障害	5 ^{したいふじゆう じょうし か し たいかん うんどう き} 肢体不自由 (上肢、下肢、体幹、運動の機能障害)	
6 ^{ないぶしょうがい しんぞう ぞう かんぞう こきゅうき} 内部障害 (心臓、じん臓、肝臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫の機能障害)		
7 ^た その他 ()		

問6 ^{りやういくてちょう も かた き}療育手帳をお持ちの方にお聞きします。

^{も てちょう きさい しょうがい ていど おし}お持ちの手帳に記載してある障害の程度を教えてください。

^{ばんごう かこ}(番号を1つだけ○で囲む)

1 ^{えー} A	2 ^{びー} B
-------------------	-------------------

問7 ^{せいしんしょうがいおよ はったつしょうがい かた き}精神障害及び発達障害のある方にお聞きします。

^{せいしんしょうがいしやほけんふくしてちょう も}あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

^{ばんごう かこ}(番号を1つだけ○で囲む)

1 ^も 持っている	→問7-2へ (すぐ下の設問)
2 ^も 持っていない	→問8へ (3 ページ)

問7-2 ^{せいしんしょうがいしやほけんふくしてちょう も かた き}精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方にお聞きします。

^{も てちょう きさい しょうがい ていど こた}お持ちの手帳に記載してある障害の程度をお答えください。

^{ばんごう かこ}(番号を1つだけ○で囲む)

1 ^{きゅう} 1 級	2 ^{きゅう} 2 級	3 ^{きゅう} 3 級
----------------------	----------------------	----------------------

2 住まい・暮らしについて

問8 次の各項目について、あなたはどの程度一人で行えますか。それぞれ最もあてはまる番号を○で囲んでください。（補装具等をお使いの方は、使用した状態でお答えください。）

	一人でできる	時間をかければ一人でできる	一部介助が必要	全面的に介助が必要
食事	1	2	3	4
家の中での移動	1	2	3	4
トイレ	1	2	3	4
入浴	1	2	3	4
みだしなみ	1	2	3	4
寝返り	1	2	3	4
衣服の着替え	1	2	3	4
外出時の移動(通院を含む)	1	2	3	4
家事(調理・掃除・洗濯等)	1	2	3	4
買い物	1	2	3	4
現金(お小遣い)の管理	1	2	3	4
読み書き	1	2	3	4
健康に気を使うこと	1	2	3	4
自分の考えや気持ちを伝えること	1	2	3	4

問8-2 問8で「3 一部介助が必要」、「4 全面的に介助が必要」に○をつけた方にお聞きします。あなたを介助してくれるのはどなたですか。

また、次の1～6に○をつけた方は、あなたを介助してくれる方(複数いる場合は主に介助している方)の年齢層を教えてください。（あてはまる番号をすべて○で囲む）

1 おつまた 夫又は妻 (歳代)	2 おや 親 (歳代)	3 こまご 子・孫 (歳代)
4 きょうだいしまい 兄弟姉妹 (歳代)	5 た かぞく その他の家族 (歳代)	6 しん 親せき (歳代)
7 ホームヘルパー	8 りんじん 隣人・知人	9 ボランティア
10 しせつどう 施設等の職員	11 た その他 ()	

問9 あなたは現在、どなたと暮らしていますか。（番号を1つだけ○で囲む）

1 かぞく 家族と暮らしている	→問9-2へ(4ページ)
2 ひitori 一人で暮らしている	→問10へ(4ページ)
3 かぞくいがい 家族以外の人と暮らしている	→問10へ(4ページ)
4 た その他 ()	→問10へ(4ページ)

問9-2 問9で「1 家族と暮らしている」に○をつけた方にお聞きします。

いっしょに暮らしている方はどなたですか。 (あてはまる番号をすべて○で囲む)

1 父親	2 母親	3 兄弟姉妹
4 夫または妻	5 子	6 その他 ()

問10 あなたは現在、どこで暮らしていますか。 (番号を1つだけ○で囲む)

1 持ち家	2 民間賃貸住宅 (アパート等)
3 公共賃貸住宅 (市町営・県営・公団等)	4 社宅・官舎等
5 グループホーム	6 精神科病院 (入院中)
7 その他病院 (入院中)	8 入所型の福祉施設
9 その他 ()	

問10-2 問10で「1」～「5」に○をつけた方にお聞きします。

以前、入所型の福祉施設または精神科病院等に入所・入院されていたことがありますか。

(番号を1つだけ○で囲む)

1 ある	2 ない
------	------

問11 問10で「6 精神科病院 (入院中)」、「7 その他病院 (入院中)」及び「8 入所型の福祉施設」に○をつけた方にお聞きします。

福祉施設・病院等で、これまであわせて何年間生活していますか。 (番号を1つだけ○で囲む)

1 1年未満	2 1年以上3年未満
3 3年以上5年未満	4 5年以上10年未満
5 10年以上20年未満	6 20年以上

問11-2 問10で「8 入所型の福祉施設」に○をつけた方にお聞きします。

現在、入所している福祉施設の種類の種類はどれですか。 (番号を1つだけ○で囲む)

1 障害児・者の入所施設	2 高齢者の入所施設 (特別養護老人ホーム等)
3 その他 ()	

問11-3 問10で「8 入所型の福祉施設」に○をつけた方にお聞きます。

今後、あなたはどこで暮らしたいですか。 (番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 今の福祉施設で引き続き暮らしたい | 2 家族と一緒に暮らしたい |
| 3 独立して一人で暮らしたい | 4 グループホーム等で仲間と一緒に暮らしたい |
| 5 別の福祉施設に移りたい | 6 わからない |
| 7 その他 () | |

問11-4 問10で「8 入所型の福祉施設」に○をつけた方にお聞きます。

入所型の福祉施設以外で暮らすためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (あてはまる番号をすべて○で囲む)

- 一人暮らしを支えるホームヘルプサービス等が身近にあること
- 一緒に暮らす家族の理解があること
- 地域住民に障害のある人への理解があること
- 困った時に相談できる人がいること
- 働いて収入を得られること
- 夜間や休日を過ごせるグループホーム等の住まいが身近にあること
- 夜間や休日に加えて平日の日中も過ごすことのできるグループホームが身近にあること
- 何かあった時に一時的に入所できる施設があること
- わからない
- その他 ()

問12 あなたの現在の日常生活のうち、占める割合が一番大きいものに○をつけてください。

(問10で「6 精神科病院(入院中)」、「7 その他病院(入院中)」及び「8 入所型の福祉施設」を選択した方は、この問は回答不要です。) (番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 仕事をしている(就職・自営) | →問13へ(7ページ) |
| 2 医療機関に通院している | →問13へ(7ページ) |
| 3 幼稚園・保育園、学校に通っている | →問12-2へ(6ページ) |
| 4 福祉施設に通所している | →問13へ(7ページ) |
| 5 自宅で家事手伝いをしている | →問13へ(7ページ) |
| 6 特に何もしていない | →問13へ(7ページ) |
| 7 その他 () | →問13へ(7ページ) |

問12-2 問12で「3 幼稚園・保育園、学校に通っている」に○をつけた方にお聞きします。

通園・通学している学校等は次のどれですか。 (番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 幼稚園・保育園 | 2 小学校 (通常の学級) |
| 3 小学校 (特別支援学級) | 4 中学校 (通常の学級) |
| 5 中学校 (特別支援学級) | 6 特別支援学校 (小学部) |
| 7 特別支援学校 (中学部) | 8 特別支援学校 (高等部) |
| 9 高等学校 | 10 大学・短大・専門学校等 |
| 11 その他 () | |

問12-3 問12で「3 幼稚園・保育園、学校に通っている」に○をつけた方にお聞きします。

あなたは、通園・通学している学校等に対して、ニーズに応じた教育や障害に応じた配慮と
いった点で満足していますか。 (番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 満足している | →問12-5へ (6 ページ) |
| 2 どちらかといえば満足している | →問12-5へ (6 ページ) |
| 3 どちらかといえば不満である | →問12-4へ (すぐ下の設問) |
| 4 不満である | →問12-4へ (すぐ下の設問) |

問12-4 問12-3で「3 どちらかといえば不満である」または「4 不満である」に○をつけた方にお聞きします。学校等に対して、要望があれば具体的に教えてください。

問12-5 問12で「3 幼稚園・保育園、学校に通っている」に○をつけた方にお聞きします。

卒園・卒業後の進路をどう考えていますか。 (番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 通常学校に進学したい | 2 特別支援学校等に進学したい |
| 3 大学・短大・専門学校等に進学したい | 4 就職したい |
| 5 職業訓練校等に通いたい | 6 福祉施設に通所・入所したい |
| 7 わからない | 8 その他 () |

問13 あなたが望んでいる日常生活について、教えてください。(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 今の生活を続けたい | 2 仕事をしたい |
| 3 幼稚園・保育園、学校に通いたい | 4 福祉施設・医療機関に通所・通院したい |
| 5 福祉施設・医療機関に入所・入院したい | 6 自宅で過ごしたい |
| 7 わからない | 8 その他 () |

問14 ご本人の保護者の方(親御様やご家庭等で介助されている方)にお聞きします。
ご本人が生活していく上で今後心配になることは何ですか。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1 住まいのこと | 2 日常生活における介助のこと |
| 3 お金のこと | 4 仕事や職場のこと |
| 5 成年後見人等の権利擁護に関すること | 6 ご本人の健康や身体のこと |
| 7 保護者の方の健康や身体のこと | 8 ご本人の老後のこと |
| 9 保護者の方がいなくなった後の生活のこと | 10 特になし |
| 11 その他 () | |

3 障害福祉サービス等の利用状況について

問15 あなたは、ふだん障害福祉に関する情報をどこから得ていますか。
(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|---------------------------------------|---------------|
| 1 市役所・町役場に問い合わせる | |
| 2 県の窓口(保健所、健康福祉センター等)に問い合わせる | |
| 3 相談支援事業所に問い合わせる | |
| 4 市や町の広報誌を見る | |
| 5 県の発行する「障害者福祉のしおり」等の冊子やパンフレットを見る | |
| 6 「県民だより」を見る | |
| 7 市や町のホームページやソーシャルネットワークサービス(SNS)を見る | |
| 8 県のホームページやソーシャルネットワークサービス(SNS)を見る | |
| 9 行政以外のホームページやソーシャルネットワークサービス(SNS)を見る | |
| 10 ホームヘルパー等の介助を頼んでいる人や障害者団体に聞いてみる | |
| 11 主治医や医療機関の職員に聞いてみる | |
| 12 利用している福祉施設の職員に聞いてみる | |
| 13 家族や友人に聞いてみる | 14 学校で聞いてみる |
| 15 わからない | 16 どこからも得ていない |
| 17 その他 () | |

問16 あなたは現在、障害福祉サービス等を利用していますか。

* 「障害福祉サービス等」の説明については、巻末の「調査票の用語説明」をご覧ください。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1 利用している | →問16-2へ(すぐ下の設問) |
| 2 利用していない | →問17へ(9ページ) |
| 3 利用していないが、介護保険制度等の他の制度のサービスを利用している | →問18へ(10ページ) |

問16-2 問16で障害福祉サービス等を「1 利用している」に○をつけた方にお聞きます。

障害支援区分について教えてください。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | | | | |
|-------|--------------------|---------|-------|-------|
| 1 区分1 | 2 区分2 | 3 区分3 | 4 区分4 | 5 区分5 |
| 6 区分6 | 7 障害支援区分の認定は受けていない | 8 わからない | | |

問16-3 問16で障害福祉サービス等を「1 利用している」に○をつけた方にお聞きます。

現在どのようなサービスを利用していますか。

* 各サービスの具体的な説明については、巻末の「調査票の用語説明」をご覧ください。

(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 居宅介護(ホームヘルプ) | 2 重度訪問介護 |
| 3 同行援護 | 4 行動援護 |
| 5 重度障害者等包括支援 | 6 療養介護 |
| 7 生活介護 | 8 短期入所(ショートステイ) |
| 9 施設入所支援 | 10 自立生活援助 |
| 11 共同生活援助(グループホーム) | 12 自立訓練(機能訓練) |
| 13 自立訓練(生活訓練) | 14 就労移行支援 |
| 15 就労継続支援(A型) | 16 就労継続支援(B型) |
| 17 就労定着支援 | 18 児童発達支援 |
| 19 放課後等デイサービス | 20 居宅訪問型児童発達支援 |
| 21 保育所等訪問支援 | 22 障害児入所支援 |
| 23 地域移行支援 | 24 地域定着支援 |
| 25 障害者相談支援 | 26 意思疎通支援 |
| 27 日常生活用具給付 | 28 移動支援 |
| 29 地域活動支援センター | 30 日中一時支援 |
| 31 その他() | |

問16-4 問16で障害福祉サービス等を「1 利用している」に○をつけた方にお聞きます。
現在、利用しているサービスに満足していますか。 (番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 満足している | →問18へ (10ページ) |
| 2 どちらかといえば満足している | →問18へ (10ページ) |
| 3 どちらかといえば不満である | →問16-5へ (すぐ下の設問) |
| 4 不満である | →問16-5へ (すぐ下の設問) |

問16-5 問16-4で「3 どちらかといえば不満である」または「4 不満である」に○をつけた方にお聞きます。不満がある理由を、具体的に教えてください。

問17 問16で障害福祉サービス等を「2 利用していない」に○をつけた方にお聞きます。
サービスを利用していない理由は何ですか。 (番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 利用を希望したが利用できなかったから | →問17-2へ (すぐ下の設問) |
| 2 制度を知らなかったから | →問18へ (10ページ) |
| 3 利用する必要がないから | →問18へ (10ページ) |
| 4 その他 () | →問18へ (10ページ) |

問17-2 問17で「1 利用を希望したが利用できなかったから」に○をつけた方にお聞きます。
その理由は何ですか。 (あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | |
|------------------------------|
| 1 市役所や町役場での利用手続きが難しかったから |
| 2 利用対象でなかったから |
| 3 住んでいる近くに使いたいサービス事業所がなかったから |
| 4 サービス事業所をさがすことができなかったから |
| 5 サービス事業所との契約手続きが難しかったから |
| 6 サービス事業所に利用を断られたから |
| 7 利用料の負担が大きいから |
| 8 その他 () |

問18 ^{かた} ^き **すべての方**にお聞きます。

あなたは、今後（おおむね3年以内に）、^{しょうがいふくし} 障害福祉サービス等を利用しますか。

（番号を1つだけ○で囲む）

1 ^{りよう} ^{おも} 利用すると思う	→問18-2へ（すぐ下の設問）
2 ^{りよう} ^{おも} 利用しないと思う	→問19へ（10ページ）
3 ^{かいごほけんせいどとうほか} ^{せいど} 介護保険制度等他の制度でサービスを利用すると思う	→問19へ（10ページ）
4 ^{わからない}	→問19へ（10ページ）

問18-2 ^{かた} ^き 問18で^{しょうがいふくし} 障害福祉サービス等を「1 ^{りよう} ^{おも} 利用すると思う」に○をつけた方にお聞きます。

どのようなサービスを利用すると思いますか。

（あてはまる番号をすべて○で囲む）

1 ^{きょたくかいご} 居宅介護（ホームヘルプ）	2 ^{じゅうどほうもんかいご} 重度訪問介護
3 ^{どうこうえんご} 同行援護	4 ^{こうどうえんご} 行動援護
5 ^{じゅうどしょうがいしゃとうほうかつしえん} 重度障害者等包括支援	6 ^{りょうようかいご} 療養介護
7 ^{せいかつかいご} 生活介護	8 ^{たんきにゅうしょ} 短期入所（ショートステイ）
9 ^{しせつにゅうしよしえん} 施設入所支援	10 ^{じりつせいかつえんじょ} 自立生活援助
11 ^{きょうどうせいかつえんじょ} 共同生活援助（グループホーム）	12 ^{じりつくんれん} ^{きのうくんれん} 自立訓練（機能訓練）
13 ^{じりつくんれん} ^{せいかつくんれん} 自立訓練（生活訓練）	14 ^{しゅうろういこうしえん} 就労移行支援
15 ^{しゅうろうけいぞくしえん} ^{えーがた} 就労継続支援（A型）	16 ^{しゅうろうけいぞくしえん} ^{びーがた} 就労継続支援（B型）
17 ^{しゅうろうていちゃくしえん} 就労定着支援	18 ^{じどうはったつしえん} 児童発達支援
19 ^{ほうかごとう} 放課後等デイサービス	20 ^{きょたくほうもんかたじどうはったつしえん} 居宅訪問型児童発達支援
21 ^{ほいくじょうほうもんしえん} 保育所等訪問支援	22 ^{しょうがいじにゅうしよしえん} 障害児入所支援
23 ^{ちいきいこうしえん} 地域移行支援	24 ^{ちいきていちゃくしえん} 地域定着支援
25 ^{しょうがいしゃそうだんしえん} 障害者相談支援	26 ^{いしそつうしえん} 意思疎通支援
27 ^{にちじょうせいかつようぐきゅうふ} 日常生活用具給付	28 ^{いどうしえん} 移動支援
29 ^{ちいきかつどうしえん} 地域活動支援センター	30 ^{にっちゅういちじしえん} 日中一時支援
31 ^た その他（ ）	

4 ^{しごと} ^{かけい} 仕事や家計について

問19 あなたの主な収入は、次のうちどれですか。

（あてはまる番号をすべて○で囲む）

1 ^{しょうがい} ^{りゆう} ^{ねんきん} ^{じゅきゆう} 障害を理由とする年金を受給している	2 ^{いがい} ^{ねんきん} ^{じゅきゆう} 1以外の年金を受給している
3 ^{しょうがい} ^{りゆう} ^{てあて} ^{じゅきゆう} 障害を理由とする手当を受給している	4 ^{いがい} ^{てあて} ^{じゅきゆう} 3以外の手当を受給している
5 ^{せいかつほご} ^{じゅきゆう} 生活保護を受給している	6 ^{はたら} ^{しゅうにゅう} ^え 働いて収入を得ている
7 ^{かぞく} ^{えんじょ} ^{しおく} ^う 家族からの援助・仕送りを受けている	8 ^{しゅうにゅう} 収入はない
9 ^た その他（ ）	

問20 あなたの月平均の収入（税を含む）はいくらですか。（番号を1つだけ○で囲む）

* 収入には、あなたが働いて得た収入のほか、年金・手当等も含めてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 なし | 2 5万円未満 | 3 5～10万円未満 |
| 4 10～15万円未満 | 5 15～20万円未満 | 6 20～25万円未満 |
| 7 25～30万円未満 | 8 30万円以上 | 9 わからない |

問21 あなたは、これまでに仕事をしたことがありますか。（番号を1つだけ○で囲む）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| 1 現在、仕事をしている | →問21-2へ（すぐ下の設問） |
| 2 仕事をしたことがあるが、現在はしていない | →問21-5へ（12ページ） |
| 3 仕事をしたことがない | →問21-5へ（12ページ） |

問21-2 問21で「1 現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。

どのような仕事をしていますか。（番号を1つだけ○で囲む）

- | |
|-------------------------------------|
| 1 正規の職員として会社や役所等に勤めている |
| 2 パート、アルバイト、派遣社員等として会社や役所等に勤めている |
| 3 自分で事業を営んでいる（自営業） |
| 4 家の仕事（家業）の手伝いをしている |
| 5 家で内職をしている |
| 6 障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型・B型）等）で働いている |
| 7 その他（ ） |

問21-3 問21で「1 現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。

現在の仕事をどのように見つけましたか。（あてはまる番号をすべて○で囲む）

- | |
|--|
| 1 公共職業安定所（ハローワーク）の紹介 |
| 2 求人誌や広告等の求人情報を自分で探した |
| 3 家族、友人、知人の紹介 |
| 4 学校の紹介 |
| 5 障害福祉サービス事業所（就労移行支援・就労継続支援（A型・B型））の紹介 |
| 6 就労支援機関（障害者就業・生活支援センター、職業訓練校、障害者職業センター等）の紹介 |
| 7 障害者団体の紹介 |
| 8 その他（ ） |

問21-4 問21で「1 現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。

仕事によって得られる月平均収入（税を含む）はいくらですか。

（番号を1つだけ○で囲む）

1 なし	2 1万円未満	3 1～3万円未満
4 3～5万円未満	5 5～10万円未満	6 10～20万円未満
7 20～30万円未満	8 30万円以上	9 わからない

問21-5 問21で「2 仕事をしたことがあるが、現在はしていない」または「3 仕事をしたことがない」に○をつけた方にお聞きします。

あなたは、将来、会社等で働きたいですか。

（番号を1つだけ○で囲む）

1 会社等で働きたい	2 働きたくない	3 働く必要がない
------------	----------	-----------

5 生活の環境や安全・安心について

問22 自分の住んでいる街が、障害のある人にとって安心して暮らせるところだと思いますか。

（番号を1つだけ○で囲む）

1 安心して暮らせるところだと思う	→問23へ（13ページ）
2 ある程度安心して暮らせるところだと思う	→問23へ（13ページ）
3 安心して暮らせるところだと思わない	→問22-2へ（すぐ下の設問）
4 わからない	→問23へ（13ページ）

問22-2 問22で「3 安心して暮らせるところだと思わない」に○をつけた方にお聞きします。

暮らしやすい街にするためには何が必要だと思いますか。具体的に記載してください。

問23 ^{せいかつ}生活をしている中で、^{なか}差別や^{さべつ}虐待^{ぎゃくたい}を受けたことはありますか。

*「虐待」とは^{ぎゃくたい}身体的なものだけでなく、^{しんたいてき}金銭的、^{しんりてき}心理的、^{せいてき}性的な虐待^{ふく}を含みます。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|------|-----------------|
| 1 ある | →問23-2へ(すぐ下の設問) |
| 2 ない | →問24へ(14ページ) |

問23-2 問23で「1 ある」に○をつけた方にお聞きます。差別や虐待を受けたことを誰かに相談しましたか。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|-------|----------------|
| 1 した | →問23-3へ(13ページ) |
| 2 しない | →問23-5へ(13ページ) |

問23-3 問23-2で「1 した」に○をつけた方にお聞きます。どこに相談しましたか。

(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 市や町の差別・虐待相談窓口 | 2 県の差別解消・虐待相談窓口 |
| 3 家族 | 4 友人 |
| 5 事業所の職員 | 6 相談支援事業所の職員 |
| 7 学校の教職員 | 8 医療機関の職員 |
| 9 その他() | |

問23-4 問23-2で「1 した」に○をつけた方にお聞きます。その相談は解決しましたか。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 解決した | 2 解決に向けて対応してもらっている |
| 3 相談したが解決していない | 4 相談したが対応してもらえなかった |
| 5 その他() | |

問23-5 問23-2で「2 しない」に○をつけた方にお聞きます。それはなぜですか。

(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 口止めされた | 2 他の人に話をしなかった |
| 3 相談する先がわからなかった | 4 相談しても解決しないと思った |
| 5 こわかった(つらかった)から | |
| 6 その他() | |

問24 あなたは、バリアフリー化の現状についてどう思いますか。

*「バリアフリー化」とは、すべての人が不自由なく行動できるように環境を整えることをいいます。例えば、次のようなものがあります。

- ・道路や建物で、段差をなくしたり、スロープを設置したりする
- ・誰でも使いやすいような機能やデザインの製品を作る
- ・視覚や聴覚に障害のある人等が、必要な時に必要な情報を得られるようにする

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 十分に進んでいると思う | →問25へ (14ページ) |
| 2 ある程度進んでいるが、さらに取組が必要だと思う | →問24-2へ (すぐ下の設問) |
| 3 あまり進んでいないと思う | →問24-2へ (すぐ下の設問) |
| 4 わからない | →問25へ (14ページ) |

問24-2 問24でバリアフリー化が「2 ある程度進んでいるが、さらに取組が必要だと思う」または「3 あまり進んでいないと思う」に○をつけた方にお聞きます。

今後、バリアフリー化が必要なのはどこだと思いますか。

問25 あなたは、災害等の緊急時に、自宅または施設から一人でまたは支援を受けながら、安全に避難できる環境にありますか。

(番号を1つだけ○で囲む)

- | | |
|----------|------------------|
| 1 避難できる | →問25-3へ (15ページ) |
| 2 避難できない | →問25-2へ (すぐ下の設問) |
| 3 わからない | →問25-3へ (15ページ) |

問25-2 問25で安全に「2 避難できない」に○をつけた方にお聞きます。

避難できない理由を具体的に教えてください。

(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 介助者が周りにいないため | 2 避難場所が遠いため |
| 3 避難場所がわからないため | 4 緊急時という判断がつかないため |
| 5 緊急時の情報を得る手段がないため | 6 移動が難しいため |
| 7 その他 () | |

問25-3 地震や台風等の災害が発生した時にどのような支援や助けが必要だと思いますか。

(主なものを3つまで○で囲む)

- 1 避難や災害の情報を知りやすく教えてほしい
- 2 避難を助けてくれる人を増やしてほしい
- 3 人工透析や在宅酸素等の医療を確実に受けられるようにしてほしい
- 4 必要な人に薬や車いす等の物資が行き渡るようにしてほしい
- 5 避難所で一人になれる部屋や場所がほしい
- 6 避難所で障害がわかる人や友人・仲間が身近にいてほしい
- 7 避難所になじみのあるケアスタッフや支援者がいてほしい
- 8 避難所に手話通訳者やガイドヘルパー等がいてほしい
- 9 避難所で医師の診察を受けられるようにしてほしい
- 10 その他 ()

6 社会参加について

問26 あなたは、最近どのような社会参加をしていますか。また、今後どのような社会参加をしたいとお
 いますか。「最近1か月間に行った社会参加」と「今後したい社会参加」のそれぞれについて、あて
 はまる番号に○をつけてください。(あてはまる番号をすべて○で囲む)

	最近1か月間に行った社会参加	今後したい社会参加
スポーツ	1	1
趣味等の文化・芸術活動	2	2
旅行	3	3
買い物(日常の買い物を含む)	4	4
ボランティア活動	5	5
障害者団体の活動	6	6
講座や講演会等への参加	7	7
地域の行事や祭り、学校・職場の行事	8	8
インターネット等での社会交流	9	9
家族・友人・知人との交流	10	10
その他 ()	11	11

問27 あなたは、日常生活において自立し、社会参加をしていると感じていますか。

*ここでいう、「自立」とは、必要とする支援を受けながらも、自分の意思をもって日常生活を送ることを含みます。(番号を1つだけ○で囲む)

- 1 自立し、社会参加をしていると感じている
- 2 ある程度自立し、社会参加をしていると感じている
- 3 自立し、社会参加をしているとは感じていない
- 4 わからない

問28 あなたは、問26のような社会参加のために必要な情報を、主にどこから得ていますか。

(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 新聞・雑誌 | 2 テレビ・ラジオ |
| 3 所属している団体の会合や会報 | 4 県・市や町の広報紙・パンフレット |
| 5 市や町の福祉・保健・医療の窓口 | 6 県の保健所・健康福祉センターの窓口 |
| 7 インターネット | 8 学校・職場・福祉施設 |
| 9 病院・診療所 | 10 家族・友人・知人 |
| 11 ホームヘルパーや訪問看護師 | 12 民生委員・児童委員 |
| 13 障害者相談員・相談支援専門員 | 14 その他 () |

問29 あなたにとって社会参加の機会を増やすために、今後充実してほしい情報は何かですか。

(主なものを3つまで○で囲む)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 福祉サービスに関する情報 | 2 就学・就職に関する情報 |
| 3 観光・イベントに関する情報 | 4 スポーツ・文化・芸術に関する情報 |
| 5 防災に関する情報 | 6 ボランティア団体等についての情報 |
| 7 特に必要な情報はない | 8 わからない |
| 9 その他 () | |

問30 あなたは普段の生活で、どのようなICT機器を使用していますか。

(あてはまる番号をすべて○で囲む)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 パソコン | 2 スマートフォン |
| 3 タブレット | 4 スマートウォッチ |
| 5 その他 () | 6 特に使用していない |

問30-2 問30で「1」～「5」に○をつけた方にお聞きます。

I C T 機器が役に立ったと思うのはどのような場面ですか。具体的に記載してください。

問31 視覚障害のある方（問5-2で「1 視覚障害」に○をつけた方）にお聞きます。

あなたは、どのような媒体での情報提供を希望しますか。（あてはまる番号をすべて○で囲む）

- | | | |
|--------------------|-------------------------|--------|
| 1 録音物 | 2 点字 | 3 拡大文字 |
| 4 音声コード添付印刷（SPコード） | 5 音声コード添付印刷（Uni-Voice等） | |
| 6 パソコンによるテキストデータ | 7 その他（ | ） |

問32 聴覚障害のある方（問5-2で「2 聴覚障害」に○をつけた方）にお聞きます。

あなたのコミュニケーション手段を教えてください。（あてはまる番号をすべて○で囲む）

- | | |
|------------|------------|
| 1 筆談（要約筆記） | 2 手話（手話通訳） |
| 3 口話（読話） | 4 補聴器 |
| 5 人工内耳 | 6 スマートフォン |
| 7 その他（ | ） |

7 悩み事に対する相談について

問33 現在、悩み事はありますか。

（主なもの3つまで○で囲む）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 進学や学校のこと | 2 人間関係のこと |
| 3 恋愛や結婚のこと | 4 就職や仕事のこと |
| 5 子育てや子どもの教育のこと | 6 家庭のこと |
| 7 自分の老後のこと | 8 親の老後のこと |
| 9 健康や身体のこと | 10 福祉・保健サービスの利用 |
| 11 福祉制度の変化への対応 | 12 お金のこと |
| 13 住まいの確保 | 14 災害時の安全の確保 |
| 15 その他（ | 16 悩み事は特にない |

問34 困った時のあなたの主な相談先はどこですか。

(主なもの3つまで○で囲む)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 家族・親族 | 2 友人や知人 |
| 3 学校・教師 | 4 市や町の福祉・保健・医療の窓口 |
| 5 県の保健所・健康福祉センターの窓口 | 6 障害者団体 |
| 7 相談支援事業所 | 8 社会福祉協議会 |
| 9 病院・診療所等 | 10 福祉施設の職員 |
| 11 ホームヘルパーや訪問看護師 | 12 職場の上司や仲間 |
| 13 障害者相談員・相談支援専門員 | 14 民生委員・児童委員 |
| 15 ボランティア | 16 ケアマネージャー |
| 17 特にない | 18 その他() |

問35 困った時の相談先等の支援体制について、現在の状態はあなたにとって十分ですか。

(番号を1つだけ○で囲む)

- 現在の状態で十分
- 現在の状態でほぼ十分だが、さらに充実してほしい
- 現在の状態では不十分
- わからない

問36 今後、福祉や生活に関する相談の支援体制として、どのようなことを希望しますか。

(主なもの3つまで○で囲む)

- どこに相談したらいいかわかるようにしてほしい
- 休日・夜間等でも相談できるようにしてほしい
- 身近な地域で相談できるところがほしい
- 問題が解決するような対応をしてほしい
- 相談員の対応や知識等、相談技術を向上させてほしい
- 相談窓口を一本化してほしい
- 入所型の福祉施設でも定期的な訪問相談を実施してほしい
- 乳幼児期における相談体制を充実してほしい
- わからない
- 特にない
- その他()

8 その他

問37 あなたは、次のような場面等で、理由や十分な説明もなく、あなたの希望や意思が、周りの人に理解（大切に）されていないと感じたことはありますか。（あてはまる番号をすべて○で囲む）

- 1 自分の好きなものを自由に 飲食 できないことがある
- 2 自分の好きな服を自由に着られないことがある
- 3 自分が行きたい場所への 外出 を止められたことがある
- 4 自分がしたい時にトイレに行けないことがある
- 5 入浴 や身なりを 整 えることが自由でないことがある
- 6 施設内のプログラムを自由に選べないことがある
- 7 住まいを変えたいが、止められたことがある
(ひとり暮らし、グループホーム、自宅に帰る等)
- 8 その他の場面で、あなたの希望が大切にされていないと感じたことがある
(どのような場面で感じたか、記載してください。)

- 9 あなたの希望は大切にされていると思う
- 10 わからない

問38 あなたは、現在の生活に満足していますか。（番号を1つだけ○で囲む）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 満足している | →問39へ (20ページ) |
| 2 どちらかといえば満足している | →問39へ (20ページ) |
| 3 どちらかといえば不満である | →問38-2へ (すぐ下の設問) |
| 4 不満である | →問38-2へ (すぐ下の設問) |
| 5 わからない | →問39へ (20ページ) |

問38-2 問38で現在の生活に「3 どちらかといえば不満である」または「4 不満である」に○をつけた方にお聞きします。

現在の生活に不満がある理由を具体的に教えてください。

問39 今後、行政に力を入れてほしいのはどのようなことですか。（主なもの5つまで○で囲む）

- 1 障害のある人に対する理解を県民により深めてもらう
- 2 障害のある人向けの教育を充実する
- 3 障害のある人等を支援するボランティアを育てる
- 4 障害の早期発見・早期療育の取組を充実する
- 5 様々な障害に対応した治療やリハビリの機会を増やす
- 6 医療費の金銭的な負担を減らす
- 7 自宅で過ごすためのホームヘルプやショートステイ等のサービスを使いやすくする
- 8 障害のある人が安心して住めるグループホームを増やす
- 9 障害のある人向けの職業訓練を行う
- 10 障害のある人が働ける場を増やす
- 11 障害のある人向けの職業の情報を充実する
- 12 安全で、段差等の使いづらさのない住まいを増やす
- 13 生活や訓練のために必要な障害福祉サービス事業所を増やす
- 14 障害のある人の権利や財産を守ることを支援する機関を充実する
- 15 年金や手当等の収入を増やす
- 16 建物、道路等、障害のある人に配慮したまちづくりを進める
- 17 電車、バス等の交通機関について、障害のある人に配慮した移動手段を充実する
- 18 困った時の相談先を充実する
- 19 福祉や趣味・娯楽等の情報を増やす
- 20 障害のある人のスポーツ・文化・レクリエーション活動を支援する
- 21 介護をする家族が休養できるようなサービスを充実する
- 22 災害時の避難等、障害のある人の防災対策を進める
- 23 その他（ ）

○ 選択肢だけでは表現しきれなかったことや、ご意見・ご要望がありましたら、以下の欄に自由に書きください。

— 質問はこれで終わります。ご協力ありがとうございました。 —

とい およ とい 問16及び問18 ちょう さ ひょう よう ご せつめい < 調査票の用語説明 >

しょうがいふくし サービス等とは、以下のサービス等のことをいいます。

めいしょう 名称	サービス等の内容
1 居宅介護 (ホームヘルプ)	自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を提供するサービスをいいます。
2 重度訪問介護	重度の障害者で常に介護を必要とする人に、自宅での介護、外出時の移動介護等を総合的に提供するサービスをいいます。
3 同行援護	視覚障害により、移動に著しい困難がある人に、外出に関する支援を提供するサービスをいいます。
4 行動援護	自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援等を提供するサービスをいいます。
5 重度障害者等 包括支援	常時介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等の複数のサービスを包括的に提供するサービスをいいます。
6 療養介護	医療や常に介護を必要とする人に、医療機関での療養上の管理や日常生活上の世話を提供するサービスをいいます。
7 生活介護	常に介護を必要とする人に、主に昼間、施設で介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供するサービスをいいます。
8 短期入所 (ショートステイ)	自宅で介護している人が病気等の場合に、短期間、施設で障害のある人に対して入浴、排せつ、食事の介護等を提供するサービスをいいます。
9 施設入所支援	施設に入所している障害者に、主に夜間に介護等を提供するサービスをいいます。
10 自立生活援助	入所施設を利用していた人等が一人暮らしを始めたときに、生活や健康面等に問題がないか、訪問して必要な支援を提供するサービスをいいます。
11 共同生活援助 (グループホーム)	主に夜間や休日、共同生活を営む住居で、相談や日常生活上の援助を提供するサービスをいいます。
12 自立訓練 (機能訓練)	障害のある人が自立した日常生活ができるよう、身体機能・生活能力の維持・向上のため、一定期間、必要な訓練を提供するサービスをいいます。
13 自立訓練 (生活訓練)	障害のある人が自立した日常生活ができるよう、生活能力の維持・向上のために、一定期間、必要な訓練を提供するサービスをいいます。
14 就労移行支援	一般企業等エラー！非対応のEQフィールドです。働くことを希望する人に、働くために必要な知識および能力の向上のために、一定期間、必要な訓練を提供するサービスをいいます。

めいしやう 名称	サービス等の内容
15 就労継続支援 (A型＝雇用型)	一般企業等で働くことが困難な人に、雇用契約に基づいて働く場を提供するとともに、働く機会を通じて知識および能力の向上のために必要な訓練を提供するサービスをいいます。
16 就労継続支援 (B型＝非雇用型)	一般企業等で働くことが困難な人に、働く場を提供するとともに、働く機会を通じて知識および能力の向上や維持のために必要な訓練を提供するサービスをいいます。
17 就労定着支援	就労移行支援を利用して一般企業で働く人に、社会生活面の課題に対応できるよう、訪問や来所により必要な支援を提供するサービスをいいます。
18 児童発達支援	通所している未就学児童に、日常生活における基本的な動作や知識技能を身に付ける等、集団生活へ適応するための訓練を提供するサービスをいいます。
19 放課後等 デイサービス	学校に就学している児童に、授業の終了後または休業日に、生活能力向上のために必要な訓練や社会交流を促進するために必要な援助を提供するサービスをいいます。
20 居宅訪問型 児童発達支援	通所することが難しい未就学児童に、日常生活における基本的な動作や知識技能を身に付ける等、集団生活へ適応するための訓練を提供するサービスをいいます。
21 保育所等 訪問支援	保育所等に通う児童に対し、施設の他の児童とともに集団生活への適応のために専門的な支援を提供するサービスをいいます。
22 障害児 入所支援	障害児入所施設または指定医療機関に入所・入院している児童に対して行われる保護、日常生活の指導や知識技能を身に付けることを目的とするサービスをいいます。
23 地域移行支援	施設や精神科病院に入所・入院している人に、今の居場所を出て、地域生活に移行するための相談を提供するサービスをいいます。
24 地域定着支援	一人で暮らしている障害のある人に、連絡体制を確保し、緊急の事態に応じた相談を提供するサービスをいいます。
25 障害者相談支援	障害のある人が抱える様々な問題について、相談に応じ、情報の提供や助言、サービスの利用支援等を行う支援をいいます。
26 意思疎通支援	聴覚、言語機能、音声機能、視覚等の障害のある人に、手話通訳者や要約筆記者の派遣等を行う支援をいいます。
27 日常生活用具 給付	障害のある人に対して、日常生活用具を給付または貸与することをいいます。
28 移動支援	屋外での移動が難しい障害のある人に対して、外出時の介助等を行う支援をいいます。

めいしょう 名称	とう ないよう サービス等の内容
29 ちいき かつどう しえん 地域活動支援 センター	しょうがい ひと そうさくでき かつどう せいさんかつどう おこな しゃかい こうりゆう 障害のある人が、創作的な活動や生産活動を行ったり、社会との交流を すす ばしょ 進める場所をいいます。
30 にっちゅう いちじ しえん 日中一時支援	しょうがい ひと かぞく しごと いちじ でき かいご きゅうそく と 障害のある人の家族が仕事をしたり、一時的な介護の休息を取るために、 しょうがい ひと にっちゅう かつどう ばしょ 障害のある人が日中に活動する場所をいいます。

静岡県 障害のある方の実態調査 結果報告書

発行：令和 7 年 3 月

編集：静岡県健康福祉部障害者支援局 障害者政策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町 9-6

電 話：054-221-3599・FAX：054-221-3267